持続的共進化地域創成拠点ロードマップ

将来の社会ニーズ：あんしん・あんぜんで活力ある持続的地域の創成

クリーンエネルギーを最大限に活用することで地球環境への負荷を極限まで低減(SDGs7&13)しながら、同時に地域経済活性化と雇用創出、交通弱者への移動手段の提供により、あんしん・あんぜんで活力ある持続的地域創成(SDG11)を行うことを目指す。また、それらを通して、地域住民の健康面への配慮(SDG3)や社会的/経済的弱者に対する安価でアクセスしやすい地域サービスの提供(SDG10)も可能。参画企業/地方自治体を含めた形で共進化委員会を形成し、PL/RLのマネジメントの下でエネルギー/モビリティ/情報科学/産業数学といった異分野技術の共進化を積極的に仕掛けていくことで、 地域課題を解決する社会実装を次々に生み出し続けるイノベーションプラットフォームを構築する。（SDG9）

＜現状＞

近い将来、再生可能エネルギー等を利活用することによりCO2を低減するとともに、電気自動車や水素によるインバランス補償などによって系統電力に依存しない真のエネルギー地産地消が求められている。また過疎化や高齢化などによる人口減少で活力を失う地域が増加する傾向にあるが、エネルギー・交通問題ともに根本的な解決策を見いだせていない。

設定した将来の社会ニーズに基づく課題（研究開発課題）

エネルギー部会
- エネルギーシステムの脱炭素化施策設計/コストエンジニアリング
- 水素インフラ
- 定置用電源(革新的高効率発電システム)
- 移動体用電源(水素モビリティ、再エネ電気モビリティ)

モビリティ部会
- 協働/共有型モビリティシステムの開発(車両とハブ空間のリデザイン含む)
- MaaS対応型マルチモーダル情報提供システムの開発
- 道路維持管理支援システムの開発

情報科学部会
- 情報基盤の開発と実装
- ロボットによるスマート生活支援
- 有機デバイスの応用
- 都市空間における見守りサービスの構築と実証
- 生活センシングに基づく情報発信による生活
- 次世代都市機能のあり方に関する研究

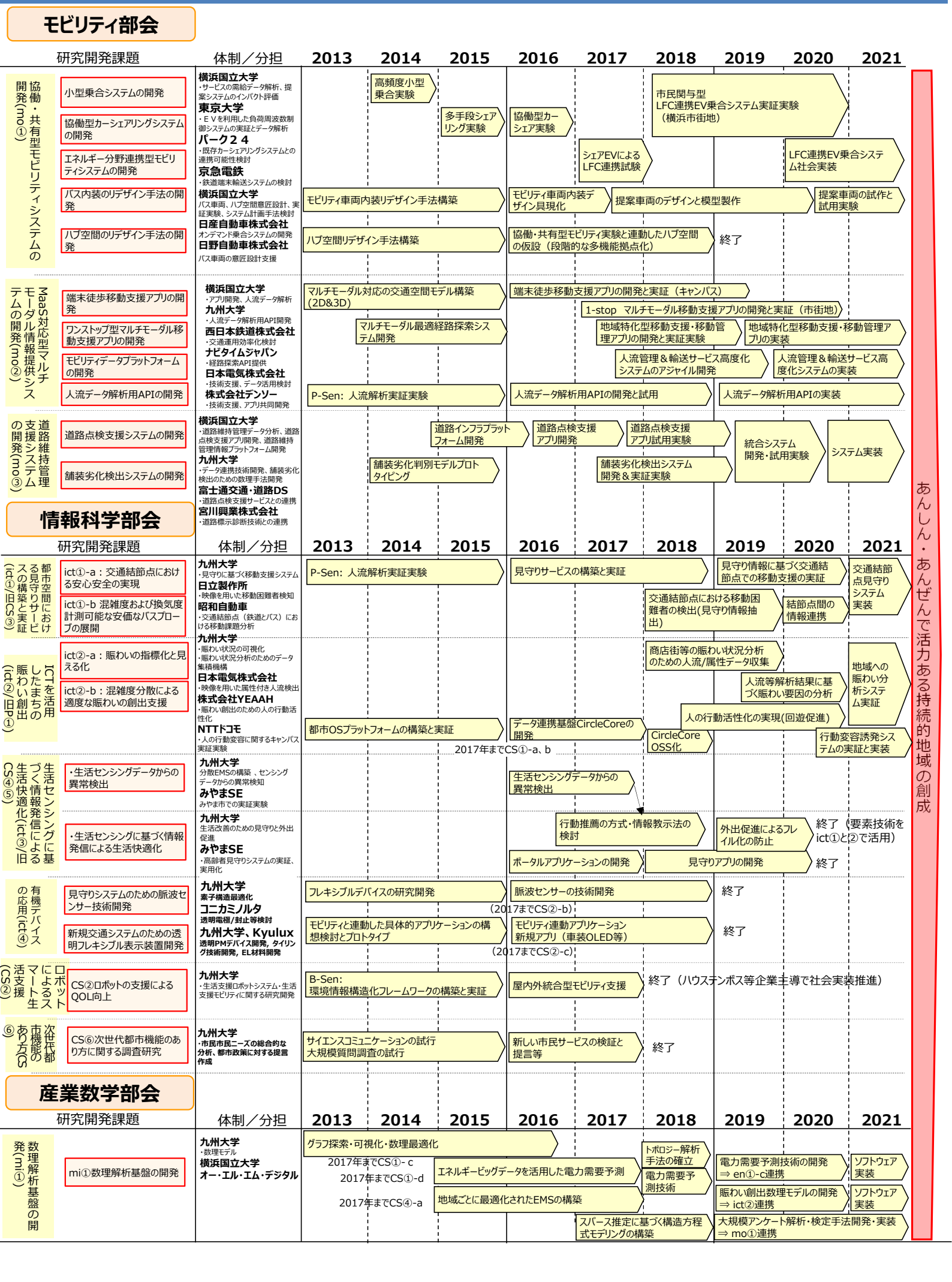
産業数学部会
- 数理解析基盤の開発

エネルギー部会

研究開発課題	体制／分担	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
エネルギーシステムの脱炭素化施策の設計と実装およびコストエンジニアリング(en①)										
en①-a エネルギーシステムの効率化、脱炭素化のためのファイナンス及び制度設計と社会実装	**東京大学** 省エネファイナンス制度の設計及び普及と効果の検証 **九州大学** エネルギー技術(再エネ、水素、燃料電池を含む)開発仕様の新エネ導入促進施策への反映を実施 **静岡ガス、みやまSE** **イー・コンザル** ・社会実装	省エネルギー技術等へのファイナンス制度の設計と社会実装			事業スキームを3か所以上で実装、アプリによる促進			「電気代そのまま払い」九州地区を含む5か所以上の社会実装の加速・推進		
					燃料電池＋電力融通＋省エネでGHG26%以上削減					
		上記のスキームに基づくグリーンパワーモデレータの社会実装			電力系統安定化設計で需給調整能力40%向上			脱炭素社会におけるエネルギーシステムを見据えた実証を1か所で実施、新制度設計への貢献		
					EVによる周波数制御、市場シミュレーション			電力インバランス補償事業化		
en①-b エネルギーインフラ総合評価と都市への経済効果を考慮したエネルギー・経済モデルの開発と社会実装	**東京大学** 脱炭素化に向けた再エネ普及と電力系統安定性の検討、経済性評価 **九州大学** エネルギー技術(再エネ・水素・燃料電池を含む)開発仕様の新エネ導入促進施策への反映 **みやまSE、イー・コンザル** ・エネルギーシステムの評価と実証実験。	再エネ大量普及と系統安定性維持に必要な電力システム技術の明確化			九州地域：電力コスト上昇率30%以下・GHG26%削減を両立する脱炭素技術の普及・評価			脱炭素化事業の設計と都市経済アセスプロセスの統合		
					福岡等2か所以上にて地域経済に与える影響可視化					
		パリ協定が国内経済・国民生活に与える影響の定量化			GHG26%以上削減・年間3万円以上の厚生額向上と都市経済の評価技術実装			技術革新でGHG大幅削減と厚生額向上の両立を検証		
en①-c 再生可能エネルギーの面的利用	**九州大学・東京大学** 自治体と協力した「先進的低炭素コミュニティモデル」を構築、低炭素最適化に向けた再エネ融通など経済性を確保しつつ低炭素を実現する街区構築検証を実施 **イーコンザル、チームAIBOD** 太陽光発電の予測モデル及び電源運用計画モデルの実証実験	九州大学筑紫キャンパスや自治体と協力し，再エネ電力需給予測技術の開発			自治体と協力した小型分散型再エネ大量利用を軸とする低炭素社会モデルの構築と街区構築検証			ローカルエネルギーマネジメントコミュニティを中核とした高度運用技術の実現の設計と展開		
								電力システムと水素関連技術による電力インバランス補償技術の確立、導入効果と事業性評価		
en①-d エネルギーシステムのコストエンジニアリング	**東京大学・東京工業大学** 燃料電池やその他の発電技術に関するコストエンジニアリングと普及シナリオの提示，経済性・環境影響等の総合的評価 **九州大学** エネルギーシステムのコストエンジニアリングに必要な最新技術仕様情報の提供 **東京ガス** ・実用化課題の検討、導入プラン検討	燃料電池を中心としたコストエンジニアリングの実施と普及に向けたシナリオの提示			シミュレーションを併用した性能・コストの総合的な評価を実施			経済性・環境影響に関する総合的評価・戦略策定(家庭用FC投資回収5年、水素価格30円/Nm3)		
		同様の手法を他の発電方法にも展開し，経済性や環境影響評価を実施			中・大型燃料電池や水素製造，蓄エネ，バイオマス発電等へ検証範囲を拡大し技術シナリオ提示			燃料電池・水素製造システムの実データとの比較、データ評価システムへの反映		
		◀（2017までEN③-b）					▶	脱炭素化システム設計と都市経済へのフィードバック		
水素インフラ(en②)										
en②-a エネルギーインフラ最適配置	**九州大学** 未来エネルギー社会インフラの技術課題抽出と技術課題の開発へのフィードバック、自治体への展開などの具現化 **ENEOS** 九州大学と共同で未来エネルギー社会インフラの技術課題抽出と展開を企業の立場から助言	九大伊都キャンパス水素ステーションで再エネ電力の水素による蓄エネ実証			九大水素ステーションを活用して、変動する再エネ電力実運用時の追従性と電解効率等を把握し、そのデータ等も活用して、水素ステーションの最適配置を算出			エネルギー貯蔵ポテンシャルを試算し、未来エネルギー社会モデルの検討結果を踏まえて都市・自治体へ展開	未来エネルギーインフラ具現化	
		キャンパスの全体のエネルギー情報を見える化し技術課題へフィードバック								
en②-b 水電解システム	**九州大学** 余剰再エネ貯蔵に向けた高効率水電解デバイスの実運用に向けた技術実証	余剰再エネ貯蔵の中核技術と位置付ける水電解システムの課題抽出			再エネ電位変動への耐久性を有し、3ケタレベルの低コスト化を実現する、数ナノ径触媒の開発と高活性水電解セルの実証			「再エネ蓄エネ」の社会実装を実現するための高活性水電解デバイスで電解効率80%超を実証		
		実運用を想定した各種技術課題の解決に向けた開発と実証								
定置用電源(en③)										
en③ 革新的高効率発電システム	**九州大学** コンセプト提案に必要な最先端評価解析手法を提供し、東京ガスと共同でシステムの開発、普及、展開を実施 **東京ガス** コンセプト提案に必要な検討を九大と共同で実施し，社会実装に必要な技術開発を推進，および社会への普及を推進	定置用システムの普及に求められるライフタイム効率55%実現に向けた設計システムコンセプト開発			発電効率55%のセル・システムの実証	同社会実装開始		革新的高効率セル・デバイスの実証 60%超セル　60%超デバイス		
		システム実現に向けた性能低下要因や運転時の課題の抽出			革新的高効率セルの開発と一次試作	実装への設計最適化		分散型高効率デバイスとしての活用を考えたエネルギーシステムの検討		
		EN③-bエネルギーシステムのコストエンジニアリング						2018年からEN①-dへ		
移動体用電源(en④)										
en④ 水素モビリティ・再エネ電気モビリティ	**九州大学** 水素モビリティ向け次世代システムの開発，試作，実証を推進し，ゼロエミッションモビリティを具現化 **日産自動車** 再エネ電気ﾓﾋﾞﾘﾃｨに必要な部材・システムの構造・セル理論設計を九大と共同で具現化し，発電蓄電デバイスとしてのモビリティ活用を考えた社会システムの検討を実施	次世代システムの開発に向けた材料・システム設計と課題の抽出			水素モビリティ向けの起動停止6万回・負荷変動40万回対応の高耐久性新規デバイスの開発			ゼロエミッションモビリティの具現化・社会実装開始		
		システム開発に必要な高度分析・観察手法確立			安定、軽量、高出力の再エネ電気モビリティの設計指針構築と、金属支持型の独自セル構造試作			1W/cm2超の高出力発電の実証		
		モビリティ向け部材・システムの構造・セル概念を設計し試作						発電・蓄電デバイスとしての活用を考えた社会システムの検討		

あんしん・あんぜんで活力ある持続的地域の創成

持続的共進化地域創成拠点ロードマップ



COIプログラム　終了報告書　別紙2　活動実績一覧

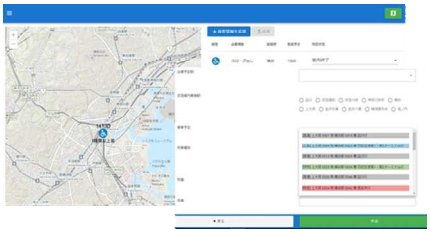
拠点名 V3 『持続的共進化地域創成拠点』（中核：九州大学）

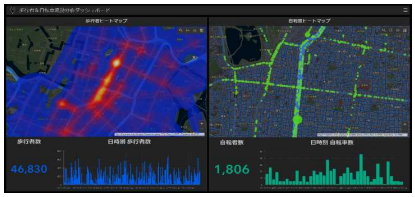
項目				H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	フェーズ1（H25-H27）	フェーズ2（H28-H30）	フェーズ3（R1-R3）	計（H25-R3）	単位
① プロトタイプ				0	1	4	4	7	9	0	3	4	5	20	7	32	件
② 実用化				0	0	1	0	0	0	1	7	4	1	0	12	13	件
③ 事業化（製品・サービス等の提供）				0	0	0	3	1	1	0	5	5	0	5	10	15	件
④ 起業（ベンチャー企業等の設立）				0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	2	件
⑤ 知的財産権の状況	登録	拠点全体	国内	0	0	0	0	2	3	7	12	6	0	5	25	30	件
			外国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	件
		うちﾊﾞｲﾄﾞｰﾙ適用	国内	0	0	0	0	2	3	7	10	6	0	5	23	28	件
			外国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	件
⑥ 成果の発信	プレス発表（イベント告知は除く）			0	1	0	1	4	13	3	10	7	1	18	20	39	件
	成果発信イベントの開催			1	1	3	1	7	6	10	9	1	5	14	20	39	件
	展示会への出展		国内	0	0	0	0	0	2	3	0	2	0	2	5	7	件
			外国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	件
⑦ 掲載・放映	雑誌掲載（WEB含む）			直接入力	直接入力	8	11	2	14	15	19	11	8	27	45	80	件
	新聞掲載（WEB含む）			直接入力	直接入力	24	12	3	11	13	18	6	24	26	37	87	件
	テレビ放映			直接入力	直接入力	5	3	0	4	0	5	2	5	7	7	19	件
⑪ 論文	原著論文（発行済み）			27	51	57	76	46	28	34	31	16	135	150	81	366	件
	その他著作物（総説、書籍など）			0	0	1	0	1	2	1	7	1	1	3	9	13	件
⑫ 発表	口頭発表			28	48	49	98	55	54	47	37	27	125	207	111	443	件
	ポスター発表			16	40	27	29	35	23	19	10	4	83	87	33	203	件
	招待講演			2	50	39	16	21	22	18	20	20	91	59	58	208	件
	その他			0	0	9	0	4	3	0	1	5	9	7	6	22	件
⑬ 受賞				0	4	0	12	5	4	3	5	2	4	21	10	35	件

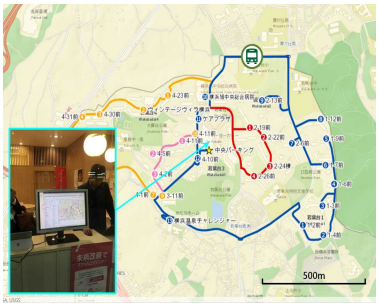
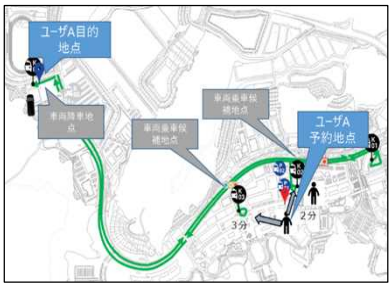
COIプログラム　終了報告書　別紙2　活動実績一覧

拠点名：V3『持続的共進化地域創成拠点』（中核：九州大学）

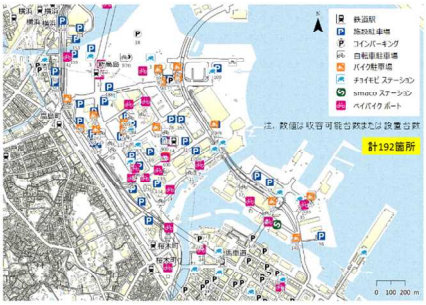
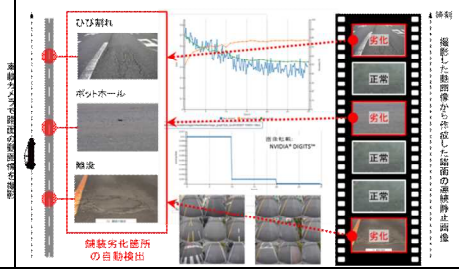
①　プロトタイプ

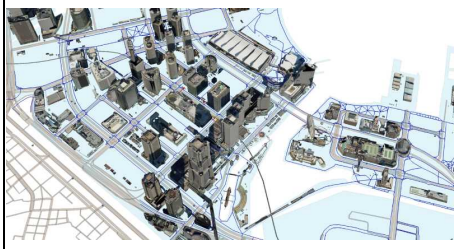
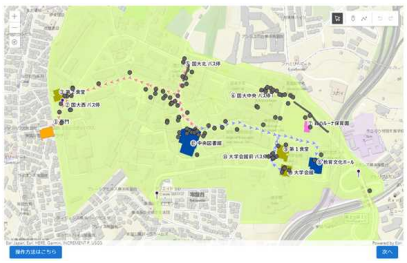
No	成果名称	発表等時期	担当機関（企業・大学等）	概要	備考（課題番号等）	年度
1	うちエコ診断事業	2016/3	東京大学	省エネ家電製品の普及・拡大のために環境省の事業であるうちエコ診断と連携し、診断の専門家を指定した期日・時間帯に家電量販店に派遣することにより、省エネ家電製品の普及拡大を図ると共にCO_2排出量の削減効果を検証した。	en①	H27
2	Jクレジット事業	2016/1	東京大学	本COI事業で進めてきたファイナンス制度である「電気代そのまま払い」により、普及促進した省エネ家電製品について、経済産業省、環境省、農水省、林野庁が管轄するJクレジット事業に登録し、本事業で普及した省エネ家電製品によるCO_2削減量を定量化すると共に、この削減量を金銭価値をもつJクレジットとして登録した。	en①	H27
3	UMアプリ（鉄道事業者用）	未定	横浜国立大学 京急電鉄株式会社	車イスなど移動に制約がある旅客者の特性情報（移動制約の内容、必要な支援の内容、使用機器の仕様など）やリアルタイム位置情報（駅等の屋内空間も含む）を、駅職員が一元管理・共有できるシステムを開発し、介助業務を効率化するシステムを開発。入力項目の改善、入力画面の統一に加え、直近のダイヤ表示、列番の自動入力、また接近情報の通知(アラーム機能)など、業務負担を削減する機能を搭載し、旅客だけでなく、事業者にも有益なモビリティシステムを実現する。 	mo②	R3
4	どうもり（藤沢市）	未定	横浜国立大学 藤沢市	舗装劣化等のインシデント情報を収集・蓄積・可視化できるモバイル道路点検支援アプリを、藤沢市道路維持課に導入。データ蓄積と可視化により、業務効率化を図るとともに、これまでの業務に準えた出力ならびに共有形態を維持することで、導入のハードルを下げることができる。 	mo③	R2
5	京急バス混雑可視化アプリ	2021/6/1	横浜国立大学 京急電鉄株式会社	車イスなど移動に制約がある旅客者の特性情報（移動制約の内容、必要な支援の内容、使用機器の仕様など）やリアルタイム位置情報（駅等の屋内空間も含む）を、駅職員が一元管理・共有できるシステムを開発し、介助業務を効率化するシステムを開発。入力項目の改善、入力画面の統一に加え、直近のダイヤ表示、列番の自動入力、また接近情報の通知(アラーム機能)など、業務負担を削減する機能を搭載し、旅客だけでなく、事業者にも有益なモビリティシステムを実現する。 	mo②	R3

6	相鉄バス混雑可視化アプリ	2020.10.26	横浜国立大学 相鉄バス株式会社	横浜国立大学関係者が多く利用する相鉄バスの特定路線を対象に、Wi-Fiセンサーによって計測されたデータをもとにバス車内の混雑度を割り出し、バスの現在位置情報とあわせて地図上にリアルタイム表示。バス車内の混雑情報を事前に知ることで、新型コロナウイルスなど感染症への対応や、ベビーカーや車いすでの移動時などにおいて、人々が適切に混雑を避け、より安心・安全なバス利用を促進。 	mo② https://www.ynu.ac.jp/hus/koho/24723/detail.html	R2
7	みちまちセンシングシステム	2021.1.26	横浜国立大学 LocaliST 株式会社 横須賀市 Mobileye Vision Technologies Ltd. 丸紅株式会社 ESRI ジャパン株式会社	路面状況等の道路資産に関するデータと、歩行者や自転車の位置・量に関するデータを、車載センサによって連続的に収集・蓄積し、得られるデータと他の既存データを重ね合わせ、道路の通行安全性を多角的に評価することを目的に、車載型エッジAIを活用した沿道状況センシングシステムを開発。横須賀市内の延べ約100kmの道路区間を対象に、ごみ収集車などの公用車等に搭載。 	mo③ https://www.ynu.ac.jp/hus/koho/25848/detail.html	R2
8	モビテクチャー	2018/6/18	横浜国立大学	バス停に併設する移動型ハブ空間として「モビテクチャー」を作成し横浜国立大学キャンパス内で試験的な運用を開始した。  	mo①	H30
9	郊外住宅地における市民関与型乗合移送サービス実証実験	2018/7/4	横浜国立大学	京急富岡駅の西側地区において、地域住民関与による協働・共有型モビリティシステムのプロトタイプとして、小型電動カートを用いた乗合型移送サービスの実証実験を、京浜急行電鉄株式会社との協働で実施。 	mo① http://www.ynu.ac.jp/hus/koho/20499/detail.html	H30

10	小型電動カートの利用を支えるマルチモーダル情報提供アプリの開発	2018/7/14	横浜国立大学	協働・共有型モビリティ（電動カート）の運行情報を、買物巡回バスや路線バスの運行情報と統合し、地域特化型のマルチモーダルな情報提供システムを構築。 	mo②	H30
11	大規模集客イベントの運営補助ツールとしての群衆密度可視化技術	2018/7/13	横浜国立大学	7月26日（木）に開催される新横浜花火大会2018において、映像解析技術や無線LAN 技術を活用した周辺エリアの混雑状況を可視化。 	mo② http://www.ynu.ac.jp/hus/koho/20598/detail.html	H30
12	大規模団地巡回バスのリアルタイム運行情報提供	2018/11/7	横浜国立大学	横浜市旭区の大規模団地である横浜若葉台で、地域を走るコミュニティーバス「わかば号」の位置情報を住民がスマートフォンなどで可視化。 	mo② http://www.ynu.ac.jp/hus/koho/21074/detail.html	H30
13	九州大学伊都キャンパス・無人タクシー配車支援システム		横浜国立大学	日産自動車株式会社の無人タクシー配車システムの最重要課題である、サービス利用者と自動運転車の最適なマッチングを実現するため、キャンパス移動支援アプリの基盤技術を応用した端末歩行コスト評価システムのプロトタイプを構築し、日産側のシステムとの接続試験に着手。 	mo②	H30

14	地域特化型コミュニティ支援アプリの開発と試験運用		横浜国立大学	汎用地図にない詳細建物位置および詳細歩行経路の探索機能、地域内構内巡回バスのリアルタイム位置情報、事業所職員向けのシンプルな情報発信機能（全体情報、スポット情報）を、GISを活用したアプリで提供。 	mo②	H30
15	スマートバス停留所をベースとしたバス交通アプリケーションの開発		横浜国立大学	これまでの研究開発ならびに実証実験で検証した技術を、公共交通システムへ適用し、利便性向上や効率化などに寄与する可能性を検証。スマートバス停留所を基軸としたバス交通システムの将来像について考察し、併せてデジタルサイネージの利活用イメージを検討。 	mo②	H30
16	臨時バス輸送高度化システムの開発	2018/11/21	横浜国立大学	臨時バス運行効率化で使用するバスの位置情報把握のシステムを活用し、MARK IS 福岡ももち~地下鉄唐人町駅間で運行を行っている無料シャトルバスのリアルタイム位置情報をお客様案内等に活用。 	mo②	H30
17	次世代型 交通情報提供アプリの開発	2017/11/17	横浜国立大学	「国内初の一元的な路線バス運行情報表示機能」と「汎用のWeb地図ではカバーしていない道を含む、歩行経路案内機能」を備えた、交通情報提供アプリ(添付資料参照)	mo① http://www.ynu.ac.jp/hus/koho/19150/detail.html	H29
18	超音波ビーコンによる屋内ナビゲーションシステムの開発	2018/2/1（屋内測位システム稼働）	横浜国立大学、西日本鉄道株式会社株式会社デンソー	屋内での移動支援を目的とした、超音波ビーコンによる測位システムおよびアプリの開発 	mo①	H29
19	臨時バス輸送高度化システムの開発	2018/3/30（プレスリリース予定）	横浜国立大学、西日本鉄道株式会社	全ての臨時バス車両のリアルタイムな運行状況をタブレット端末の地図上に可視化し、担当者の経験や技量に依存しない、安定的な臨時バスの運行管理と、輸送のさらなる効率化を実現(添付資料参照)	mo①	H29

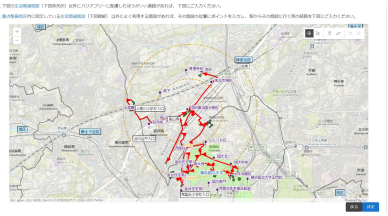
20	バス停併設型「ハブ空間」の開発と設置	2018/3/23	横浜国立大学	横浜国立大学内キャンパス内のバス停「国大北」脇において、交通・人・モノ・情報の結節点となる「ハブ空間」のプロトタイプを設置 	mo②	H29
21	EV-LFC連携型ハイブリッド・モビリティシステムの開発	2018/1/25（実証実験開始）	横浜国立大学	EVによるカーシェアリングおよび自主運行型シャトル輸送と、電力系統の負荷周波数制御を連携させた複合システムのプロトタイプを構築し、横浜国大構内でその運用実験を実施。	mo③ http://coi-tms.ynu.ac.jp/ynu_carshare2018/carshare_html/carshare_index.html	H29
22	道路維持管理支援システムの開発	2017/10/16（道路点検アプリ試用開始）	横浜国立大学	道路の維持管理情報をスマートに収集するための「道路点検支援アプリ」と、収集された情報を空間データ化し、蓄積、可視化するための「道路維持管理情報基盤」を開発(添付資料参照)	mo③	H29
23	横浜サイトにおける交通対応型ICTプラットフォーム		横浜国立大学	GISを活用して都市のネットワークモデルを構築し、ヒトの移動をより詳細に再現するための3Dネットワークモデルのプロトタイプを製作した。また、ユーザー向けアプリケーションに展開するための対象地域内建物、設備、各種施設の実測調査とGISデータ化。 	mo②	H28
24	移動支援アプリのデータ基盤となる交通空間モデルの構築		横浜国立大学	施設の位置情報と、収容可能台数や営業時間、利用料金などの施設属性情報を、机上及び実地調査によって収集し、空間データとして整理し、空間データ化した交通空間モデルを構築。 	mo②	H27
25	機械学習による路面損傷・劣化箇所検出システム		横浜国立大学	路の損傷や劣化の位置、種類を正確に特定するための技術ではなく、劣化や損傷の疑いがある箇所のスクリーニング技術の開発を目的とし、厳密な検出精度の追求よりも、ローコストでの導入および運用の可能性を重視し、画像による道路損傷の有無の判別システムを構築 	mo③	H27

26	GISを活用した都市のネットワークモデルの構築		横浜国立大学	GISを活用して都市のネットワークモデルを構築し、ヒトの移動をより詳細に再現 	mo③	H26
27	社会実装版P-Senの試作	2017/3/1		伊都キャンパスで人流計測に関する実証実験に活用しているPetit Sensor Boxの社会実装版の試作を行った。LRFによる人流計測機能に注力し、全体のコストを抑え、小型化することに成功した。今後は、市街地やアミューズメントパークにおける屋外の人流計測実験に活用し、P-Senの社会実装に向けてハードウェア・ソフトウェアおよび社会制度の面で課題解決を実施する。	CS②③	H28
28	バス位置情報および乗客数カウントシステムの試作	2017/3/1		バスの位置情報と乗客数をリアルタイムに計測するために、その基盤となる3G通信機能を搭載した小型PCとセンサおよび車載可能なバッテリ設備をもつシステム一式の開発を行った。本システムを学内バスに導入することで、キャンパス移動支援アプリケーションの開発を推進することができる。今後は、キャンパスにおける実証実験を通じて、社会実装に向けた課題抽出を行う。	CS③	H28
29	センサ管理・データ蓄積に関するソフトウェア（Circle Core）の開発	2017/3/1		都市OSプラットフォームの一部であるセンサデータ利活用基盤を構成する「センサ管理・データ蓄積に関するソフトウェア」（Circle Core）の開発を行った。Circle Coreによって、任意のセンサの管理やデータ収集、データ公開を迅速かつ容易にし、多様なセンサデータの利活用環境を構築することができる。今後は、Circle Coreをオープンソースとして公開し、センサデータの相互利用環境を推進していく。	CS②③	H28
30	電力調達支援プログラム	2018/3/31	九州大学	電力市場での調達を支援し、調達コストの期待値を最小化する。	産業数学部会 mi①	H29
31	水素などでの蓄エネを想定したエネルギー融通のシミュレータ	未定	九州大学	太陽光由来の再エネ回収量上限の結果を用いて、再エネ変動等を考慮したシミュレータにより、太陽光発電由来の再エネ回収ポテンシャルを詳細に可視化	en②	R3
32	道路バリアフリー調査システム	未定	横浜国立大学 横浜市	昨年度、横浜市保土ケ谷区羽沢地区で実施した、インターネットを活用したバリアフリー情報募集にて、ArcGISの機能を利用して、本学内のバリアフリー情報とインシデント情報を収集できるアプリを実装。本学学生がアプリにて収集した情報を、横浜市道路局と共有。 		R3

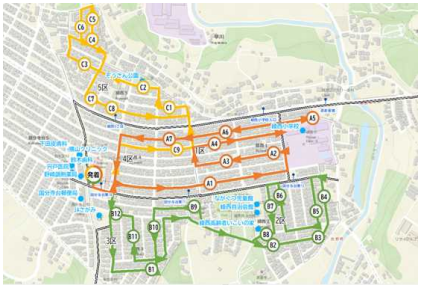
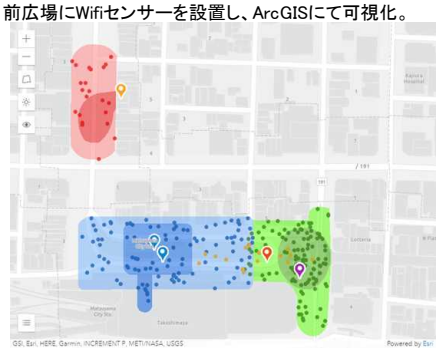
COIプログラム　終了報告書　別紙2　活動実績一覧

拠点名：V3『持続的共進化地域創成拠点』（中核：九州大学）

②　実用化

No	成果名称	発表等時期	担当企業等	概要	備考 （課題番号等）	年度
1	スマホアプリ開発	2016/3	東京大学	「電気代そのまま払い」シミュレーター及び環境家計簿を搭載した家計簿アプリ「家計簿eco+」を制作・リリース	en①	H27
2	高効率SOFC－μGTﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞｼｽﾃﾑ	2019年3月より東京都の丸ビルで商用運転中	九大・東京ガス・（三菱パワー）	それまで実現できていなかった業務用のSOFC（固体酸化物形燃料電池）の商品化が可能になった。真のエネルギー地産地消に向けて、九大伊都キャンパスにてシステムの実証運転を行い、社会実装性を評価し、課題抽出とそれを基にした改良や規制緩和への働きかけを行うことで実現できた。実証運転で発電された電力は九大に供給され、九州電力から供給される電力に対し、真夏の電力逼迫緩和にも貢献した。	en③	R1
3	とみおかーと	2021.1.10	京急	高齢化の進む大都市郊外丘陵住宅地における居住者の外出促進を目的に、既存公共交通を補完する、小型電動車を用いた少量乗合輸送サービスを展開。路線定期運行（ルート上自由乗降、予約不要）ならびにﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｴﾘｱ運行（乗車 15 分前までに予約）を展開し、2021年1月より、道路運送法 21 条許可に基づく緑ナンバーを付けての有償運行を実施。 	mo①	R2
4	Universal MaaS UMアプリ（移動者用）	2020.11.24	横浜国立大学 全日本空輸株式会社 京急電鉄株式会社 横須賀市	「自分に合った移動体験をつくる」をテーマに、「安心・安全・確実」「サポート手配」をキーワードに据えて、Universal MaaSの移動者用アプリとして新たに開発した「ユニバーサルお出かけアプリ」を改善、屋内外ナビゲーション機能や自分に合った旅程の作成・保存・サポート手配機能を本格実装した。 	mo② https://www.ynu.ac.jp/hus/koho/24846/detail.html	R2
5	横浜市バリアフリー調査アプリ	未定	横浜国立大学 横浜市	横浜市道路局が、これまで紙によるアンケート方式で実施していた「バリアフリーに関する情報募集」を、GISを活用したwebアプリ方式に転換、実装した。市民がよく利用する施設や、最寄駅からその施設に行くまでの経路で、バリアフリーの観点で問題があると思われる点を、所有のスマートフォンやPCなどから回答できるようにし、回答データを一元的に可視化・共有することも可能。 	mo③	R2

6	とみおかーと車両の市民参加型デザイン	2020.10.11	横浜国立大学	市民参加型ワークショップを開催し、「とみおかーと」で用いられる車両のデザインを行った。 	mo①	R2
7	電力需要量予測ソフトウェア	2020/8/19	株式会社チームAIBOD	過去の電力需要量と予測日の最高気温（もしくは平均気温）を入力することにより、予測日の電力需要量を予測するソフトウェアであり、以下の特徴を有する。 ①予測精度が比較的高く、従来の機械学習より勝っていることが多い ②回帰モデルに基づいているため、計算が高速 ③気温が電力需要にどれだけ影響しているかを解釈できる ④汎用性があり、たとえばCOVID-19の影響を取り込むことも可能 ⑤予測区間を求めることができる	mi①	R2
8	混雑度可視化システム	2020/11/19	NTTドコモ	店舗内の混雑状況に応じて、買い物の際に進呈するdポイントの進呈率を即座に変動させる「ダイナミックプライシング」システムである。最適な進呈率は、センサーからデータを収集し混雑を可視化する九州大学の技術と、店舗周辺の混雑状況が把握できるドコモ独自の「モバイル空間統計® 」を組み合わせて予測する。混雑予想アルゴリズムに基づき、店舗が混雑している、もしくは今後混雑が予測される場合に3 密回避行動を促すメッセージをアプリで配信。テイクアウトの利用や来店時間を変更した人にはボーナスポイントが進呈される。 共同研究で得られた成果を踏まえて、混雑予測とダイナミックプライシングのアルゴリズムの高度化を図り、2021 年度中にドコモから商用サービスとして提供予定である。 また開発･運用に関して、九州大学の学生参加型産学連携プラットフォームである「iQ Lab」の学生が、システムやアプリの開発・運用から実証実験の運営、モニターサポートまで幅広く参加し、次のライフスタイルを提案。ポストミレニアム世代の感性が次代を担うサービスを産み出すという点でも注目される。	ict①	R2
9	移動困難者支援システム	2021/6/25	日立製作所 昭和自動車	AI画像解析技術を用いてカメラで取得した画像から移動困難者を検知し、交通事業者に自動で通知するアプリケーションの開発である。移動困難者が鉄道やバスを利用する際の受付から乗車／降車サポート実績管理といった案内業務をトータルで支援する。 日立製作所のフィジカルセキュリティ統合プラットフォームを活用した映像解析機能を用いて、カメラ映像から計測される情報を九大COIが研究開発する仕組みと連携する。 公共空間におけるカメラ映像を利活用した人流分析実証実験は、2020年3月に「福岡市実証実験フルサポート事業」として採択されている。 さらに2021年6月より、日立製作所、昭和自動車と連携し、九大学研都市駅前ロータリー等において取得した画像から、移動困難者（車イス、白杖、ベビーカー利用者等）を検知した際に自動的に通知を行い、担当者がスムーズに支援を行えるか有用性の検証を開始した。	ict①	R3
10	賑わい計測システム	2020/11/1	NEC	NEC ソリューションイノベータ株式会社の画像による人物像分析システム「Field Analyst」を活用して公共空間に設置したカメラ画像から自動でデータを収集。「属性付き人流データ」を生成し、さらに気象データやイベント情報等を加えることで様々な要素が売上げに与える影響を分析し、賑わい指標を重ねて可視化した。 2020年11月1日～2022年3月31日、福岡市の川端通商店街で、カメラ映像を利活用した人流分析実証実験「ICT を活用したまちの賑わいの創出」を実施した。これにより商店街における属性付き人流データの活用による「賑わい分析 BI ツール」の社会実装を目指す。今後、プライバシーに配慮しながら、さまざまな都市サービスとの連携を進める。 マイナンバーカードを活用した見守りや、賑わいの創出にかかる市民サービスなどさまざま実証を行う環境が整備され、訪問者の追跡を可能とするトレーサブル空間の構築につながることが期待される。	mi① ict②	R2

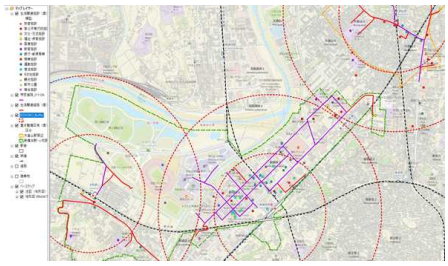
11	協働共有型モビリティの他地域展開「綾西くるりん」	2021/10/17	LocaliST株式会社	横浜市富岡地区で実証実験を重ねた「とみおかーと」の他地域展開として、神奈川県綾瀬市内にて、同様の協働共有型モビリティの実証実験を、10/17より開始。カート2台を配置し、エリア内の3ルートを定期的に運行。モバイル端末にて、カートのリアルタイム運行状況、座席の満空状況を、webアプリにて配信。現地でも、大型モニターにてwebアプリを配信。 	mo①	R3
12	松山市駅前広場整備事業における混雑度可視化	2021/11/20	LocaliST株式会社 NEC	松山市駅前広場を整備し、公共交通の乗り継ぎの改善、にぎわいの空間の創出、中心市街地の活性化を目的として、影響や効果を調べるため、11月8日（月）～21日（日）の14日間のうち、週末2日間混雑度をWifiセンシングにて検証。NECとの協働で、駅前広場にWifiセンサーを設置し、ArcGISにて可視化。 	mo①	R3
13	混雑センサ「itocon-Go」	2022/1/31	九州大学 福岡市	九州大学大学院システム情報科学研究院ヒューマノフィリックシステム研究室（荒川豊教授）と共同で、新型コロナウィルス対策の一環として、伊都キャンパスに通う学生・教職員向けにバス停や食堂の混雑度を可視化するシステム「itocon（いとこん）」を開発し、2020年6月より1年半以上にわたり継続的なサービス提供を行っている。なお「itocon」は九大の公式サービスとして運用されている。 この発展形として、福岡市東区役所の窓口の混雑情報を市民に対してわかりやすく、かつ、リアルタイムに情報提示したいという自治体の課題を受け、本学で継続的に運用されているitoconの技術を使って、市役所の窓口混雑度の測定・可視化の実証実験を開始した。「itocon-Go」は、従来のセンサの同等の性能を有しつつ、小型化、省電力化に成功している（図4.1.3.2-6）。また設置するだけ簡単に混雑度を表示する仕組みを構築しており、将来、サービスの事業化に向けた準備も整っている。	ict②	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名： V3 『持続的共進化地域創成拠点』（中核：九州大学）

③ 事業化（製品・サービス等の提供）

No	製品・サービス等の名称	発売等時期	担当企業等	概要	備考（課題番号等）	年度
1	省エネ家電リース	2017/4/1	静岡ガス（株）	従来の家電リースに加えて、冷蔵庫等のうち省エネモデルのものを対象とした長期'10年等)のリースを開始した。	en①	H29
2	電気代そのまま払い	2017/3	北海道下川町	下川町内で、「電気代そのまま払い」の仕組みにより、冷蔵庫などの省エネ家電製品の普及を行うと共に、本事業によるCO2削減量を検証した。	en①	H28
3	電気代そのまま払い	2017/3	静岡ガス	静岡県長泉町内で、「電気代そのまま払い」の仕組みにより、冷蔵庫などの省エネ家電製品の普及を行うと共に、本事業によるCO2削減量を検証した。	en①	H28
4	電気代そのまま払い	2017/3	水源亭	熊本県水俣市にあるレストラン水源亭において、「電気代そのまま払い」の仕組みにより、業務用冷蔵庫を最新の省エネ型冷蔵庫にリプレースすると共に、本事業によるCO2削減量を検証した。	en①	H28
5	Wi-Fiセンシング混雑度可視化システム	2021.3.1	LocaliST株式会社	屋内に設置された端末にて、周辺に存在するスマートフォンなどの情報端末から発信されるシグナルを検知することで、屋内の滞在人数を推計し、混雑度として可視化、一昨年度からの実証実験を経て、札幌市内の公共施設内にて、混雑度情報を提供。 	mo②	R2
6	「ヨコスカ × スマートモビリティ・チャレンジ」支援業務	2020.12.22	LocaliST株式会社	横須賀市と連携し，市民の皆様の移動実態調査，ならびに関連する学術研究のための調査を，アンケート方式により実施。2020年度は、横須賀市逸見地区にて、4000世帯程度を対象。	mo①	R2
7	集合住宅団地の価値向上に関する居住者アンケート調査データの分析業務（UR, D-work）	2020.5.27	LocaliST株式会社	横浜市磯子区の大規模集合住宅団地で2013, 2016, 2019 年の3か年にわたって取得された居住者アンケート調査のデータを用いて、居住者のクラスタリング、まちや暮らしの評価に関する因子分析、居住満足の要因分析などを受託業務として実施。	mo①	R2
8	ESRIジャパン株式会社 アドバイザリー業務	2021.1.5	LocaliST株式会社	COI参画機関であるESRIジャパン株式会社とアドバイザリー契約を締結。これまでのCOIでの活動を基に、都市交通分野における空間データ及びGISの活用に関する検討を行い、交通分野におけるGIS活用事例の拡大とサービス展開に関する業務を開始。	mo①、mo②、mo③	R2
9	ローカルエリア徒歩経路探索サービス	2018/5/29	ESRIジャパン株式会社	「ArcGIS REST API」をベースとしたサービス。• REST API のエンドポイントのURLに対し、クエリを送信（GET または POST）することで、ルート探索の解析結果が得られる。	mo②	H30
10	バスロケ端末（cdq-busloc02）	2020/7/17	株式会社コードキュー	搭載するWiFiセンサおよびCO2センサにて車内環境を収集し、指定の管理サーバに送信する機能をもつ。大型かkら普通車の電源入力に対応可能。昭和自動車のノンステップバスに導入済み。	ict①	R2
11	交通防災統合情報アプリ「はこぼうマップ」	2021/9/1	横浜国立大学 箱根町 LocaliST株式会社	箱根町にて、町内を運行する2社のバス路線を同時に可視化。併せて、火山ガス濃度など防災情報も重ねることで、有事への対応・意識向上を兼ねる統合サイトとして運用。バス運行情報に加えて、火山ガス濃度、避難所情報(最寄り施設検索含む)、町の災害情報を一括して配信。 	mo②	R3

12	横浜市バリアフリー調査システム	2022/2/1	LocaliST株式会社	昨年度、横浜市保土ケ谷区羽沢地区で実施した、インターネットを活用したバリアフリー情報募集事業にて開発した、道路情報を直感的に描画できるwebアプリを、市内他区に展開。 港北区と緑区にて、実装予定。磯子区など、他区での展開も目指す。 	mo③	R3
13	小量乗合輸送システム「とみおかーと」	2021/11/1	横浜国立大学 京急電鉄株式会社	市民参加型のリデザイン手法で改造したゴルフカートタイプ車両による、自由乗降方式の有償乗合運送（R2 当時全国初）。R4 年度からの事業化を見据えて運行の効率化を優先し、ワゴンタイプの車両で路線定期運行に特化  路線定期運行　オンデマンド運行 ● R2年度：2021年 01/10 ~ 2021年 02/28（48日間） ● R3年度：2021年 11/01 ~ 2022年 01/31（75日間） ◆ 道路運送法 21 条に基づく一般乗合旅客運送事業 ◆ 運行方式：路線定期（ルート上自由乗降、予約不要） ◆ 運賃：200 円/乗車（子ども：100円/乗車） ◆ ドライバー：京急タクシー乗務員	mo①	R3
14	混雑度および換気度計測可能なバスプローブ	2021/10/13	株式会社コードキュー	搭載するWiFiセンサおよびCO2センサにて車内環境を収集し、指定の管理サーバに送信する機能をもつ。大型かkら普通車の電源入力に対応可能。昭和自動車のノンステップバスに導入済み。 	ict①	R3
15	回遊促進アプリケーション「Smart Compass」	2021/3(予定)	株式会社YEAAH	利用者の現在地および持ち時間等を考慮したツアーコンテンツを動的に提案する機構の開発が完了し、アプリケーションの提供を開始する。下図に示すようにマップの中心に散策開始地点（起点）を置いて、目的地までの「所要時間(利用者の持ち時間)」と想定する「歩行速度」を入力し、検索タイプを設定して、「検索実行」をクリックすると、目的地候補リストの検索結果が表示される。選択された目的地は地図上で確認することができる。 	ict②	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名：V3 『持続的共進化地域創成拠点』（中核：九州大学）

④ 起業（ベンチャー企業等の設立）

No	法人名称	設立時期	シーズ	概要	備考（課題番号等）	年度
1	LocaliST株式会社	2018/5/10	横浜国立大学・有吉特任准教授、西岡産学連携研究員	・交通とまちづくりに関するコンサルタント業務 ・地理情報システムを活用したアプリケーション開発に関する業務 ・人々の活動および移動データの収録と分析	mo①、mo②、mo③	H30
2	株式会社チームAIBOD	2016/4/1	九州大学村上教授の成果	「AI」および「Big & Open Data」に関するエキスパート集団	CS①③	H28

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名: V3『持続的共進化地域創成拠点』(中核:九州大学)

⑤-2 知的財産権(登録) A特許｜Bその他の知的財産権

A 特許

No	知財の名称	登録年月	出願番号	登録番号	ﾊﾞｲ･ﾄﾞｰﾙ適用	出願人	国内/外国	備考	年度
1	燃料電池用電極及びその製造方法、並びに膜電極接合体及び固体高分子形燃料電池	2018/06/01	特願2015-525286	特許第6345663号	○	九州大学	国内	B-1-③ 指定国移行	H30
2	アニオン交換膜及びその製造方法	2019/02/08	特願2017-549096	特許第6375862号	○	九州大学	国内	B-1-③ 指定国移行	H30
3	燃料電池システム	2019/03/01	特願2014-235055	特許第6488112号	○	九州大学、東京瓦斯	国内	B-1-②	H30
4	燃料電池システム	2019/05/31	特願2014-235054	特許第6532668号	○	九州大学、東京瓦斯	国内	B-1-②	R1
5	ハロゲン化カーボン及びその製造方法	2019/07/12	特願2017-549544	特許第6552633号	○	九州大学	国内	B-1-③ 指定国移行	R1
6	燃料電池システム	2019/07/19	特願2014-235053	特許第6556440号	○	九州大学、東京瓦斯	国内	B-1-②	R1
7	燃料電池用電極材料およびその製造方法、並びに燃料電池用電極、膜電極接合体及び固体高分子形燃料電池	2019/10/11	特願2016-508702	特許第6598159号	○	九州大学	国内	B-1-③ 指定国移行	R1
8	固体酸化物形燃料電池	2019/10/18	特願2015-049895	特許第6603464号	○	九州大学、東京瓦斯	国内	B-1-②	R1
9	燃料電池用アノード電極材料およびその製造方法、並びに燃料電池用電極、膜電極接合体及び固体高分子形燃料電池	2019/12/06	特願2015-051189	特許第6624711号	○	九州大学	国内	B-1-③ 国優	R2
10	燃料電池及び電解質膜として用いられるナノセルロース膜	2020/06/23	特願2015-140285	特許第6721952号	○	九州大学	国内	B-1-③	R2
11	発電システム	2020/06/30	特願2016-179907	特許第6726068号	○	九州大学、東京瓦斯	国内	EN③	R2
12	水電解用電極材料及びその製造方法、並びに水電解用電極及び固体高分子形水電解セル	2020/10/16	特願2016-064542	特許第6779470号	○	九州大学	国内	B-1-③	R2
13	水素製造装置	2020/09/04	特願2016-179906	特許第6759026号	○	九州大学、東京瓦斯	国内	EN③	R2
14	電極構造体、及び電極触媒層／ガス拡散層一体シート、並びにこれらを含む膜電極接合体	2021/03/15	特願2017-51909	特許第6852883号	○	九州大学	国内	EN④	R2
15	電極材料用コアシェル担体及びその製造方法、並びに電極材料	2021/03/15	特願2017-061485	特許第6852886号	○	九州大学	国内	EN④ 国優	R2
16	電力預かり装置、電力預かりシステム、及び電力預かり方法	2021/02/26	特願2018-091587	特許第6843328号	○	九州大学	国内	en③	R2
17	固体酸化物形燃料電池用アノード及びその製造方法、並びに固体酸化物形燃料電池	2021/05/26	特願2016-190221	特許第6889900号	○	九州大学	国内	EN③	R3
18	電極材料の製造方法	2021/05/26	特願2017-51908	特許第6889903号	○	九州大学	国内	EN④	R3
19	電極触媒層／ガス拡散層一体型の電極構造体及びその製造方法、並びに膜電極接合体及び固体高分子形燃料電池	ー	特願2018-41649	特許査定	○	九州大学	国内	EN④	R3
20	メタン製造装置、メタン製造方法、二酸化炭素回収装置、および、二酸化炭素回収方法	2021/03/04	特願2019-133519	特許第6846721号		東京大学、東京瓦斯	国内	EN①	R2
21	触媒組成物、水素製造装置、および、水素製造方法	2021/03/04	特願2017-168599	特許第6846714号		東京大学、東京瓦斯	国内	EN①	R2
22	見守り装置及びこれを備えた見守りシステム並びに見守り方法	2017/08/04	特願2017-032968	特許第6185683号	○	九州大学	国内	CS④ 国優	H29
23	見守り装置及びこれを備えた見守りシステム並びに見守り方法	2018/01/19	特願2017-113791	特許第6277305号	○	九州大学	国内	CS④ 国優	H29
24	グラフ表示装置、グラフ表示プログラム及びグラフ表示プログラムが記憶されたコンピュータ読取可能な記憶媒体	2019/08/16	特願2015-141316	特許第6570905号	○	九州大学	国内	A-1-②	R1
25	画像表示システムおよび画像表示方法	2019/10/11	特願2015-099636	特許第6598191号	○	九州大学	国内	A-1-③	R1
26	電力需要量予測装置及び電力需要量予測方法	2021/03/24	特願2020-074743	特許第6857301号	○	九州大学	国内	mi① 国優	R2

27	電力需要量予測装置及び電力需要量予測方法	2021/11/04	特願2021-000936	特許第6970998号	○	九州大学	国内	mi① 分割	R3
28	発光素子、表示装置および電子機器	2020/04/15	特願2016-142967	特許第6691848号	○	九州大学、デンソー、保土谷化学工業	国内	C-1-① OPERAに移管済(H30)	R2
29	有機エレクトロルミネッセンス素子及び生体計測用装置	2021/05/28	特願2016-233234	特許第6890784号	○	九州大学、浜松ホトニクス	国内	C-1-① OPERAに移管済(H30)	R3
30	有機エレクトロルミネッセンス素子及び生体計測用装置	2021/04/16	特願2017-182853	特許第6869509号	○	九州大学、浜松ホトニクス	国内	C-1-① 国優 OPERAに移管済(H30)	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名：V3 『持続的共進化地域創成拠点』（中核：九州大学）

⑥-1 成果の発信（プレス発表） ※イベント告知は除く

No	発表年月日	発表タイトル	発表機関	主な研究者	URL	備考（課題番号等）	年度
1	2018/5/23	ビール廃液 高効率発電 九大とアサヒ 燃料電池の技術活用	日本経済新聞	九大 佐々木、大嶋 アサヒGH 川村		en③	H30
2	2018/5/28	ビール廃液で高効率発電 バイオガス活用に新技術 アサヒと九大	日本経済産業新聞	九大 佐々木、大嶋 アサヒGH 川村		en③	H30
3	2018/8/9	「燃料電池」作れたよ 化石燃料の問題点も理解 九大の水素エネ体験学習	糸島新聞	九大 西原、大島、藤田		en④	H30
4	2018/8/19	九州大学と協力したまちづくり 福岡・糸島市 知的資源の活用	公明新聞	九大 西原、大島、藤田		en④	H30
5	2018/8/23	サンセットライブに燃料電池MIRAIなど2台供給	糸島新聞	九大 藤田、西原		en④	H30
6	2018/8/19	【SUNSET LIVE2018】SUNSET LIVE会場に燃料電池自動車が登場します！	SUNSET STYLE WEBマガジン	九大 藤田、西原	https://sunsetstyle.jp/sunsetlive2018-hydrogen	en④	H30
7	2018/5/19	『一柳良雄が問う 日本の未来』列島喝破 福岡編。	BSジャパン	九大 佐々木	http://www.bs-j.co.jp/nippon_mirai/index.html	en①, ②, ③, ④	H30
8	2021/7/1	東京大学「エネルギー総合学連携研究機構」発足（2021年7月1日）（学内10部局が連携し文理融合による新たな学理「エネルギー総合学」を創成、この学理を実践して社会に貢献する人材の育成を目指す）	東京大学	松橋隆治（東京大学）	https://www.t.u-tokyo.ac.jp/foe/press/setnws_20210701113504612824325 5.html	en①	R3
9	2017/10/13	福岡県・春日市・国立大学法人九州大学がエネルギー面的利用の取組み及び温室効果ガス排出削減に係る包括協定を締結	九州大学	原田達朗（九州大学）	http://www.kyushu-u.ac.jp/f/31564/17_10_13.pdf	en①	H29
10	2014/11/19	科学技術振興機構（JST）・東京大学 大学院工学系研究科プレスリリース，「電気代そのまま払い」の実現に向けた枠組み作りを提案～くらしからの省エネを進める政策デザイン研究報告～	東京大学	松橋隆治（東京大学）	https://www.jst.go.jp/pr/announce/20141119/index.html	en①	H26
11	2021/9/1	交通防災情報統合webサイト「はこぼうマップ」の実証実験を開始	横浜国立大学、箱根町	有吉亮、西岡隆暢(横浜国立大学)	https://www.ynu.ac.jp/hus/koho/26796/detail.html	mo②	R3
12	2020/10/01	地域交通課題解決に向けた 乗合型移送サービスの実証実験	横浜国立大学、京浜急行電鉄株式会社、横浜市、日産自動車	有吉亮、西岡隆暢(横浜国立大学)	https://www.ynu.ac.jp/hus/koho/24579/detail.html	mo①	R2
13	2020/10/08	相鉄バスと横浜国立大学が連携協定を締結	横浜国立大学、相鉄バス	有吉亮、西岡隆暢(横浜国立大学)	https://www.ynu.ac.jp/hus/koho/24634/detail.html	mo②	R2
14	2020/10/10	横浜市金沢区で乗合型移送サービス『とみおかーと』の実証実験が開始	横浜国立大学	有吉亮、西岡隆暢(横浜国立大学)	https://www.ynu.ac.jp/hus/koho/24644/detail.html	mo①	R2
15	2020/10/26	車内混雑状況を可視化したバス運行情報アプリ「YNUダイナミックバスマップ」の試験公開 ～Wi-Fi センシングによるリアルタイムな混雑情報の提供～	日本電気株式会社、相鉄バス株式会社、横浜国立大学	有吉亮、西岡隆暢(横浜国立大学)	https://jpn.nec.com/press/202010/20201026_03.html	mo②	R2
16	2021/01/07	～新たに「ユニバーサルお出かけアプリ」を開発～	横浜国立大学	有吉亮、西岡隆暢(横浜国立大学)	http://www.chiiki.ynu.ac.jp/report/7b112e28ba9294e6cb6d8caa9f2d0d82ca1ff964.html	mo②	R2

17	2021/01/26	～車載型エッジ AI を活用し、道路や歩行者の状況を可視化～ 横国大・LocaliST・横須賀市・モービルアイ・丸紅・ESRI ジャパンが 沿道状況センシングシステムの共同開発に着手	横浜国立大学	有吉亮、西岡隆暢(横浜国立大学)	https://www.ynu.ac.jp/hus/koho/25848/34_25848_1_1_210126115350.pdf	mo③	R2
18	2019/6/27	ユニバーサルデザインに基づく総合的な移動サービス「Universal MaaS」	横浜国立大学、ANA 京急、横須賀市	有吉亮、西岡隆暢(横浜国立大学)	https://www.ynu.ac.jp/hus/koho/22435/detail.html	mo②	R1
19	2019/11/13	11月15日（金）から「グリーンスローモビリティ」等を活用した実証実験を開始します	横浜国立大学、京急、横浜市	有吉亮(横浜国立大学)	https://www.ynu.ac.jp/hus/koho/23093/detail.html	mo①	R1
20	2020/2/7	Universal MaaSの社会実装に向けた連携開始について	横浜国立大学、ANA 京急、横須賀市	有吉亮、西岡隆暢(横浜国立大学)	https://www.ynu.ac.jp/hus/koho/23531/detail.html	mo②	R1
21	2018/7/13	民間主体のまちづくり「エリアマネジメント」の共同研究を開始	横浜国立大学	有吉亮(横浜国立大学特任准教授) 西岡隆暢(横浜国立大学産学連携研究員)	http://www.ynu.ac.jp/hus/koho/20598/detail.html https://jpn.nec.com/press/201807/20180713_01.html	mo②	H30
22	2018/7/13	NECと横浜国立大学、民間主体のまちづくり「エリアマネジメント」に関する共同研究を開始 ～新横浜花火大会2018においてAIを活用した周辺エリアの混雑度の可視化を実証～	日本電気株式会社		https://jpn.nec.com/press/201807/20180713_01.html	mo②	H30
23	2018/10/17	10月29日（月）から「電動小型低速車」の実証実験を開始します! 【産学官連携】沿線の地域交通課題解決に向けた新しい交通システム	横浜国立大学	有吉亮(横浜国立大学特任准教授)	http://www.ynu.ac.jp/hus/koho/20989/detail.html	mo①	H30
24	2018/10/17	沿線の地域交通課題解決に向けた新しい交通システム 10月29日（月）から「電動小型低速車」の実証実験を開始します!	京浜急行電鉄株式会社		https://www.keikyu.co.jp/company/news/2018/20181017HP_18126KK.html	mo①	H30
25	2018/11/7	モビリティと連携したまちづくりの推進に係る協定を締結 横浜若葉台の『大規模団地再生』の実現に向けた取組に『横浜国立大学』が参画	横浜国立大学	有吉亮(横浜国立大学特任准教授) 西岡隆暢(横浜国立大学産学連携研究員)	http://www.ynu.ac.jp/hus/koho/21074/detail.html	mo②	H30
26	2018/3/30	臨時バス輸送高度化システムの開発	横浜国立大学	有吉亮(横浜国立大学特任准教授)、西岡隆暢(横浜国立大学産学連携研究員)	https://www.ripo.ynu.ac.jp/news_old/348.php	mo①	H29
27	2021/6/21	「みさきまぐろきっぷ」をデジタル化した観光型MaaS実証実験に合わせて、バス内の混雑状況を“可視化”する実証実験を実施	NEC	有吉亮、西岡隆暢(横浜国立大学)	https://jpn.nec.com/press/202106/20210621_01.html	mo②	R3
28	2016/9/30	大都市近郊の事業所における行動変容を検証 ！パーク24、横浜国立大学とカーシェアの実証実験を実施	パーク24株式会社	有吉亮(横浜国立大学特任准教授)、西岡隆暢(横浜国立大学産学連携研究員)	https://www.park24.co.jp/news/2016/09/20160930-1.html	mo②	H28
29	2017/11/17	次世代型 交通情報提供アプリの開発	横浜国立大学	有吉亮(横浜国立大学特任准教授)、西岡隆暢(横浜国立大学産学連携研究員)	http://www.ynu.ac.jp/hus/koho/19150/detail.html	mo②	H29
30	2017/10/5	総務省・「IoT/BD/AI 情報通信プラットフォーム」社会実装推進事業を受託	九州大学、日立製作所	高野　茂（九州大学） 伊藤拓哉（日立製作所）	https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/researches/view/180 http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2017/10/1005a.html	CS③	H29
31	2018/11/13	九州大学と日立と昭和バス、誰もが安心して快適に移動できる社会の実現に関する共同研究を開始	九州大学、日立製作所、昭和自動車	高野　茂（九州大学）	http://www.kyushu-u.ac.jp/f/34510/18_11_13.pdf	ict①	H30
32	2020/4/13	九州大学COI、福岡市実証実験フルサポート事業に採択	九州大学	荒川豊（九州大学）、高野茂（九州大学）	https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/notices/view/1609 https://coi.kyushu-u.ac.jp/topics/view/280	ict①②	R2
33	2020/6/12	新しい生活様式の実現に向け、時差通勤・通学を促すためバス停混雑度情報可視化システムの提供開始！	九州大学	荒川豊（九州大学）、高野茂（九州大学）	https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/notices/view/1641 https://coi.kyushu-u.ac.jp/topics/view/283	ict①	R2

34	2020/10/30	九州大学COI、福岡市実証実験フルサポート事業において商店街での実証開始	九州大学、福岡市	荒川豊（九州大学）、堀、磨伊也（九州大学）、鍛冶　静雄（九州大学）、高野茂（九州大学）、Mohamed Ahmed Abdelwahab Mohamed　（九州大学）	https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/notices/view/1770 https://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/kikaku/mirai/fullsupport_kyudai.html	ict②	R2
35	2020/11/19	店舗の混雑状況で、dポイントの進呈率を変動！店舗内の「密」を防ぐ共同研究開始	九州大学、NTTドコモ	荒川豊（九州大学）	https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/notices/view/1786 https://www.nttdocomo.co.jp/binary/pdf/info/news_release/topics_201119_00.pdf	ict②	R2
36	2021/11/2	今後の本格運行を目指し、とみおかーと実証実験（乗合型移送サービス）を実施	横浜国立大学、京急電鉄株式会社	有吉亮(横浜国立大学)	https://www.ynu.ac.jp/hus/koho/27063/detail.html	mo①	R3
37	2022/6/22	都市空間における見守りサービスの構築と実証実験のお知らせ	九州大学、福岡市	高野　茂	https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/notices/view/1940/	ict①	R3
38	2022/1/31	福岡市東区役所で『センサーを活用した混雑度状況の可視化』の実証実験を開始	九州大学、福岡市	荒川　豊、高野　茂	https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/notices/view/2125/	ict②	R3
39	2022/3/30	福岡市繁華街における「ICT等を活用した賑わい分析」の実証実験を開始	九州大学、NEC	荒川　豊（九州大学）、高取千佳（九州大学）、高野　茂（九州大学）	https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/notices/view/2178/	ict②	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名：V3 『持続的共進化地域創成拠点』（中核：九州大学）

⑥-2 成果の発信（成果発信イベントの開催）

No	開催年月日	名称	開催地	参加人数（人）	概要	備考（主催、共催等）	年度
1	2018/1/31	『共進化社会システム創成拠点シンポジウム～エネルギー脱炭素化施策が描く未来社会～』	福岡市	約100名	共進化社会システム創成拠点の3部会の一つであるエネルギー部会の取り組みを中心に紹介した	九州大学共進化社会システム創成拠点	H29
2	2017/12/21	東京大学EMSサテライトCOIワークショップ -再生可能エネルギー大量導入時の電力システムのイノベーション-	東京都	約100名	再生可能エネルギーが大量に導入された場合の電力系統運用について、特にインバランスの解消・調整，周波数制御，VPPの可能性と課題に焦点を当て、必要となる技術革新や制度設計の方向性について講演・議論を行い、最先端の知見を共有した	九州大学共進化社会システム創成拠点東京大学サテライト	H29
3	2019/12/3	東京大学COIサテライト ワークショップ	学士会館（東京都）	100	成果発表	主催：東京大学COIサテライト	R1
4	2020/12/22	東京大学COIサテライト ワークショップ	オンライン（Zoomウェビナー）	100	エネルギーシステムにおけるイノベーション －世界的な潮流である脱炭素化と電力、水素の展望	国立研究開発法人 科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター（JST/LCS）	R2
5	2018/12/20	東京大学COIサテライト ワークショップ	学士会館（東京都）	120	成果発表	主催：東京大学COIサテライト	H30
6	2016/9/26	COIワークショップ	学士会館（東京都）	100	パリ協定を踏まえた再生可能エネルギー大量導入と電力システムのイノベーション	主催 東京大学 COI(Center of Innovation)	H28
7	2016/3/9	COIワークショップ	学士会館（東京都）	100	燃料電池とその利用システムに関するイノベー	主催 東京大学 COI(Center of Innovation)	H27
8	2015/9/16	COIワークショップ	学士会館（東京都）	100	再生可能エネルギー大量導入時の電力系統の	主催 東京大学 COI(Center of Innovation)	H27
9	2015/3/18	COI ワークショップ	学士会館（東京都）	100	くらしからの省エネを進める政策デザイン研究	主催 東京大学 COI(Center of Innovation)	H26
10	2014/2/24	くらしからの省エネを進める政策デザイン研究国際ワークショップ ～英国グリーンディール政策を参考に～	学士会館（東京都）			独立行政法人科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター 東京大学 COI（Center of Innovation）	H25
11	2020.05.20	『withコロナ時代の交通戦略』	オンライン	80	シーズ・ニーズ探索	主催：横浜国立大学 持続可能なモビリティシステム研究拠点	R2
12	2020.06.23	『COI プログラムによる交通研究の次の展開: コロナ禍を見据えて』	オンライン	90	シーズ・ニーズ探索	主催：横浜国立大学 持続可能なモビリティシステム研究拠点	R2
13	2020.07.23	ウィズコロナの時代に改めて移動（外出）の意味を考える』	オンライン	160	シーズ・ニーズ探索	主催：横浜国立大学 持続可能なモビリティシステム研究拠点	R2
14	2020.08.24	『日本のMaaSの目指すべき方向性と課題』	オンライン	80	シーズ・ニーズ探索	主催：横浜国立大学 持続可能なモビリティシステム研究拠点	R2
15	2020.09.30	『COVID-19で人々の行動はどう変わった？』	オンライン	130	シーズ・ニーズ探索	主催：横浜国立大学 持続可能なモビリティシステム研究拠点	R2
16	2020.10.30	『中国から見たポストコロナ時代の交通と都市について』	オンライン	70	シーズ・ニーズ探索	主催：横浜国立大学 持続可能なモビリティシステム研究拠点	R2
17	2020.12.8	持続可能なモビリティシステム研究拠点シンポジウム2020 持続可能なモビリティシステムの提案と実践	オンライン	200	成果発表	主催：横浜国立大学 持続可能なモビリティシステム研究拠点	R2
18	2019/4/25	第2回COIセミナー	横浜市	90	シーズ・ニーズ探索	横浜国立大学	R1

19	2019/5/13	第3回COIセミナー	横浜市	100	シーズ・ニーズ探索	横浜国立大学	R1
20	2019/6/12	第4回COIセミナー	横浜市	100	シーズ・ニーズ探索	横浜国立大学	R1
21	2019/7/17	第5回COIセミナー	横浜市	110	シーズ・ニーズ探索	横浜国立大学	R1
22	2019/10/30	第6回COIセミナー	横浜市	90	シーズ・ニーズ探索	横浜国立大学	R1
23	2019/11/18	第7回COIセミナー	横浜市	90	シーズ・ニーズ探索	横浜国立大学	R1
24	2019/12/19	YNUCOIサテライトシンポジウム2019	横浜市	120	成果発表	横浜国立大学	R1
25	2020/1/17	第8回COIセミナー	横浜市	70	シーズ・ニーズ探索	横浜国立大学	R1
26	2018/12/12	横浜国立大学COIサテライト シンポジウム	横浜情報文化センター	140	持続可能な都市を支えるモビリティ	主催：横浜国立大学COIサテライト	H30
27	2018/10/19	第5回　創業・新事業進出フォーラム	藤沢市	200	マルチモーダル情報提供システムの開発	主催：公益財団法人湘南産業振興財団	H30
28	2019/1/30	COIセミナー「都市交通とMAAS」	YCC ヨコハマ創造都市センター	100	「自家用車への過度な依存の弊害からの脱却」「人間中心のまちづくりに資する都市交通」「MaaS（Mobility as a Service）」をメインテーマとして、登壇者からの事例紹介、パネルディスカッションを実施。	主催：横浜国立大学COIサテライト	H30
29	2017/12/13	H29年度横浜国立大学COIサテライトシンポジウム	横浜市情報文化センター	120	持続可能な未来都市を支える交通システムのイノベーション	主催：横浜国立大学COIサテライト	H29
30	2018/1/26	第58回サイエンスカフェ「みえる」「さわれる」オープンデータでまちの課題を解決しよう」	横浜新都市ビル（そごう横浜店）9階センタープラザ	31	GIS（地理情報システム）で様々なオープンデータを可視化し、自由に組み合わせる体験を一般参加者と共有。	主催: 横浜国立大学	H29
31		スマートでマルチモーダルなモビリティがつくる新しい都市空間	横浜市	60	成果発表	主催: 横浜国立大学	H27
32	2017/8/26	アイデアソン＆ハッカソン2017～交通安全支援アプリケーションの開発に向けて～	福岡市	25	ワークショップ（アイデアソン）	主催：九州大学共進化社会システム創成拠点，名古屋大学未来社会創造機構 共催：九州先端科学技術研究所，ビッグデータ＆オープンデータ・イニシアティブ in 九州（BODIK），UDC2017実行委員会	H29
33	2017/11/11	アイデアソン＆ハッカソン2017～交通安全支援アプリケーションの開発に向けて～	福岡市	10	ワークショップ（ハッカソン）	主催：九州大学共進化社会システム創成拠点，名古屋大学未来社会創造機構 共催：九州先端科学技術研究所，ビッグデータ＆オープンデータ・イニシアティブ in 九州（BODIK），UDC2017実行委員会	H29
34	2017/12/2～12/3	アイデアソン＆ハッカソン2017～交通安全支援アプリケーションの開発に向けて～	福岡市	20	ワークショップ（ハッカソン）	主催：九州大学共進化社会システム創成拠点，名古屋大学未来社会創造機構 共催：九州先端科学技術研究所，ビッグデータ＆オープンデータ・イニシアティブ in 九州（BODIK），UDC2017実行委員会	H29
35	2018/5/8-10	第16回 アジア太平洋地域ITSフォーラム2018福岡	福岡市	3500人（主催者発表）	リアルタイム運行状況可視化システムのプロトタイプの実証	主催：アジア太平洋地域ITSフォーラム2018福岡実行委員会	H30

36	2019/2/1	持続的共進化地域創成拠点シンポジウム	九州大学伊都キャンパス	100	成果発表	主催：持続的共進化地域創成拠点	H30
37	2019/11/1	九州大学COI持続的共進化地域創成拠点シンポジウム	日本科学未来館	100	成果発表	主催：九州大学COI持続的共進化地域創成拠点	R1
38	2021/3/3	九州大学COI持続的共進化地域創成拠点シンポジウム	オンライン	100	成果発表	主催：九州大学COI持続的共進化地域創成拠点	R2
39	2022/2/25	横浜国立大学持続可能なモビリティシステム研究拠点シンポジウム	横浜市	100	未来へとつなぐみんなのモビリティ	共催：横浜国立大学COIサテライト	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名:V3 『持続的共進化地域創成拠点』(中核:九州大学)

⑥-3 成果の発信(展示会への出展)

No	開催年月日	名称	開催地	国内/外国	概要	備考	年度
1	2019.2.27-3.1	第15回 [国際] 水素・燃料電池展	東京ビッグサイト	国内		en②,③,④	H30
2	2020/2/5-2/7	地方創生EXPO	海浜幕張	国内	エネルギーシステムの脱炭素化施策の設計と実装およびコストエンジニアリング	en① 松橋研究室から吉岡特任研究員が参加	R1
3	2020/2/25-2/28	FC-EXPO	東京ビッグサイト	国内	九州大学の水素エネルギーシステムの紹介	en②、③、④	R1
4	2020/2/5-7	地方創生EXPO	海浜幕張	国内	COIゾーンへの成果展示	LocaliST株式会社共同出展	R1
5	2019/2/27-3/1	地方創生EXPO	海浜幕張	国内	協働・共有型モビリティ(小型電動カート)、ICTを活用した集客イベントの人流マネジメント等 テーマ③:地域コミュニティのためのバス車両のリデザイン		H30
6	2021/8/23-9/17	イノベーション・ジャパン2021～大学見本市	オンライン	国内	当拠点の研究開発内容の紹介、拠点紹介ビデオ		R3
7	2021/10/19-10/22	CEATEC 2021 ONLINE	オンライン	国内	地方版IoT推進ラボ(福岡市IoT推進ラボ)内の展示ブースにおいて、コードキュー株式会社と共同でマルチセンシング機能付きバスロケーションシステムの取り組みを紹介	ict①	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名：V3『持続的共進化地域創成拠点』（中核：九州大学）

⑪-1 原著論文（発行済み）

No	論文表題	著者名	記載誌名	論文のDOI	発行年月	巻	号	掲載ページ（始）	掲載ページ（終）	査読有無	国際共著	発表機関（参画機関のみ）	備考（課題番号等）	年度
1	"Investigation of Fe-Cr-Al Alloy for Metal Supported SOFC" 2017 78(1) pp. 2069-2075 (2017)	Hung-Cuong Pham, Shunsuke Taniguchi et.al.,	ECS Transactions	doi:10.1149/07801.2069ecst	2017	78	1	2069	2075	有		九州大学	EN④	H29
2	A highly efficient and durable carbon nanotube-based anode electrocatalyst for water electrolyzers	Tsuyohiko Fujigaya,Yilei Shi, Jun Yang, Hua Li, Kohei Ito and Naotoshi Nakashima	Journal of Materials Chemistry A	10.1039/c7ta01318c	2017	5		10584	10590	有		九州大学	EN②	H29
3	"Alternative Ni-Impregnated Mixed Ionic-Electronic Conducting Anode for SOFC Operation at High Fuel Utilization"	Shotaro FUTAMURA, Yuya TACHIKAWA, Junko MATSUDA, Stephen M. LYTH, Yusuke SHIRATORI, Shunsuke TANIGUCHI, Kazunari	J. Electrochem. Soc.	10.1149/2.0071710jes	2017	164	10	F3055	F3063	有		九州大学	EN③	H29
4	"Effect of Exchange Current Density on Current Distribution at Planar-Type SOFC Anodes"	Keisuke TAKINO, Yuya TACHIKAWA, Yusuke SHIRATORI, Shunsuke TANIGUCHI, Kazunari SASAKI,	ECS Transactions	10.1149/07801.1523ecst	2017	78	1	1523	1531	有		九州大学	EN③	H29
5	"Fuel Composition in Pressurized SOFCs"	Aki MURAMOTO, Yudai KIKUCHI, Yusuke SHIRATORI, Shunsuke TANIGUCHI, Kazunari SASAKI,	ECS Transactions	10.1149/07801.2497ecst	2017	78	1	2497	2504	有		九州大学	EN③	H29
6	"Alternative SOFC Anode Materials with Ion- and Electron-Conducting Backbones for Higher Fuel Utilization"	Shotaro FUTAMURA, Yuya TACHIKAWA, Junko MATSUDA, Stephen M. LYTH, Yusuke SHIRATORI, Shunsuke TANIGUCHI, Kazunari	ECS Transactions	10.1149/07801.1179ecst	2017	78	1	1179	1187	有		九州大学	EN③	H29
7	"Degradation of SOFCs by Various Impurities: Impedance Spectroscopy and Microstructural Analysis"	Yudai KIKUCHI, Junko MATSUDA, Yuya TACHIKAWA, Shunsuke TANIGUCHI, Yusuke SHIRATORI, Kazunari SASAKI,	ECS Transactions	10.1149/07801.1253ecst	2017	78	1	1253	1260	有		九州大学	EN③	H29
8	"Photochemical Preparation of Pt Electrocatalysts on SnO2 Support for PEFCs"	Masaru NAGAMINE, Zhiyun NODA, Shohei MATSUMOTO, Junko MATSUDA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI,	ECS Transactions	10.1149/08008.0773ecst	2017	80	8	773	780	有		九州大学	EN④	H29
9	"Ti-Porous-Sheet-Supported Pt Electrocatalysts for PEFCs"	Daiki KAWACHINO, Zhiyun NODA, Junko MATSUDA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI,	ECS Transactions	10.1149/08008.0781ecst	2017	80	8	781	787	有		九州大学	EN④	H29
10	"SnO2-Supported Electrocatalysts on Various Conductive Fillers for PEFCs"	Yoshiki NAKAZATO, Daiki KAWACHINO, Zhiyun NODA, Junko MATSUDA, Akari HAYASHI, Kazunari	ECS Transactions	10.1149/08008.0897ecst	2017	80	8	897	906	有		九州大学	EN④	H29
11	"Development of PEFC Alloy Electrocatalysts Supported on SnO2"	Shohei MATSUMOTO, Masaru NAGAMINE, Zhiyun NODA, Junko MATSUDA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI,	ECS Transactions	10.1149/08008.0907ecst	2017	80	8	907	918	有		九州大学	EN④	H29
12	"High-pressure C-H-O Diagrams: Fuel Composition, Carbon Deposition, and Open Circuit Voltage of Pressurized SOFCs",	Aki MURAMOTO, Yudai KIKUCHI, Yuya TACHIKAWA, Stephen M. LYTH, Yusuke SHIRATORI, Shunsuke TANIGUCHI, Kazunari SASAKI,	Int. J. Hydrogen Energy	10.1016/j.ijhydene.2017.10.122	2017	42	52	30769	30786	有		九州大学	EN③	H29
13	"Correlating Cathode Microstructure with PEFC Performance using FIB-SEM and TEM",	Makito OKUMURA, Zhiyun NODA, Junko MATSUDA, Yuya TACHIKAWA, Masamichi NISHIHARA, Stephen M. LYTH, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI,	J. Electrochem. Soc.,	10.1149/2.0581709jes	2017	164	9	F928	F934	有		九州大学	EN④	H29

14	"Durability of LSCF-Coated Fe-Cr-Al Alloy for SOFC Applications"	Hung-Cuong Pham, Shunsuke Taniguchi et.al.,	J. Electrochem. Soc.	doi:10.1149/2.0791803jes	2018	165	3	F181	F188	有		九州大学、JXTGエネルギー㈱	EN④	H29
15	A fully spray-coated fuel cell membrane electrode assembly using Aquivion ionomer with a graphene oxide/cerium oxide interlayer	Matthias Breitwieser, Thomas Bayer, Andreas Bü chler, Roland Zengerle, Stephen M. Lyth, Simon Thiele,	Journal of Membrane Science	10.1016/j.jpowsour.2017.03.085	2017	351		145	150	有		九州大学, University of Freiburg, University of Sheffield,	EN④	H29
16	Spray-painted graphene oxide membrane fuel cells	T. Bayer, R. Selyanchyn, S. Fujikawa, K. Sasaki, S. M. Lyth.	Journal of Membrane Science	10.1016/j.memsci.2017.07.012	2017	541		347	357	有		九州大学	EN④	H29
17	"Development of polymer-polymer type charge-transfer blend membranes for fuel cell application"	S. Feng, S. Kondo, T. Kaseyama, T. Nakazawa, T. Kikuchi, R. Selyanchyn, S. Fujikawa, L. Christiani, K. Sasaki, M. Nishihara,	J. Membrane Science	doi.org/10.1016/j.memsci.2017.11.025	2018	548		223	231	有		九州大学, 日産化学工業	EN④	H29
18	"Characterization of polymer-polymer type charge-transfer (CT) blend membranes for fuel cell application"	S. Feng, S. Kondo, T. Kaseyama, T. Nakazawa, T. Kikuchi, R. Selyanchyn, S. Fujikawa, L. Christiani, K. Sasaki, M. Nishihara,	Data in Brief	doi.org/10.1016/j.dib.2018.02.031	2018	18		22	29	有		九州大学, 日産化学工業	EN④	H29
19	"Aliphatic SPI Charge-transfer Complex Hybrid Films for High Temperature Polymer Electrolyte Membrane Fuel Cells"	L. Christiani, K. Sasaki, M. Nishihara,	J. Appl. Polym. Sci.,	10.1002/APP.46087	2018	13	14	46087		有		九州大学	EN④	H29
20	"Carbon-free all-in-one electrode using porous Ti sheet for PEFCs"	Daiki KAWACHINO, Masahiro YASUTAKE, Hirotoshi ODOI, Zhiyun NODA, Junko MATSUDA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI,	ECS Transactions	10.1149/08613.0541ecst	2018	86	13	541	547	有		九州大学		H30
21	"FIB-SEM 3-Dimensional Nanostructure Observation of PEFC Electrocatalyst Layers"	Hiromichi MANABE, Yoshiki NAKAZATO, Makito OKUMURA, Junko MATSUDA, Zhiyun NODA, Akari HAYASHI, Kazunari	ECS Transactions	10.1149/08613.0069ecst	2018	86	13	69	75	有		九州大学	en④	H30
22	"Oxide-core Pt-shell Electrocatalysts for PEFCs: Photochemical Preparation Using SnO2 Nanoparticles"	Masaru NAGAMINE, Zhiyun NODA, Hiromichi MANABE, Junko MATSUDA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI,	ECS Transactions	10.1149/08613.0531ecst	2018	86	13	531	540	有		九州大学	en④	H30
23	"Pt-decorated oxide/MPL/GDL-supported PEFCs"	Hirotoshi ODOI, Zhiyiun NODA, Junko MATSUDA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI,	ECS Transactions	10.1149/08613.0461ecst	2018	86	13	461	468	有		九州大学	en④	H30
24	"Metal-Oxide-Supported Ir-decorated Electrocatalysts for Polymer Electrolyte Membrane Water Electrolysis"	Msahiro YASUTAKE, Hiroki ANAI, Daiki KAWACHINO, Zhiyun NODA, Junko MATSUDA, Kohei ITO, Akari HAYASHI, Kazunari	ECS Transactions	10.1149/08613.0673ecst	2018	86	13	673	682	有		九州大学	en②	H30
25	"PEFC Electrocatalysts Supported on Nb-SnO2 for MEAs with High Activity and Durability: Part I. Application of Different Carbon Fillers"	Yoshiki NAKAZATO, Daiki KAWACHINO, Zhiyun NODA, Junko MATSUDA, Stephen M. LYTH, Akari HAYASHI, Kazunari	J. Electrochem. Soc	10.1149/2.0311814jes	2018	165	14	F1154	F1163	有		九州大学	en④	H30
26	"PEFC Electrocatalysts Supported on Nb-SnO2 for MEAs with High Activity and Durability: Part II. Application of Bimetallic Pt-Alloy Catalysts"	Shohei MATSUMOTO, Masaru NAGAMINE, Zhiyun NODA, Junko MATSUDA, Stephen M. LYTH, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI,	10.1149/2.0321814jes	10.1149/2.0321814jes				F1164	F1175	有		九州大学	en④	H30
27	"The Interplay and Impact of Strain and Defect Association on the Conductivity of Rare-earth Substituted Ceria"	George F. HARRINGTON, Lixin SUN, Bilge YILDIZ, Kazunari SASAKI, Nicola H. PERRY, Harry L. TULLER,	Acta Materialia	10.1016/j.actamat.2018.12.058	2019	166		447	458	有	有	九州大学	en③	H30
28	"Preparation of hydrophobic electrocatalyst layer and inorganic porous electrolyte layer for water absorbing porous electrolyte electrolysis cell"	Y. Terayama, S. Furukawa, M. Nomura, T. Haji, M. Nishihara, O. Mendoza, Y. Sone, H. Matsumoto	Int. J. Hydrogen Energy	10.1016/j.ijhydene.2018.04.137	2018	43		11903	11912	有		九州大学	en②	H30

29	Durability of template-free Fe-N-C foams for electrochemical oxygen reduction in alkaline solution,	A. Mufundirwa, G. F. Harrington, B. Smid, B. V. Cunning, K. Sasaki, S. M. Lyth	Journal of Power Sources	doi.org/10.1016/j.jpowsour.2017.07.025	2018	375	31	244	254	有		九州大学	en④	H30
30	Ting CHEN, George F. HARRINGTON, Juveria MASOOD, Kazunari SASAKI, and Nicola H. PERRY, "Emergence of Rapid Oxygen Surface Exchange Kinetics during in Situ Crystallization of Mixed Conducting Thin Film Oxides" ACS Appl. Mater. Interfaces, 11 (9), pp 9102-9116, 2019		10.1021/acsami.8b21285	10.1021/acsami.8b21285								九州大学	en③	H30
31	Modified Energy Efficiencies of Proton-conducting SOFCs with Partial Conductions of Oxide-ions and Holes	Y. Matsuzaki, Y. Tachikawa, H. Iinuma, K. Sato, Y. Baba, J. Otomo, H. Matsumoto, S. Taniguchi, K. Sasaki	Fuel Cells		2019/8	19	4	503	511	有	有	東京ガス、九大、東大	en③	R1
32	二層電解質（BaCe0.7Zr0.1Y0.1Yb0.1O3-δ /BaZr0.8Yb0.2O3-δ）構造を有する共焼結支持膜式プロトン伝導SOFC の開発	佐藤 洸基、飯沼 広基、馬場 好孝、松崎 良雄、立川 雄也、松本 広重、谷口 俊輔、佐々木一成	燃料電池情報センター機関紙「燃料電池」		2020/2	19	3	16	21	有		東京ガス、九大	en③	R1
33	Proposal of ultra-high-efficiency zero-emission power generation systems	Yasuharu Kawabata, Tatsuya Nakajima, Kazuo Nakamura, Toru Hata, Yuya Tachikawa, Shunsuke Taniguchi, Yoshio Matsuzaki,	J. Power Sources		2020/2	448		227459		有		東京ガス、九大	en③	R1
34	Leakage Current and Chemical Potential Profile in Proton-Conducting Bi-Layered Solid Oxide Electrolyte with BZY and Hole-Blocking Layers	Y. Matsuzaki, Y. Tachikaw, Y. Baba, K. Sato, H. Iinuma, G. Kojo, H. Matsuo, J. Otomo, H. Matsumoto, S. Taniguchi, and K. Sasaki	ECS Trans.		2019/9	91	1	1009	1018	有		東京ガス、九大、東大	en③	R1
35	Simulation of SOFC performance using a modified exchange current density for pre-reformed methane-based fuels	Takino, K., Tachikawa, Y., Mori, K., Lyth, S. M., Shiratori, Y., Taniguchi, S. & Sasaki, K.	International Journal of Hydrogen Energy	10.1016/j.ijhydene.2019.12.089		45	11	6912	6925	有		九州大学	en③	R1
36	Alternative Ni-alloy cermet anode materials for SOFCs	Ishibashi, Y., Futamura, S., Tachikawa, Y., Matsuda, J., Shiratori, Y., Taniguchi, S. & Sasaki, K.	ECS Trans.	10.1149/09101.1889ecst		91	1	1889	1896	有		九州大学	en③	R1
37	SOFC anodes impregnated with noble metal catalyst nanoparticles for high fuel utilization	S. Futamura, A. Muramoto, Y. Tachikawa, J. Matsuda, S. M. Lyth, Y. Shiratori, S. Taniguchi, K. Sasaki	ECS Trans.	10.1149/09101.1905ecst		91	1	1905	1913	有		九州大学	en③	R1
38	Semi-conductive α-Al2O3/Sr3Al2O6 Oxide Layer formed on Fe-Cr-Al Alloy	H.-C PHAM他	ECS Transactions	doi:10.1149/09101.2299ecst	2019/9	91	1	2299	2305	有	有	九州大学	en④	R1
39	The effect of oxygen on the tribology of (PEI/GO)15 multilayer solid lubricant coatings on steel substrates	Saravanan P., Selyanchyn R., Tanaka H., Fujikawa S., Lyth S.M., Sugimura J.	Wear	10.1016/j.wear.2019.05.035	2019/6	432		102920		有		Kyushu University	en④	R1
40	Gram-scale synthesis of alkoxide-derived nitrogen-doped carbon foam as a support for Fe-NC electrocatalysts	Albert Mufundirwa, George F Harrington, Mohammed S Ismail, Bŕetislav Šmid, Benjamin V Cunning, Yu Shundo, Mohamed Pourkashanian, Kazunari Sasaki, Akari Hayashi, Stephen M Lyth	Nanotechnology	10.1088/1361-6528/ab76ed	2020/2				86	有	有	Kyushu University, Charles University, MIT, University of Sheffield, UNIST	en④	R1
41	Oxidation-induced degradation and performance fluctuation of solid oxide fuel cell Ni anodes under simulated high fuel utilization conditions	Tatsuya Kawasaki, Junko Matsuda, Yuya Tachikawa, Stephen Matthew Lyth, Yusuke Shiratori, Shunsuke Taniguchi,	International Journal of Hydrogen Energy	10.1016/j.ijhydene.2019.02.136	2019/4	44	18	9386	9399	有		Kyushu University	en③	R1
42	Thickness-dependent microstructural properties of heteroepitaxial (00.1) CuFeO2 thin films on (00.1) sapphire by pulsed laser deposition	Sijun Luo, Aline Fluri, Song Zhang, Xue Liu, Max Döbeli, George F. Harrington, Rong Tu, Daniele Pergolesi, Tasumi Ishihara, and Thomas Lippert	Journal of Applied Physics	DOI: 10.1063/1.5140451		127		65301		有		Kyushu University	en③	R1

43	Tailoring Nonstoichiometry and Mixed Ionic Electronic Conductivity in Pr0.1Ce0.9O2−δ/SrTiO3 Heterostructures	George F. Harrington, Dmitri Kalaev, Bilge Yildiz, Kazunari Sasaki, Nicola H. Perry, and Harry L. Tuller	ACS Applied Materials and Interfaces	DOI: 10.1021/acsami.9b08864		11	38	34841	34853	有	有	Kyushu University, MIT, U Illinois	en③	R1
44	Modifying Grain Boundary Ionic/Electronic Transport in Nano-Sr- and Mg- Doped LaGaO3-δ by Sintering Variations	Ting Chen, George F. Harrington, Junko Matsuda, Kazunari Sasaki, David Pham, Erica Corral, and Nicola H Perry	Journal of The Electrochemical Society	DOI: 10.1149/2.0151910jes		166	10	F569,	F580	有	有	Kyushu University, U Illinois	en③	R1
45	Overpotentials and reaction mechanism in electrochemical hydrogen pumps	Yang Ming Hao, Hironori Nakajima, Akiko Inada, Kazunari Sasaki, Kohei Ito	Electrochimica Acta		2019	301		274	283	有	有	Kyushu University	en②	R1
46	Development of a Heat-Treated PolymerPolymer Type Charge-Transfer Blend Membrane for Application in Polymer Electrolyte Fuel Cells	S. Feng, S. Kondo, T. Kikuchi, L. Christiani, B. Hwang, K. Sasaki, M. Nishihara	ACS Applied Energy Materials	DOI: 10.1021/acsaem.9b01697	2019	2		8715	8723	有		Kyushu University, Nissan Chemical	en④	R1
47	Development of Porous Pt Electrocatalysts for Oxygen Reduction and Evolution Reactions	Marika Muto, Mayumi Nagayama, Kazunari Sasaki, Akari Hayash	Molecules	10.3390/molecules25102398	2020/5	25	10	2398	2408	有		九州大学	en②	R2
48	Semiconductive α-Al2O3/Sr3Al2O6 Oxide Layer Formed on Fe-Cr-Al Alloy	Pham Hung Cuong他	J. Electrochem. Soc.	10.1149/1945-7111/ababd8	2020/8	167		124505		有		九州大学	en④	R2
49	Catalyst-Integrated Gas Diffusion Electrodes for Polymer Electrolyte Membrane Water Electrolysis: Porous Titanium Sheets with Nanostructured TiO2Surfaces Decorated with Ir Electrocatalysts	Yasutake他	J. Electrochem. Soc.	10.1149/1945-7111/abb37d	2020/9	167		124523		有		九州大学	en②	R2
50	Improved Redox Cycling Durability in Alternative Ni Alloy-Based SOFC Anodes	Ishibashi他	J. Electrochem. Soc.	10.1149/1945-7111/abac87	2020/8	167		124517		有		九州大学	en③	R2
51	Surface-Modified Titanium Fibers as Durable Carbon-Free Platinum Catalyst Supports for Polymer Electrolyte Fuel Cells	Kawachino 他	J. Electrochem. Soc.	10.1149/1945-7111/ab9cd4	2020/06	167		104513		有		九州大学	en④	R2
52	Strain-modified ionic conductivity in rare-earth substituted ceria: Effects of migration direction, barriers, and defect-interactions	George F. Harrington, Sunho Kim, Kazunari Sasaki, Harry L. Tuller, Steffen Grieshammer	J. Materials Chemistry A	10.1039/D0TA12150A	2021/03					有	有	九州大学, MIT, RWTH Aachen, Forschungszentrum Jülich	en③	R2
53	Towards understanding of oxygen electrode processes during solid oxide electrolysis operation to improve simultaneous fuel and oxygen generation	Vanja Subotić, Shotaro Futamura. George F. Harrington, Junko Matsuda, Katsuya Natsukoshi, Kazunari Sasaki	J. Power Sources	10.1016/j.jpowsour.2021.229600	2021/02	492		229600		有	有	九州大学, Graz University of Technology	en③	R2
54	Acidity of surface-infiltrated binary oxides as a sensitive descriptor of oxygen exchange kinetics in mixed conducting oxides	Clement Nicollet, Cigdem Toparli, George F. Harrington, Thomas Defferriere, Bilge Yildiz & Harry L. Tuller	Nature Catalysis	10.1038/s41929-020-00520-x	2020/10	3		913	920	有	有	九州大学, MIT	en③	R2
55	Anisotropic Strain in Rare-Earth Substituted Ceria Thin Films Probed by Polarized Raman Spectroscopy and First-Principles Calculations	Eva Sediva, Dmytro Bohdanov, George F. Harrington, Iegor Rafalovskyi, Jan Drahokoupil, Fedir Borodavka, Pavel Marton, and Jiri Hlinka	ACS Appl. Mater. Interfaces	10.1021/acsami.0c14249	2020/12	12	50	56251	56259	有	有	九州大学, Institute of Physics of the Czech Academy of Sciences	en③	R2
56	Heteroepitaxial (111) ZnGa2O4 Thin Films Grown on (00.1) Sapphire by Pulsed Laser Deposition	Sijun Luo, George F. Harrington, Kuan-Ting Wu, Thomas Lippert	Phys. Status Solidi RRL	10.1002/pssr.202000270	2020/06	14		2000270		有	有	九州大学, Paul Scherrer Institut (PSI), ETH Zurich	en③	R2
57	Redox-Stable SOFC Anode Materials based on La-doped SrTO3 Oxide with Impregnated Catalysts,	X. Shen, K. Sasaki,	Proc. 12th European SOFC & SOE Forum		2016	11		154	164	有		九州大学	EN③	H28
58	SnO2-Supported Electrocatalysts on Conductive Fillers for PEFCs	Y. Nakazato, M. Iwami, M. Okumura, Z. Noda, A. Hayashi, K. Sasaki,	ECS Transactions	doi: 10.1149/07514.0841ecst	2016.	75	14	841	849	有		九州大学	EN④	H28
59	PEFC Alloy Electrocatalysts Supported on SnO2: A Study on the Preparation Method	S. Matsumoto, M. Iwami, Z. Noda, J. Matsuda, A. Hayashi, K. Sasaki	ECS Transactions	doi: 10.1149/07514.0851ecst	2016	75	14	851	858	有		九州大学	EN④	H28
60	Preparation of Iridium/SnO2/VGCF Electrocatalysts for Water Electrolysis	H. Anai, J. Matsuda, Z. Noda, Y. Tachikawa, A. Hayashi, K. Ito, K. Sasaki,	ECS Transactions	doi: 10.1149/07514.1129ecst	2016	75	14	1129	1135	有		九州大学	EN②	H28
61	Thermodynamics for the Formation of Double-stranded DNA-Single-walled Carbon Nanotube Hybrids, VIP paper--	T. Shiraki, A. Tsuzuki, F. Toshimitsu, N. Nakashima	Chem. Eur. J	doi: 10.1002/chem.201504533	2016.	22		4774	4779	有		九州大学	EN④	H28

62	A Highly-durable CO-torelant Poly(vinylphosphoric acid)-coated Electrocatalysy Supported on a Nanoporous Carbon	Z. Yang, I. Moriguchi, N. Nakashima	ACS Appl. Mater. Interfaces	doi: 10.1021/acsami.5b06826	2016	8		9030	9036	有		九州大学	EN④	H28
63	Growth and Deposition of Au Nanoclusters on Polymer-wrapped Graphene and Their Oxygen Reduction Activity	T. Fujigaya, C-R. Kim, Y. Hamasaki, N. Nakashima	Sci. Rep	doi: 10.1038/srep21314	2016	6		21314		有		九州大学	EN④	H28
64	Improved Durability of Electrocatalyst Based on Coating of Carbon Black with Polybenzimidazole and their Application in Polymer Electrolyte Fuel Cells	T. Fujigaya, S. Hirata, M. R. Berber, N. Nakashima	ACS Appl.Mater. Interfaces	doi: 10.1021/acsami.6b01316	2016	8		14494	14502	有		九州大学	EN④	H28
65	Specific Molecular Interaction and Recognition at Single-walled Carbon Nanotube Surfaces	N. Nakashima, T. Shiraki	Langmuir	10.1021/acs.langmuir.6b02023	2016	32		12323	12331	有		九州大学	EN④	H28
66	Electrocatalyst composed of Platinum Nanoparticles Deposited on Doubly Polymer-coated Carbon Nanotubes shows a High CO-tolerance in Methanol Oxidation Reaction	Z. Yang, A. Nagashima, T. Fujigaya, N. Nakashima,	Int. J. Hydrogen Energy,	doi:10.1016/j.ijhydene.2016.08.198	2016	41		19182	19190	有		九州大学	EN④	H28
67	Alkaline Anion Exchange Membranes based on KOH-treated Multilayer Graphene Oxide	T. Bayer, B. V. Cunning, R. Selyanchyn, T. Daio, M. Nishihara, S. Fujikawa, K. Sasaki, S. M. Lyth,	J. Membr. Sci.,	doi:10.1016/j.memsci.2016.02.017	2016	508		51	61	有		九州大学	EN④	H28
68	High Temperature Proton Conduction in Nanocellulose Membranes: Paper Fuel Cells	T. Bayer, B. V. Cunning, R. Selyanchyn, M. Nishihara, S. Fujikawa, K. Sasaki, S. M. Lyth,	Chemistry of Materials	doi:10.1021/acs.chemmater.6b01990	2016	28	13	4805	4814	有		九州大学	EN④	H28
69	Atomic-resolution Analysis of Degradation Phenomena in SOFCS: A Case Study of SO2 Poisoning in LSM Cathodes, Int.	T. Daio, P. Mitra, S. M. Lyth, K. Sasaki,	J. Hydrogen Energy	doi:10.1016/j.ijhydene.2016.05.216	2016	41	28	12214	12221	有		九州大学	EN④	H28
70	Symbolic Analysis of Multi-Stage Electrochemical Oxidation for Enhancement of Electric Efficiency of SOFCs	Y. Matsuzaki, T. Tachikawa, H. Hatae, H. Matsumoto, S. Taniguchi, and K. Sasaki,	Ceramic Transaction	doi:10.1002/9781119234531.ch4	2016	255		41	46	有		九州大学,東京ガス(株)	EN③	H28
71	Conceptual Design for Critically-High Power Generation Efficiency by using Multi-stage Solid Oxide Fuel Cells (SOFCs) or Proton-onducting Ceramic Fuel Cells (PCFCs)	Y. Matsuzaki, T. Tachikawa, H. Hatae, H. Matsumoto, S. Taniguchi, K. Sasaki,	Science Proceedings	doi: 10.14800/sp.1272	2016	3		e1272		有		九州大学,東京ガス(株)	EN③	H28
72	Characterization of Yttrium-doped Ceria with Various Yttrium Concentrations as Cathode Interlayers of SOFCs	T. Somekawa, Y. Matsuzaki, Y. Tachikawa, T.Taniguchi, K. Sasaki,	Ionics	doi:10.1007/s11581-016-1816-9	2016			1	9	有		九州大学,東京ガス(株)	EN③	H28
73	Physicochemical Properties of Proton-conductive Ba(Zr0.1Ce0.7Y0.1Yb0.1)O3−δ Solid Electrolyte in Terms of Electrochemical Performance of Solid Oxide Fuel Cells,	T. Somekawa, Y. Matsuzaki, Y. Tachikawa, H. Matsumoto, T.Taniguchi, K. Sasaki,	Int. J. Hydrogen Energy	doi:10.1016/j.ijhydene.2016.07.265	2016	41	39	17539	17547	有		九州大学,東京ガス(株)	EN③	H28
74	Effect of Sulfonation Level on Sulfonated Aromatic Poly (Ether Sulfone)Membranes as Polymer Electrolyte for High-Temperature Polymer ElectrolyteMembrane Fuel Cells,	F. Shiyan, K. Sasaki, M. Nishihara,	Macromol Chem Physic	doi: 10.1002/macp.201600397	2016	217		2692	2699	有		九州大学	EN④	H28
75	Anode gas recirculation for improving the performance and cost of a 5-kW solid-oxide fuel cell system	R. Torii, Y. Tachikawa, K. Sasaki, K. Ito,	J. Power Sources	doi:10.1016/j.jpowsour.2016.06.045	2016	325		229	237	有		九州大学	EN③	H28
76	Highly Redox-resistant Solid Oxide Fuel Cell Anode Materials based on La-doped SrTiO3 by Catalyst Impregnation Strategy	X. Shen, K. Sasaki,	J. Power Sources	doi:10.1016/j.jpowsour.2016.04.111	2016	320		180	187	有		九州大学	EN③	H28
77	Robust SOFC Anode Materials with La-doped SrTiO3 Backbone Structure	X. Shen, K. Sasaki,	Int. J. Hydrogen Energy,	doi:10.1016/j.ijhydene.2016.08.024	2016	41	38	17044	17052	有		九州大学	EN③	H28
78	Pristine carbon nanotube/iron phthalocyanine hybrids with a well-defined nanostructure show excellent efficiency and durability for oxygen reduction reaction	J. Yang, F. Toshimitsu, T. Fujigaya, N. Nakashima,	J. Mater. Chem. A	doi: 10.1039/c6ta07882f	2017	5		1184	1191	有		九州大学	EN④	H28
79	Development of Air-stable n-type Single-walled Carbon Nanotubes by Doping with2-(2-Methoxyphenyl)-1,3-Dimethyl-2,3-Dihydro-1H-Benzo[d]imidazole and their Thermoelectric Properties,	T. Fujigaya, Y. Nakashima, N. Nakashima,	Synthetic Metals	doi:10.1016/j.synthmet.2016.11.042	2017	225		76	80	有		九州大学	EN④	H28
80	Optimization of Annealing Catalyst Powder for High Temperature PEMWE,	H. Li, H. Nakajima, K. Ito,	ECS Transactions	doi: 10.1149/07514.1095ecst	2016	75	14	1095	1105	有		九州大学	EN④	H28
81	Optimum Structural Properties for an Anode Current Collector used in a Polymer Electrolyte Membrane Water Electrolyzer Operated at the Boiling Point of Water	H. Li, T. Fujigaya, H. Nakajima, A. Inada, K. Ito	J. Power Sources		2016		332	16	23	有		九州大学	EN④	H28
82	Ru-based SOFC Anodes: Preparation, Performance, and Durability	J. Sugimoto, S. Futamura, T. Kawabata,S. M. Lyth, Y. Shiratori, S. Taniguchi, K. Sasaki	Int. J. Hydrogen Energy	doi: 10.1016/j.ijhydene.2017.01.028						有		九州大学	EN④	H28

83	In-Situ ESEM and EELS Observation of Water Uptake and Ice Formation in Multilayer Graphene Oxide,	Daio, T., Bayer, T., Ikuta, T., Nishiyama, T., Takahashi, K., Takata, Y., Sasaki, K., Lyth, M. S.,	Sci. Rep.,	doi: 10.1038/srep11807, 2015	2015	5		11807		有		九州大学	EN④	H27
84	Lattice Strain Mapping of Platinum Nanoparticles on Carbon and SnO2 Supports,	Daio, T., Staykov, A., Guo, L., Liu, J., Tanaka, M., Lyth, M. S., Sasaki, K.,	Sci. Rep.,	doi: 10.1038/srep13126, 2015	2015	5		13126		有		九州大学	EN④	H27
85	A Parametric Study of SOFC Performances with Multi-Stage Electrochemical Oxidation for Enhancement of Electric Efficiency,	Matsuzaki Y., Tachikawa Y., Hatae T., Matsumoto H., Taniguchi S., Sasaki K.,	ECS Transactions	doi:10.1149/06801.1961ecst, 2015	2015	68	1	1961	1968	有		東京ガス(株)、九州大学	EN③	H27
86	Process analysis for achieving highly enhanced total efficiency on multi-stage fuel supplied SOFC system,	Tachikawa Y., Matsuzaki Y., Hatae T., Taniguchi S., Sasaki K.,	ECS Transactions	doi: 10.1149/06801.3107ecst, 2015	2015	68	1	3107	3113	有		九州大学、東京ガス(株)	EN③	H27
87	Document Visualization of SOFC anode by dual imaging method using infrared and visible light cameras,	Tachikawa Y., Matsuzaki Y., Hatae T., Taniguchi S., Sasaki K.,	ECS Transactions		2015	68	1	1115	1120	有		九州大学	EN③	H27
88	Effect of Offgas Recycle on Multi-Stage SOFC System,	Tachikawa Y., Matsuzaki Y., Hatae T., Taniguchi S., Sasaki K.,	Microgen IV,		2015	96		1	4	有		九州大学、東京ガス(株)	EN③	H27
89	Effect of proton-conduction in electrolyte on electric efficiency of multi-stage solid oxide fuel cells,	Matsuzaki Y., Tachikawa Y., Somekawa T., Hatae T., Matsumoto H., Taniguchi S., Sasaki K.	Sci. Rep.	doi:10.1038/srep12640, 2015	2015	5		12640		有		東京ガス(株)、九州大学	EN③	H27
90	Study of the solid state reaction at the interface between lanthanoide-doped ceria and yttria-stabilized zirconia for solid-oxide fuel cell applications,	Somekawa T. , Matsuzaki Y., Tachikawa Y., Taniguchi T., Sasaki K.,	Solid State Ionics	doi:10.1016/j.ssi.2015.09.005, 2015.	2015	282		1	6	有		東京ガス(株)、九州大学	EN③	H27
91	燃料電池の効率を飛躍的に高める革新技術の理論設計,	松崎良雄, 染川貴亮, 波多江徹, 立川雄也, 松本広重, 谷口俊輔, 佐々木一成,	クリーンエネルギー		2015	24	12	16	21	有		東京ガス(株)、九州大学	EN③	H27
92	n Operando Visualization of SOFC Electrodes by Thermography and Visible Light Imaging,	Tachikawa, Y., Sugimoto, J., Takada, M., Kawabata, T., Lyth, S. M., Shiratori, Y., Sasaki K., I	ECS Electrochem. Lett.	doi: 10.1149/2.0031511eel, 2015	2015	4		F61	F64	有		九州大学	EN③	H27
93	Investigation of Durability of MEAs at Higher Temperature,	Kitamura M., Noda S., Matsuda J., Hayashi A., Sasaki K.,	ECS Transactions	doi:10.1149/06917.0701ecst	2015	69	17	701	708	有		九州大学	EN④	H27
94	Impact of Cathode Current Collector on High Temperature PEM Water Electrolysis,	Li H., Inada A., Nakajima H., Ito K.,	ECS Transactions	doi:10.1149/06918.0003ecst,	2015	69	18	3	12	有		九州大学	EN②	H27
95	Oxidation-induced Degradation of SOFC Ni Anodes at High Fuel Utilizations,	Kawasaki T., Sugimoto J., Tachikawa Y., Shiratori Y., Taniguchi S., Sasaki K.,	ECS Transactions	DOI: 10.1149/06801.1345ecst	2015	68	1	1345	1352	有		九州大学	EN③	H27
96	Development of Robust SOFC Anode Materials Using La-Doped SrTiO3,	Shen X., Sasaki K.,	ECS Transactions	DOI: 10.1149/06801.1447ecst	2015	68	1	1447	1453	有		九州大学	EN③	H27
97	革新的高効率SOFCに向けた取り組み,	松崎良雄, 立川雄也, 染川貴亮, 佐藤洸, 松本広重, 谷口俊輔, 佐々木一成,	燃料電池,		2016	15	3	61	66	有		東京ガス(株)、九州大学	EN③	H27
98	新規材料とシステム開発の融合による革新的新規高性能SOFCの創出,	立川雄也, 松崎良雄, 佐々木一成,	FCレポート		2016	34	1	27	31	有		九州大学、東京ガス(株)	EN③	H27
99	Alkaline anion exchange membranes based on KOH-treated multilayer graphene oxide,	Bayer, T., Cunning, B. V., Selyanchyn, R., Daio, T., Nishihara, M., Fujikawa, S., Sasaki, K., Lyth, S. M.,	J. Membr. Sci.,	doi:10.1016/j.memsci.2016.02.017,	2016	508		51	61	有		九州大学, Univeristy of Leeds, University of Sheffield	EN④	H27
100	Development of Charge-Transfer Complex Hybrid Films as Polymer Electrolyte Membrane for High Temperature PEFC Operation,	Christiani L., Sasaki K., Nishihara M.,	Macromolecular Chemistry and Physics	DOI: 10.1002/macp.201500320	2016	217		654	663	有		九州大学	EN④	H27
101	Strain Mapping of Platinum Nanoparticles on Carbon and SnO2 Supports	Daio, T., Staykov, A., Guo, L., Liu, J., Tanaka, M., Lyth, M. S., Sasaki, K., Lattice	Sci. Rep 5, 13126(1)-(10)	doi: 10.1038/srep13126								九州大学		H27
102	"Comparison of chromium poisoning among solid oxide fuel cell cathode materials."	Eunjoo PARK, Shunsuke TANIGUCHI, Takeshi DAIO, Jyh-Tyng CHOU, Kazunari SASAKI	Solid State Ionics	DOI: 10.1016/j.ssi.2014.01.047 2014.09.01	2014	262		421	427	有		九州大学	EN③	H26

103	"Defective Graphene Foam: A Platinum Catalyst Support for PEMFCs."	Jianfeng LIU, Takeshi DAIO, Kazunari SASAKI, and Stephen Matthew LYTH	J.Electrochem.Soc.,	DOI: 10.1149/2.0231409jes 2014.05.29	2014	161	9	F838	F844	有		九州大学	EN④	H26
104	"Evaluation of Proton Conductivity of Sulfonated Polyimide/dihydroxy Naphthalene Charge-transfer Complex Hybrid Membranes."	Liana CHRISTIANI, Sandra HILAIRE, Kazunari SASAKI, Masamichi NISHIHARA	J. Polym. Sci. A,	DOI: 10.1002/pola.27343 2014.10.15	2014	52	20	2991	2997	有		九州大学	EN④	H26
105	"Platinum-Decorated Tin Oxide and Niobium-Doped Tin Oxide PEFC Electrocatalysts: Oxygen Reduction Reaction Activity."	Takuya TSUKATSUNE, Yuma TAKABATAKE, Zhiyun NODA, Takeshi DAIO, Ayumi ZAITSU, Stephen M. LYTH, Akari HAYASHI, and Kazunari SASAKI	J. Electrochem. Soc.,	DOI: 10.1149/2.0431412jes 2014.08.28	2014	161	12	F1208	F1213	有		九州大学	EN④	H26
106	"Characterization of a Graphene Oxide Membrane Fuel Cell"	Thomas BAYER, Sean R. BISHOP, Masamichi NISHIHARA, Kazunari SASAKI, Stephen M	J. Power Sources,	DOI:10.1016/j.jpowsour.2014.08.071 2014.12.25	2014	272		239	247	有		九州大学	EN④	H26
107	"A Solid Polymer Water Electrolysis System Utilizing Natural Circulation."	Yoshinori KOBAYASHI, Kenichiro KOSAKA, Takashi YAMAMOTO, Yuya TACHIKAWA, Kohei ITO, Kazunari SASAKI	Intl. J. of Hydrogen Energy	DOI:10.1016/j.ijhydene.2014.07.153 2014.10.02	2014	39		16263	16274	有		九州大学	EN②	H26
108	"Start-Up Characteristics of Segmented-In-Series Tubular SOFC Power Modules Improved by Catalytic Combustion at Cathodes."	Yoshinori KOBAYASHI, Kenichiro KOSAKA, Kazuo TOMIDA, Norihisa MATAKE, Kohei Ito, Kazunari SASAKI	Fuel Cell	DOI: 10.1002/fuce.201400014 2014.09.15	2014	14		1028	1035	有		九州大学	EN④	H26
109	"Vertically Aligned Nanocomposite La0.8Sr0.2CoO3/(La0.5Sr0.5)2CoO4 Cathodes – Electronic Structure, Surface Chemistry and Oxygen Reduction Kinetics."	Wen MA, Jae Jin KIM, Nikolai TSVETKOV, Takeshi DAIO, Yener KURU, Zhuhua CAI, Yan CHEN, Kazunari SASAKI, Harry L. TULLER, Bilge YILDIZ	J. Mater. Chem. A,	DOI: 10.1039/C4TA04993D 2014.10.24	2015	3		207	219	有	有	九州大学	EN③	H26
110	"Exchange Current Density of SOFC Electrodes: Theoretical Relations and Partial Pressure Dependencies 10 Rate-Determined by Electrochemical Reactions."	Takami HOSOI, Takahiro YONEKURA, Kyohei SUNADA, Kazunari SASAKI	J. Electrochem. Soc	DOI: 10.1149/2.0561501jes 2014.12.01	2015	162		F136	F152	有		九州大学	EN③	H26
111	"Palladium-based Anion-exchange Membrane Fuel Cell using KOH-doped Polybenzimidazole as the Electrolyte"	T. Fujigaya, C. R. Kim, K. Matsumoto, N. Nakashima,	ChemPlusChem.,		2014	79		400	405	有		九州大学	EN④	H25
112	"High-temperature Polymer Electrolyte Fuel Cell Using Poly(vinylphosphonic acid) as an Electrolyte Shows a Remarkable Durability"	M. R. Berber, T. Fujigaya, N. Nakashima	ChemCatChem.,		2014	6		567	571	有		九州大学	EN④	H25
113	電気自動車を活用したカーシェアリングシステムと充放電エネルギーマネジメントシステムの設計に関する研究	米田 琢見, 有吉 亮, 松橋 隆治	エネルギー資源学会論文誌, Vol. 42, No. 4, pp. 233-238, 2021.	https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjser/42/4/42_233/_article/-char/ja	2021/7	42	4	233	238	有	有	東京大学	en①	R3
114	Carbon-dioxide activation by methane with iron-doped barium zirconate in chemical looping cracking system	Shu Hikima, Martin Keller, Hiroki Matsuo, Yoshio Matsuzaki, Junichiro Otomo	Chemical Engineering Journal	https://doi.org/10.1016/j.cej.2020.128012	2021/8/1	417		128012		有		東京大学、九州大学	en①	R3
115	Experimental analyses for electronic structure of barium zirconate-strontium zirconate proton-conducting solid solution	Hiroki Matsuo, Tatsuya Murakami, Junichiro Otomo	Journal of the American Ceramic Society	https://doi.org/10.1111/jace.17935	2021/11/1	104	11	5740	5749	有		東京工業大学	en①	R3
116	Design and modeling of proton-conducting bilayer electrolytes using a Nernst-Planck-Poisson formulation	Julian A. Ortiz-Corrales, Hiroki Matsuo, and Junichiro Otomo	ECS Transactions (17th International Symposium on Solid Oxide Fuel Cells (SOFC-XVII))	https://iopscience.iop.org/article/10.1149/10301.1763ecst	2021/7/18	103	1	1763	1778	有		東京大学、東京工業大学	en①	R3
117	Evaluation of Transport Properties of Lanthanum-Based Proton-Conducting Composite Electrolytes	Seiya Tajima, Hiroki Matsuo, and Junichiro Otomo	ECS Transactions (17th International Symposium on Solid Oxide Fuel Cells (SOFC-XVII))	https://iopscience.iop.org/article/10.1149/10301.2117ecst	2021/7/18	103	1	2117	2124	有		東京大学、東京工業大学	en①	R3
118	Effect of Lanthanum Tungstate Hole-Blocking Layer for Improvement of Energy Efficiency in Anode-Supported Protonic Ceramic Fuel Cells	Hiroki Matsuo, Kenta Nakane Yoshio Matsuzaki, Junichiro Otomo	Journal of the Ceramic Society of Japan	https://doi.org/10.2109/jcersj2.20204	2021/3/1	129	3	147	153	有		東京大学、東京ガス、九州大学	en①	R2
119	Model Predictive Control for EV Aggregators Participating in System Frequency Regulation Market	Sinan Cai and Ryuji Matsuhashi	IEEE Access, vol. 9, pp. 80763-80771, 2021.	https://ieeexplore.ieee.org/document/9445056	2021/3	9	–	80763	80771	有	有	東京大学	en①	R2
120	Proposal of Relative Thermal Sensation: Another Dimension of Thermal Comfort and Its Investigation	Ziyang Wang, Hiroshi Onodera and Ryuji Matsuhashi	IEEE Access, vol. 9, pp. 36266-36281, 2021.	https://ieeexplore.ieee.org/document/9363885	2021/3	9	–	36266	36281	有	有	東京大学	en①	R2
121	連系線による電力および調整力の融通を考慮した確率的起動停止計画	奥山 雄太, 松橋 隆治	電気学会論文誌B（電力・エネルギー部門誌）, Vol. 141, No. 3, pp. 233-246, 2021.	doi.org/10.1541/ieejpes.141.233	2021/3	141	3	233	246	有	有	東京大学	en①	R2

122	A design on sustainable hybrid energy systems by multi-objective optimization for aquaculture industry	Nhut Tien Nguyen, Ryuji Matsuhashi and Tran Thi Bich ChauVoc	Renewable Energy, Volume 163, January 2021, Pages 1878-1894	doi.org/10.1016/j.renene.2020.10.024	2021/1	163	-	1878	1894	有	有	東京大学	en①	R2
123	ピンポイント日射量予測精度の検証及び分析	張 天鴻, 松橋 隆治	エネルギー資源学会論文誌, Vol. 41, No. 6, pp. 336-341, 2020.	doi.org/10.24778/jjser.41.6_336	2020/9	41	6	336	341	有	有	東京大学	en①	R2
124	冬季を対象としたヒートポンプ給湯機を活用した卒FIT電源のインバランス制御に関する実証研究	榎原 友樹, 松橋 隆治, 白岩 紀人	エネルギー資源学会論文誌, Vol. 41, No. 6, pp. 290-299, 2020.	doi.org/10.24778/jjser.41.6_290	2020/9	41	6	290	299	有	有	E－konzal, 東京大学	en①	R2
125	固定価格による買取期間終了後の太陽光発電と固体酸化物形燃料電池を活用したエネルギー需給モデルの構築	越智 雄輝, 榎原 友樹, 吉岡 剛, 高瀬 香絵, 松橋 隆治	エネルギー資源学会論文誌, Vol. 41, No. 6, pp. 243-253, 2020.	doi.org/10.24778/jjser.41.6_243	2020/9	41	6	243	253	有	有	E－konzal, 東京大学	en①	R2
126	需給調整市場設立後を想定した電力システムにおける調整力価格の分析に関する研究	古田 龍平, 松橋 隆治	エネルギー資源学会論文誌, Vol. 41, No. 5, pp. 166-175, 2020.	doi.org/10.24778/jjser.41.5_166	2020/9	41	6	166	175	有	有	東京大学	en①	R2
127	連系線による電力および調整力の融通を考慮した確率的起動停止計画	奥山 雄太, 松橋 隆治	電気学会論文誌B（電力・エネルギー部門誌）/141巻 (2021) 3 号	doi.org/10.1541/ieejpes.141.233	2021/3	141	3	233	246	有	有	東京大学	en①	R2
128	"Techno-Economic Evaluation of BECCS via Chemical Looping Combustion of Japanese Woody Biomass"	Martin Keller, Kenji Kaibe, Hiroyuki Hatano, Junichiro Otomo	International Journal of Greenhouse Gas Control	10.1016/j.ijggc.2019.01.019	2019/4	83		69	82	有		東京大学	en①	R1
129	"Fabrication and electrochemical performance of anode-supported solid oxide fuel cells based on proton-conducting lanthanum tungstate thin electrolyte"	Gen Kojo, Xiaochu Wei, Yoshio Matsuzaki, Hiroki Matsuo, Junichiro Otomo	Solid State Ionics	10.1016/j.ssi.2019.04.015	2019/9	337		132	139	有	有	東京大学、東京ガス、九州大学	en①	R1
130	"Performance of anode-supported proton-conducting solid oxide fuel cells with lanthanum-based thin bilayer electrolyte"	Hiroki Matsuo, Gen Kojo, Kazuma Sakata1 Yoshio Matsuzaki, Junichiro Otomo	ECS Transactions (Fuel Cells, Electrolyzers, and Energy Conversion, Solid Oxide Fuel Cells 16 (SOFC-XVI))	10.1149/09101.1019ecst	2019/9/8	91	1	1019	1028	有		東京大学、東京ガス、九州大学	en①	R1
131	An Optimal Design on Sustainable Energy Systems for Shrimp Farms	NT Nguyen, R Matsuhashi	IEEE Access	10.1109/ACCESS.2019.2952923	2019/11/11	7		165543	165558	有		東京大学	en①	R1
132	Study on Aggregator' s Strategy of Controlling Electric Vehicles to Compensate Imbalances in Power Systems Using Reinforcement Learning	Ryuhei Furuta, Ryuji Matsuhashi	International Journal of Electrical Energy	http://www.ijoee.org//index.php?m=content&c=index&a=show&catid=68&id=298	2019/12/26	7	2	67	71	有		東京大学	en①	R1
133	A study on unit commitment taking uncertainties in forecast of renewable energy outputs into consideration	Eiji Nishiura, Ryuji Matsuhashi	International Journal of Smart Grid and Clean Energy	Digital Object Identifier: 10.12720/sgce.8.4.392-396	2019/7	8	4	392	396	有		東京大学	en①	R1
134	A Control Method for Compensating Communication Delays in Load Frequency Control with Electric Vehicle Aggregators	Sinan Cai and Ryuji Matsuhashi	Journal of Society for Energy and Resources, Vol. 41, No. 1, pp. 1-10, 2020.	https://doi.org/10.24778/jjser.41.1_1	2020/1	41	1	1	10	有		東京大学	en①	R1
135	Research on Thermal Comfort by Analyzing LF/HF Value and Heat Flow Rate	Ziyang Wang and Ryuji Matsuhashi	Journal of Society for Energy and Resources, Vol.40, No.5, pp. 154-159, 2019.	https://doi.org/10.24778/jjser.40.5_154	2019/9	40	5	154	159	有		東京大学	en①	R1
136	Global value chain assessment based on retrospectively induced economic costs associated with technology application: A case study of photovoltaic power system in Japan	Kanako Tanaka, Toshihiro Inoue, Ryuji Matsuhashi, Koichi Yamada	Journal of Cleaner Production	10.1016	2018/4	181		460	472		国際	東京大学, 科学技術振興機構低炭素社会戦略センター	en①	H30
137	A Sustainable Energy Model for Shrimp Farms in the Mekong Delta	Nguyen Nhut Tien, Ryuji Matsuhashi	Energy Procedia, Vol.157, pp926-938, 2019	https://doi.org/10.1016/j.egypro.2018.11.259	2019	157		926	938		国際	東京大学	en①	H30
138	"CO2 activation by methane in a dual-bed configuration via methane cracking and iron oxide lattice oxygen transport – concept and materials development"	Martin Keller, Yoshio Matsuzaki, Junichiro Otomo	Chemical Engineering Journal Vol. 349 (2018) pp. 249-259.	https://doi.org/10.1016/j.cej.2018.05.069	2018	349		249	259		国際	東京大学 東京瓦斯	en①	H30
139	木質バイオマスのエネルギー利用拡大に向けた技術評価～コストモデルの構築と技術シナリオの策定～	海邉健二, Martin Keller, 井上雅文, 山田興一, 大友順一郎	日本エネルギー学会誌 第97巻, 第10号, pp. 284-299, (2018)	https://doi.org/10.3775/jie.97.284	2018	97	10	284	299		国内	東京大学	en①	H30
140	"Understanding Degradation and Active Sites in Nitrogen-Doped Carbon Nanotube-Based Electrocatalysts"	Ti Chen, Shota Takahashi, Yomei Fukushima, Kei Nakazawa, and Keiko Waki	J. Electrochem. Soc. 2019 166(2): F114	10.1149/2.0781902jes	2019	166	2	F114			国際	東京工業大学	en①	H30
141	"Electrochemical analysis of dye sensitized solar cell employing indoline-based and uthenium-based dye combined with volatile and low-volatility solution-based electrolyte"	Runbang Tao, Gerald Ensang Timuda, Keiko Waki	Journal of Materials Science: Materials in Electronics (2018) 29: 19245.	10.1007/s10854-018-0051-8	2018						国際	東京工業大学	en①	H30
142	"Understanding the redox reactions of adjacent carboxyl groups and anhydride groups following citric acid treatment of defect-containing multiwalled carbon nanotubes"	Jiuting Chen, Fumitaka Kobayashi, Kouya Eguchi and Keiko Waki	Electrochemistry Communications, Volume 91, Pages 25-30, June 2018.	10.1016/j.elecom.2018.05.001		91		25	30		国際	東京工業大学	en①	H30
143	Development of Model for Optimal Operation of Power Systems with Large-Scale Integration of Solar Power Generation in Kyushu Region	Ryuji Matsuhashi	Journal of Clean Energy Technologies, Vol. 5, No. 6, November 2017, pp464-468	10.18178	2017/11	5	6	464	468		国際	東京大学	en①	H29
144	Policy Proposal Related to Solar Power Generation System Using Real Option Analysis	Yoshihiko Yamada and Ryuji Matsuhashi	Journal of Clean Energy Technologies, Vol. 6, No. 1, January 2018, pp83-86	10.18178	2018/1	6	1	83	86		国際	東京大学	en①	H29
145	Optimal Operation for Integrated Residential Distributed Energy Resources Considering Internal Reserve	Tomohiro Hamada and Ryuji Matsuhashi	Energy Procedia, Vol.141, December 2017, pp 250-254	10.1016	2017/12	141		250	254		国際	東京大学	en①	H29

146	Study for Optimal Energy Management System in Houses Collectively Receiving Electricity at Low Voltage	Eiji Nishiura and Ryuji Matsuhashi	Energy Procedia, Vol.141, December 2017, pp 479–483	10.1016	2017/12	141		479	483		国際	東京大学	en①	H29
147	木質バイオマスの生産コスト構造とその低減策	浅田龍造・海邉健二・大友順一郎*・山田興一	日本森林学会誌	https://doi.org/10.4005/jjfs.99.187	2017	99	5	187	194		国内	東京大学	en①	H29
148	Coupled Analysis of Performance and Costs of Segmented-In-Series Tubular Solid Oxide Fuel Cell for Combined Cycle System	Junichiro Otomo, Junya Oishi, Kenya Miyazaki, Shintaro Okamura and Koichi Yamada	International Journal of Hydrogen Energy, Vol. 42 Issue 30, pp. 19190–19203 ,2017.	http://dx.doi.org/10.1016/j.ijhydene.2017.06.031	2017	42	30	19190	19203		国際	東京大学	en①	H29
149	"Structural and transport properties of lanthanum tungstate with high La/W ratio: availability of lanthanum tungstate for proton-conducting solid oxide fuel cells operating at intermediate temperature"	Gen Kojo, Reina Tsukimura, Junichiro Otomo	Solid State Ionics, Vol.306, p. 89–96, 2017.	https://doi.org/10.1016/j.ssi.2017.04.009	2017	306		89	96		国際	東京大学	en①	H29
150	"Influence of La/W ratio on electrical conductivity of lanthanum tungstate with high La/W ratio"	Gen Kojo, Yohei Shono, Hiroshi Ushiyama, Yoshito Oshima and Junichiro Otomo	Journal of Solid State Chemistry, Vol.248, p. 1–8, 2017.	http://dx.doi.org/10.1016/j.jssc.2017.01.011	2017	248		1	8		国際	東京大学	en①	H29
151	An activity recoverable carbon nanotube based electrocatalysts: Rapid annealing effects and importance of defects	Ti Chen, Jiuting Chen, Keiko Waki	Carbon 129, 119–127, 2018	10.1016/j.carbon.2017.12.010	2018	129		119	127		国際	東京工業大学	en①	H29
152	重回帰分析を用いた系統エリア大の風力発電・太陽光発電の 出力予測と予測誤差特性の分析	高橋雅仁，松橋隆治	エネルギー資源，38巻，5号，2017		2017	38	5				国内	東京大学	en①	H29
153	再生可能電源出力の不確実性を考慮した需給運用計画モデルを用いた蓄電池と可制御ヒートポンプ給湯機による発電コスト低減効果分析	高橋雅仁，松橋隆治	電気学会論文誌B（電力・エネルギー部門誌），137巻，12号，2017		2017	137	12				国内	東京大学	en①	H29
154	Baseline of the projection under a structural change in energy demand	Sakamoto, T., R. Matsuhashi, K. Takase, and K. Managi	Energy Policy (2016)		2016							東京大学，九州大学	en①	H28
155	節電アドバイスおよび節電目標表示システムの開発と実装	磐田朋子，野村昇，田中加奈子，松橋隆治	エネルギー・資源 Vol.38 No.1，2017		2017	38	1					東京大学	en①	H28
156	アンケート調査に基づく個人の割引関数の推計と低炭素機器普及への応用可能性評価	高瀬香絵、松橋隆治	環境情報科学 Vol.46, No.1			46	1					東京大学、JST低炭素社会戦略センター	en①	H28
157	出力抑制が太陽光発電事業に与えるリスク分析	吉岡剛、松橋隆治	環境情報科学学術研究論文集 (30), 307–310, 2016、環境情報科学センター		2016	30		307	310			東京大学、JST低炭素社会戦略センター	en①	H28
158	An Integrated Contribution Approach Focusing on Technology for Climate Change Mitigation and Promotion of International Technology Cooperation and Transfer,	Kanako Tanaka, Ryuji Matsuhashi, Koichi Yamada	Low Carbon Economy, Vol.7 No.2, 2016		2016	7	2					東京大学	en①	H28
159	電力システムの低炭素化と再生可能電源大量導入の可能性に関する分析 ―九州地域のケーススタディー	松橋隆治	月刊エネルギーレビュー特集「2050年のエネルギー事情を考える」，エネルギーレビュー，2017年1月，2017		2017/1							東京大学	en①	H28
160	実測データを用いた冷蔵庫のエネルギー効率の改善による実消費量への影響に関する考察	坂本智幸，奥村清香，前田怜那，高瀬香絵，松橋隆治	エネルギー資源学会論文誌，Vol37，No.5，2016		2016	37	5					東京大学	en①	H28
161	九州地域への再生可能電源大量導入を考慮した電力システムにおける経済的負荷配分算定モデルの開発と水素生産の実現可能性評価	松橋隆治	日本LCA学会誌特集「水素社会」，第12巻，第2号，2016年7月，2016		2016/7	12	2					東京大学	en①	H28
162	Impacts of Structure Defects and Carboxyl and Carbonyl Functional Groups on the Work Function of Multiwalled Carbon Nanotubes,	Bo Gong, Akitoshi Ikematsu, Keiko Waki,	Carbon 114 (2017) 526–532		2017	114		526	532			東京大学	en①	H28
163	"Structurally Tuning Li2O2 by Controlling the Surface Properties of Carbon Electrodes: Implications for Li–O2 Batteries,"	]R. A. Wong, A. Dutta, C. Yang, K. Yamanaka, T. Ohta, A. Nakao, K. Waki and R. Byon	Chemistry of Materials, Volume 28(21), Pages 8006–8015, 2016.		2016	28	21	8006	8015			東京大学	en①	H28
164	Technological Evaluation of Solid Oxide Fuel Cell Combined Cycle System: Coupled Analysis of Performance and Costs of Segmented-in-Series Tubular Solid Oxide Fuel Cell using Design and Modeling Approach	Junichiro Otomo, Junya Oishi, Kenya Miyazaki, Shintaro Okamura and Koichi Yamada	International Journal of Hydrogen Energy									東京大学		H28
165	"Redox Reaction Kinetics of Fe2O3 by Hydrogen and Water with Oxide Ion Conducting Supports and Oxygen Transport Modeling for Fe2O3 Reduction Process"	Fumihiko Kosaka; Hiroyuki Hatano; Yoshito Oshima; Junichiro Otomo	Journal of Chemical Engineering of Japan	doi:10.1252/jcej.14we3400	2016/3/20	49	3	243	250	有		東京大学	en①	H27
166	"Understanding the Li Storage Sites in MWCNTs: SEI, the Key for Delithiation at High Potential,"	H. S. Oktaviano and K. Waki,	J. Electrochem. Soc., vol. 163, no. 3, pp. A442–A446, Jan. 2016.		2016/1	163	3	442	446			東京大学	en①	H27
167	"Study on the Electrochemical Characteristics of Multiwalled CNTs Decorated by Various Oxygen Functional Groups (Non-Aqueous and Aqueous based Electrolytes),"	H. S. Oktaviano, M. Wajima, and K. Waki,	ECS Trans., vol. 66, no. 8, pp. 253–259, 2015.		2015	66	8	253	259			東京大学	en①	H27
168	省エネ型冷蔵庫のCO2排出削減効果と普及促進策	見藤俊介，吉田好邦，磐田朋子，松橋隆治	エネルギー資源学会論文誌，Vol.36，No.3，2015，pp11–20		2015	36	3	11	20			東京大学	en①	H27
169	Green Innovation and Green Growth for Realizing an Affluent Low-Carbon Society	Ryuji Matsuhashi and Kae Takase	Low Carbon Economy, Vol6, pp87–95, 2015		2015	6		87	95			東京大学	en①	H27

170	Development of Model For Load Frequency Control in Power System With Large-scale Integration of Renewable Energy	Shinichi Takayama and Ryuji Matsuhashi	IEEE PES, Chicago, U.S., February 20th, 2016		2016/2/20							東京大学	en①	H27
171	Economic Evaluation of Ancillary Services Provided by Electric Vehicles for Controlling Power System Frequency	Yuto Yamamoto and Ryuji Matsuhashi	IEEE PES, Chicago, U.S., February 20th, 2016		2016/2/20							東京大学	en①	H27
172	日本版グリーンディールの政策デザイン―グリーン成長を推進する事業体構想―	松橋隆治	エネルギー資源, Vol.36 No.3, pp172-176, 2015年5月		2015/5	36	3	72	176			東京大学	en①	H27
173	電力自由化に向けた地域主導型再エネビジネスの現状と課題	吉岡剛	エネルギー資源, Vol.36 No.5, 2015年9月		2015/9	36	5					東京大学	en①	H27
174	Proposal of Green Power Moderator to Promote Innovation for an Affluent Low-Carbon Society,	Ryuji Matsuhashi	5th International Conference on Power and Energy Systems, Lisbon, Portugal, 2015.11.24		2015/11/24							東京大学	en①	H27
175	Simulation Analysis on Operation Model of Household Power Generation and Storage	Sho Aihara, Ryuji Matsuhashi	3rd International Conference on Renewable Energy Research and Applications,19-22 October 2014.10.19		2014/10/19							東京大学	en①	H26
176	" Analysis of Smoothing Effect of Residential Electricity Demand Using Measured Data"	Toshihide Sato, Tomoko Iwata and Ryuji Matsuhashi	The 4th International Conference on Power and Energy Systems, E-15,2014 2014.11.21		2014/11/21							東京大学	en①	H26
177	日本版グリーンディールの政策デザイン, ―グリーン成長を推進する事業体構想―	松橋隆治	「エネルギー・資源」通巻第211号,2015(in press) 2015.05.10		2015/5/10		211					東京大学	en①	H26
178	"Models for Forecasting the Installation of Low-carbon Technologies within the Household Sector"	Kae TAKASE, Ryuji MATSUHASHI, Yoshikuni YOSHIDA	Journal of Environmental Information Science, Vol.42, No. 5, 1-8(2014)		2014	42	5	1	8			東京大学	en①	H26
179	"英国グリーンディール政策"	高瀬香絵,	エネルギー・資源, 2015年5月号 2015.05.10		2015/5/10							東京大学	en①	H26
180	"Evaluation of Cost Reduction Potential for 1kW Class SOFC stack production: Implications for SOFC Technology Scenario"	J. Otomo, J. Oishi, T. Mitsumori, H. Iwasaki and K. Yamada,	International Journal of Hydrogen Energy, Vol. 38 Issue 33, 14337 (2013).		2013	38	33	14337	14347	有		東京大学	en①	H25
181	Models for Forecasting the Installation of Low-carbon Technologies within the Household Sector,	Takase, K., R. Matsuhashi,and Y. Yoshida,	Journal of Environmental Information Science, Vol.42, No.5, March 2014.		2014/3	42	5					東京大学	en①	H25
182	Correlations between corporate climate change management and financial performance: A case study of Japanese automobile manufacturers,	Enokibori, M., R. Matsuhashi, and Y. Yoshida	Low Carbon Economy Vol.4, No.4, November 2013.		2013/11	4	4					東京大学	en①	H25
183	The Green Innovation and the Green Growth to Realize an Affluent Low-Carbon Society	Matsuhashi, R., K. Takase, and K. Yamada	Oxford Round Table, Brasenose College, July 2013.		2013/7							東京大学	en①	H25
184	Smoothing Effect of Distributed Wind Farms and Its Impact on Output Fluctuation,	WEVITA , P. L., R. Matsuhashi, and T. Yoshioka,	The 2nd International Conference on Renewable Energy Research and Applications, madrid, Spain, http://www.icrera.org/archieve2013/, October 2013.		2013/10							東京大学	en①	H25
185	木材チップの製造コスト及び環境影響評価,	海邉健二, 大友順一郎, 湯本道明, 山田興一,	森林バイオマス利用学会誌, 第 9 巻 2 号, 2014(in press) 2014.11.12		2014/11/12	9	2					東京大学	en①	H26
186	日本国内の現行都市交通計画における地形条件評価に関する研究	早内 玄, 中村 文彦, 有吉 亮, 田中 伸治, 三浦 詩乃	土木学会論文集D3(特集号)											R2
187	移動時間短縮意向に着目した移動に対する認識の形成要因に関する研究	若原歩花, 有吉 亮, 中村 文彦, 早内 玄, 田中 伸治, 三浦 詩乃	交通工学論文集	https://doi.org/10.14954/jste.7.2_A_346	2021/2	7	2	346	353	有		横浜国立大学	mo①、mo②	R2
188	Topographical factors in travel mode choice: evidence from Yokohama, Japan	早内 玄, 中村 文彦, 有吉 亮, 田中 伸治, 三浦 詩乃	Transportation Research Board		2020/12			16p		有		横浜国立大学	mo①	R2
189	途上国における持続可能な都市交通体系の構築に関する研究-ピエンチャンを研究対象地として-	三宅 佑・中村 文彦・有吉 亮・田中 伸治・松行 美帆子	第62回土木計画学研究発表会・講演集		2020/11	62				無		横浜国立大学	mo①	R2
190	交通手段ごとの利用頻度のデータを用いた交通行動の習慣性に関する基礎的研究	鈴木 渉・中村 文彦・有吉 亮・田中 伸治・松行 美帆子	第62回土木計画学研究発表会・講演集		2020/11	62				無		横浜国立大学	mo①、mo②	R2
191	電気自動車を活用したカーシェアリングシステムと充放電エネルギーマネジメントシステムの設計に関する研究	米田 琢見, 有吉 亮, 松橋 隆治	エネルギー・資源学会論文誌	https://doi.org/10.24778/jjser.42.4_233	2021/7	42	4	233	238	無		東京大学、横浜国立大学	mo①	R3
192	日本国内の現行都市交通計画における地形条件評価に関する研究	早内 玄, 中村 文彦, 有吉 亮, 田中 伸治, 三浦 詩乃	土木学会論文集D3(特集号)	https://doi.org/10.2208/jscejipm.76.5_i_1001	2021/4	76	5	I_1001	I_1011	有		横浜国立大学	mo①	R3
193	高低差・勾配の交通手段選択への影響に関する研究	早内 玄, 中村 文彦, 有吉 亮, 田中 伸治, 三浦 詩乃	土木学会論文集D3(土木計画学)	https://doi.org/10.2208/jscejipm.75.I_565	2019/12	75	5	565	574	有		横浜国立大学	mo①	R1
194	公共交通指向型開発における自家用車依存の評価に関する研究	山口 菜乃, 中村 文彦, 有吉 亮, 田中 伸治, 三浦 詩乃	土木学会論文集D3(土木計画学)	https://doi.org/10.2208/jscejipm.75.I_399	2019/12	75	5	399	406	有		横浜国立大学	mo①	R1

195	車いす利用者のバス利用時の負担実態に関する実地研究	中村 文彦, 瀬良 敦希, 三宅 佑, 岩沢 誠, 田村 大樹, 二見 悠稀, 諏訪 春奈, 有吉 亮, 藤原章正	土木計画学研究・講演集		2019/12	60				無		横浜国立大学	mo②	R1
196	Modality Styleに関する基礎的研究	作田 莉子, 中村 文彦, 田中 伸治, 有吉 亮, 三浦 詩乃	土木計画学研究・講演集		2019/12	60				無		横浜国立大学	mo①	R1
197	Shared Spaceの概念を踏まえた商業地区内街路の安全性と快適性に関する研究	種崎 夏帆, 中村 文彦, 田中 伸治, 有吉 亮, 三浦 詩乃	土木計画学研究・講演集		2019/12	60				無		横浜国立大学	mo①	R1
198	郊外の駅前空間の構成と地域住民の交流に関する研究	澤田 唯依, 中村 文彦, 有吉 亮, 田中 伸治, 三浦 詩乃	土木計画学研究・講演集		2019/12	60				無		横浜国立大学	mo①	R1
199	まちづくりCPSを実現する超スマート都市エリアマネジメントプラットフォームのアーキテクチャ	佐土原 聡 佐藤裕一 谷光清	日本建築学会大会学術講演梗概集		2019/9			883	884	無		横浜国立大学	mo②	R1
200	エリアマネジメントプラットフォームの基軸技術となる人流CPSサイクル	佐土原 聡 佐藤裕一 谷光清	日本建築学会大会学術講演梗概集		2019/9			885	886	無		横浜国立大学	mo②	R1
201	バス待ち行動分析に基づいたバス停機能のあり方に関する研究	作田 莉子, 中村 文彦, 田中 伸治, 有吉 亮, 三浦 詩乃,	土木学会年次学術講演会講演概要集		2019					無		横浜国立大学	mo①	H30
202	バス待ち行動分析に基づくバス停でのバス待ち抵抗緩和の要因に関する研究	作田 莉子, 有吉 亮, 中村 文彦, 田中 伸治, 三浦 詩乃	交通工学研究発表会論文集	https://doi.org/10.14954/jste.5.2_A_285	2019/2	5	2	A_285	A_292	有		横浜国立大学	mo①	H30
203	都市内交通のトランスポーテショギャップ解消に向けた索道の役割に関する研究	早内 玄, 中村 文彦, 田中 伸治, 有吉 亮, 三浦 詩乃,	交通工学論文集（特集号）	https://doi.org/10.14954/jste.4.1_A_223	2018/2	4	1	A223	A228	有		横浜国立大学	mo①	H29
204	大都市郊外交通空白地区における小型車両高頻度運行実験の評価に関する研究	平林 由梨恵, 中村 文彦, 田中 伸治, 有吉 亮	土木学会論文集D3（土木計画学	https://doi.org/10.2208/jscejipm.71_I_681	2015	71	5	I_681	I_687	有		横浜国立大学	mo①	H27
205	バス専用道路の舗装維持を考慮したBRTの費用構造に関する研究	高橋 洋一, 中村 文彦, 早野 公敏, 田中 伸治, 三浦 詩乃, 有吉 亮	土木学会論文集D3（土木計画学	https://doi.org/10.2208/jscejipm.72_I_963	2016	72	5	I_963	I_974	有		横浜国立大学	mo②	H28
206	USER PERCEPTION OF PARATRANSIT IN THAILAND: CASE STUDY OF JOURNEY TO SCHOOL IN KHON KAEN CITY	Pattamaporn Wongwiriya, 中村 文彦, 田中 伸治, 三浦 詩乃, 有吉 亮	土木学会論文集D3（土木計画学）	https://doi.org/10.2208/jscejipm.72_I_801	2016	72	5	I_801	I_807	有		横浜国立大学	mo①	H28
207	団地のソーシャルキャピタルが高齢者の移動に及ぼす影響に関する研究	長谷川 太一, 中村 文彦, 田中 伸治, 三浦 詩乃, 有吉 亮	土木学会論文集D3（土木計画学）（土木計画学研究・論文集 第34巻）			73	5			有		横浜国立大学		H28
208	定時性に着目したバンコクにおける BRTの評価に関する研究	田原 正博, 中村 文彦, 田中 伸治, 三浦 詩乃, 有吉 亮	交通工学論文集	https://doi.org/10.14954/jste.3.4_A_46	2017	3	4	A_46	A_53	有		横浜国立大学	mo②	H29
209	Paratransit Service Perception Differences between Drivers and Users: A Case study of Songtaew in Khon Kaen City, Thailand	WONGWIRIYA Pattamaporn, 中村 文彦, 田中 伸治, 三浦 詩乃, 有吉 亮	土木計画学研究・講演集	http://library.jsce.or.jp/jsce/open/00039/201611_no54/pdf/P28.pdf	2016	54				無		横浜国立大学	mo①	H28
210	定時性に着目したバンコクにおけるBRTの評価に関する研究	田原 正博, 中村 文彦, 田中 伸治, 三浦 詩乃, 有吉 亮	交通工学研究発表会論文集		2016	36		481	487	有		横浜国立大学	mo②	H28
211	維持管理費用の縮減と地域の効用の低下の比較による廃橋を含めた橋梁管理のあり方に関する研究	岩柳 智之, 田中 伸治, 中村 文彦, 有吉 亮, 三浦 詩乃	土木計画学研究・講演集		2017	56				無		横浜国立大学	mo③	H29
212	Urban Travel Behavior in Developing Countries: A Case study of Khon Kaen City, Thailand	Pattamaporn Wongwiriya, 中村 文彦, 田中 伸治, 有吉 亮, 三浦 詩乃	土木計画学研究・講演集		2017	56						横浜国立大学	mo①	H29
213	パーソナルモビリティの導入を考慮した道路空間再配分に関する研究	平野 秀也, 田中 伸治, 有吉 亮, 中村 文彦, 三浦 詩乃	交通工学研究発表会論文集		2017	37		537	541	有		横浜国立大学	mo①	H29
214	都市内交通のトランスポーテーションギャップ解消に向けた索道の役割に関する研究	早内 玄, 中村 文彦, 田中 伸治, 有吉 亮, 三浦 詩乃	交通工学研究発表会論文集		2017	37		631	634	有		横浜国立大学	mo①	H29
215	Exponentially Weighted Background Modeling	Tsubasa Minematsu, Masaki Igarashi, Atsushi Shimada, Hajime Nagahara, Rin-ichiro Taniguchi	the 20th Korea-Japan Joint Workshop on Frontiers of Computer Vision, pp.6-10		2014/02			6	10	有		九州大学	①②	H25
216	Real-Time Foreground Segmentation from Moving Camera based on Case-based Trajectory Classification	Yosuke Nonaka, Atsushi Shimada, Hajime Nagahara Rin-ichiro Taniguchi	Advances in Computer Vision and Pattern Recognition		2013/11			808	812	有		九州大学	①②	H25
217	大規模な3次元環境地図とRGB-Dカメラを用いた移動ロボットの広域位置同定	鄭 龍振, 倉爪 亮, 岩下 友美, 長谷川 勉	日本ロボット学会誌		2013/10	31	10	896	906	有		九州大学	③	H25

218	床上センシングシステムを用いた生活環境における移動物体の位置計測と居住者の行動推定	長谷川 勉, ビョユンソク, 田中真英, 辻 徳生, 諸岡 健一, 倉爪亮	日本ロボット学会誌		2013/08	31	8	769	779	有		九州大学	③	H25
219	Categorization of Indoor Places by Combining Local Binary Pattern Histograms of Range and Reflectance Data from Laser Range Finders	Oscar Martinez Mozos, Hitoshi Mizutani, Ryo Kurazume, Tsutomu Hasegawa	Advanced Robotics		2013	27	18	1455	1464	有		九州大学	③	H25
220	Object Detection Based on Spatiotemporal Background Models	Satoshi Yoshinaga, Atsushi Shimada, Hajime Nagahara, Rin-ichiro Taniguchi	Computer Vision and Image Understanding		2014/5	122		84	91	有		九州大学	A-1-①②	H26
221	Behavior Analysis Using Unsupervised Anomaly Detection	Markus Goldstein, Seiichi Uchida	The 10th Joint Workshop on Machine Perception and Robotics (MPR 2014). Beijing, China, Technical Report, 2014.10.		2014/10/16					有		九州大学	A-1-①②	H26
222	Observing People's Activity and Its Future Application	Rin-ichiro Taniguchi	The 3rd International Conference on Informatics, Electronics & Vision (ICIEV 2014) (Invited)		2014/05/23					有		九州大学	A-1-①②	H26
223	An Evaluation of a Complex Event Processing Engine	Satoshi Kuboi, Kensuke Baba, Shigeru Takano, Kazuaki Murakami	IIAI 3rd International Conference on Advanced Applied Informatics		2014/09/03					有		九州大学	A-1-①	H26
224	Approximate String Matching for Large-scale Event Processing	Satoshi Kuboi, Kensuke Baba, Shigeru Takano, Kazuaki Murakami	The 4th Makassar International Conference on Electrical Engineering and Informatics (MICEEI 2014)		2014/11/27					有		九州大学	A-1-①	H26
225	Floor Sensing System using Laser Reflectivity for Localizing Everyday Objects and Robot	Yoonseok Pyo, Tsutomu Hasegawa, Tokuo Tsuji, Ryo Kurazume, Ken'ichi Morooka	Sensors	doi:10.3390/s140407524,	2014/04/24	14	4	7524	7540	有		九州大学	A-1-③	H26
226	Towards Activity Recognition of Learners by Simple Electroencephalographs	Hiromichi Abe, Kensuke Baba, Shigeru Takano, Kazuaki Murakami	Information Systems and Design of Communication		2014/05/16					有		九州大学	A-1-①	H26
227	A Comparative Study on Outlier Removal from a Large-scale Dataset using Unsupervised Anomaly Detection	M. Goldstein and S. Uchida	Proceedings of The 5th International Conference on Pattern Recognition Applications and Methods (ICPRAM2016, Rome, Italy)		2016/02/24					有		九州大学	A-1-①②	H27
228	A Comparative Evaluation of Unsupervised Anomaly Detection Algorithms	M. Goldstein and S. Uchida	PLOS ONE	https://doi.org/10.1371/journal.pone.0152173	2016/04/19					有		九州大学	A-1-①②	H27
229	Person Re-identification Visualization Tool for Object Tracking across Non-overlapping Cameras	E. Pot, M. Hori, A. Shimada, H. Nagahara, and R. Taniguchi	Workshop on Activity Monitoring by Multiple Distributed Sensing (AMMDS)	10.1109/AVSS.2015.7301740	2015/08/25					有		九州大学	A-1-①②	H27
230	Graph-based Visualization Tool for Person Re-identification	M. Hori, E. Pot, A. Shimada, H. Nagahara, and R. Taniguchi	Workshop on Machine Perception and Robotics (MPR)		2015/08/22					有		九州大学	A-1-①②	H27
231	Towards Activity Recognition of Learners in On-line Lecture	Hiromichi Abe, Takuya Kamizono, Kazuya Kinoshita, Kensuke Baba, Shigeru Takano, Kazuaki	Journal of Mobile Multimedia, Vol. 11, No. 3&4. pp. 205-212,		2015/11	11	3	205	212	有		九州大学	A-1-①	H27
232	Analyzing Brain Waves for Activity Recognition of Learners, Proc. of the Third IFIP TC 5/8 International Conference	Hiromichi Abe, Kazuya Kinoshita, Kensuke Baba, Shigeru Takano, Kazuaki Murakami	ICT-EurAsia 2015, and 9th IFIP WG 8.9 Working Conference, CONFENIS 2015, Information and Communication Technology		2015/10	9357		64	73	有		九州大学	A-1-①	H27
233	Service Robot System with an Informationally Structured Environment	Yoonseok Pyo, Kouhei Nakashima, Shunya Kuwahata, Ryo Kurazume, Tokuo Tsuji, Ken'ichi Morooka, Tsutomu	Robotics and Autonomous Systems, Vol.74, No.Part A, pp. 148--165, 2015	doi:10.1016/j.robot.2015.07.010	2015/7	74	A	148	165	有		九州大学	A-1-③	H27
234	情報構造化環境における没入感VRインターフェースの開発	ビョ ユンソク, 辻 徳生, 橋口 優香, 倉爪亮	日本ロボット学会誌		2015/8	33	8	651	654	有		九州大学	A-1-③	H27
235	The Informationally Structured Room for Robotic Assistancey	Tokuo Tsuji, Oscar Martinez Mozos, Hyunuk Chae, YoonSeok Pyo, Kazuya Kusaka, Tsutomu Hasegawa, Ken'ichi Morooka, Ryo	Sensors	doi:10.3390/s150409438	2015/4	15	4	9438	9465	有		九州大学	A-1-③	H27
236	Control Architecture for Service Drone in Informationally Structured Environment	Ghallabi Farouk, Akihiro Kawamura, Yoonseok Pyo, Tokuo Tsuji, Ryo Kurazume	2015 IEEE/SICE International Symposium on System Integration (SII 2015)	10.1109/SII.2015.7405049	2015/12			611	618	有		九州大学	A-1-③	H27

237	Motion Planing for Fetch-and-Give Task using Wagon and Service Robot	Yoonseok Pyo, Kouhei Nakashima, Tokuo Tsuji, Ryo Kurazume, Ken'ichi Morooka	IEEE/ASME International Conference on Advanced Intelligent Mechatronics (AIM2015)	10.1109/AIM.2015.7222657	2015/7			925	932	有		九州大学	A-1-③	H27
238	Immersive VR Interface for Informationally Structured Environment	Yoonseok Pyo, Tokuo Tsuji, Yuuka Hashiguchi, Ryo Kurazume	, IEEE/ASME International Conference on Advanced Intelligent Mechatronics (AIM2015)	10.1109/AIM.2015.7222802	2015/7			1766	1771	有		九州大学	A-1-③	H27
239	サービスロボットのためのIoT プラットフォーム	倉爪 亮	日本ロボット学会誌		2017/3	35	2	93	96	有		九州大学	CS②	H28
240	Using a Simple Electroencephalograph for Activity Recognition of Learners	Kensuke Baba, Hiromichi Abe and Shigeru Takano	IEEJ Transactions on Electronics, Information and Systems Vol. 137 (2017) No. 3, pp. 542-546		2017/3	137	3	542	546	有		九州大学	CS③	H28
241	Globally Optimal Object Tracking with Fully Convolutional Networks	Jinho Lee, Brian Kenji Iwana, Shouta Ide, Seiichi Uchida	arXiv:1612.08274, Dec. 2016.		2016/12					有		九州大学	CS③	H28
242	Anomaly Detection for an Elderly Person Watching System using Multiple Power Consumption Models	M. Hori, T. Harada and R. Taniguchi	Int'l Conf. on Pattern Recognition Applications and Methods(ICPRAM), Feb. 2017.		2017/2					有		九州大学	CS④⑤	H28
243	Deep learning-based prediction method for people flows and their anomalies	S. Takano, M. Hori, T. Goto, S. Uchida, R. Kurazume and R. Taniguchi	Int'l Conf. on Pattern Recognition Applications and Methods(ICPRAM), Feb. 2017.		2017/2					有		九州大学	CS③	H28
244	Automatic Houseware Registration System for Informationally-Structured Environment	Kazuto Nakashima, Girard Julien, Yumi Iwashita, Ryo Kurazume	2016 IEEE/SICE International Symposium on System Integration (SII 2016)		2016/12			337	342	有		九州大学	CS②	H28
245	Power Demand Forecasting Using Meteorological Data and Human Congestion Information	M. Hori, T. Goto, S. Takano, and R. Taniguchi	IEEE International Conference on Cyber-Physical Systems, Networks, and Applications (CPSNA)		2016/10					有		九州大学	CS④⑤	H28
246	LcwtNet: Lifting Complex Wavelet Layers for Constructing a Compact DNN Model	Shigeru Takano	Proc. of the 17th IEEE International Symposium on Signal Processing and Information Technology (ISSPIT2017)		2017/12/19					有		九州大学	CS③	H29
247	Simulation of Energy Management by Controlling Crowd Behavior	Maiya Hori, Keita Nakayama, Atsushi Shimada, Rin-ichiro Taniguchi	20th International Conference, HCI International 2018		2018/07					有		九州大学	ict③	H30
248	Early Change Detection Based on SpotRank	Akira Onoue, Maiya Hori, Atsushi Shimada, Rin-ichiro Taniguchi	The ACM International Joint Conference on Pervasive and Ubiquitous Computing (UbiComp)		2018/10					有		九州大学	ict③	H30
249	Movement recommendation system based on multi-spot congestion analytics	Keita Nakayama, Akira Onoue, Maiya Hori, Atsushi Shimada, Rin-ichiro Taniguchi	Sustainability		2020/03					有		九州大学	ict②	R1
250	Towards ICT based mobility support system with in the COVID-19 era	Shigeru Takano, Maiya Hori, Yutaka Arakawa, Rin-ichiro Taniguchi	In: The 18th ACM Conference on Embedded Networked Sensor Systems (SenSys 2020)	10.1145/3384419.3430609	2020/11			788	789	有		九州大学	ict①	R2
251	Itocon – A System for Visualizing the Congestion of Bus Stops around Ito Campus in Real-time	Ryo Takahashi, Kenta Hayashi, Yudai Mitsukude, Masanori Futamata, Shunei Inoue, Shuta Matsuo, Shigemi Ishida, Yutaka Arakawa, Shigeru Takano	In: The 18th ACM Conference on Embedded Networked Sensor Systems (SenSys 2020)	10.1145/3384419.3430395	2020/11			697	698	有		九州大学	ict①	R2
252	Measuring "Nigiwai" from Pedestrian Movement	Mohamed A. Abdelwahab, Shizuo Kaji(corresponding), Maiya Hori, Shigeru Takano, Yutaka Arakawa, and Rin-ichiro Taniguchi	IEEE Access	10.1109/ACCESS.2021.3056698	2021/02	9		24859	24871	有		九州大学	mi①, ict②	R2
253	Event Effects Estimation on Electricity Demand Forecasting	Kei Hirose, Keigo Wada, Maiya Hori and Rin-ichiro Taniguchi	Energies	https://doi.org/10.3390/en13215839	2020/11	13	21			有		九州大学	mi①	R2
254	歩車混合空間内でのすれ違いによる相互作用の定量的解析に関する研究	種崎 夏帆, 有吉 亮, 中村 文彦, 田中 伸治, 高野 茂, 堀 磨伊也, 三浦 詩乃	土木学会論文集D3（土木計画学）, 76, 5, I_709-I_717, 2021.04		2021/4	76	5	709	717	有		横浜国立大学、九州大学	ict②	R3
255	Measuring "Nigiwai" from Pedestrian Movement	Mohamed A. Abdelwahab, Shizuo Kaji(corresponding), Maiya Hori, Shigeru Takano, Yutaka Arakawa, and Rin-ichiro Taniguchi	IEEE Access	10.1109/ACCESS.2021.3056698	2021/02	9		24859	24871	有		九州大学	ict②	R2

256	因子分析モデルにおける構造正則化	廣瀬 慧	京都大学 数理解析研究所 講究録	http://hdl.handle.net/2433/254796	2019/6	2133		1	10	無		九州大学		R1
257	L1正則化法に基づく因子分析および構造方程式モデリングの最近の展開	廣瀬 慧	計算機統計学	https://doi.org/10.20551/jscswabun.32.1_45	2020/7	32	1	45	60	有		九州大学		R2
258	Robust relative error estimation. Entropy	Hirose K. and Masuda H		https://doi.org/10.3390/e20090632	2018	20	9	632				九州大学		H30
259	Singular fibers of stable maps of manifold pairs and their applications	O. Saeki and T. Yamamoto	"Singularities and Foliations. Geometry, Topology and Applications", Araújo dos Santos, R.N., Menegon Neto, A., Mond, D., Saia, M.J., Snoussi, J. (Eds.), Springer Proceedings in Mathematics & Statistics	10.1007/978-3-319-73639-6	2018	222		259	294			九州大学		H30
260	Simplified broken Lefschetz fibrations and trisections of 4-manifolds	R.I. Baykur and O. Saeki	Proc. Natl. Acad. Sci. USA.		2018							九州大学		H30
261	An algebraic description of screw dislocations in SC and BCC crystal lattices	H. Hamada, S. Matsutani, J. Nakagawa, O. Saeki, and M. Uesaka	Pacific Journal of Mathematics for Industry		2018							九州大学		H30
262	Elimination of definite fold II	O. Saeki	Kyushu J. Math		2018							九州大学		H30
263	"Minimising the expectation value of the procurement cost in electricity markets based on the prediction error of energy consumption",	Naoya Yamaguchi, Maiya Hori and Yoshinari Ideguchi,	arXiv preprint arXiv:1803.04532	https://doi.org/10.1186/s40736-018-0038-7	2018							九州大学		H30
264	Theory of singular fibers and Reeb spaces for visualization, in "Topological Methods in Data Analysis and Visualization IV – Theory, Algorithms, and Applications", H. Carr, C. Garth, T.Weinkauf (Eds.), Proc. Topology-Based Methods in Visualization 2015, pp.3-33, Springer, 2017.	O. Saeki		10.1007/978-3-319-44684-4								九州大学		H29
265	"Robust sparse Gaussian graphical modeling", Journal of Multivariate Analysis, vol 161, pp. 172-190, 2017.	K. Hirose, H. Fujisawa, and J. Sese		10.1016/j.jmva.2017.07.012								九州大学		H29
266	A Mathematica module for two-dimensional computer graphics – Data structure and Interpolation algorithms –,	T. Hirano	Proc. of Forum "Math-for-Industry" 2016, MI Lecture Note		1905/7/8	70		95				九州大学		H28
267	Formalization of proofs using relational calculus	Y.Mizoguchi, H.Tanaka, S.Inokuchi	Proc. International Symposium on Information Theory and Its Applications (ISITA2016)		2016			532	536			九州大学		H28
268	Dappled tiling	S. Kaji, A. D-Jourdan, H.Ochiai	Proc. of Symposium on Mathematical Progress in Expressive Image Synthesis (MEIS2016), MI Lecture Note		2016	69		18	27			九州大学, オー・エル・エム・デジタル(株)		H28
269	Efficient Breadth-First Search on Massively Parallel and Distributed Memory Machines	Koji Ueno, Toyotaro Suzumura, Naoya Maruyama, Katsuki Fujisawa, Satoshi Mat-suoka	Data Science and Engineering, Springer	DOI: 10.1007/s41019-016- 0024-y	2017							九州大学		H28
270	Advanced Computing & Opti- mization Infrastructure for Extremely Large-Scale Graphs on Post Peta-Scale Super- computers	Katsuki Fujisawa, Toshio Endo, and Yuichiro Yasui,	Lecture Notes in Computer Science 9725, Springer	DOI 10.1007/978-3-319-42432-3 33				265	274			九州大学		H28
271	Efficient Breadth-First Search on Massively Parallel and Distributed Memory Machines	Koji Ueno, Toyotaro Suzumura, Naoya Maruyama, Katsuki Fujisawa, and Satoshi Mat-suoka	The proceedings of the IEEE BigData2016									九州大学		H28
272	Evaluating the Impacts of Code-Level Performance Tunings on Power Efficiency	Satoshi Imamura, Keitaro Oka, Yuichiro Yasui, Yuichi Inadomi, Katsuki Fujisawa, Toshio Endo, Koji Ueno, Keiichiro Fukazawa, Nozomi Hata, Yuta Kakibuka, Koji Inoue, and	The proceedings of the IEEE BigData2016									九州大学		H28
273	Power-Efficient Breadth-First Search with DRAM Row Buffer Locality- Aware Address Mapping	Satoshi Imamura, Yuichiro Yasui, Koji Inoue, Takatsugu Ono, Hiroshi Sasaki and Kat- suki Fujisawa	SC 2016	DOI: 10.1109/HPGDMP.2016.7								九州大学		H28
274	NUMA-aware scalable graph traversal on SGI UV systems	Y. Yasui and K. Fujisawa, Eng Lim Goh, John Baron, Atsushi Sugiura and Takashi Uchiyama	HPDC16	DOI: 10.1145/2915516.2915522				19	26			九州大学		H28
275	A Formalization of a Fuzzy Relational Database Model using Relational Calculus	M.D.Akbar, Y.Mizoguchi	Bulletin of Infromatics and Cybernecs			48		83	104			九州大学		H28
276	Blendshape Facial Animation	K.Anjyo	Handbook of Human Motion					1	11			オー・エル・エム・デジタル(株)		H28

277	Multivariate topology simplification	A. Chattopadhyay, H. Carr, D. Duke, Z. Geng, and O. Saeki	Computational Geometry			58		1	24			九州大学		H28
278	Readouts for Echo-State Networks Built using Locally Regularized Orthogonal Forward Regressio	Dolinský, J., Hirose K. and Konishi, S	Journal of Applied Statistics									九州大学		H28
279	Graphical tool of sparse factor analysis	Yamamoto, M., Hirose, K., Nagata, H.	Behaviormetrika									九州大学		H28
280	Sparse factor regression via penalized maximum likelihood estimation	Hirose, K. and Imada, M.	Statistical Papers									九州大学		H28
281	スパースモデリングとモデル選択.	廣瀬慧	電子情報通信学会誌			99	5	392	399			九州大学		H28
282	Improved Progres-sive BKZ Algorithms and Their Precise Cost Estimation by Sharp Simulator	Yoshinori Aono, Yuntao Wang, Takuya Hayashi, and Tsuyoshi Takagi	EUROCRYPT 2016, LNCS 9665	DOI: 10.1007/978-3-662-49890-3_30				789	819			九州大学		H28
283	Reducing the Key Size of the SRP Encryption Scheme	Dung Hoang Duong, Albrecht Petzoldt, and Tsuyoshi Takagi,	ACISP 2016, LNCS 9723	DOI: 10.1007/978-3-319-40367-0_27				427	434			九州大学		H28
284	Fast and scalable NUMA-based thread parallel breadth-first search.	Y. Yasui and K. Fujisawa	The proceedings of the HPCS 2015 (The 2015 International Conference on High Performance Computing & Simulation), Amsterdam, the Netherlands, ACM, IEEE, IFIP,		2015							九州大学		H27
285	The Scalable Petascale Data-Driven Approach for the Cholesky Factorization with Multiple GPUs	Y. Tsujita and T. Endo and K. Fujisawa	ESPM '15 Proceedings of the First International Workshop on Extreme Scale Programming Models and Middleware		2015							東京工業大学, 九州大学		H27
286	辞書式最速流による避難計画作成モデルの実験的解析	小林 和博, 成澤 龍人, 安井 雄一郎, 藤澤 克樹	Transactions of the Operations Research Society of Japan		2016	59						海上技術安全研究所, アマゾンジャパン・ロジスティクス株式会社, 九州大学		H28
287	Fast, scalable, and energy-efficient parallel breadth-first search, The Role and Importance of Mathematics in Innovation	Y. Yasui and K. Fujisawa	Proceedings of the Forum of Mathematics for Industry 2015		2015							九州大学		H27
288	A Mathematica module for conformal geometric algebra and origami folding	Kondo, M., Matsuo, T., Mizoguchi, Y., Ochiai, H.,	Proc. of The 7th International Symposium on Symbolic Computation in Software Science		2016							九州大学		H27
289	A linear blending scheme for rigid and non-rigid deformations	Liu, G., Anjyo, K.	Proc. SIGGRAPH Asia 2015 Technical Brief, 19:1-19:4		November 2015							九州大学, 株式会社オー・エル・エム・デジタル		H27
290	Verification of A Brick Corner Wang Tiling Algorithm	T.Matsushima, Y.Mizoguchi, A.Derouet-Jordan	Proc. of The 7th International Symposium on Symbolic Computation in Software Science 2016		2016							九州大学		H27
291	Interactive visualization for singular fibers of functions f : R^3 -> R^2	D. Sakurai, O. Saeki, H. Carr, Hsiang-Yun Wu, T. Yamamoto, D. Duke, and S. Takahashi,	IEEE Transactions on Visualization & Computer Graphics	doi:10.1109/TVCG.2015.2467433.	2016.1	22	1	945	954			九州大学		H27
292	Singular fibers of stable maps of 3-manifolds with boundary into surfaces and their applications	O. Saeki and T. Yamamoto,	Algebr. Geom. Topol.		2016							九州大学		H28
293	Cobordism group of Morse functions on surfaces with boundary	O. Saeki and T. Yamamoto,	Proc. XIII International Workshop on Real and Complex Singularities, São Carlos		2014							九州大学		H28
294	Theory of singular fibers and Reeb spaces for visualization	O. Saeki	Proc. Topology-Based Methods in Visualization 2015		2015							九州大学		H28
295	"Portable Implementation of Lattice-based Cryptography using JavaScript"	Ye Yuan, Chen-Mou Cheng, Shinsaku Kiyomoto, Yutaka Miyake, Tsuyoshi Takagi,	The Third International Symposium on Computing and Networking, CANDAR'15	DOI: 10.1109/CANDAR.2015.36	2015			58	67			九州大学		H27
296	Statistical prediction of Dst index by solar wind data and t-distributions	Pan Qin (Dalian Univ. of Technology) and Ryuei Nishii (Kyushu Univ.),	IEEE Transactions on Plasma Sciences	DOI:10.1109/TPS.2015.248566, 2015.	2015	43	11	3908	3915			九州大学、大連理工大学		H27
297	Unified modeling based on SVM and SVR for prediction of forest area ratio by human population density and relief energy,	Ryuei Nishii (Kyushu Univ.) and Shojiro Tanaka (Hiroshima Univ. of Economics),	Proc. of IEEE IGARSS 2015	10.1109/IGARSS.2015.7326331	2015							九州大学、広島経済大学		H27
298	Incorporation of gridded data into the analysis of remotely-sensed images: Basic quantitative strategy to analyze defoerestation by population growth	Shojiro Tanaka (Hiroshima Univ. of Economics) and Ryuei Nishii (Kyushu Univ.)	Proc. of IEEE IGARSS 2015	10.1109/IGARSS.2015.7326332	2015							九州大学、広島経済大学		H27
299	"The contribution of Kawada to the analytical solution for the velocity induced by a helical vortex filament"	Y. Fukumoto, V. L. Okulov and D. H. Wood,	Applied Mechanics Reviews	DOI: 10.1115/1.4031964	2015	67						九州大学		H27

300	Fast and Energy-efficient Breadth-first Search on a single NUMA system	Y. Yasui, K. Fujisawa and Y. Sato,	Intentional Supercomputing Conference (ISC 14)		2014							九州大学		H27
301	NVM-based Hybrid BFS with Memory Efficient Data Structure	K. Iwabuchi, H. Sato, Y. Yasui, K. Fujisawa, and S. Matsuoka,	The proceedings of the IEEE BigData2014		2014							九州大学		H26
302	Hybrid BFS Approach Using Semi-External Memory	K. Iwabuchi, H. Sato, R. Mizote, Y. Yasui, K. Fujisawa and S. Matsuoka,	International Workshop on High Performance Data Intensive Computing (HPDIC2014) in Conjunction with IEEE IPDPS 2014		2014							九州大学		H26
303	Peta-scale General Solver for Semidefinite Programming Problems with over Two Mil- lion Constraints	K. Fujisawa, T. Endo, Y. Yasui, H. Sato, N. Matsuzawa, S. Matsuoka and H. Waki,	The 28th IEEE International Parallel & Distributed Processing Symposium (IPDPS 2014)		2014							九州大学		H26
304	Connected components of regular fibers of differentiable maps,	J. T. Hiratuka and O. Saeki,	"Topics on Real and Complex Singularities" Proceedings of the 4th Japanese-Australian Workshop (JARCS4), Kobe 2011, World Scientific		2014			61	73			九州大学		H26
305	Visualizing multivariate data using singularity theory	O. Saeki, S. Takahashi, D. Sakurai, Hsiang-Yun Wu, K. Kikuchi, H. Carr, D. Duke, and T. Yamamoto,	The Impact of Applications on Mathematics, Proceedings of Forum "Math-for-Industry" 2013, Springer, 2014		2014			51	65			九州大学		H26
306	Visual data mining based on differential topology: a survey	O. Saeki and S. Takahashi,	Pacific Journal of Mathematics for Industry 6		2014		4					九州大学		H26
307	Topology of manifolds and global theory of singularities	O. Saeki,	RIMS Kôkyuroku Bessatsu									九州大学		H26
308	"Web Workersを用いた多変数公開鍵暗号Rainbowの並列実装"	鷲見拓哉, 石黒司, 清本晋作, 三宅優, 小林透, 高木剛,	情報処理学会論文誌		2014	55	9	2061	2071			九州大学		H26
309	"Analytical Optimization of Local Quantum Operation and Classical Communication"eds. M. Wakayama et al.,	Go Kato	Proceedings of the Forum of Mathematics for Industry 2013, volume 1 of Mathematics for Industry. Springer		2014							九州大学、NTT（株）		H25
310	Remarks on quantum interaction models by Lie theory and modular forms via non-commutative harmonic oscillators	Masato Wakayama	Mathematical Approach to Research Problems of Science and Technology-Theoretical Basis and Developments in Mathematical Modeling" eds. R. Nishii et al., Mathematics for Industry Springer		2014	5						九州大学、NTT（株）		H25
311	"Visualizing multivariate date using singularity theory."	O. Saeki, S. Takahashi, D. Sakurai, Hsiang-Yun Wu, K. Kikuchi, H. Carr, D. Duke, and T. Yamamoto,	In M. Wakayama, R.S. Anderssen, J. Cheng, Y. Fukumoto, R.McKibbin, K.Polthier, T.Takagi, and K.-C. Toh, editors, The Impact of Applications on Mathematics, Proceedings of the Forum of Mathematics for Industry 2013, Mathematics for Industry, Springer		2014	1						九州大学		H25
312	"Visual Date Mining Based on Differential Topology: A Survey"	Osamu Saeki, and Shigeo Takahashi,	Pacific Journal of Mathematics for Industry, Springer		2014	6						九州大学		H25
313	"Parallel Gauss Sieve Algorithm: Solving the SVP Challenge over a 128-Dimensional Ideal Lattice"	Tsukasa Ishiguro, Shinsaku Kiyomoto, Yutaka Miyake, Tsuyoshi Takagi,	The 17th IACR International Conference on Practice and Theory of Public-Key Cryptography, PKC 2014, LNCS 8383		2014			411	428	有		九州大学、株式会社KDDI研究所		H25
314	"Android携帯電話における多変数公開鍵暗号Rainbowの高速実装"	鷲見拓哉, 石黒司, 清本晋作, 三宅優, 高木剛,	電子情報通信学会論文誌		2014	J97-A	2	86	95	有		九州大学、株式会社KDDI研究所		H25
315	Tsuyoshi Takagi, "Parallel Implementation of Public Key Cryptosystems using Web Workers"	Takuya Sumi, Tsukasa Ishiguro, Shinsaku Kiyomoto, Yutaka Miyake, Toru Kobayashi,	The 11th Annual IEEE Consumer Communications and Networking Conference, CCNC 2014		2014			1153	1154	有		九州大学、株式会社KDDI研究所		H25
316	"Lit-Sphere extension for artistic rendering"	Hideki Todo, Ken Anjyo, Shun'ichi Yokoyama,	The Visual Computer	DOI:10.1007/s00371-013-0811-7	2013.6	29	6	473	480			九州大学、株式会社OLMデジタル		H25
317	"Generating Flow Fields Variations by Modulating Amplitude and Resizing Simulation Space"	Syuhei Sato, Yoshinori Dobashi, Kei Iwasaki, Hiroyuki Ochiai, Tsuyoshi Yamamoto,	Proc. SIGGRAPH ASIA 2013 Technical Briefs	DOI: 10.1145/2542355.2542371	2013.11							九州大学、株式会社OLMデジタル		H25
318	"Mathematical Description of Motion and Deformation: From Basics to Graphics Applications"	Hiroyuki Ochiai, Ken Anjyo,	Proc. SIGGRAPH ASIA 2013 Courses Article	DOI: 10.1145/2542266.2542268	2013.11		2					九州大学、株式会社OLMデジタル		H25
319	"A Lie Theoretic Proposal on Algorithms for Spherical Harmonic Lighting"	Masato Wakayama,	Symposium MEIS2013: Mathematical Progress in Expressive Image Synthesis, MI Lecture Note		2013.10	50		53	63			九州大学、株式会社OLMデジタル		H25
320	"Mathematical Formulation of Motion/Deformation and its Applications"	Hiroyuki Ochiai,	Symposium MEIS2013: Mathematical Progress in Expressive Image Synthesis, MI Lecture Note		2013.10	50		100	103			九州大学、株式会社OLMデジタル		H25

321	"Anti-commutative Dual Complex Numbers and 2D Rigid Transformation"	Genki. Matsuda,	Symposium MEIS2013: Mathematical Progress in Expressive Image Synthesis, MI Lecture Note		2013.10	50		128	133			九州大学、株式会社OLMデジタル		H25
322	"並列Gauss Sieve アルゴリズムを用いた128 次元イデアル格子の最短ベクトル問題の求解"	石黒司, 清本晋作, 三宅優, 高木剛,	コンピュータセキュリティシンポジウムCSS2013		2013	1C1-2				無		九州大学、株式会社KDDI研究所		H25
323	"Web Workersを用いた多変数公開鍵暗号Rainbowの並列実装", コンピュータセキュリティシンポジウム CSS2013	鷲見拓哉, 石黒司, 清本晋作, 三宅優, 小林透, 高木剛,	コンピュータセキュリティシンポジウムCSS2013		2013	2D1-3				無		九州大学、株式会社KDDI研究所		H25
324	Instabilities of rotational flows in azimuthal magnetic fields of arbitrary radial dependence	O.N. Kirillov, F. Stefani and Y. Fukumoto	Fluid Dyn. Res. 46, 031403	doi:10.1088/0169-5983/46/3/031403	2014							九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
325	Regularity criteria for the incompressible Hall-MHD system	J. Fan, Y. Fukumoto, G. Nakamura and Y. Zhou	Z. Angew. Math. Mech.(ZAMM) published online	DOI: 10.1002/zamm.201400102	2014							九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
326	Relabeling symmetry in relativistic fluids and plasmas	Y. Kawazura, Z. Yoshida and Y. Fukumoto	J. Phys. A: Math. Theor. 47, 465501	doi:10.1088/1751-8113/47/46/465501	2014							九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
327	Local instabilities in magnetized rotational flows	O.N. Kirillov, F. Stefani and Y. Fukumoto	J. Fluid Mech. 760	doi:10.1088/0169-5983/46/3/031403	2014			591	633			九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
328	Local stability analysis of azimuthal magnetorotational instability of ideal MHD flows	R. Zou and Y. Fukumoto	Prog. Theor. Exp. Phys. (PTEP) 2014, 113J01	doi: 10.1093/ptep/ptu139	2014							九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
329	Stability of a hydrodynamic discontinuity	S. I Abarzhi and Y. Fukumoto and L. P. Kadanoff	Physica Scripta 90, 018002 (7pp)	doi:10.1088/0031-8949/90/1/018002	2014							九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
330	Lagrangian approach to weakly nonlinear interaction of Kelvin waves and a symmetry-breaking bifurcation of a rotating flow	Y. Fukumoto and Y. Mie	Fluid Dyn. Res. 47, 015509 (15pp)	doi:10.1088/01695983/47/1/015509	2014							九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
331	Statistical detection of the influence of solar activities to weak earthquakes	P. Qin, T. Yamasaki and R. Nishii	Pacific Journal of Mathematics for Industry 2014, 6:6	doi:10.1186/s40736-014-0006-9	2014							九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
332	tatistical Prediction of Dst Index by Solar Activity Measurements and t-Distributions	P. Qin and R. Nishii	IEEE Transactions on Plasma Scienc		2014							九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
333	Bifurcation and symmetry breaking of nodoids with fixed boundary	Miyuki Koiso, Bennett Palmer, and Paolo Piccione	Advances in Calculus of Variations		2014							九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
334	Stable capillary hypersurfaces in a wedge	Jaigyoung Choe and Miyuki Koiso		http://arxiv.org/abs/1405.5407	2014							九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
335	On bifurcation and local rigidity of triply periodic minimal surfaces in R^3	Miyuki Koiso, Paolo Piccione, and Toshihiro Shoda		http://arxiv.org/abs/1408.0953	2014							九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
336	LR-FEAD: leakage-tolerating and attribute-hiding functional encryption mechanism with delegation in affine subspaces	M. Zhang, C. Wang, and K. Morozov	J. of Supercomputing	doi:10.1007/s11227-014-1234-6	2014	70	3	1405	1432			九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
337	Generic Constructions and Transformations of Decryption Consistent Encryption	M. Zhang, K. Morozov, and T. Takagi	IETE Journal of Research	doi:10.1080/03772063.2014.901480	2014	60	3	218	228			九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
338	Cheater Identifiable Secret Sharing Schemes via Multi-Receiver Authentication	R. Xu, K. Morozov, and T. Takagi	Proc. IWSEC 2014, LNCS	doi:10.1007/978-3-319-09843-2_6	2014	8639		72	87			九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
339	An Efficient Robust Secret Sharing Scheme with Optimal Cheater Resiliency	P. S. Roy, A. Adhikari, R. Xu, K. Morozov, and K. Sakurai	Proc. SPACE 2014, LNCS	doi: http://dx.doi.org/10.1007/978-3-319-12060-7_4, 47-58	2014	8804						九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
340	Code-Based Public-Key Encryption	K. Morozov	Mathematics for Industry	doi: 10.1007/978-4-431-55060-0_4	2014							九州大学	イノベーションユニット(IMI)	H26
341	東南アジア大都市におけるパラトランジットの日本における展開可能性に関する研究～バンコクのシーローレックを例に～	平林　由梨恵, 中村　文彦, 田中　伸治	第50回土木計画学研究発表・講演集		2014	68		IV-034				横浜国立大学		H26
342	大都市郊外交通空白地区における小型車両高頻度運行実験の評価に関する研究	平林　由梨恵, 中村　文彦, 田中　伸治, 有吉亮	土木学会論文集D3（土木計画学）		2014	71	5					横浜国立大学		H26
343	A Fast Computation of 3x3 Matrix Exponentials and its Application in CG	Matsushita, K.and Hamada, H	Journal of Information Processing		2014	23	2	171	175					H26
344	Connected components of regular fibers of differentiable maps, in "Topics on Real and Complex Singularities"	J. T. Hiratuka and O. Saeki	World Scientific 2014		2014			61	73			九州大学		H26
345	Thermally activated delayed fluorescence from pentacarbazorylbenzonitrile		Chemistry Letters									コニカミノルタ株式会社、九州大学	情報デバイスユニット	H28
346	Application of wide-energy-gap material of 3,4-di(9H-carbazol-9-yl) benzonitrile in organic light-emitting diodes		Thin Solid Film									株式会社ジャパンディスプレイ、保土谷化学工業株式会社、平田機工株式会社、九州大学	情報デバイスユニット	H28
347	Hydrogen Hypeを超えて一燃料電池に対する社会受容性の分析	永田晃也、小林俊哉、西釜義勝	研究・技術計画学会、第30回年次学術大会、一般講演要旨		10, 2015							九州大学	科学技術イノベーション政策ユニット	H27

348	社会を結ぶ統合プラットフォーム都市OS	松尾久人、安浦寛人	電子情報通信学会、信学技報 IN2015-66,MoNa2015-33(2015-11)		11. 2015							九州大学	拠点運営部門	H27
349	ハイプ・サイクルと双曲割引ーイノベーションの普及プロセスにおける課題を読み解く鍵	永田晃也	九州大学ビジネス・スクール編『新たな事業価値の創造』、QBS出版		2016年7月			47	67			九州大学	科学技術イノベーション政策ユニット	H28
350	共進化社会システム	永田晃也	FM福岡BBIQモーニング・ビジネススクール、2016年8月2日放送、QT PROモーニングビジネススクールWeb版									九州大学	科学技術イノベーション政策ユニット	H28
351	水素エネルギー技術の社会受容性に関する分析	西釜義勝、永田晃也	九州経済学会年報		2016		54	117	122			九州大学	科学技術イノベーション政策ユニット	H28
352	情報構造化環境プラットフォームROS-TMSとBig Sensor Boxの提案	倉爪 亮, ピョ ユンソク, 辻 徳生, 河村 晃宏	日本ロボット学会誌	10.7210/jrsj.35.346	2017	35	4	346	357			九州大学	5.1.3.2 CS②	H29
353	Feasibility study of IoRT platform "Big Sensor Box"	Ryo Kurazume, Yoonseok Pyo, Kazuto Nakashima, Tokuo Tsuji, Akihiro Kawamura	ICRA2017	10.1109/ICRA.2017.7989420	2017			3664	3671			九州大学	5.1.3.2 CS②	H29
354	Previewed Reality: Near-future perception system	Yuta Horikawa, Asuka Egashira, Kazuto Nakashima, Akihiro Kawamura, Ryo Kurazume	IROS 2017	10.1109/IROS.2017.8202181	2017			370	375			九州大学	5.1.3.2 CS②	H29
355	Near-infrared organic light-emitting diodes for biosening with high operating stability	Takahiko Yamanaka, Hajime Nakanotani, Shigeo Hara, Toru Hirohata and Chihaya Adachi	Applied Physics Express	http://dx.doi.org/10.1016/j.jlumin.2017.06.006	2017	10	7					浜松ホトニクス株式	CS②	H29
356	ソーシャル・キャピタル蓄積の観点からみた都市計画の評価	永田晃也、小林俊哉、西釜義勝、長谷川光一、諸賀加奈	研究・イノベーション学会第32回年次学術大会講演要旨集		2017			765	768			九州大学	CS⑥	H29
357	Transportation Sector and the Role of ICT for Sustainable Smart Cities in Asia	Kana Moroga and Akiya Nagata	The proceedings of the 16th International Conference of the Japan Economic Policy Association		2017							九州大学	CS⑥	H29
358	九州大学共進化社会システム・サイエンスカフェの展開	西釜義勝、小林俊哉	科学技術社会論学会第16回年次研究大会予稿集		2017			89	90			九州大学	CS⑥	H29
359	Model Predictive Control for EV Aggregators Participating in System Frequency Regulation Market	Sinan Cai, Ryuji Matsuhashi	IEEE Access	https://doi.org/10.1109/ACCESS.2021.3085345	2021/6/2	9		80763	86771	有	有	東京大学	en①	R3
360	Pilot Study on Intrusive and Non-intrusive Early Warning Systems for Thermal Discomfort Using Body Surface Temperature: Towards Co-existence of Energy Conservation and Thermal Comfort	Ziyang Wang, Ryuji Matsuhashi	Proceedings of International Conference on Applied Energy		2021/12/17					有	有	東京大学	en①	R3
361	再生可能エネルギーを用いた電力・水素複合エネルギーシステムの事業性評価	吉岡剛, 松橋 隆治	環境情報科学論文集	https://doi.org/10.11492/ceispapers.ceis35.0_155	2021/12/6	35		155	160	有		東京大学	en①	R3
362	電池シェアリングを活用した配電システムの設計に関する研究	松藤 圭亮, 松橋 隆治	エネルギー資源学会論文誌	https://doi.org/10.24778/jjser.42.6_413	2021/11/10	42	6	233	238	有		東京大学	en①	R3
363	再エネ導入拡大を考慮した需給運用および系統増強に関する協力ゲーム理論による分析	奥山 雄太, 松橋 隆治	エネルギー資源学会論文誌	https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjser/43/1/43_1/_article/-char/ja	2022/1/10	43	1	1	14	有		東京大学	en①	R3
364	Materials and Systems Design for Energy Conversion with CO2 Separation and Utilization using Chemical-Looping Technology	Junichiro Otomo	Journal of the Japan Petroleum Institute	https://doi.org/10.1627/jpi.65.1	2022/1/1	65	1	1	10	有		東京工業大学	en①	R3
365	Preparation of Model SOFCs with Proton-Conducting Electrolyte on Metal Support Using Pulse Laser Deposition	Katsuya Miyamoto, Tsutomu Kawabata, Yuya Tachikawa, Junko Matsuda, Shunsuke Taniguchi, Yoshio Matsuzaki, Akari Hayashi, Kazunari Sasaki	ECS Transactions	https://doi.org/10.1149/10301.2033ecst	2021/7	103	1	2033	2040	有		九州大学、東京ガス	en③	R3
366	Interpretable modeling for short- and medium-term electricity demand forecasting.	Hirose, K..	Frontiers in Energy Research	https://doi.org/10.3389/fenrg.2021.724780	2021/12	9		1	15	有		Kyushu University RIKEN	open access	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名：V3『持続的共進化地域創成拠点』（中核：九州大学）

⑪-3 その他著作物（総説、書籍など）

No	著作物の種別	論文表題	著者名	記載誌名	DOI	発行年月	巻	号	掲載ページ（始）	掲載ページ（終）	査読有無	国際共著	発表機関（参画機関のみ）	備考（課題番号等）	年度
1	書籍	Chapter 23: Electrochemical conversion of CO2 to carbon monoxide	Stephen Lyth	Carbon Dioxide Utilization: From Fundamentals to Production Processes Volume 2: Transformations		2019/10			53	86	無		Kyushu University	en④	R1
2	総説	固体高分子形燃料電池用電解質膜の技術開発の現状	西原正通	材料の科学と工学		Feb-21	58	1	2	4	無		九州大学	en④	R2
3	総説	第24回世界エネルギー会議における講演、パネル討論、分析とそこから得られる示唆について	松橋隆治	エネルギーと動力，春季号	なし	2020/5	―	294	83	92	無	無	東京大学	en①	R2
4	総説	環境ファイナンス関連規格の動向と今後の展望	松橋隆治	エネルギーと動力，秋季号	なし	2020/11	―	295	32	40	無	無	東京大学	en①	R2
5	その他	特集：プロトン伝導体の基礎研究開発状況「ランタン−タングステン系プロトン伝導体の輸送特性と高効率プロトン伝導性セラミック燃料電池の設計」	大友順一郎、小城　元、松尾拓紀	燃料電池	なし	2020/4	19	4	38	44	無	無	東京大学	en①	R2
6	書籍	最近の化学工学講習会67「進化する燃料電池・二次電池 ― 反応・構造・製造技術の基礎と未来社会を支える電池技術 ―」 化学工学会関東支部編、三恵社	大友順一郎（分担・共著）			2019/2							東京大学	en①	H30
7	総説	誰もが笑顔で移動できる世界を目指して ―Universal MaaSが拓く公共交通サービスの未来―	有吉 亮	土木学会誌		2020.5	105	5	28	29			横浜国立大学	mo②	R2
8	書籍	交通サービスの革新と都市交通計画	高見淳史，有吉亮，谷口守ら	日交研シリーズ		2018	A-718						横浜国立大学	mo②	H30
9	総説	地域の持続力を高める協働・共有型モビリティシステム―大都市郊外地域への展開を見据えて	有吉 亮	都市計画		2020.5	69	3	50	51			横浜国立大学	mo①	R2
10	総説	誰もが笑顔で移動できる世界を目指して	有吉 亮	建設機械		2020.11							横浜国立大学	mo①	R2
11		詳説 ROSロボットプログラミング −導入からSLAM・Gazebo・Moveitまで−	表 允晢，倉爪 亮	Kurazume Laboratory (出版者記号 9908736), ISBNコード：9784990873608		Nov-15							九州大学	A-1-③	H27
12	総説	“ “フレキソ印刷を用いた電子回路基板” 有機ELの製造技術”, プリンテッド・エレクトロニクスに向けた材料、作製プロセス技術の開発と最新事例, 2017/10/31	浦野　雅明	ISBN：978-86104-681-0									株式会社コムラテック	CS②	H29
13	総説	カーボンニュートラル社会の実現とスマートグリッド	松橋隆治	スマートグリッド	DOIはなく、雑誌の掲載URLは下記の通り https://www.taigashuppan.co.jp/products/detail/558	202201	63	2			無		東京大学	en①	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名：V3『持続的共進化地域創成拠点』（中核：九州大学）

⑫-1 発表（口頭発表）

No	発表者	タイトル	学会名等	場所	年月日	発表機関（参画機関のみ）	備考（課題番号等）	年度
1	真鍋大道、中里佳樹、奥村真己人、松田潤子、野田志云、林灯、佐々木一成	PEFC電極触媒層の3次元構造観察手法に関する研究	電気化学会第85回大会	東京理科大学葛飾キャンパス（東京都葛飾区）	2018/3/9	九州大学	EN④	H29
2	二村 聖太郎、村本 朱、立川雄也、松田 潤子、白鳥 祐介、谷口 俊輔、佐々木 一成	高燃料利用率発電用SOFCアノード材料に関する研究	電気化学会第85回大会	東京理科大学葛飾キャンパス（東京都葛飾区）	2018/3/9	九州大学	EN③	H29
3	馮世演, 佐々木一成, 西原正通, 近藤章一, 悴山高大, 中澤太一, 菊池隆正	電荷移動錯体構造を持つ高分子電解質膜の開発および燃料電池へ応用	第66回高分子年次大会	幕張メッセ	2017/5/31	九州大学, 日産化学工業	EN④	H29
4	Martin Keller	“CO2 Activation By Methane in a Dual-Bed Configuration Via Methane Cracking and Iron Oxide Lattice Oxygen Transport – Concept and Materials Development”	AIChE 2017 International Congress on Energy Advanced Fuel Cell, Hydrogen Generation & Storage Technologies	Minneapolis Convention Center, USA	2017/10/31	東京大学	EN③	H29
5	小城元	プロトン伝導性タングステン酸ランタンを固体電解質に用いた電極支持型燃料電池セルの作製と評価」	第26回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区北丸公園2-1）	2017/12/15	東京大学 東京ガス	EN③	H29
6	Martin Keller	CH4 decomposition on supported iron particles in a two-reactor process with continuous regeneration （U.Tokyo）〇（海）Keller Martin,（Tokyo Gas）（正）Matsuzaki Yoshio, （U.Tokyo）（正）Otomo Junichiro SY-76.エネルギー部会シンポジウム	化学工学会第49回秋季大会	名古屋大学 東山キャンパス（〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町）	2017/9/20	東京大学 東京ガス	EN③	H29
7	小城元	「プロトン伝導型中温作動燃料電池の作製と電極反応特性」	化学工学会第49回秋季大会	名古屋大学 東山キャンパス（〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町）	2017/9/20	東京大学 東京ガス	EN③	H29
8	大友順一郎	「社会普及に向けた固体酸化物形燃料電池の性能および経済評価と技術シナリオの構築」	化学工学会東京大会2017	早稲田大学西早稲田キャンパス（〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1）	2017/8/10	東京大学	EN③	H29
9	小城元	「タングステン酸ランタンの物性評価及び燃料電池セル化の検討」	化学工学会東京大会2017	早稲田大学西早稲田キャンパス（〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1）	2017/8/9	東京大学 東京ガス	EN③	H29
10	小城元	「プロトン伝導性タングステン酸ランタンを固体電解質に用いた電極支持型燃料電池セルの作製と評価」 第26回SOFC研究発表会 主催: SOFC研究会 科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区北の丸公園2-1）	第26回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区北丸公園2-1）	2017/12/14	東京大学 東京ガス	EN③	H29
11	小城元	「電解質の輸送特性に基づくプロトン伝導性固体酸化物形燃料電池の高効率化の検討」	電気化学会第85回大会	東京理科大学葛飾キャンパス	2018/3/9	東京大学 東京ガス	EN③	H29
12	Masaru NAGAMINE, Zhiyun NODA, Hiromichi MANABE, Junko MATSUDA, Akari HAYASHI, Kazunari	Oxide-Core Pt-Shell Electrocatalysts for PEFCs: Photochemical Preparation Using SnO2 Nanoparticles	AiMES2018	Moon Palace Resort, Cancun, Mexico	2018/10/3	九州大学	en④	H30

13	Daiki KAWACHINO, Masahiro YASUTAKE, Hirotoshi ODOI, Zhiyun NODA, Junko MATSUDA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI	Carbon-Free All-in-One Electrode Using Porous Ti Sheet for PEFCs	AiMES2018	Moon Palace Resort, Cancun, Mexico	2018/10/3	九州大学	en④	H30
14	村本朱、菊池勇大、立川雄也、白鳥祐介、谷口俊輔、佐々木一成	SOFC燃料中不純物の熱力学平衡許容濃度の検討	第27回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール, 東京都千代田区	2018/12/13	九州大学	en③	H30
15	瀧野恵介、立川雄也、白鳥祐介、谷口俊輔、佐々木一成	シミュレーションによるSOFCセル特性の可視化に関する研究	第27回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール, 東京都千代田区	2018/12/14	九州大学	en③	H30
16	牛島怜、岩永佳大、立川雄也、白鳥祐介、谷口俊輔、佐々木一成	SOFCの緩和時間分布と各種依存性に関する研究	電気化学会第86回大会	京都大学, 京都府京都市	2019/3/27	九州大学	en③	H30
17	森滉稀、瀧野恵介、立川雄也、白鳥祐介、谷口俊輔、佐々木一成	SOFCセルの性能評価とシミュレーションによる内部分布の可視化	電気化学会第86回大会	京都大学, 京都府京都市	2019/3/27	九州大学	en③	H30
18	殿迫徹也、川内野大樹、野田志云、松田潤子、林灯、佐々木一成	Pt-酸化物ナノコンポジットPEFC電極触媒の研究	電気化学会第86回大会	京都大学, 京都府京都市	2019/3/27	九州大学	en④	H30
19	吉積翼、長嶺優、野田志云、松田潤子、林灯、佐々木一成	SnO2ナノ粒子担持PEFC電極触媒の研究	電気化学会第86回大会	京都大学, 京都府京都市	2019/3/27	九州大学	en④	H30
20	M. Nishihara,	Development of novel polymer electrolytes for hydrogen energy system	MIRAI Sustainability Scientific Session,	Sophia University, Tokyo, Japan	Oct. 10, 2018	九州大学	en④	H30
21	M. Nishihara	Fuel Cell Ionomers and Membranes	1st Sheffield-Kyushu Workshop on Electrochemical Energy Conversion	Sheffield University, Sheffield, UK,	July. 4th, 2018	九州大学	en④	H30
22	Yoshio Matsuzaki, Yuya Tachikawa, Koki Sato, Takaaki Somekawa, Junichiro Otomo, Hiroshige Matsumoto, Shunsuke Taniguchi,	Modified energy efficiencies of proton-conducting SOFCs with partial conductions of oxide -ions and holes	13th EUROPEAN SOFC & SOE FORUM 2018	KKL, Lucerne Switzerland	3-6 July 2018	九州大学、東京ガス	en③	H30
23	佐藤洸基, 飯沼広基, 松崎良雄, 馬場好孝, 立川雄也松本広重, 谷口俊輔, 佐々木一成	コンビナトリアル化学を用いたdoped-BaZrxCe1-xO3系電解質材料のCO2耐性評価	電気化学会第86回大会	京都大学, 京都府京都市	43551	九州大学、東京ガス	en③	H30
24	Stephen LYTH	Ionomer Membranes for Electrochemical Energy Conversion	4DMS	Yamagata University, Yonezawa, Japan	2018/9/29	九州大学	en④	H30
25	George HARRINGTON, Lizin SUN, Bilge YILDIZ, Kazunari SASAKI, Nicola PERRY, Harry TULLER	Nanoionics: Modifying ionic conductivity through strain engineering	Electroceramics XVI	Hasselt, Belgium	2018/7/11	九州大学	en③	H30
26	George HARRINGTON, Dmitri KALAEV, Bilge YILDIZ, Kazunari SASAKI, Nicola PERRY, Harry TULLER	Tailoring mixed-ionic electronic conductivity in PCO/STO heterostructures	E-MRS Spring Meeting	Strasbourg, France	2018/6/20	九州大学	en③	H30

27	George HARRINGTON, Lizin SUN, Bilge YILDIZ, Kazunari SASAKI, Nicola PERRY, Harry TULLER	The interplay of strain and defect association on the conductivity rare earth substituted CeO2	233rd ECS Meeting	Seattle, USA	2018/5/14	九州大学	en③	H30
28	Hiroki IINUMA, Yoshio MATSUZAKI, Koki SATO, Yoshitaka BABA, Yuya TACHIKAWA, Hironori NAKAJIMA, Shunsuke TANIGUCHI, Junichiro OTOMO	Conceptual Design for Significant Improvement in Efficiency of Long-Term Energy Storage with Reversible Solid Oxide Cells(R-SOCs),	APCChE2019	Sapporo, Japan	2019/9/23	東京ガス、九州大学、東京大学	en③	R1
29	Y. Matsuzaki, Y. Tachikaw, Y. Baba, K. Sato, H. Iinuma, G. Kojo, H. Matsuo, J.	Leakage Current and Chemical Potential Profile in Proton-Conducting Bi-Layered	16th International symposium on Solid Oxide Fuel Cells (SOFC-XVI)	Kyoto, Japan	2019/9/8	東京ガス、九州大学、東京大学	en③	R1
30	石橋、二村、立川、松田、白鳥、谷口、佐々木	Ni合金を用いた高耐久性SOFCアノードの開発	第28回SOFC研究発表会	東京、日本	2019/12/12-13	九州大学	en③	R1
31	立川、松崎、川端、馬場、佐藤、飯沼、福永、谷口、佐々木	プロトン伝導性セルを用いたバイオガス改良システムの熱物質収支解析	第28回SOFC研究発表会	東京、日本	2019/12/12-13	九州大学、東京ガス	en③	R1
32	二村、村本、立川、松田、Lyth、白鳥、谷口、佐々木	SOFC Anodes Impregnated with Noble Metal Catalyst Nanoparticles for High Fuel Utilization	SOFC-XVI	Kyoto, Japan	2019/9/8-13	九州大学	en④	R1
33	石橋、二村、立川、松田、白鳥、谷口、佐々木	Alternative Ni Alloy Cermet Anode Materials for SOFCs	SOFC-XVI	Kyoto, Japan	2019/9/8-13	九州大学	en③	R1
34	真鍋、中里、奥村、野田、松田、林、佐々木	General Procedure for 3-Dimensional Nanostructure Analysis of PEFC Electrocatalyst Layers	236th ECS Meeting	Atlanta, USA	2019/10/13-17	九州大学	en④	R1
35	安武、川内野、野田、松田、伊藤、林、佐々木	GDL-integrated Electrodes with Ir-based Electrocatalysts for Polymer Electrolyte Membrane Water Electrolysis	236th ECS Meeting	Atlanta, USA	2019/10/13-17	九州大学	en②	R1
36	池原、安武、野田、松田、西原、林、佐々木	多孔金属担体を用いた固体高分子形燃料電池の研究	電気化学会第87回大会	愛知、日本	2020/3/17-19	九州大学	en④	R1
37	松本、石橋、立川、松田、谷口、佐々木	Ni合金アノードを用いたSOFCの電気化学特性	電気化学会第87回大会	愛知、日本	2020/3/17-19	九州大学	en③	R1
38	宮元、川畑、立川、松田、谷口、松崎、佐々木	PLD法を用いた金属支持型SOFCモデルセルの作製と評価	電気化学会第87回大会	愛知、日本	2020/3/17-19	九州大学、東京ガス	en③	R1
39	夏越、二村、宮良、立川、松田、谷口、佐々木	固体酸化物形燃料電池の可逆作動性に関する研究	電気化学会第87回大会	愛知、日本	2020/3/17-19	九州大学	en③	R1
40	Stephen Lyth	Advanced Characterization of Fe-N-C Electrocatalysts for Fuel Cells	The 60th Battery Symposium of Japan	Kyoto, Japan	2019/11/14	九州大学	en④	R1
41	Stephen Lyth	Nanomaterials for Hydrogen Energy Systems	First UAE-Japan Workshop on Hydrogen	Khalifa University, Abu Dhabi, UAE	2019/12/15	九州大学	en④	R1
42	Stephen Lyth	Insights into the Pyrolysis of Fe-N-C Electrocatalysts using High Temperature XAFS	European Fuel Cell and Electrolysis Discussions (EFCD)	Montpellier, France	2019/9/17	九州大学	en④	R1
43	Stephen Lyth	Advanced Characterization of Fe-N-C Electrocatalysts for Fuel Cells	Royal Society of Chemistry Tokyo International Conference	Tokyo, Japan	2019/9/4	九州大学	en④	R1

44	G. Harrington, S. Grieshammer, S. Kim, L. Sun, B. Yildiz, K. Sasaki, N. Perry. H. Tullar	"Conductivity in strained rare-earth substituted ceria: Migration direction and defect interactions"	22st International Conference of Solid State Ionics	PyeongChang, Korea,	2019/6/17	Kyusyu University, MIT, U Illinois	en③	R1
45	河井 諒介, 中島 裕典, 伊藤 衡平	セル構成材料の力学物性や表面粗さが水素リークに及ぼす影響の解析	動力エネルギー技術シンポジウム	東京、日本	2019年6月	九州大学	en④	R1
46	森山 淳司, 中島 裕典, 伊藤 衡平	固体高分子型水電解の限界電流密度の予測ー物質輸送の視点からー	電池討論会	京都、日本	2019/11/1	九州大学	en②	R1
47	小濱 颯太, 宮本 羽留佳, 西藤 知子, 中島 裕典, 伊藤 衡平	固体高分子型水電解の限界電流密度の予測ー物質輸送の視点からー、電池討論会	電池討論会	京都、日本	2019/11/1	九州大学	en②	R1
48	太田黒 晃一, 中島 裕典, 伊藤 衡平	集電体のぬれ性がクロスオーバーに及ぼす影響 ――毛管圧と飽和度の関係に着目した解析―― 、	電池討論会	京都、日本	2019/11/1	九州大学	en②	R1
49	B. Hwang, M. Nishihara, K. Sasaki, A. Hayashi, S. Kondo, T. Kikuchi	Evaluation of silicone contain charge-transfer polymer for PEFC application	第45回固体イオニクス討論会	九州大学、日本	2019/11/27	九州大学、日産化学	en④	R1
50	B. Hwang, M. Nishihara, K. Sasaki, A. Hayashi, S. Kondo, T. Kikuchi	Effect of silicone-containing Charge-Transfer polymer blend membrane for PEFC application	PRiME2020	オンライン	2020, Oct. 4-Oct. 9	九州大学	en④	R2
51	M. Nishihara, S. Feng, L. Christiani, B. Hwang, K. Sasaki, A. Hayashi, S. Kondo, T. Kikuchi	Heat-treated Charge-Transfer polymer blend membrane for application in polymer electrolyte fuel cells	PRiME2020	オンライン	2020, Oct. 4-Oct. 9	九州大学	en④	R2
52	西原正通･ファン ビョンチャン･佐々木一成･林灯･近藤章一･菊池隆正	シリコーン系高分子を用いた燃料電池用電解質膜への応用	第69回高分子討論会	オンライン	2020/9/16	九州大学	en④	R2
53	西原正通･馮世演･リアーナクリスティアニ･ファン ビョンチャン･佐々木一成･近藤章一･菊池隆正	ポリマーブレンド型電解質膜への熱処理の効果	第69回高分子討論会	オンライン	2020/9/17	九州大学	en④	R2
54	夏越 克哉 二村 聖太郎 宮良 健吾 立川 雄也 松田 潤子 谷口 俊輔 佐々木 一成	Solid Oxide Reversible Cells Using Redox-Tolerant Fuel Electrodes	PRiME2020	オンライン	2020, Oct. 4-Oct. 9	九州大学	en③	R2
55	牛島 怜 立川 雄也 白鳥 祐介 谷口 俊輔 佐々木 一成	SOFC Analysis through the Distribution of Relaxation Times for Various Preparation and Operation Parameters	PRiME2020	オンライン	2020, Oct. 4-Oct. 9	九州大学	en③	R2
56	宮元 克哉 川畑 勉 立川 雄也 松田 潤子 谷口 俊輔 松崎 良雄 林 灯 佐々木 一成	Preparation of Model SOFCs with Proton-Conducting Electrolyte on Metal Support Using Pulse Laser Deposition	PRiME2020	オンライン	2020, Oct. 4-Oct. 9	九州大学	en③	R2
57	松本 滉平 立川 雄也 松田 潤子 谷口 俊輔 佐々木 一成	Electrochemical Characteristics of Ni-Co Alloy Cermet Anodes for SOFCs	PRiME2020	オンライン	2020, Oct. 4-Oct. 9	九州大学	en③	R2
58	森 滉稀 立川 雄也 白鳥 祐介 谷口 俊輔 佐々木 一成	Simulation and Visualization of Internal Heat and Mass Flow Distribution of SOFCs	PRiME2020	オンライン	2020, Oct. 4-Oct. 9	九州大学	en③	R2

59	森 滉稀 立川 雄也 白鳥 祐介 谷口 俊輔 佐々木 一成	SOFCの内部分布可視化シミュレーション手法に関する研究	第29回SOFC研究発表会	オンライン	2020, Dec. 18	九州大学	en③	R2
60	牛島 怜 立川 雄也 白鳥 祐介 谷口 俊輔 佐々木 一成	SOFCの緩和時間分布と各種作製条件・作動条件依存性に関する研究	第29回SOFC研究発表会	オンライン	2020, Dec. 18	九州大学	en③	R2
61	福元 拓朗 森 滉稀 立川 雄也 松田 潤子 谷口 俊輔 佐々木 一成	固体酸化物形水蒸気電解セルの交換流密度に関する研究	電気化学会第88回大会	オンライン	2021, Mar. 22-24	九州大学	en③	R2
62	井上 裕介 野田 志云 松田 潤子 西原 正通 林 灯 佐々木 一成	SnO2を担体に用いたPEFC電極触媒セルの開発	電気化学会第88回大会	オンライン	2021, Mar. 22-24	九州大学	en④	R2
63	遠藤 直希 牛島 怜 夏越 克哉 立川 雄也 松田 潤子 谷口 俊輔 佐々木 一成	固体酸化物形水蒸気電解セルのDRT解析に関する研究	電気化学会第88回大会	オンライン	2021, Mar. 22-24	九州大学	en③	R2
64	George Harrington	New insights into strain-modified oxygen mobility in rare-earth substituted ceria: migration direction and defect association	Electroceramics XVII	Darmstadt, Germany (オンライン)	2020, Aug. 24-Aug. 28	九州大学	en③	R2
65	George Harrington	Strain-modified oxygen transport in rare-earth substituted ceria: migration direction and defect association	ECS PRIME2020	Honolulu, USA (オンライン)	2020, Oct. 4-Oct. 9	九州大学	en③	R2
66	S. Lyth,	Electrochemical CO2 Conversion on Nitrogen-Doped Carbon,	Carbon Dioxide Catalysis2016	Albufeira, Portugal,	Apr. 19-22, 2016.	九州大学	EN④	H28
67	T. Fujigaya,	Molecular Requirement for the Formation of Cross-linked Polymer on Single-walled Carbon Nanotubes using interior of surfactant micelle,	第65回 高分子学会年次大会,	神戸国際会議場・展示場, 兵庫,	May 25-27, 2016	九州大学	EN④	H28
68	松崎良雄, 立川雄也, 染川貴亮, 佐藤洸基, 松本広重, 谷口俊輔, 佐々木一成,	70%を超える革新的高効率発電に向けた電気化学多段酸化SOFCの研究,	第23回燃料電池シンポジウム,	船堀タワーホール, 東京,	May 26-27, 2016.	九州大学、東京ガ	EN③	H28
69	立川雄也, 杉浦哲平, 志賀元明, 千代竜佑, 佐々木一成,	統計情報に基づく水素ステーションの最適配置解析,	第23回燃料電池シンポジウム,	船堀タワーホール, 東京,	May 26-27, 2016.	九州大学	EN②	H28
70	松田潤子, 川崎達也, 川畑勉, 谷口俊輔, 佐々木一成,	固体酸化物形燃料電池アノードの酸化・還元反応その場TEM観察,	日本顕微鏡学会第72回学術講演会,	仙台国際センター, 仙台,	June 14-16, 2016.	九州大学	EN③	H28
71	X. Shen, K. Sasaki,	Redox-Stable SOFC Anode Materials based on La-doped SrTO3 Oxide with Impregnated Catalysts,	12th European SOFC & SOE Forum 2016,	KKL Lucerne, Luzern, Switzerland,	Jul. 5-8, 2016.	九州大学	EN③	H28
72	H. Nakajima, T. Kitahara, S. Ikeda,	Fuel Distributions in Anode-Supported Honeycomb Solid Oxide Fuel Cells,	12th EUROPEAN SOFC & SOE FORUM 2016,	KKL Lucerne, Lucerne, Switzerland,	Jul. 5-8, 2016.	九州大学	EN③	H28
73	S. Lyth,	Electrochemical CO2 Conversion on Nitrogen-Doped Carbons,	Carbon Capture and Storage Faraday Discussion,	Sheffield, UK,	Jul. 18-20, 2016	九州大学	EN④	H28
74	S. Lyth,	Heteroatom-doped Carbons for Electrochemical Energy Conversion,	Scottish Hydrogen & Fuel Cell Association Conference,	St Andrews, UK,	Aug.31-Sept.1, 2016	九州大学	EN④	H28
75	Y. Kawabata, Y. Matsuzaki, Y. Tachikawa, S. Taniguchi, K. Sasaki,	Performance Analysis of SOFC Hybrid Power Generation Systems,	2016 Asian SOFC Symposium,	The University of Tokyo, Tokyo, Japan,	Sept. 4-7, 2016.	九州大学、東京ガ	EN③	H28
76	S. Lyth,	Heteroatom-doped Carbons for Electrochemical Energy Conversion,	International Symposium on Electrocatalysis,	Shonan Village, Kanagawa, Japan,	Sept. 11-14, 2016	九州大学	EN④	H28

77	立川雄也, 松崎良雄, 染川貴亮, 谷口俊輔, 佐々木一成,	燃料電池多段化による高効率化設計,	日本機械学会2016年度年次大会,	九州大学, 福岡,	Sept. 11-14, 2016.	九州大学、東京ガ	EN③	H28
78	M. Iwami, S. Matsumoto, Z. Noda, J. Matsuda, A.Hayashi, K. Sasaki,	Core-Shell Support for PEFCElectrocatalysts : A Case Study withDoped-SrTiO3,	PRiME2016,	Hilton Hawaiian Village & Hawaii Convention Center, Hawaii, USA,	Oct. 2-7, 2016.	九州大学	EN④	H28
79	M. Okumura, Z. Noda, J. Matsuda, M. Nishihara, Y. Tachikawa, A. Hayashi, K. Sasaki,	An FIB-SEM Study on Correlations between PEFC Electrocatalyst Microstructure and Cell Performance,	PRiME2017,	Hilton Hawaiian Village & Hawaii Convention Center, Hawaii, USA,	Oct. 2-7, 2017.	九州大学	EN④	H28
80	J. Matsuda, T. Kawasaki, T. Kawabata, S. Taniguchi, K. Sasaki,	In situ TEM observation on redox cycling of SOFC anode,	PRiME2018,	Hilton Hawaiian Village & Hawaii Convention Center, Hawaii, USA,	Oct. 2-7, 2018.	九州大学	EN③	H28
81	S. Lyth,	Graphene Oxide for Proton Exchange Membrane and Anion Exchange Membrane Fuel Cells,	PRiME2019,	Hilton Hawaiian Village & Hawaii Convention Center, Hawaii, USA,	Oct. 2-7, 2019.	九州大学	EN④	H28
82	S. Lyth,	Gram-scale Synthesis of Nitrogen-doped Carbon Foams as Template-Free, Metal-Free, Non-Precious Electrocatalysts for Oxygen Reduction and CO2 Conversion,	PRiME2020,	Hilton Hawaiian Village & Hawaii Convention Center, Hawaii, USA,	Oct. 2-7, 2020.	九州大学	EN④	H28
83	Y. Tachikawa, Y. Matsuzaki, T. Somekawa, S. Taniguchi, K. Sasaki,	System Design Optimization with Process and Heat Balance Analysis to Enhance SOFC Performance,	PRiME2021,	Hilton Hawaiian Village & Hawaii Convention Center, Hawaii, USA,	Oct. 2-7, 2021.	九州大学、東京ガ	EN③	H28
84	L. Christiani, S. Feng, K. Sasaki, M. Nishihara,	The Development and Characterization of Aliphatic Sulfonated Polyimide Charged-Transfer Complex Hybrid Film for High Temperature Fuel Cell,	PRiME2022,	Hilton Hawaiian Village & Hawaii Convention Center, Hawaii, USA,	Oct. 2-7, 2022.	九州大学	EN④	H28
85	S. Feng, L. Christiani, K. Sasaki, M. Nishihara,	Development of a novel sulfated poly (ether sulfone) with aliphatic chain for High Temperature Fuel Cell,	PRiME2023,	Hilton Hawaiian Village & Hawaii Convention Center, Hawaii, USA,	Oct. 2-7, 2023.	九州大学	EN④	H28
86	奥村真己人, 野田志云, 松田潤, 西原正通, 林灯, 佐々木一成,	PEFC電極触媒層の3D微細構造と電性能の相関に関する研究,	第36回水素エネルギー協会大会,	タワーホール船堀小ホール, 東京,	Nov. 28-29, 2016.	九州大学	EN④	H28
87	立川雄也, 杉浦哲平, 志賀元明, 千代竜佑, 佐々木一成,	水素ステーション最適配置シミュレータの開発	第37回水素エネルギー協会大会,	タワーホール船堀小ホール, 東京,	Nov. 28-29, 2017.	九州大学	EN②	H28
88	染川貴亮, 松崎良雄, 立川雄也, 松本広重, 谷口俊輔, 佐々木一成,	SOFC高効率化に向けたBa(Zr,Ce)O3系プロトン伝導電解質の化学安定性と導電特性の研究	第42回固体イオニクス討論会,	名古屋国際会議場, 愛知,	Dec. 5-7, 2016.	九州大学、東京ガ	EN③	H28
89	S. Lyth,	Heteroatom-doped Carbons for Hydrogen and Fuel Cell Applications in Japan,	H2FC Supergen,	Ulster University, Belfast, UK,	Dec 12-14, 2016	九州大学	EN④	H28
90	L. Christiani, S. Feng, K. Sasaki, M. Nishihara,	The Effect of Aliphatic unit in Sulfonated Polyimide CT Complex Hybrid Films for High Temperature Fuel Cell,	IPC2016,	Fukuoka Convention Center, Fukuoka, Japan,	Dec. 14-16, 2016.	九州大学	EN④	H28
91	二村聖太郎, 沈雪松, 松田潤子, 立川雄也, 白鳥祐介, 谷口俊輔, 佐々木一成,	高燃料利用率発電用のSOFCアノード材料に関する研究,	第25回SOFC研究発表会,	科学技術館サイエンスホール, 東京,	Dec. 15-16, 2016.	九州大学	EN③	H28
92	菊池勇大, 松田潤子, 立川雄也, 白鳥祐介, 谷口俊輔, 佐々木一成,	SOFCの燃料不純物による性能劣化とインピーダンス測定の相関性に関する研究,	第26回SOFC研究発表会,	科学技術館サイエンスホール, 東京,	Dec. 15-16, 2017.	九州大学	EN③	H28

93	松崎良雄, 立川雄也, 川端康晴, 染川貴亮, 佐藤洸基, 谷口俊輔, 佐々木一成,	メタン燃料SOFCによる 低炭素発電のフィジビリティ,	第27回SOFC研究発表会,	科学技術館サイエンスホール, 東京,	Dec. 15-16, 2018.	九州大学、東京ガ	EN③	H28
94	M. Nishihara,	Simple functionalization of polymeric materials by charge-transfer interaction -Method and fuel cell application-,	GREEN2016,	GIS Taipei Tech Convention Center, Taipei, Taiwan,	Dec. 23-25, 2016.	九州大学	EN④	H28
95	S. Lyth,	Novel Membrane Materials for Electrochemical Energy Conversion and Gas Separation, Membrane Science for Gas Separation,	Kyushu University Energy Week 2017,	Kyushu University, Fukuoka, Japan,	Jan. 30-Feb. 3, 2017.	九州大学	EN④	H28
96	Y. Tachikawa, Y, Matsuzaki, Y. Kawabata, S. Taniguchi, K. Sasaki, .	Electric power generation method using fuel cells for low carbon emission,	The 97th CSJ Annual Meeting,	Hiyoshi Campus, Keio University, Yokohama, Japan,	Mar. 16-19, 2017	九州大学、東京ガ	EN③	H28
97	白石智也, .	化学修飾法に基づいた修飾構造設計によるカーボンナノチューブの近赤外発光制御,	日本化学会 第97春季年会,	慶應義塾大学日吉キャンパス, 神奈川,	Mar. 16-19, 2017	九州大学	EN④	H28
98	川内野大樹, 野田志云, 中里佳樹, 奥村真己人, 松田潤子, 林灯, 佐々木一成,	Ti系多孔体を担体とした新規PEFCセルの開発,	電気化学会第84回大会,	首都大学東京南大沢キャンパス, 東京,	Mar. 25-27, 2017.	九州大学	EN④	H28
99	韓自依,	カーボン担体がポリベンズイミダゾール系アニオン電解質の安定性に及ぼす影響	電気化学会第85回大会,	首都大学東京南大沢キャンパス, 東京,	Mar. 25-27, 2018.	九州大学	EN④	H28
100	立川雄也, 松崎良雄, 川端康晴, 染川貴亮, 佐藤洸基, 谷口俊輔, 佐々木一成,	SOFCでの高性能発電における燃料種の影響と低炭素化	電気化学会第86回大会,	首都大学東京南大沢キャンパス, 東京,	Mar. 25-27, 2019.	九州大学、東京ガ	EN③	H28
101	Matsuzaki Y. , Tachikawa Y. , Hatae T. , Matsumoto H., Taniguchi S., Sasaki K.,	A Parametric Study of SOFC Performances with Multi-Stage Electrochemical Oxidation for Enhancement of Electric Efficiency,	The ECS Conference on Electrochemical Energy Conversion & Storage with SOFCXIV,	Glasgow, Scotland,	July 26-31, 2015.	東京ガス(株), 九州大学	EN③	H27
102	Tachikawa Y., Matsuzaki Y., Hatae T., Taniguchi S., Sasaki K.,	Process analysis for achieving highly enhanced total efficiency on multi-stage fuel supplied SOFC system,	The ECS Conference on Electrochemical Energy Conversion & Storage with SOFC-XIV,	Glasgow, Scotland,	July 26-31, 2015.	九州大学、東京ガス(株)	EN③	H27
103	Tachikawa Y., Matsuzaki Y., Hatae T., Taniguchi S., Sasaki K.,	Visualization of SOFC anode by dual imaging method using infrared and visible light cameras	The ECS Conference on Electrochemical Energy Conversion & Storage with SOFC-XIV,	Glasgow, Scotland,	July 26-31, 2015.	九州大学	EN③	H27
104	Nishihara M.,	Cross-linked CT complex polymer electrolyte membranes for high-temperate PEFC,	MIT-KU joint workshop,	Kyushu University, Fukuoka, Japan,	10 August 2015.	九州大学	EN④	H27
105	Tachikawa Y., Matsuzaki Y., Hatae T., Taniguchi S., Sasaki K.,	Effect of Offgas Recycle on Multi-Stage SOFC System,	Microgen IV,	東京、	Oct 28-30, 2015.	九州大学、東京ガス(株)	EN③	H27
106	立川雄也、佐々木一成、杉浦哲平、志賀元明、千代竜佑	FCV 普及予測に基づく水素ステーション最適配置の数値解析,	第35回水素エネルギー協会大会,	東京、	Dec 3-4, 2015.	九州大学	EN②	H27
107	Somekawa T., Matsuzaki Y., Tachikawa Y., Taniguchi T., Sasaki K.,	A study on solid state reaction at electrode interface for high efficiency SOFC cells,	2015MRS Fall Meeting & Exhibit,	Boston, USA,	Nov. 29-Dec. 4, 2015.	東京ガス(株), 九州大学	EN③	H27
108	松崎良雄, 立川雄也, 波多江徹, 松本広重, 谷口俊輔, 佐々木一成,	高効率化に向けた電気化学多段酸化SOFCの構成パラメータと発電効率(2),	第24回SOFC研究発表会,	東京,	Dec 16-18, 2015.	東京ガス(株), 九州大学	EN③	H27
109	川崎達也, 杉本遵吉, 立川雄也, 白鳥祐介, 谷口俊輔, 佐々木一成,	SOFCの高加湿条件下におけるNiアノードの酸化劣化に関する研究,	第24回SOFC研究発表会、	東京,	Dec 16-18, 2015.	九州大学	EN③	H27

110	立川雄也, 松崎良雄, 染川貴亮, 谷口俊輔, 佐々木一成,	プロセス解析による燃料電池システム設計の性能への影響の定量化,	電気化学会第83回大会,	大阪,	Mar. 29-31, 2016.	九州大学、東京ガス(株)	EN③	H27
111	染川貴亮, 松崎良雄, 立川雄也,松本広重, 谷口俊輔, 佐々木一成,	SOFC高効率化に向けたBa(Zr,Ce)O3系プロトン伝導電解質の導電特性の研究	電気化学会第83回大会,	大阪,	Mar. 29-31, 2016.	東京ガス(株)、九州大学	EN③	H27
112	林灯,北村晶彦,野田志云, 佐々木一成,	PEFCの作動条件とカソード触媒層劣化の相関性検討,	電気化学会第83回大会,	大阪,	Mar. 29-31, 2016.	九州大学	EN④	H27
113	Kazunari SASAKI, Zhiyun NODA, Takuya TSUKATSUNE, Takahiro HIGASHI, Yohei NAGAMATSU, Dai HORIGUCHI, Stephen M. LYTH and	"Electrocatalyst Support Durability"	225th ECS Meeting,	Hilton Orland Bonnet Creek (Orland, FL, USA),	May 11-15, 2014. (Oral (tutorial): May 12, 2014)	九州大学	EN④	H26
114	Akari HAYASHI, Xiaojing ZHAO, and Kazunari SASAKI	"In Situ STEM Observation of Pt Nanoparticles on Carbon Surface in the Air Condition."	226th ECS Meeting,	Hilton Orland Bonnet Creek (Orland, FL, USA),	May 11-15, 2014. (Oral (tutorial): May 12, 2015)	九州大学	EN④	H26
115	西原正通、リアーナ･クリスティアニ、佐々木一成	"電荷移動錯体高分子複合膜の高分子電解質膜としての応用",	第63回高分子年次大会、	名古屋国際会議場,	2014年5月28日-30日.	九州大学	EN④	H26
116	Kazunari SASAKI	"NEXT-FC: A Challenge of Next-Generation Fuel Cell Research Center for Tight Industry-academia Collaborations."	11th EUROPEAN SOFC & SOE FORUM 2014,	Kultur- und Kongresszentrum Luzern (Lucerne, Switzerland),	July 1-4, 2014. (Oral: July 2, 2014)	九州大学	EN③	H26
117	Stephen M. LYTH, Jianfeng LIU, Thomas BAYER, Kazunari SASAKI	"Nitrogen-Doped Graphene Foam as a Non-Precious Oxygen Reduction Catalyst in both Acid and Alkaline Media."	IUMRS-ICA2014,	Fukuoka University (Fukuoka, Japan),	August 24-30, 2014. (Oral: August 25, 2014)	九州大学	EN④	H26
118	Jianfeng LIU, Kazunari SASAKI, Stephen M. LYTH	"Platinum-decorated Graphene Foam as a Cathode Electrocatalyst."	IUMRS-ICA2015,	Fukuoka University (Fukuoka, Japan),	August 24-30, 2014. (Oral: August 25, 2015)	九州大学	EN④	H26
119	Liana CHRISTIANI, Kazunari SASAKI, Masamichi NISHIHARA	"Development and Evaluation of Modified Sulfonated Polyimide Charge-Transfer Complex Membrane for PEFC Application."	IUMRS-ICA2016,	Fukuoka University (Fukuoka, Japan),	August 24-30, 2014. (Oral: August 25, 2016)	九州大学	EN④	H26
120	Thomas BAYER, Sean R. BISHOP, Kazunari SASAKI, Stephen M. LYTH	"Graphene Oxide Membranes Fuel Cells: New Ionic Conductors."	IUMRS-ICA2017,	Fukuoka University (Fukuoka, Japan),	August 24-30, 2014. (Oral: August 25, 2017)	九州大学	EN④	H26
121	Liang ZHAO, Nicola H. PERRY, Takeshi. DAIO, Kazunari SASAKI, Sean R. BISHOP	"Oxygen Exchange Kinetics on Pr-CeO2 Cathode Material using an Optical Transmission Relaxation Method."	IUMRS-ICA2018,	Fukuoka University (Fukuoka, Japan),	August 24-30, 2014. (Oral: August 25, 2018)	九州大学	EN③	H26
122	Yoshio MATSUZAKI, Takaaki SOMEKAWA, Yuuya TACHIKAWA, Shunsuke TANGUCHI, Kazunari SASAKI	"Investigation on Multistage Fuel Supply to Improve Electric Efficiency of SOFCs."	IUMRS-ICA2019,	Fukuoka University (Fukuoka, Japan),	August 24-30, 2014. (Oral: August 25, 2019)	九州大学 東京ガス	EN③	H26

123	Jianfeng LIU, Kazunari SASAKI, Stephen Matthew LYTH	"Defective Nitrogen-Doped Graphene Foam: A Non-Precious Electrocatalyst for the Oxygen Reduction Reaction in Alkaline Medium."	2014 ECS and SMEQ Joint International Meeting,	Moon Palace Resort,	October 5-9, 2014 (Oral: October 7, 2014)	九州大学	EN④	H26
124	Akari HAYASHI, Xiaojing ZHAO, Yasuto MINAMIDA, Masahiko KITAMURA, Zhiyun NODA, Kazunari SASAKI	"Evaluation of Durability with MEAs Made by Graphitized Carbon Supports.	2015 ECS and SMEQ Joint International Meeting,	Moon Palace Resort,	October 5-9, 2014 (Oral: October 7, 2015)	九州大学	EN④	H26
125	Kazunari SASAKI, Zhiyun NODA, Takuya TSUKATSUNE, Kohei KANDA, Yuma TAKABATAKE, Yohei NAGAMATSU, Takeshi DAIO, Stephen Matthew LYTH, Akari HAYASHI	"Alternative Oxide-Supported PEFC Electrocatalysts."	2016 ECS and SMEQ Joint International Meeting,	Moon Palace Resort,	October 5-9, 2014 (Oral: October 7, 2016)	九州大学	EN④	H26
126	Thomas BAYER, Sean R. BISHOP, Masamichi NISHIHARA, Kazunari SASAKI, Stephen M. LYTH	"Graphene Oxide Membrane Fuel Cells: Utilizing of a New Class of Ionic Conductor."	2017 ECS and SMEQ Joint International Meeting,	Moon Palace Resort,	October 5-9, 2014 (Oral: October 7, 2017)	九州大学	EN④	H26
127	Jianfeng LIU, Takeshi DAIO, Kazunari SASAKI, and Stephen M. LYTH	"Defective Nitrogen-Doped Graphene Foam: Clarifying the Role of Nitrogen in Non-Precious ORR Catalysts."	2018 ECS and SMEQ Joint International Meeting,	Moon Palace Resort,	October 5-9, 2014 (Oral: October 7, 2018)	九州大学	EN④	H26
128	高田将、古田祥知子、立川雄也、白鳥祐介、佐々木一成	『バイオガス直接内部改質型SOFCを目指したアノード加工による改質反応制御』	第55回電池討論会	国立京都国際会館(京都府京都市)、	平成26年11月19日～21日(口頭:平成26年11月19日)	九州大学	EN③	H26
129	白鳥祐介、坂本美緒、柿原康男、佐々木一成	『バイオガス改質用ペーパー触媒の高機能化およびペーパー触媒搭載SOFCの発電特性』	第56回電池討論会	国立京都国際会館(京都府京都市)、	平成26年11月19日～21日(口頭:平成26年11月20日)	九州大学	EN③	H26
130	立川雄也、杉本遼吉、高田将、白鳥祐介、佐々木一成	『平板型SOFCアノードにおける炭化水素系燃料の改質反応の可視化解析』	第57回電池討論会	国立京都国際会館(京都府京都市)、	平成26年11月19日～21日(口頭:平成26年11月21日)	九州大学	EN③	H26
131	大尾岳史、堀口大、佐々木一成	『導電補助材料内臓の酸化物担体を用いたPt電極触媒の高分解能電子顕微鏡観察』	第58回電池討論会	国立京都国際会館(京都府京都市)、	平成26年11月19日～21日(口頭:平成26年11月22日)	九州大学	EN④	H26
132	西原正通、リアーナ クリスティアーニ、馮世演、佐々木一成	『電荷移動錯体により機能化された高分子電解質膜の評価』	第59回電池討論会	国立京都国際会館(京都府京都市)、	平成26年11月19日～21日(口頭:平成26年11月23日)	九州大学	EN④	H26
133	Stephen M. LYTH, Jiangfeng LIU, Takeshi DAIO, Kazunari SASAKI	"Graphene-Based Electrocatalysts in Fuel Cells."	第60回電池討論会	国立京都国際会館(京都府京都市)、	平成26年11月19日～21日(口頭:平成26年11月24日)	九州大学	EN④	H26
134	Thomas BAYER, Sean R. BISHOP, Masamichi NISHIHARA, Kazunari SASAKI, Stephen M. LYTH	"Graphene Oxide: A New Class of Ionic Conductors."	第61回電池討論会	国立京都国際会館(京都府京都市)、	平成26年11月19日～21日(口頭:平成26年11月25日)	九州大学	EN④	H26

135	Quang Tuyen TRAN, Taku KAIDA, Mio SAKAMOTO, Tomomi UCHIDA, Hao LE, Yusuke SHIRATORI, Kazunari SASAKI	"Impact of Paper-Structured Catalyst on SOFC Operated by Liquid Biofuels."	第62回電池討論会	国立京都国際会館（京都府京都市）、	平成26年11月19日～21日（口頭：平成26年11月26日）	九州大学	EN③	H26
136	Stephen M. LYTH, Jianfeng LIU, Kazunari SASAKI	"Nitrogen-Doped Graphene Foam Electrocatalysts for PEMFCs and AEMFCs."	2014 MRS Fall Meeting & Exhibit,	Hynes Convention Center (Boston, USA),	November 30 – December 5, 2014. (Oral: December 2, 2014)	九州大学	EN④	H26
137	Stephen M. LYTH, Jianfeng LIU, Kazunari SASAKI	"Nitrogen-Doped Graphene Foam Electrocatalysts for PEMFCs and AEMFCs."	2014 MRS Fall Meeting & Exhibit,	Hynes Convention Center (Boston, USA),	November 30 – December 5, 2014. (Oral: December 2, 2014)	九州大学	EN④	H26
138	佐々木一成、大嶋敏宏、大尾岳史、井上侑子、川畑勉、瓜生智愛、宮良健吾、西原正通、立川雄也、谷口俊輔、林灯、財	『スマート燃料電池社会実証：SOFCを核にした社会の構築を目指して』	第23回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）、	平成26年12月16日～17日（口頭：平成26年12月17日）	九州大学	EN③	H26
139	林灯、南田靖人、北村晶彦、野田志云、佐々木 一成	『SEM/STEM その場観察手法を用いたPt担持カーボン触媒の耐久性評価』	電気化学会第82回大会	横浜国立大学（神奈川県横浜市）、	平成27年3月15日～17日（口頭：平成27年3月15日）	九州大学	EN④	H26
140	北村晶彦、南田靖人、野田志云、林灯、佐々木一成	『PEFCの高温耐久性試験における触媒層構造変化の検討』	電気化学会第82回大会	横浜国立大学（神奈川県横浜市）、	平成27年3月15日～17日（口頭：平成27年3月15日）	九州大学	EN④	H26
141	佐々木一成、谷口俊輔、白鳥祐介、林灯、大嶋敏宏、西原正道、立川雄也、大尾岳史、川畑勉、藤田美紀、財津あゆみ	『スマート燃料電池社会実証:燃料電池を核にした「水素社会」具現化』	電気化学会第82回大会	横浜国立大学（神奈川県横浜市）、	平成27年3月15日～17日（口頭：平成27年3月15日）	九州大学	EN④	H26
142	立川雄也、松崎良雄、波多江徹、谷口俊輔、佐々木一成	『燃料多段供給型SOFC システムの超高効率化に向けたシステムプロセス解析』	電気化学会第82回大会	横浜国立大学（神奈川県横浜市）、	平成27年3月15日～17日（口頭：平成27年3月15日）	九州大学 東京ガス	EN③	H26
143	染川貴亮、松崎良雄、立川雄也、谷口俊輔、佐々木一成	『セル高効率化に向けた電極界面最適化の研究』	電気化学会第82回大会	横浜国立大学（神奈川県横浜市）、	平成27年3月15日～17日（口頭：平成27年3月15日）	九州大学 東京ガス	EN③	H26
144	楽豪、白鳥祐介、内田友美、坂本美緒、佐々木一成	『フレキシブルSOFCの模擬バイオガス直接供給時の発電特性』 電	電気化学会第82回大会	横浜国立大学（神奈川県横浜市）、	平成27年3月15日～17日（口頭：平成27年3月15日）	九州大学	EN③	H26
145	佐々木一成、塚常拓也、東雄大、堀口大、永松洋平、神田康平、高畠悠真、大尾岳史、野田志	酸化物担体を用いたPEFC電極触媒の開発：	第81回電気化学会		2014/3/29	九州大学	EN④	H25
146	佐々木一成、花崎雅洋、西村隆史、細井貴己、瓜生智愛、井上侑子、大嶋敏宏、大尾岳史、立川雄也、白鳥祐介、谷口俊	SOFCの化学的耐久性に関する研究：	第81回電気化学会		2014/3/29	九州大学	EN③	H25
147	藤ヶ谷剛彦、中嶋直敏、Hafez Inas、	白金の粒径および分散度制御による燃料電池低白金化：	日本化学会第94春季年会		2014/3/27	九州大学	EN④	H25

148	大尾岳史, 谷口俊輔, 林灯, 佐々木一成、	酸化物担体を用いたPEFC電極触媒界面の超顕微観察評価:	第81回電気化学会		2014/3/29	九州大学	EN④	H25
149	Julian A. Ortiz-Corrales・Junichiro Otomo	Design and modeling of proton-conducting bilayer electrolytes using a Nernst-Planck-Poisson formulation	17th International Symposium on Solid Oxide Fuel Cells (SOFC-XVII)		2021/7/18	東京大学/東京工業大学	en①	R3
150	大友 順一郎・松尾 拓紀・Ortiz Corrales Julian Andres・山手 峻	プロトン伝導性セラミックス燃料電池の技術および経済性評価	第28回燃料電池シンポジウム		2021/5/27	東京大学/東京工業大学	en①	R3
151	張 天鴻, 松橋 隆治	ピンポイント日射量予測精度の検証及び分析	第39回エネルギー・資源学会研究発表会	オンライン	2020/7/29	東京大学	en①	R2
152	榎原 友樹, 松橋 隆治, 白岩 紀人	ヒートポンプ給湯機を活用した卒FIT電源のインバランス制御に関する実証研究	第39回エネルギー・資源学会研究発表会	オンライン	2020/7/28	東京大学	en①	R2
153	Cai Sinan and Ryuji Matsuhashi	Communication Delay Compensation by Adaptive Parameter Estimation for Electric Vehicle Aggregators Joining Load Frequency Control	2020 IEEE 8th International Conference on Smart Energy Grid Engineering (SEGE)	オンライン	2020/8/13	東京大学	en①	R2
154	小野田 貴亮, 吉岡剛, 松橋隆治	水素製造を考慮した地域新電力の経営リスク管理に関する研究	電気学会　令和2年電力・エネルギー部門大会	オンライン	2020/9/9	東京大学	en①	R2
155	米田琢見, 有吉亮, 松橋隆治	電気自動車を活用したカーシェアリングシステムと充放電エネルギーマネジメントシステムの設計に関する研究	電気学会　令和2年電力・エネルギー部門大会	オンライン	2020/9/11	東京大学	en①	R2
156	小野田 貴亮, 吉岡剛, 松橋隆治	水素製造を考慮した地域新電力の経営リスク管理に関する研究	第37回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	オンライン	2021/1/26	東京大学	en①	R2
157	松原 雅, 吉岡剛, 松橋隆治	小売事業者における蓄電池と水電解装置の協調運転に関する研究	第37回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	オンライン	2021/1/26	東京大学	en①	R2
158	奥山 雄太, 松橋隆治	再エネ導入拡大を考慮した需給運用および系統増強に関する協力ゲーム理論による分析	第37回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	オンライン	2021/1/26	東京大学	en①	R2
159	米田琢見, 有吉亮, 松橋隆治	電気自動車を活用したカーシェアリングシステムと充放電エネルギーマネジメントシステムの設計に関する研究	第37回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	オンライン	2021/1/27	東京大学	en①	R2
160	松尾拓紀, 中根健太, 松崎良雄, 大友順一郎	BaZr0.8Y0.2O3−dおよびBaZr0.1Ce0.7Y0.1Yb0.1O3−d電解質を用いたプロトン伝導性固体酸化物形燃料電池における電解質積層効果	化学工学会第51回秋季大会	岩手大学、日本（オンライン開催）	2020/9/26	東京大学、九州大学、東京ガス	en①	R2
161	Jihan Lee, Junichiro Otomo	Direct carbon dioxide methanation in a calcium looing process using Ni-CaO-Y doped BaZrO3	化学工学会第51回秋季大会	岩手大学、日本（オンライン開催）	2020/9/26	東京大学	en①	R2
162	Hiroki Matsuo, Kenta Nakane, Yoshio Matsuzaki, Junichiro Otomo	“Improvement of Energy Efficiency in Anode-Supported Proton Ceramic Fuel Cells by Lanthanum Tungstate Hole Blocking Layer”	PRiME 2020	Honolulu, Hawaii, USA (Desital platform)	2020/10/4	東京大学	en①	R2
163	大友順一郎, 松尾拓紀, Ortiz Corrales Julian Andres, 山手 駿	「固体酸化物形燃料電池の技術および経済性評価 ープロトン伝導性セラミックス燃料電池の実用化に向けた評価の取り組みー」	第29回SOFC研究発表会	オンライン開催	2020/12/18	東京大学	en①	R2
164	石田 東渡, 松尾 拓紀, 大友順一郎	化学ループ型メタン熱分解プロセスにおけるカーボンナノチューブの成長機構と反応促進効果	第22回化学工学会学生発表会（東京大会）	中央大学後楽園キャンパス(オンライン開催)	2021/3/7	東京大学, 東京工業大学	en①	R2
165	田島星也, 松尾拓紀, 大友順一郎	プロトン伝導性酸化物混合電解質膜の輸送特性評価	化学工学会第86年会	オンライン開催	2021/3/20	東京大学, 東京工業大学	en①	R2
166	松尾拓紀, 中根健太, 松崎良雄, 大友順一郎(東京工業大学1, 東京大学2, 東京ガス3, 九州大学4)	「プロトン伝導性固体酸化物形燃料電池の高効率化に向けた積層型電解質の設計」	2021年電気化学会第88回大会	オンライン開催	2021/3/22	東京工業大学, 東京大学, 九州大学, 東京ガス	en①	R2
167	Junichiro Otomo, Gen Kojo, Hiroki Matsuo, Yoshio Matsuzaki	“Cell Design and Performance of Proton-conducting Ceramic Fuel Cells by Controlling Transport Properties of Solid Electrolyte Membranes”	World Hydrogen Technologies Convention (WHTC) 2019	Tokyo International Forum	2019/6/6	東京大学、東京ガス、九州大学	en①	R1

168	福田　一峻・甚野　幸一・松尾　拓紀・大友　順一郎	「イオン一電子混合伝導体の異相界面を利用した固体酸化物形燃料電池の作製と電気化学特性評価」	化学工学会横浜大会2019	横浜国立大学	2019/8/8	東京大学	en①	R1
169	Hiroki Matsuo, Gen Kojo, Kazuma Sakata Yoshio Matsuzaki, Junichiro Otomo	"Performance of anode-supported proton-conducting solid oxide fuel cells with lanthanum-based thin bilayer electrolyte"	16th International Symposium on Solid Oxide Fuel Cells (SOFC-XVI)	Kyoto TERRSA	2019/9/10	東京大学、東京ガス、九州大学	en①	R1
170	Hiroki Matsuo, Junichiro Otomo	"Effect of thin bilayer electrolytes on performance of anode-supported proton-conducting solid oxide fuel cells"	Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) congress	Sapporo Convention Center	2019/9/25	東京大学	en①	R1
171	Junichiro Otomo, Gen Kojo, Kazuma Sakata, Hiroki Matsuo, Yoshio Matsuzaki	"Design of highly efficient proton-conducting solid oxide fuel cells with multi-layered electrolyte membranes"	The 13th Pacific Rim Conference of Ceramic Societies (PACRIM13)	Okinawa Convention Center	2019/10/30	東京大学、東京ガス、九州大学	en①	R1
172	海邉健二、大友順一郎、中田俊彦	木質バイオマスの利用拡大に向けた技術評価 –バイオマス生産の観点から–	第15回バイオマス科学会議	郡山市中央公民館	2019/12/11	東京大学	en①	R1
173	松尾拓紀・阪田一真・松崎良雄・大友順一郎	「電解質積層構造を有する固体酸化物形燃料電池の高効率化」	化学工学会第85年会	関西大学千里山キャンパス	2020/3/15	東京大学、東京ガス、九州大学	en①	R1
174	松尾　拓紀, 松崎　良雄, 大友　順一郎	「固体酸化物燃料電池の高効率化に向けた電解質積層効果の検証」	2020年電気化学会第87回大会	名古屋工業大学	2020/3/17	東京大学、東京ガス	en①	R1
175	阪田　一真, 松尾　拓紀 , 松崎　良雄, 大友　順一郎	「プロトン伝導性固体酸化物形燃料電池の電解質多層化による輸送特性制御」	2020年電気化学会第87回大会	名古屋工業大学	2020/3/17	東京大学、東京ガス	en①	R1
176	Julian Andres Ortiz Corrales, Hiroki Matsuo, Junichiro Otomo	"Design and performance of a proton-conducting solid oxide electrolysis cell using lanthanum tungstate as electrolyte"	2020年電気化学会第87回大会	名古屋工業大学	2020/3/17	東京大学	en①	R1
177	蔡 思楠, 松橋隆治	A Control Method for Compensating Communication Delays in Load Frequency Control with Electric Vehicle Aggregators	第38回エネルギー・資源学会研究発表会	東京大学 駒場Ⅰキャンパス（東京都目黒区駒場3-8-1）	2019/8/6	東京大学	en①	R1
178	古田 龍平, 松橋隆治	Design of LFC Market in Japan and Economic Evaluation of Grid-Scale Batteries	2019 IEEE 2nd International Conference on Renewable Energy and Power Engineering	Ramada Plaza Toronto Hotel	2019/11/3	東京大学	en①	R1
179	奥山 雄太, 松橋隆治	連系線による電力および調整力の融通を考慮した九州地方における確率的起動停止計画に関する研究	第36回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	東京大学 生産技術研究所	2020/1 /29	東京大学	en①	R1
180	古田 龍平, 松橋隆治	需給調整市場設立後を想定した電力システムにおける調整力価格の分析に関する研究	エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	東京大学生産技術研究所	2020/1/29	東京大学	en①	R1
181	Ryuhei Furuta and Ryuji Matsuhashi	Study on Aggregator's Strategy of Controlling Electric Vehicles to Compensate Imbalances in Power Systems Using Reinforcement Learning	IEEE 2nd International Conference on Renewable Energy and Environment Engineering	Timhotel Paris Berthier, Toronto, Canada	2019/10/30	東京大学	en①	R1
182	謝 奕航, 松橋隆治	地域新電力会社を対象とした地域電力需給に関する研究	第38回エネルギー・資源学会研究発表会	東京大学 駒場Ⅰキャンパス	2019/8/6	東京大学	en①	R1
183	古田 龍平, 松橋隆治	需給調整市場設立後を想定した電力システムにおける調整力価格の分析に関する研究	第36回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	東京大学生産技術研究所	2020/1/29	東京大学	en①	R1
184	越智雄輝, 榎原友樹, 吉岡剛, 高瀬香絵, 松橋隆治	固定価格による買取期間終了後の太陽光発電と固体酸化物形 燃料電池を活用したエネルギー需給モデルの構築	第36回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	東京大学生産技術研究所	2020/1 / 29	東京大学	en①	R1
185	Martin Keller, Kenji Kaibe, Hiroyuki Hatano, Junichiro Otomo	"Techno-Economic Evaluation of BECCS via Chemical Looping Combustion of Woody Biomass in Japan – Costs, Challenges and Opportunities"	International Conference on Negative CO2 Emissions	Chalmers University of Technology, Gothenburg, Sweden	2018/5/24	東京大学	en①	H30
186	小城元・松崎良雄・松尾拓紀・大友順一郎	「プロトン伝導性タングステン酸ランタンを用いた燃料電池　セル作製と輸送特性の影響」	化学工学会第50回秋季大会	鹿児島大学　郡元キャンパス（〒890-8580　鹿児島市郡元1丁目21番24号）	2018/9/18	東京大学 東京瓦斯	en①	H30

187	Martin Keller, Yoshio Matsuzaki, Junichiro Otomo	"Hydrogen production by methane cracking on supported iron particles with continuous regeneration"	化学工学会第50回秋季大会	鹿児島大学　郡元キャンパス（〒890-8580　鹿児島市郡元1丁目21番24号）	2018/9/20	東京大学 東京瓦斯	en①	H30
188	Kenji Kaibe, Martin Keller, Hiroyuki Hatano, Junichiro Otomo	"TECHNO-ECONOMIC ANALYSIS OF CHEMICAL LOOPING COMBUSTION WITH WOODY BIOMASS"	5th International Conference on Chemical Looping	The Chateaux Deer Valley Resort (7815 Royal Street East Park City, Utah 84060 USA)	2018/9/27	東京大学	en①	H30
189	小城元, 松崎良雄, 松尾拓紀, 大友順一郎	「プロトン伝導性中温作動燃料電池における輸送特性が発電効率に与える影響」	2018年電気化学会秋季大会	金沢大学角間キャンパス （石川県金沢市角間町）	2018/9/25	東京大学 東京瓦斯	en①	H30
190	小城元, 松崎良雄, 松尾拓紀, 大友順一郎	「タングステン酸ランタンを用いたプロトン伝導性電極支持型燃料電池の中間層が発電性能に与える影響」	第27回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区北の丸公園2-1）	2018/12/14	東京大学 東京瓦斯	en①	H30
191	Junichiro Otomo	"Recent advances in highly efficient fuel cell systems with proton-conducting solid electrolytes and their applications"	2018 Global Research Efforts on Energy and Nanomaterials (GREEN 2018)	GIS TAIPEI TECH Convention Center, Zhongxiao E. Rd., Da'an Dist., Taipei City 106, Taiwan, ROC	2018/12/23	東京大学	en①	H30
192	海邉健二, Martin KELLER, 大友順一郎	「化学ループ法を用いたバイオマス発電の経済性評価と普及の可能性」	第14回バイオマス科学会議	東広島芸術文化ホールくらら（〒739-0015 広島県東広島市西条栄町7番19号）	2019/1/17	東京大学	en①	H30
193	Junichiro Otomo, Gen Kojo, Hiroki Matsuo, Yoshio Matsuzaki	Material and Cell Design of Highly Efficient Proton-conducting Ceramic Fuel Cells.	5th Annual World Congress of Smart Materials	Sheraton Parco de' Medici Rome Hotel (Viale Salvatore Rebecchini 39, Rome, Italy)	2019/3/7	東京大学 東京瓦斯	en①	H30
194	Martin Keller, Junichiro Otomo	"CO2 activation via rWGS redox cycling – exploiting phase changes or oxygen nonstoichiometry?"	化学工学会第84年会	芝浦工業大学豊洲キャンパス（〒135-8548 東京都江東区豊洲3丁目7番5）	2019/3/15	東京大学	en①	H30
195	小城　元, 松尾　拓紀, 松崎　良雄, 大友　順一郎	プロトン伝導性固体酸化物形燃料電池の電解質多層化による輸送特性制御	2019年電気化学会第86回大会	京都大学 吉田キャンパス（京都市左京区吉田本町）	2019/3/16	東京大学 東京瓦斯	en①	H30
196	Nhut Tien NGUYEN and Ryuji Matsuhashi	A Sustainable Energy Model for Shrimp Farms in the Mekong Delta	TMREES	Athens, Greece	2018.9.19-21	東京大学	en①	H30
197	Ryuhei Furuta and Ryuji Matsuhashi	Study on Aggregator's Strategy of Controlling Electric Vehicles to Compensate Imbalances in Power Systems Using Reinforcement Learning	2018 International Conference on Renewable Energy and Environment Engineering	Paris, France	2018.10.29-31	東京大学	en①	H30
198	Eiji Nishiura and Ryuji Matsuhashi	A Study on Unit Commitment Taking Uncertainties in Forecast of Renewable Energy Outputs into Consideration	2018 International Conference on Renewable Energy and Environment Engineering	Paris, France	2018.10.29-31	東京大学	en①	H30
199	西浦英治, 松橋隆治	再生可能エネルギーの大量導入による系統安定性への影響を考慮した起動停止計画に関する研究	第35回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	東京	2019.1.29-30	東京大学	en①	H30
200	王子洋, 松橋隆治	Research on Thermal Comfort by analyzing LF/HF Value and Heat Flow Rate Considering Energy Conservation	第35回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	東京	2019.1.29-30	東京大学	en①	H30
201	北沢雅光, 吉田好邦, 松橋隆治	再生可能エネルギーを導入した街区における電力需給の最適化	第35回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	東京	2019.1.29-30	東京大学	en①	H30
202	岩元和茂, 松橋隆治	太陽光発電の大量導入による電力システムのインバランス解消のための電力と水素の結合生産システムの検討	第35回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	東京	2019.1.29-30	東京大学	en①	H30
203	翁康太, 松橋隆治	低炭素機器普及促進手法のインバランス調整資源確保への応用可能性に関する研究	第35回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	東京	2019.1.29-30	東京大学	en①	H30
204	武田剣志, 松橋隆治	電力システムの負荷周波数制御における電気自動車の貢献可能性の研究	エネルギー・資源学会	砂防会館	2018/1/25		en①	H29

205	古田龍平，松橋隆治	高圧一括受電集合住宅における燃料電池を用いたエネルギーマネジメントシステムの設計に関する研究	エネルギー資源学会	砂防会館	2018/1/25		en①	H29
206	濵田朋宏，松橋隆治	Optimal Operation for Integrated Residential Distributed Energy Resources Considering Internal Reserve	4th International Conference on Power and Energy Systems Engineering	Berlin, Germany	2017/9/25		en①	H29
207	西浦英治，松橋隆治	Study for Optimal Energy Management System in Houses Collectively Receiving Electricity at Low Voltage	2017 4th International Conference on Power and Energy Systems Engineering, CPESE 2017	Berlin, Germany	2017/9/25		en①	H29
208	寺西たから，松橋隆治	低炭素社会に貢献する企業ビジネス戦略であるCreating Shared Value(CSV)について	第36回エネルギー・資源学会	砂防会館	2017/6/8		en①	H29
209	田中加奈子，井上智弘，山田興一，松橋隆治	地球規模の技術普及と政策示唆のためのバリューチェーン評価～ケーススタディ：太陽光発電システム	第36回エネルギー・資源学会	砂防会館	2017/6/8		en①	H29
210	李和聡，王子艦，吉田好邦，井原智彦，松橋隆治	脳血流のヘモグロビン濃度計測に基づくア温冷感と快適感の客観的評価	第34回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	砂防会館	2018/1/26		en①	H29
211	J. Chen, K. Eguchi, and K. Waki	The Effect of Oxidation Temperature for the Oxygen Reduction Reaction Activity of Defective Multi-Walled Carbon Nanotubes (MWCNT)	232nd ECS Meeting (October 1–5, 2017)	National Harbor, MD (greater Washington, DC area)	2017/10/1	東京工業大学	en①	H29
212	Ryuji Matsuhashi	Development of Model for Optimal Operation of Power Systems with Large-scale Integration of Solar Power Generation in Kyushu Region	5th International Conference on Power Science and Engineering, Venice		2016/12/14–17	東京大学	en①	H28
213	前田和希・松橋隆治	量産効果を考慮した燃料電池の普及予測及び最適な補助金の提案	電気学会全国大会		2017/3/15-17	東京大学	en①	H28
214	Yoshihiko Yamada and RyujiMatsuhashi	Policy Proposal Related to Solar Power Generation System Using Real Option Analysis	5th International Conference on Power Science and Engineering		2016/12/14–17	東京大学	en①	H28
215	Kazuki Maeda, Kyoko Minokawa, Hiroko Otsu, Ryuji Matsuhashi	Study for Designing Power Trading System in High Voltage Power Receiving Apartment Complex Considering Economy and CO2 emission	5th International Conference on Power Science and Engineering		2016/12/14–17	東京大学	en①	H28
216	阿部理也・松橋隆治	需要家側資源の参入を考慮した周波数調整市場の設計に関する研究	第33回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス		2017.2.2～3	東京大学	en①	H28
217	磐田朋子・松橋隆治	「まちなか避暑地」の設置による家庭の節電効果の推定	第33回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス		2017.2.2～3	東京大学	en①	H28
218	山田義彦・松橋隆治	リアルオプション法による固定価格買取制度の分析と新たな制度の設計に関する研究	第33回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス		2017.2.2～3	東京大学	en①	H28
219	磐田朋子・松橋隆治	節電アドバイスおよび節電目標表示システムの実施効果、第35回エネルギー・資源学会研究発表会、2016.6.6～7				東京大学	en①	H28
220	鈴木誠人・小野寺宏・吉田好邦・井原智彦・古川道信・松橋隆治	家庭部門における暖房システムが居住者におよぼす健康影響評価	第35回エネルギー・資源学会研究発表会		2016.6.6～7	東京大学	en①	H28
221	前田和希・松橋隆治	ロジットモデルを用いた家庭用燃料電池の普及シミュレーションと補助金による影響の評価	HCA 2016		2016.8.4	東京大学	en①	H28
222	岡崎強・松橋隆治・吉田好邦・磐田朋子	ネガワット取引を考慮した家庭からの二酸化炭素排出削減手法の研究	第33回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス		2017.2.2～3	東京大学	en①	H28
223	鈴木誠人・松橋隆治	空調の健康影響及び快適性のリアルタイム評価手法の提案	第33回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス		2017.2.2～3	東京大学	en①	H28
224	濵田朋宏・磐田朋子・松橋隆治	電池搭載住宅における最適な機器運用計画に関する研究	第33回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス		2017.2.2～3	東京大学	en①	H28
225	前田和希・蓑川恭子・大津浩子・松橋隆治	需要の多様性を考慮した燃料電池各戸設置集合住宅内電力融通システムの評価	第33回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス		2017.2.2～3	東京大学	en①	H28
226	西浦英治・松橋隆治	低圧一括受電住宅における世帯間電力融通を含めた最適システムの設計に関する研究	第33回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス		2017.2.2～3	東京大学	en①	H28

227	高瀬香絵・坂本智幸・松橋隆治・山田興一	明るく豊かな低炭素社会試案	第33回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス		2017.2.2～3	東京大学	en①	H28
228	平田知啓・松橋隆治	太陽光発電大量導入時に過度安定度を確保する方法の研究	第33回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス		2017.2.2～3	東京大学	en①	H28
229	海邉健二,幡野博之,井上雅文,山田興一,大友順一郎	木質バイオマスを燃料とするバイオマス発電の技術革新及び経済性評価	化学工学会第82年会（東京2017）		2017/3/6	東京大学	en①	H28
230	小城元、月村玲奈、松岡修平、大友順一郎,	タングステン酸ランタンの構造解析とイオン伝導特性評価	第25回SOFC研究発表会		2016/12/12	東京大学	en①	H28
231	大友　順一郎	Cost Analyses of SOFCs for Japanese Developers-Evaluations of Performance and Cost for Residential and Combined Cycle Systems-	SOFCコスト試算講演会：固体酸化物エネルギー変換先端技術コンソーシアム(ASEC)（依頼講演）		2017/3/6	東京大学	en①	H28
232	大友　順一郎	プロトン伝導性固体電解質形燃料電池の開発と電解合成への応用	日本化学会　第97春季年会（招待講演）	慶応大学	2017/3/17	東京大学	en①	H28
233	Jiuting Chen, Kouya Eguchi and Keiko Waki	Non-nitrogen doped defective Multi-walled Carbon Nanotubes (MWCNT) as the cathode catalyst for PEMFC power generation	PRiME2016/ 230th ECS meeting (No.2767)	Hawaii Convention Center, Honolulu,Hawaii	2016/10/6		en①	H28
234	Ti Chen, Haryo Satriya Oktaviano and Keiko Waki	Nitrogen Doped Defective Carbon Nanotube Electrocatalyst for Oxygen Reduction Reaction	PRiME2016/ 230th ECS meeting (No.2768)	Hawaii Convention Center, Honolulu,Hawaii	2016/10/6		en①	H28
235	Bo Gong, Jie Chen, Akitoshi Ikematsu and Keiko Waki	Tuning Work Function of Multi-Walled Carbon Nanotubes By Defects Creation	PRiME2016/ 230th ECS meeting (No.1040)	Hawaii Convention Center, Honolulu,Hawaii	2016/10/4		en①	H28
236	M. Takahashi, R. Matsuhashi	Modeling the Economics of Flexible Resource Capability in Power Systems with Large-scale Renewable Integration	IEEE PES ISGT Asia	Merbournne, Australia,	2016/11		en①	H28
237	高橋　雅仁、松橋　隆治	再生可能エネルギー電源出力の予測誤差を考慮した調整資源の経済性評価手法の検討、	電力技術/電力系統技術合同研究会（福井大学）、PE－16－168 PSE－16－188、	福井大学	2016/9		en①	H28
238	海邉 健二, 大友 順一郎, 井上 雅文, 山田 興一	木質バイオマスのエネルギー利用プロセスの構築と地産地消モデルの提案	第66回日本木材学会大会		2016/3	東京大学	en①	H27
239	Ochieng James Ochieng・Fumihiko Kosaka・Hiroyuki Hatano・Yoshito Oshima,	Redox cycle behavior and stability of metal oxides on perovskite oxides supports in chemical looping systems	化学工学会第81年会 講演要旨集C3242016年3		2016/3	東京大学	en①	H27
240	ChenTi, Haryo Satriya Oktaviano, and 脇慶子	Annealing effect on the ORR activity of carbon nanotube based electrocatalys	電気化学会第83回大会,3月29-31日、講演要旨3K08		2016/3/29-31	東京大学	en①	H27
241	高山　真一, 松橋　隆治	再生可能エネルギー大量連系時における負荷周波数制御システムの設計及び経済性評価	第32回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス, エネルギー資源学会	東京都	2016.2.2	東京大学	en①	H27
242	山本　有途, 松橋　隆治	電気自動車を用いた電力系統の負荷周波数制御の分析とその経済性評価	第32回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス, エネルギー資源学会	東京都	2016.2.2	東京大学	en①	H27
243	櫻木　政徳, 松橋　隆治	太陽光発電大量導入時の過渡安定度を考慮した九州地域における電源運用計画の研究	第32回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス, エネルギー資源学会	東京都	2016.2.2	東京大学	en①	H27
244	磐田　朋子, 野村　昇, 田中　加奈子, 松橋　隆治	節電アドバイスおよび節電目標表示システムの開発と実装	第32回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス, エネルギー資源学会	東京都	2016.2.2	東京大学	en①	H27
245	前田　和希, 蓑川　恭子, 大津　浩子, 松橋　隆治	経済性とCO2排出量を考慮した一括受電集合住宅内での電力融通システムの設計に関する研究	第32回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス, エネルギー資源学会	東京都	2016.2.2	東京大学	en①	H27
246	磐田　朋子, 松橋　隆治	3電池搭載住宅街区のエネルギー需要実績と街区の低炭素化に向けた考察	第32回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス, エネルギー資源学会	東京都	2016.2.2	東京大学	en①	H27

247	岩永　愛季・大友　順一郎	「無機イオン伝導体における局所イオン伝導特性の観測」	化学工学会 第46 回 秋季大会講演要旨集　V318		2014/9/17	東京大学	en①	H26
248	海邉 健二・湯本 道明・大友 順一郎・山田 興一	木材チップ製造工程のコストおよび環境影響評価	日本木材学会北海道支部 平成26年度研究発表会 講演集46号 P-07 (p.20)		2014/11/12	東京大学	en①	H26
249	相原翔・松橋隆治	電力需要家における蓄電池の運用についての評価	第33回エネルギー資源学会		2014/6/10	東京大学	en①	H26
250	大友　順一郎・大石　淳矢・三森輝夫・岩崎　博・山田　興一	定置型SOFCシステムの発電特性と詳細コスト分析に基づく技術開発シナリオ	化学工学会第79年会　講演要旨集　K203		2014/3/18	東京大学	en①	H25
251	Haryo Satriya Oktaviano, Keiko Waki	Study of Faradaic reaction between Li and O-functionalities on MWCNTs	電気化学会第81回大会　講演要旨集　1R01,P365		2014/3/29	東京大学	en①	H25
252	高瀬香絵・松橋隆治・吉田好邦	くらしからの低炭素化を実現するための政策提言とその影響評価	エネルギー資源学会　第30回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス講演論文要旨集29-3			東京大学	en①	H25
253	西川富佐子・高瀬香絵・吉田好邦・松橋隆治	くらしからの低炭素化を実現するためのLED電球の普及モデル構築とシミュレーション	エネルギー資源学会　第30回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス講演論文要旨集26-3			東京大学	en①	H25
254	Ryuji Matsuhashi, Tsuyoshi Yoshioka	Optimal design of a coproduction system of electricity and hydrogen to manage imbalances resulting from forecast errors in photovoltaic outputs	E3S Web Conf. Volume 64, 2018, 2018 3rd International Conference on Power and Renewable Energy, 27 November 2018, https://www.e3s-conferences.org/articles/e3sconf/abs/2018/39/e3sconf_icpre2018_06009/e3sconf_icpre2018_0	Berlin, Germany	2018.9.21	東京大学	en①	H30
255	Kenshi Takeda, Masaru Okazaki, Ghuen Tien Nhut, Ryuji Matsuhashi, Ryo Ariyoshi and Fumihiko	A Study on Using Electric Vehicles for Load Frequency Control in Power Systems	GRAND RENEWABLE ENERGY 2018 Proceedings June 17-22, 2018 Pacifico Yokohama, Yokohama, Japan	Yokohama	2018.6.17-22	東京大学	en①	H30
256	Markus Stemmer, Ulrich Wagner and Ryuji Matsuhashi	DEVELOPMENT OF A MODEL TO ESTIMATE SOLAR POWER GENERATION OUTPUT BASED ON WEATHER FORECAST INFORMATION	GRAND RENEWABLE ENERGY 2018 Proceedings June 17-22, 2018 Pacifico Yokohama, Yokohama, Japan	Yokohama	2018.6.17-22	東京大学	en①	H30
257	三宅 佑	途上国における持続可能な都市交通体系の構築に関する研究-ヴィエンチャンを研究対象地として-	土木計画学学会	オンライン	2020/11/14	横浜国立大学	mo①	R2
258	鈴木渉	交通手段ごとの利用頻度のデータを用いた交通行動の習慣性に関する基礎的研究	土木計画学学会	オンライン	2020/11/14	横浜国立大学	mo①、mo②	R2
259	若原歩花	移動時間短縮意向に着目した移動に対する認識に関する研究	土木学会全国大会第75回年次学術講演会	オンライン	2020/9/9～11	横浜国立大学	mo①、mo②、優秀論文賞受賞	R2
260	山口純	対話を通した探究としての設計	Designシンポジウム2019	慶応大学日吉キャンパス	2019/10/16	横浜国立大学	mo①	R1
261	山口純	Designing as an Inquiry	筑波会議2019	筑波国際会議場	2019/10/3	横浜国立大学	mo①	R1
262	山口純	Mobility Design Through Citizen Participation Assisted by Digital Technology	第二回COI学会	日本科学未来館	2019/9/19	横浜国立大学	mo①	R1
263	山口純	地域コミュニティで育てる持続可能なローカルモビリティ	第四回COI2021会議	日本科学未来館	2019/12/19	横浜国立大学	mo①	R1
264	作田 莉子, 中村 文彦, 有吉亮, 田中 伸治, 三浦 詩乃	バス待ち行動分析に基づくバス停でのバス待ち抵抗緩和の要因に関する研究	第38回交通工学研究発表会	日本大学理工学部駿河台キャンパス	2018/8/7	横浜国立大学	mo①	H30
265	作田 莉子, 中村 文彦, 有吉亮, 田中 伸治, 三浦 詩乃	バス待ち行動分析に基づいたバス停機能のあり方に関する研究	土木学会全国大会 第73回年次学術講演会	北海道大学札幌キャンパス	2018/8/31	横浜国立大学	mo①	H30
266	穂刈 淳之助, 佐土原 聡,稲垣 景子	アンケート調査に基づく超高層集合住宅居住者の避難行動意向分析	2018年度日本建築学会大会（東北）学術講演会	東北大学川内キャンパス	2018/9/4	横浜国立大学	mo②	H30

267	山本 真聖,佐土原 聡,吉田聡	横浜市におけるPV・蓄電機能を備えたEV 充電スタンドの導入可能性に関する研究	2018年度日本建築学会大会（東北）学術講演会	東北大学川内キャンパス	2018/9/5	横浜国立大学	mo②	H30
268	石塚直登、吉本憲生、藤原徹平	建築専門誌における「居場所」概念の普及と変遷に関する研究	2017年度日本建築学会大会	広島工業大学	2017/9/1	横浜国立大学	mo①	H29
269	西岡隆暢、有吉亮	GISを活用し た道路維持管理支援システムの開発	2017年度GIS学会大会	宮城大学	2017/10/28	横浜国立大学	mo③	H29
270	早内 玄, 中村文彦, 田中 伸治, 有吉 亮, 三浦 詩乃	トランスポーテーションギャップの視点による都市内における索道の役割に関する研究	第37回交通工学研究発表会	日本大学理工学部駿河台キャンパス	2017/8/8	横浜国立大学	mo①	H29
271	西岡隆暢・佐土原聡	みなとみらいをはじめとしたマルチモーダルモビリティのためのICTプラットフォーム構築	建築学会　地球環境未来都市研究　その24	横浜国立大学	2016/8/24	横浜国立大学	mo②	H28
272	西岡隆暢・佐土原聡	横浜みなとみらい21地区のモビリティデザインのためのICTプラットフォームモデルの構築	建築学会　地球環境未来都市研究　その9	横浜国立大学	2015/9/4	横浜国立大学	mo③	H27
273	西岡隆暢・佐土原聡	横浜みなとみらい21地区のモビリティデザインのためのICTプラットフォームモデルの構築	GIS学会	慶応義塾大学三田キャンパス	2015/10/10	横浜国立大学	mo③	H27
274	住田百合耶、吉本憲生、藤原徹平、稲葉来美	郊外における地域拠点としての交通結節空間の需要および効果に関する実証実験	2017年度日本建築学会大会	広島工業大学	2017/8/31	横浜国立大学	mo①	H29
275	鈴木渉,中村文彦,田中伸治, 松行美帆子	鉄道駅改札通過データを用いた個人ごとの習慣的な交通行動の変動特性と変容可能性に関する研究	土木計画学研究発表会	オンライン	2021/12/5	横浜国立大学	mo②	R3
276	藤木優加子, 有吉亮,中村文彦,田中伸治,松行美帆子	郊外住宅地における小量乗合輸送サービスの導入による行動と意識変化の分析	土木計画学研究発表会	オンライン	2021/12/5	横浜国立大学	mo①	R3
277	THAO TRINH THI,中村文彦, 松行美帆子, 田中伸治,有吉亮	ホーチミン市・都市鉄道1号線の駅周辺における公共交通志向型開発に向けた現状分析	土木計画学研究発表会	オンライン	2021/12/3	横浜国立大学	mo①	R3
278	若原歩花,有吉亮,中村文彦,田中伸治, 松行美帆子	「移動の価値」に関する研究-移動特有の性質が移動中の過ごし方に与える影響に着目して-	土木計画学研究発表会	オンライン	2021/12/3	横浜国立大学	mo①	R3
279	BuyantogtokhBYAMBADORJ, 中村文彦, 有吉亮,田中伸治,松行美帆子	ナンバープレートによる走行規制に関する研究	土木計画学研究発表会	オンライン	2021/12/3	横浜国立大学	mo①	R3
280	表允晢, 辻徳生, 橋口優香, 永田晃洋, 中島洸平, 倉爪亮 , 長谷川勉 , 諸岡健一	情報構造化アーキテクチャの提案とサービスロボットのオンライン動作計画の実現	第19回ロボティクスシンポジア, pp. 624-630,2014.3.14		2014/3/14	九州大学	③	H25
281	緒方亮汰, 森稔, 内田誠一	全順序性を持つ大局的特徴系列の選択とその利用	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2013-81		2013/12/1	九州大学	①②	H25
282	内田誠一, 柿迫良輔, 深澤大我, フリンケン フォルクマー, フォンヤオカイ	弾性マッチングニ題　～ 最適化法を変えて広がる応用 ～	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2013-83		2013/12/1	九州大学	①②	H25
283	岩切裕太郎, フォン ヤオカイ, 内田誠一	大規模事例に基づく動画像推定のための対象の動き表現	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2013-86		2013/12/1	九州大学	①②	H25
284	野寄 朋彦, 馬場 尚美, 高野茂, 中井 俊文, 石田 浩二, 安浦 寛人	九州大学全学共通ICカードの導入・サービス運用事例	大学ICT推進協議会2013年度年次大会論文集, pp. 98-105, 2013.12.18		2013/12/18	九州大学	①	H25
285	Takayuki Goto	A Data Sharing Platform for University Campus Environment Sensor Data	The 3rd Asian Workshop on Smart Sensor Systems		2015/3/26	九州大学	A-1-①	H26
286	後藤孝行, 武田英明, 村上和彰	都市OSの実現に向けたSemantic Web技術の検討	第35回セマンティックウェブとオントロジー研究会		2015/3/1	九州大学	A-1-①	H26
287	辻 徳生, 日下和也, 長谷川勉, 倉爪 亮, 諸岡 健一	履物上加速度センサと床上レーザレンジファインダを用いた複数人物の追跡	日本機械学会ロボティクスメカトロニクス講演会, 1P2-H01		2014/5/26	九州大学	A-1-③	H26

288	表 允晢, 永田 晃洋, 中島 洸平, 桑畑 舜也, 辻 徳生, 諸岡 健一, 倉爪 亮, 長谷川勉,	分散センサを用いた室内状況推定に基づくサービス自動実行アーキテクチャ	日本機械学会ロボティクスメカトロニクス講演会, 1P2-H02		2014/5/26	九州大学	A-1③	H26
289	橋口 優香, 表 允晢, 辻 徳生, 諸岡 健一, 倉爪 亮	環境情報構造化プラットフォームROS-TMSにおけるタスク管理機構	第32回日本ロボット学会学術講演会, 3C2-03		2014/9/6	九州大学	A-1-③	H26
290	大石 哲朗, 表 允晢, 辻 徳生, 諸岡 健一, 倉爪亮	携帯端末とARマーカを用いたROS-TMSユーザインタフェースの開発	第15回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 SI2014, 1G3-7		2014/12/15	九州大学	A-1-①③	H26
291	安部 弘通, 木下 和弥, 馬場 謙介, 高野 茂, 村上 和彰	簡易脳波計による学習者の状態推定に関する研究	第77回情報処理学会全国大会		2015/3/17	九州大学	A-1-①	H26
292	内田誠一	都市OSの創り方1 P-Sen: 屋外人流センシング編	九州大学共進化社会システム創成シンポジウム, 福岡		2015/4/10	九州大学	A-1-①②	H27
293	緒方亮汰, 内田誠一	Deformable part modelを用いた時系列パターンの識別的変動および認識応用の試み	電子情報通信学会パターン認識・メディア理解研究会	福岡	2016/2/14	九州大学	A-1-①②	H27
294	堀 磨伊也, 後藤 孝行, 高野 茂, 松尾 久人, 島田 敬士, 谷口 倫一郎	気象データと人流データの併用による電力需要予測,	電子情報通信学会全国大会		2016/3/15	九州大学	A-1-①	H27
295	高野茂, 後藤 孝行, 辻徳生, 倉爪亮, 内田誠一, 森岡道雄, 谷口倫一郎, 村上和彰	「地理情報システム上で利活用できる人流・交通流ビッグデータ分析基盤の開発」	全国共同利用研究発表大会「CSIS DAYS 2015」		2015/11/19	九州大学	A-1-①	H27
296	高野茂	オープンデータの整備と官民の活用方法	九大発 産・学・官 交流促進シーズ発表会 主催 九州大学 学術研究・産学官連携本部 公益財団法人 九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）		2016/2/9	九州大学	A-1-①	H27
297	高野茂	「都市OSと福岡の未来」,	第2回共進化社会システム・サイエンスカフェ, 主催 CSTIPS イオンモール香椎浜1Fセントラルコート		2016/2/23	九州大学	A-1-①	H27
298	Liu Yupeng, 後藤孝行, 高野茂	受講者の集中度を考慮する遠隔 講義システムの構築	情報処理学会九州支部「火の国情報シンポジウム2016」		2016/3/1	九州大学	A-1-①	H27
299	後藤 孝行	都市OSの創り方3 BODIC.org: ビッグデータ&オープンデータ蓄積・分析・活用編	九州大学共進化社会システム創成シンポジウム ～都市OSはこう創る！～		2015/4/10	九州大学	A-1-①	H27
300	トルヴェ アントワン	BODIC.orgとSPARQL	BODIKセミナー ～オープンデータの風を西から～, ビッグデータ＆オープンデータ研究会in九州		2015/10/23	九州大学	A-1-①	H27
301	村上和彰	BODIC.org (BigData & OpenData in the Cloud)」にあなたのデータ、、、預けてみません？ 今日からあなたもビッグデータ活用者 ～オープンデータ、クラウドサービスの波に乗れ～	第14回情報科学技術フォーラム（FIT2015）		2015/9/16	九州大学	A-1-①	H27
302	ピョ ユンソク, 渡邊 裕太, 重兼 聡夫, 稲田 大亮, 辻 徳生, 河村 晃宏, 倉爪 亮	ROS-TMS ver.4.0 －情報構造化環境のためのオペレーティングシステム－	第21回ロボティクスシンポジア, pp.242-249		2016/3/18	九州大学	A-1-③	H27
303	倉爪 亮, ピョ ユンソク, 辻 徳生, 河村 晃宏	ROS-TMS と環境情報構造化空間 Big Sensor Box の開発	第16回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 SI2015		2015/12/15	九州大学	A-1-③	H27
304	稲田 大亮, 辻 徳生, 原田 研介, 田原 健二, 河村 晃宏, 諸岡 健一, 倉爪 亮	遠赤外線画像の熱痕跡を用いた接触履歴の検出と把持形態推定への応用	第16回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 SI2015		2015/12/15	九州大学	A-1-③	H27

305	大西 正倫, ピョ ユンソク, 辻 徳生, 河村 晃弘, 倉爪 亮	,複数台のKinectを用いた情報構造化空間における人間動作の収集	第34回SICE九州支部学術講演会		2015/11/28	九州大学	A-1-③	H27
306	稲田 大亮, 辻 徳生, 倉爪 亮, 諸岡 健一	高速3次元距離センサによる計測点群とのリアルタイム干渉判定に基づくオンライン回避動作の生成,	第33回日本ロボット学会学術講演会		2015/9/25	九州大学	A-1-③	H27
307	重兼 聡夫, 渡邊 裕太, 稲田 大亮, ピョ ユンソク, 辻 徳生, 河村 晃宏, 倉爪 亮	屋内空間CPSプラットフォームBig Sensor Boxの開発と車いす型見守りロボットによる搬送実験	第33回日本ロボット学会学術講演会		2015/9/25	九州大学	A-1-③	H27
308	堀 磨伊也	ビッグデータ活用のための機械学習	電気学会全国大会シンポジウム講演		2017/3/1	九州大学	CS③	H28
309	重兼 聡夫, 渡邊 裕太, 河村 晃宏, 倉爪 亮	構造化／非構造化環境を移動可能なパーソナルモビリティの開発	第17回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 SI2016		2016/12/15	九州大学	A-2-③	H28
310	清山 昂平, 河村 晃宏, 倉爪 亮	要介護者の見守りセンサターミナルの開発	第17回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 SI2016		2016/12/15	九州大学	A-2-③	H28
311	徳永 誠, 内田 誠一	任意の非マルコフ的制約下での多物体追跡	電子情報通信学会技術研究報告, PRMU2016-107, 2016年10月21日(宮崎大学, 宮崎市)		2016/10/21	九州大学	CS③	H28
312	Jinho Lee, Shouta Ide, Seiichi Uchida	Object Tracking Based on CNN	電気関係学会九州支部連合大会講演論文集(宮崎大学, 宮崎市), 11-1P-02, 2016年9月29日		2016/9/29	九州大学	CS③	H28
313	木下和弥, 後藤 孝行, 髙野 茂, 谷口 倫一郎	テンソル因子分解による欠損のあるセンシングデータの補間に関する研究	平成28年度（第69回）電気 ・情報関係学会九州支部連合大会		2016/9/29	九州大学	CS③	H28
314	劉 嘉偉, 後藤 孝行, 髙野 茂, 谷口 倫一郎	大学キャンパスにおける人の移動目的推定のための人流データ分析手法の提案	平成28年度（第69回）電気 ・情報関係学会九州支部連合大会		2016/9/29	九州大学	CS③	H28
315	坂本 潤弥, 渡邊 裕太, 河村 晃宏, 倉爪 亮	環境情報構造化アーキテクチャROS-TMS4.0を用いたロボットサービスの実現	2016年度日本機械学会年次大会, pp.G1500501		2016/9/14	九州大学	CS②	H28
316	渡邊 裕太, 重兼 聡夫, 河村 晃宏, 倉爪 亮	情報構造化空間を拡張する群ロボットシステムの開発	第34回日本ロボット学会学術講演会, pp.1A1-06		2016/9/7	九州大学	CS②	H28
317	堀川 雄太, 河村 晃宏, 倉爪 亮	Previewed Reality 情報構造化空間における近未来可視化システム	第34回日本ロボット学会学術講演会, pp.1A1-08		2016/9/7	九州大学	CS②	H28
318	南 承佑, 河村 晃宏, 倉爪 亮	広域環境における人流データのリアルタイム没入感可視化システム	第34回日本ロボット学会学術講演会, pp.2W2-04		2016/9/8	九州大学	CS②	H28
319	高野 茂	都市OSプラットフォームの構築	センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム 成果発表会プログラム, JSTフェア 2016（平成28年8月）		2016/8/1	九州大学	CS③	H28
320	徳永 誠, 深澤 大我, Volkmar Frinken, 内田 誠一	非マルコフ的制約を考慮した多物体追跡手法	画像の認識・理解シンポジウム		2015/7/30	九州大学	CS③	H28
321	高野 茂	都市 OS の創る未来 ～ビッグデータの利活用とオープンデータの環境整備～	第9回「ビジネス創造交流会」, 西日本シティ銀行, 九州大学, NCB リサーチ＆コンサルティング（平成28年5月）		2016/5/1	九州大学	CS③	H28
322	後藤 孝行 堀 磨伊也 高野 茂 内田 誠一 谷口 倫一郎	持続可能な都市サービス基盤の実現に向けた市民参加による都市センシングとデータ収集	人工知能学会全国大会	ウインクあいち	2017年5月23日～2017年5月26日	九州大学	CS③	H29
323	山口 尚哉, 廣瀬 慧, 堀 磨伊也, 出口 喜也	電力取引市場における電力調達の最適化	統計関連学会連合大会	南山大学	2017年9月3日～2017年9月6日	九州大学	CS③	H29
324	Maiya Hori, Yuji Toyomura, Tatsuro Harada, Rin-ichiro Taniguchi	Elderly monitoring system adjusting to various lifestyle patterns	The 13th Joint Workshop on Machine Perception and Robotics(MPR2017)	Peking University	2017年10月16日～2017年10月17日	九州大学	CS③	H29
325	中山 経太, 堀 磨伊也, 島田 敬士, 谷口 倫一郎	実世界観測に基づく情報提供による混雑緩和シミュレーション	火の国情報シンポジウム	長崎大学	2018年3月1日～2018年3月2日	九州大学	CS③	H29

326	尾ノ上 晃, 堀 磨伊也, 島田 敬士, 谷口 倫一郎	電波接触に基づく人々の多地点移動の可視化とパターン解析	火の国情報シンポジウム	長崎大学	2018年3月1日～2018年3月2日	九州大学	CS③	H29
327	高野 茂	リフティング複素ウェーブレットによるコンパクトな深層学習モデルの実現	日本応用数理学会 2018年 研究部会連合発表会	大阪大学	2018年3月15日～3月16日	九州大学	CS③	H29
328	Eric Godard, Atsushi Shimada, Maiya Hori, Rin-Ichiro Taniguchi	Prediction of congestion based on Wi-Fi packet sensing International Workshop on Information Search, Integration, and Personalization, 2018.05	International Workshop on Information Search, Integration, and Personalization	Kyushu University	2018/5/15	九州大学	ict①	H30
329	Maiya Hori, Naoya Yamaguchi, Kei Hirose, Shigeru Takano, Rin-Ichiro Taniguchi	Sustainable Social System for Small Electricity Demand Community International Workshop on Information Search, Integration, and Personalization, 2018.05	International Workshop on Information Search, Integration, and Personalization	Kyushu University	2018/5/15	九州大学	mi①	H30
330	Shigeru Takano, Takayuki Goto, Maiya Hori, Naoya Yamaguchi, Takahiro Baba	Development of data linkage platform for university campus services	International Workshop on Information Search, Integration, and Personalization	Kyushu University	2018/5/15	九州大学	ict①	H30
331	中山 経太, 尾ノ上 晃, 堀 磨伊也, 島田 敬士, 谷口 倫一郎	実世界混雑解析に基づく行動推薦システム	第16回ITSシンポジウム2018	同志社大学	2018/12/13	九州大学	ict③	H30
332	山口 尚哉, 堀 磨伊也	電力需要予測誤差分布に基づく電力取引支援システムの構築	インテリジェント・システム・シンポジウム（FANシンポジウム）	横浜国立大学	2018/9/26	九州大学	mi①	H30
333	尾ノ上 晃, 堀 磨伊也, 島田 敬士, 谷口 倫一郎	スポット重要度推定に基づく適応的変化検出	マルチメディア，分散，協調とモバイル(DICOMO2018)シンポジウム，pp.377-384	福井県	2018/7/4	九州大学	ict③	H30
334	中山 経太, 堀 磨伊也, 島田 敬士, 谷口 倫一郎	混雑緩和のための行動推薦モデル	マルチメディア，分散，協調とモバイル(DICOMO2018)シンポジウム，pp.60-67	福井県	2018/7/4	九州大学	ict③	H30
335	尾ノ上 晃, 堀 磨伊也, 島田 敬士, 谷口 倫一郎	人流変化をもたらす主要スポット検出のためのSpotRankの提案	九大-理研-福岡市三者連携シンポジウム	九州大学	2018/5/15	九州大学	ict③	H30
336	Maiya Hori	Sustainable energy management system by controlling crowd behavior	Asian Workshop on Smart Sensors and Systems (AWSSS2019	Fukuoka	2019/3/24	九州大学	ict③	H30
337	木田 雄也, 堀 磨伊也, 高野 茂	オンデマンドバスにおける運用コスト削減のための乗車リクエスト予測	第82回情報処理学会全国大会	オンライン（コロナウィルス対策のため）	2020/3/5	九州大学	ict①	R1
338	青木 大誠, 堀 磨伊也, 高野 茂, 谷口 倫一郎	乗り継ぎ抵抗軽減のためのバス運行情報を用いた外出促進	第82回情報処理学会全国大会	オンライン（コロナウィルス対策のため）	2020/3/5	九州大学	ict③	R1
339	木田雄也, 堀 磨伊也, 高野 茂, 荒川豊, 谷口倫一郎	オンデマンドバスの乗車リクエスト数予測モデルの局所的解釈による妥当性の検証	ITSシンポジウム	オンライン開催	2020/12/10	九州大学	ict①	R2
340	徳田 瑛, 荒川豊, 高野 茂, 石田 繁巳	WiFiとBLEによるハイブリッド混雑度計測における自動パラメータ調整の検討	情報処理学会MBL研究会	オンライン開催	2021/5/20	九州大学	ict①	R3
341	廣瀬 慧、増田 弘毅	電力需要の短期予測のための統計モデリング	2019年度 統計関連学会連合大会	滋賀大学	2019/9/8～12	九州大学	mi①	R1
342	廣瀬 慧	電力需要予測のための統計モデルとソフトウェア	2020年度 統計関連学会連合大会	オンライン開催	2020/9/10	九州大学	mi①	R2
343	吉田 航, 廣瀬 慧	適切な誤差分散推定によるモデル選択後の予測精度向上	2021年度 統計関連学会連合大会	オンライン開催	2021/9/9	九州大学	mi①	R3
344	廣瀬慧	相対誤差に基づく回帰モデルのロバスト推定	2018年統計関連学会連合大会	中央大学	2018/9/13	中央大学	mi①	H30
345	山口尚哉	電力需要予測誤差分布に基づく電力取引支援システムの構築	第2018インテリジェント・システム・シンポジウム	横浜国立大学	9/26-27	九州大学	mi①	H30
346	Osamu Saeki	Simplifying broken Lefschetz brations and trisections of 4-manifolds	Four Dimensional Topology	Osaka City University	2018/9/7	九州大学	mi①	H30
347	Akira Tanaka, Nozomi Hata, Nariaki Tateiwa, Katsuki Fujisawa	Practical Approach to Evacuation Planning Via Network Flow and Deep Learning	the Fourth Interna- tional Workshop on High Performance Big Graph Data Management, Analysis, and Mining (BigGraphs 2017)	Boston, MA, USA	2017/12/11	九州大学	mi①	H29

348	山口尚哉、廣瀬慧、堀磨伊也、出口喜也	電力取引市場における電力調達の最適化	2017年度統計関連学会連合大会	南山大学	2017/9/4	九州大学	mi①	H29
349	廣瀬 慧, 寺田吉壱	因子分析における単純構造推定のための正則化法	2017年度統計関連学会連合大会	南山大学	2017/9/4	九州大学	mi①	H29
350	山口尚哉、廣瀬慧、堀磨伊也、出口喜也	予測精度に応じた最適な電力調達とそのシミュレーション	第137回日本数学会九州支部例会	熊本大学	2017/10/4	九州大学	mi①	H29
351	Hirose, K., and Terada, Y.	Estimation of well-clustered structure via penalized maximum likelihood method in factor analysis model	CMStatistics 2017	University of London, London	2017/12/18	九州大学	mi①	H29
352	藤澤克樹	大規模グラフ解析と都市 OS の開発 —ヒト・モノのモビリティに関する新しい数理モデ ルとその応用—	データサイエンスセミナー&交流会 January 2017,	Osaka Innovation Hub, 大阪市	2017/1/21	九州大学	mi①	H28
353	Katsuki Fujisawa	Advanced computing & optimization infrastructure for extremely large-scale graphs on post peta-scale supercomputers	ISM-ZIB-IMI Joint Workshop on Optimization and Data-intensive High Performance Computing, Institute of Statistical Mathematics	Tokyo, Japan	2017/1/19	九州大学	mi①	H28
354	藤澤克樹	Industry 4.0 から Society 5.0 へ – IoT, 次世代 AI, ビッグデータがもたらす新しいもの づくり –,	応用数理ものづくり研究会 第 15 回技術セミナー	早稲田大学	2016/12/22	九州大学	mi①	H28
355	Katsuki Fujisawa	Advanced Computing & Optimization Infrastructure for Extremely Large-Scale Graphs on Post Peta-Scale Supercomputers	Semi-plenary Talk, IC-COPT2016, GRIPS	Tokyo, Japan	2016/8/10	九州大学	mi①	H28
356	Katsuki Fujisawa	Advanced Computing & Optimization Infrastructure for Extremely Large-Scale Graphs on Post Peta-Scale Supercomputers	ICMS2016	ZIB, Berlin, Ger-many	2016/7/12	九州大学	mi①	H28
357	Katsuki Fujisawa	Advanced Computing & Optimization Infrastructure for Extremely Large-Scale Graphs on Post Peta-Scale Supercomputers	ISC16, Big Data & HPC Convergence	Frankfurt, Germany	2016/6/20	九州大学	mi①	H28
358	藤澤 克樹	大規模グラフ解析と都市 OS の開発 – ヒト・モノのモビリティに関する新し い数理モデルとその応用–	第 29 回 回路とシステムワークショップ	北九州国際会議場	2016/5/12	九州大学	mi①	H28
359	Y. Yasui	NUMA-aware Graph Computation using ULIBC	, ISM High Performance Computing Conference	The National Art Center, Tokyo	2016/10/11	九州大学	mi①	H28
360	Y. Mizoguchi, H. Ochiai	Symbolic computagions in conformal geometric algebra for three dimensional origami folds	First Internal Workshop on Computational Origami and Applications	, Vienna University of Technology, Vienna	2016/7/1	九州大学	mi①	H28
361	佐伯修	トポロジーでデータ構造を解析する	第10回設計情報学研究会	KKRホテル熊本	2016/8/26	九州大学	mi①	H28
362	佐伯修	微分トポロジーによるデータ可視化	日本機械学会2016年度年次大会, 産業に応える数学 —幾何・統計・計算数学からものづくりへ—	九州大学伊都キャンパス	2016/9/13	九州大学	mi①	H28
363	廣瀬慧	正則化法によるスパース推定とその応用	電気学会. 全国大会	富山大学	2017/3/17	九州大学	mi①	H28
364	Kei Hirose	Robust estimation for high-dimensional graphical models	Forum "Math-for-Industru" 2016. Science and Engineering Centre, Garden's Point Campus	Queensland University of Technology, Brisbane, Australia	2016/11/21-23	九州大学	mi①	H28
365	Kei Hirose	Robust estimation for sparse Gaussian graphical model	International Conference on Statistical Distributions and Applications ICOSDA 2016	Crowne Plaza, Niagara Falls, Canada	2016/10/14-16	九州大学	mi①	H28
366	廣瀬慧	Prenetペナルティによる因子分析の単純構造の推定	大規模統計モデリングと計算統計III	東京大学	2016/9/27-28	九州大学	mi①	H28
367	廣瀬慧, 藤澤洋徳	ロバストかつスパースなガウシアングラフィカルモデリングと遺伝子データへの応用	統計関連学会連合大会	金沢大学	2016/9/6-9	九州大学	mi①	H28
368	Kei Hirose and HironorI Fujisawa. The fifth International Conference on Continuous Optimization.	Robust Estimation for Gaussian Graphical Modeling and Its Application to Gene Expression Data	National Graduate Institute for Policy Studies (GRIPS)	Tokyo, Japan	2016/8/6-11	九州大学	mi①	H28
369	Kei Hirose	Robust Estimation for Sparse Gaussian Graphical Modeling	. The 4th Institute of Mathematical Statistics Asia Pacific Rim Meeting (IMS-APRM).	The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong	2016/6/27-30	九州大学	mi①	H28

370	Kei Hirose	Sparse factor model via regularization and its extension to regression analysis.	日本計算機統計学会第30回大会.	ハートピア京都	2016/5/19	九州大学	mi①	H28
371	高木 剛	ポスト量子暗号の安全性評価	日本応用数理学会2017年研究部会連合発表会	電気通信大学, 調布, 東京	2017/3/7	九州大学	mi①	H28
372	藤澤 克樹	「都市OSの創り方5 ビッグデータ解析で福岡市の未来（5分後から数年後まで）を予測する！編」	九州大学共進化社会システム創成シンポジウム ～都市OSはこう創る！	福岡市	2015/4/10	九州大学	mi①	H27
373	安井 雄一郎	普遍的最速流計算における最大流アルゴリズム	短期共同研究 "大規模データに対する最大フロー求解アルゴリズムの実装技術の構築", 公開ワークショップ	九州大学	2015/6/9	九州大学	mi①	H27
374	藤澤 克樹	グラフ解析と最適化技術で実現する都市OS	短期共同研究 "大規模データに対する最大フロー求解アルゴリズムの実装技術の構築", 公開ワークショップ	九州大学	2015/6/9	九州大学	mi①	H27
375	K. Fujisawa	Advanced Computing & Optimization Infrastructure for Extremely Large-Scale Graphs on Post Peta-Scale Supercomputers	ISM High Performance Computing Conference	The Institute of Statistical Mathematics (ISM), Tokyo	2015/10/10	九州大学	mi①	H27
376	Y. Yasui	NUMA-aware thread-parallel breadth-first search for Graph500 and Green Graph500 Benchmarks on SGI UV 2000	ISM High Performance Computing Conference	The Institute of Statistical Mathematics (ISM), Tokyo	2015/10/10	九州大学	mi①	H27
377	D. Tagami	An Iterative Domain Decomposition Method for Eddy Current Problems with the Gauge Condition	1st Pan-American Congress on Computational Mechanics	Buenos Aires	2015/4/28	九州大学	mi①	H27
378	佐伯修	やわらかい幾何学	トポロジーでデータ構造を解析する, 九州大学テクノロジーフォーラム2014, セッションII	東京国際フォーラム	2014/12/3	九州大学	mi①	H26
379	Masato Wakayama	"Lie Algebra Representations and the Quantum Rabi Model -A View from Non-Commutative Harmonic Oscillators and Heun ODEs"	Workshop on Mathematics and Physics of Interacting Quantum Systems (MPIQS)	九州大学, 福岡	2014/10/24	九州大学	mi①	H26
380	Masaki Owari	"Probing Untouchable Environment as a Resource for Quantum Computing"	Workshop on Mathematics and Physics of Interacting Quantum Systems (MPIQS)	九州大学, 福岡	2014/10/23	NTTコミュニケーション基礎科学研究所	mi①	H26
381	Yuan Ye, Chen-Mou Cheng, Shinsaku Kiyomoto, Yutaka Miyake, Tsuyoshi	"Efficient Implementation of Lattice-based Cryptosystems using JavaScript"	2015年暗号と情報セキュリティシンポジウム, SCIS2015	小倉	2015/1/20	九州大学	mi①	H26
382	落合啓之,	"行列の数理と運動の記述"	CEDEC 2013 (Computer Entertainment Developers Conference 2013)	横浜	2013/8/21	九州大学、株式会社OLMデジタル	mi①	H25
383	溝口佳寛,	"複素数・四元数と図形の回転"	九州数学教育会 第4回算数・数学教育研修会	福岡市	2013/12/8	九州大学、株式会社OLMデジタル	mi①	H25
384	落合啓之,	"Math for CG、映像制作に使われる数学"	城西大学理学部数学科講演会 学部3年生対象	城西大学	2013/6/8	九州大学、株式会社OLMデジタル	mi①	H25
385	横山俊一, 吉田学	"Magmaによるp進拡大体の高速生成アルゴリズムの実装"	第22回日本数式処理学会大会	神奈川県	2013/6/8	九州大学、株式会社OLMデジタル	mi①	H25
386	落合啓之, チーム発表1 "安生チーム"		第1回 JST CREST「数学」領域横断若手合宿～冬の学校, 指宿	指宿	2014/1/31	九州大学、株式会社OLMデジタル	mi①	H25
387	松田元輝	"非可換二重複素数と剛体変形"	第130回日本数学会九州支部例会	琉球大学	2014/2/15	九州大学、株式会社OLMデジタル	mi①	H25
388	Yoshihiro Mizoguchi,	"Mathematical Aspects of Interpolation Technique for Computer Graphics"	PNU Mathematics Colloquium	Pusan National University, Korea,	2013/4/19	九州大学、株式会社OLMデジタル	mi①	H25
389	Shuhei Yokoyama	"Lit-Sphere Extension for Artistic Rendering"	After FMI2011, Forum "Math-for-Industry" 2013 -The Impact of Applications on Mathematics-	Fukuoka	2013/11/1	九州大学、株式会社OLMデジタル	mi①	H25
390	Masato Wakayama,	"A Lie Theoretic Proposal on Algorithms for Spherical Harmonic Lighting"	Symposium MEIS2013: Mathematical Progress in Expressive Image Synthesis, MI Lecture Note Vol.50 Kyusyu University pp.56-63,		2013.1	九州大学、株式会社OLMデジタル	mi①	H25

391	Hiroyuki Ochiai	“Mathematical Formulation of Motion/Deformation and its Applications”	Symposium MEIS2013: Mathematical Progress in Expressive Image Synthesis, MI Lecture Note Vol.50 Kyusyu University pp.100-103		2013.1	九州大学、株式会社OLMデジタル	mi①	H25
392	Genki. Matsuda	“Anti-commutative Dual Complex Numbers and 2D Rigid Transformation”	Symposium MEIS2013: Mathematical Progress in Expressive Image Synthesis, MI Lecture Note Vol.50 Kyusyu University pp.128-133		2013.1	九州大学、株式会社OLMデジタル	mi①	H25
393	谷口俊輔	電気自動車への適用を目指したSOFC基盤技術開発	共進化社会システム創成拠点シンポジウム	九州大学	2018/1/31	九州大学	EN④	H29
394	Hua Li, Akiko Inada, Kenji Terabaru, Hironori Nakajima, and Kohei Ito	Engineering of high temperature PEMWE	International Conference on Electrolysis 2017	Copenhagen	2017/6/13-15	九州大学	EN②	H29
395	李 樺、稲田顕子、中島穂典、伊藤衡平	アノードアイオノマー含有量の適正化による高温PEM水電解の過電圧の抑制	日本伝熱シンポジウム	埼玉	2017/05/24-26	九州大学	EN②	H29
396	Shotaro FUTAMURA, Yuya TACHIKAWA, Junko MATSUDA, Stephen M. LYTH, Yusuke SHIRATORI, Shunsuke TANIGUCHI, Kazunari SASAKI	Alternative SOFC Anode Materials with Ion- and Electron-Conducting Backbones for Higher Fuel Utilization	SOFC-XV	The Diplomat Beach Resort (Hollywood, FL, USA)	2017/7/27	九州大学	EN③	H29
397	Yudai KIKUCHI, Junko MATSUDA, Yuya TACHIKAWA, Shunsuke TANIGUCHI, Yusuke SHIRATORI, Kazunari SASAKI	Degradation of SOFCs by VariousImpurities: Impedance Spectroscopyand Microstructural Analysis	SOFC-XV	The Diplomat Beach Resort (Hollywood, FL, USA)	2017/7/27	九州大学	EN③	H29
398	Yoshiki NAKAZATO, Daiki KAWACHINO, Zhiyun NODA, Junko MATSUDA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI	SnO2-Supported Electrocatalysts on Various Conductive Fillers for PEFCs	232nd ECS Meeting	Gaylord National Resort & Convention Center (National Harbor, MD, USA)	2017/10/5	九州大学	EN④	H29
399	Shohei MATSUMOTO, Masaru NAGAMINE, Zhiyun NODA, Junko MATSUDA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI	Pt-Alloy Electrocatalysts Supported on SnO2 for PEFCs	232nd ECS Meeting	Gaylord National Resort & Convention Center (National Harbor, MD, USA)	2017/10/5	九州大学	EN④	H29
400	二村聖太郎、立川雄也、松田潤子、白鳥祐介、谷口俊輔、佐々木一成	高燃料利用率発電用のSOFCアノード材料に関する研究	第26回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）	2017/12/15	九州大学	EN③	H29
401	菊池勇大、松田潤子、立川雄也、白鳥祐介、谷口俊輔、佐々木一成	SOFCの燃料不純物による性能劣化と電極インピーダンスとの相関に関する研究	第26回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）	2017/12/15	九州大学	EN③	H29
402	大土井博俊、川内野大樹、野田志云、松田潤子、林灯、佐々木一成	アークプラズマ蒸着法を用いた新規PEFCセルの開発	電気化学会第85回大会	東京理科大学葛飾キャンパス（東京都葛飾区）	2018/3/9	九州大学	EN④	H29

403	岩永 佳大、菊池 勇大、松田 潤子、立川 雄也、白鳥 祐介、谷口 俊輔、佐々木 一成	SOFCカソードの不純物被毒と電極インピーダンスDRT解析	電気化学会第85回大会	東京理科大学葛飾キャンパス（東京都葛飾区）	2018/3/9	九州大学	EN③	H29
404	石橋 悠佑、二村 聖太郎、立川 雄也、松田 潤子、白鳥 祐介、谷口 俊輔、佐々木 一成	導電骨格を制御したSOFCアノード材料に関する研究	電気化学会第85回大会	東京理科大学葛飾キャンパス（東京都葛飾区）	2018/3/9	九州大学	EN③	H29
405	安武昌浩、穴井裕喜、川内野大樹、野田志云、松田潤子、林灯、佐々木一成	金属酸化物担体を用いた固体高分子形水電解セルの研究	電気化学会第85回大会	東京理科大学葛飾キャンパス（東京都葛飾区）	2018/3/9	九州大学	EN②	H29
406	坂本 潤弥	介護施設向けロボットサービスプラットフォームROS-TMS 5.0の開発	第35回日本ロボット学会学術講演会	東京	2017/9/12	九州大学	5.1.3.2 CS②	H29
407	中嶋 一斗	第四人称キャプショニング：相補性を有する分散視覚を用いたヒト-ロボット共生空間の状況記述	画像の認識理解シンポジウム	東京	2017/9/12	九州大学	5.1.3.2 CS②	H29
408	山中　孝彦	生体計測用近赤外OLEDの開発	第24回有機EL討論会	NHK放送技術研究所	2017/6/15-2017/6/16	浜松ホトニクス株式会社、国立大学法人九州大学	CS②	H29
409	山中　孝彦	生体計測用近赤外OLEDの開発	高分子学会　有機エレクトロニクス研究会	東京工業大学	2017/7/31	浜松ホトニクス株式会社、国立大学法人九州大学	CS②	H29
410	諸賀加奈、永田晃也	市民サービスとサスティナブル都市実現にむけた取り組み	環境経済・政策学会2017年大会	高知工科大学	2017/9/	九州大学	CS⑥	H29
411	永田晃也、小林俊哉、西釜義勝、長谷川光一、諸賀加奈	ソーシャル・キャピタル蓄積の観点からみた都市計画の評価	研究・イノベーション学会第32回年次学術大会	京都大学	2017/10/29	九州大学	CS⑥	H29
412	Kana Moroga and Akiya Nagata	“Transportation Sector and the Role of ICT for Sustainable Smart Cities in Asia”	The 16th International Conference of the Japan Economic Policy Association	Okinawa, Japan	2017/11/	九州大学	CS⑥	H29
413	西釜義勝、小林俊哉	九州大学共進化社会システム・サイエンスカフェの展開	科学技術社会論会第16回全国研究大会	九州大学	2017/11/26	九州大学	CS⑥	H29
414	横浜国立大学Y-GSA	「起こせ！イノベーション－若者の力で誇りに思える横浜を創る」	YOUTH Ups! 2016		2016.2.21	横浜国立大学		H27
415	香山卓士	,Wet on Wet二層フレキソ印刷による有機LEDデバイス	ID TechEx Show! 2015	米国・サンタクララ（Santa Clara Convention Center）	Nov 18-19, 2	株式会社コムラテック、ハリマ化成㈱、東芝機械㈱、九大による共同開発		H27
416	香山卓士	㈱コムラテックのPEテクノロジー最新情報,	第5回次世代プリンテッドエレクトロニクスシンポジウム	東京都（秋葉原コンベンションホール）	14-Dec-15	株式会社コムラテック、ハリマ化成㈱、東芝機械㈱、九大による共同開発		H27
417	A. Nobori, N. Kobayashi, H. Kuwae, T. Kasahara, J. Oshima, C. Adachi, S. Shoji, and J. Mizuno	Flexible Organic Light Emitting Diode Ribbons Using Three Liquid Organic Semiconductors	MEMS 2016	Matsushima Bay and Sendai Japan,	April, 2016			H27
418	小林　俊哉	大学院教育における『STSステートメント』の作成と発表の試み－九州大学における教育実践	科学技術社会論学会 第13回年次研究大会	大阪大学	2014年 11月	九州大学		H26
419	小林　俊哉	サイエンスカフェによる『STSステートメント』の試み－九州大学における実践	サイエンスアゴラ2014	日本科学未来館	2014年11月8	九州大学		H26
420	Y.Mizoguchi, H.Tanaka, S.Inokuchi	Formalization of proofs using relational calculus, Proc	International Symposium on Information Theory and Its Applications (ISITA2016),pp. 532-536		November, 20	九州大学	D1-2-②	H28
421	S. Kaji, A. D-Jourdan, H.Ochiai	Dappled tiling, Proc. of Symposium on Mathematical Progress in Expressive Image Synthesis (MEIS2016)	MI Lecture Note Vol.69, pp.18--27		2016	九州大学, オー・エル・エム・デジタル(株)	D1-2-②	H28
422	落合啓之、チーム発表1“安生チーム”		第1回 JST CREST「数学」領域横断若手合宿～冬の学校, 指宿	指宿	2014/1/31	九州大学、株式会社OLMデジタル		H25
423	松田元輝	“非可換二重複素数と剛体変形”	第130回日本数学会九州支部例会	琉球大学	2014/2/15	九州大学、株式会社OLMデジタル		H25

424	Yoshihiro Mizoguchi,	"Mathematical Aspects of Interpolation Technique for Computer Graphics"	PNU Mathematics Colloquium	Pusan National University, Korea,	2013/4/19	九州大学、株式会社OLMデジタル		H25
425	Shuhei Yokoyama	"Lit-Sphere Extension for Artistic Rendering"	After FMI2011, Forum "Math-for-Industry" 2013 -The Impact of Applications on Mathematics-	Fukuoka	2013/11/1	九州大学、株式会社OLMデジタル		H25
426	劉 孟達, 小澤 暁人, 平川 一彦, 松橋 隆治	Life Cycle Assessment of Combination of Photovoltaic Manufacturing Process and Hydrogen Production	第38回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	オンライン	2022/1/26	東京大学	en①	R3
427	松原 雅, 吉岡 剛, 松橋 隆治	電力小売事業者における蓄電池と電解装置の協調運転とJEPX価格変動リスク回避に関する研究	第38回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	オンライン	2022/1/26	東京大学	en①	R3
428	張 天鴻, 松橋 隆治	合成炭化水素燃料を利用した輸送業の脱炭素化に関する研究	第38回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス	オンライン	2022/1/26	東京大学	en①	R3
429	Jihan Lee・Junichiro Otomo	Direct CO2 methanation from flue gas or air	化学工学会第52回秋季大会	岡山大学 津島キャンパス（ハイブリッド開催）本発表はオンラインで実施	2021/7/19	東京大学/東京工業大学	en①	R3
430	Junichiro Otomo, Hiroki Matsuo, Julian Andres Ortiz Corrales , Shun Yamate	Highly Efficient Cell Design and Cost Analysis of Protonic Ceramic Fuel Cells	14th PACIFIC RIM CONFERENCE ON CERAMIC AND GLASS TECHNOLOGY	オンライン開催	2021/12/15	東京大学/東京工業大学	en①	R3
431	山手駿, Julian Andres Ortiz Corrales, 大友順一郎	積層型電解質膜を用いたプロトン伝導性セラミック燃料電池のセルデザインおよび経済性評価	第30回SOFC研究発表会	オンライン開催	2021/12/17	東京大学/東京工業大学	en①	R3
432	田島 星也・大友 順一郎	プロトン伝導性無機固体電解質積層膜の輸送特性評価	化学工学会第87年会	神戸大学 鶴甲第1キャンパス（ハイブリッド開催）本発表はオンラインで実施	2022/3/16	東京大学/東京工業大学	en①	R3
433	LEE JIHAN・松崎 良雄・大友 順一郎	Direct air capture methanation using ion conductors	化学工学会第87年会	神戸大学 鶴甲第2キャンパス（ハイブリッド開催）本発表はオンラインで実施	2022/3/16	東京大学/東京工業大学/九州大学/東京ガス	en①	R3
434	Julian Andres Ortiz Corrales, 大友順一郎	Improvement of PCFC performance by optimizing leakage current using multilayer electrolytes	電気化学会第89回大会	大阪府立大学（ハイブリッド開催）本発表はオンラインで実施	2022/3/15	東京大学/東京工業大学	en①	R3
435	松崎良雄	定置用燃料電池の社会実装研究と低・脱炭素化への展開	九州大学COI持続的共進化地域創成拠点シンポジウム	アクロス福岡 + オンライン（Zoom）	2022/1/28	東京ガス	en③	R3
436	Yasir Arafat Hutapea, Zulfi Al Rasyid Gautama, Akari Hayashi, Kazunari Sasaki, Masamichi	High Oxygen Permeable Blend Ionomer for Concentration Overvoltage Reduction in PEFC Systems	70th Symposium on Macromolecules	online	2021/9/6	九州大学	en④	R3
437	Zulfi Al Rasyid Gautama, Yasir Arafat Hutapea, Stephen Lyth, Kazunari Sasaki, Masamichi	Achieving High Durability with High Oxygen Barrier Polymer Electrolyte Membranes	70th Symposium on Macromolecules	online	2021/9/6	九州大学	en④	R3
438	Yasir Arafat Hutapea, Zulfi Al Rasyid Gautama, Akari Hayashi, Kazunari Sasaki, Masamichi	High oxygen permeable blend ionomer for PEFC application	1st UK-Japan Symposium on Advanced Materials for Hydrogen and Fuel Cells	online	2021/12/9	九州大学	en④	R3
439	Zulfi Al Rasyid Gautama, Yasir Arafat Hutapea, Stephen Lyth, Kazunari Sasaki, Masamichi	Development of high oxygen barrier PEMs to suppress chemical degradation	1st UK-Japan Symposium on Advanced Materials for Hydrogen and Fuel Cells	online	2021/12/9	九州大学	en④	R3
440	中島友平、立川雄也、佐々木一成	SOEC高温共電解プロセスの最適設計	電気化学会第89回大会	大阪府立大学	2022/3/15	九州大学	en③	R3
441	立川雄也	再エネ普及拡大を踏まえた水素を用いたエネルギー融通ポテンシャルの検討	第41回水素エネルギー協会大会	オンライン	2021/11/30	九州大学	en②	R3

442	Katsuya Miyamoto, Tsutomu Kawabata, Yuya Tachikawa, Junko Matsuda, Shunsuke Taniguchi, Yoshio Matsuzaki, Akari Hayashi,	Preparation of Model SOFCs with Proton-Conducting Electrolyte on Metal Support Using Pulse Laser Deposition	17th International Symposium on Solid Oxide Fuel Cells	スウェーデン（オンライン）	2021/7/21	九州大学	en③	R3
443	徳田 瑛, 荒川 豊, 高野 茂, 石田 繁巳	WiFiとBLEによるハイブリッド混雑度計測における自動パラメータ調整の検討	情報処理学会MBL研究会	オンライン開催	2021/5/20	九州大学	ict①	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名：V3『持続的共進化地域創成拠点』（中核：九州大学）

⑫-2 発表（ポスター発表）

No	発表者	タイトル	学会名等	場所	年月日	発表機関（参画機関のみ）	備考（課題番号等）	年度
1	瀧野恵介、立川雄也、白鳥祐介、谷口俊輔、佐々木一成	高効率SOFCシステム開発に向けたスタックシミュレーションによる内部特性の可視化	電気化学会第85回大会	東京理科大学葛飾キャンパス（東京都葛飾区）	2018/3/9	九州大学	EN③	H29
2	村本 朱、菊池勇大、立川 雄也、白鳥 祐介、谷口 俊輔、佐々木 一成	次世代火力発電に向けた加圧SOFC燃料の熱力学平衡組成に関する研究	電気化学会第85回大会	東京理科大学葛飾キャンパス（東京都葛飾区）	2018/3/9	九州大学	EN③	H29
3	長嶺 優、野田志云、真鍋 大道、松本 匠平、松田 潤子、林 灯、佐々木 一成	SnO2担持PEFC電極触媒の光化学法による調製に関する研究	電気化学会第85回大会	東京理科大学葛飾キャンパス（東京都葛飾区）	2018/3/9	九州大学	EN④	H29
4	川内野大樹、安武昌浩、大土井博俊、野田志雲、松田潤子、林灯、佐々木一成	Ti系多孔体を担体としたPEFC電極触媒・GDL一体シートの開発	電気化学会第85回大会	東京理科大学葛飾キャンパス（東京都葛飾区）	2018/3/9	九州大学	EN④	H29
5	L. Christiani, K. Sasaki, M. Nishihara,	Aliphatic effect in Sulfonated Charge-Transfer Hybrid Film for High Temperature Polyelectrolyte Fuel Cell Application	18th Electrochemistry Conference,	Kitakyushu international conference center, Kitakyushu,	2017/7/1	九州大学	EN④	H29
6	S. Feng, L. Christiani, K. Sasaki, S. Kondo, T. Kaseyama, T. Nakazawa, T. Kikuchi, M. Nishihara	Development of polymer-polymer charge transfer membrane as electrolyte for polymer electrolyte fuel cell application	18th Electrochemistry Conference,	Kitakyushu international conference center, Kitakyushu,	2017/7/1	九州大学	EN④	H29
7	古田龍平	The study on the novel algorithm to interchange electricity in collective houses receiving high voltage electricity	Power and Energy Conference	Illinois	2018/2/22	東京大学	EN①	H29
8	Gen Kojo	"Material and cell design for proton-conducting solid oxide fuel cells using lanthanum tungstate with high La/W ratio"	21th International Conference on Solid State Ionics (SSI-21)	Padua, Italy	2017/6/19	東京大学 東京ガス	EN③	H29
9	小城元	「プロトン伝導性固体酸化物形燃料電池における輸送特性と発電効率の相関」	化学工学会第83年会	関西大学千里山キャンパス	2018/3/13	東京大学 東京ガス	EN③	H29
10	橋本 隼輔	「プロトン伝導性固体酸化物形電解セルのイオン・電子輸送特性と水蒸気電解への影響」	化学工学会第83年会	関西大学千里山キャンパス	2018/3/13	東京大学	EN③	H29
11	Hiromichi MANABE, Yoshiki NAKAZATO, Makito OKUMURA, Junko MATSUDA, Zhyun NODA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI	FIB-SEM 3-Dimensional Nanostructure Observation of PEFC Electrocatalyst Layers	AiMES2018	Moon Palace Resort, Cancun, Mexico	2018/10/1	九州大学	en④	H30
12	Hirotoshi ODOI, Zhiyiun NODA, Junko MATSUDA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI	Pt-Decorated Oxide/MPL/GDL-Supported PEFCs	AiMES2018	Moon Palace Resort, Cancun, Mexico	2018/10/1	九州大学	en④	H30

13	Masahiro YASUTAKE, Hiroki ANAI, Daiki KAWACHINO, Zhiyun NODA, Junko MATSUDA, Kohei ITO, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI	Metal-Oxide-Supported Ir-Decorated Electrocatalysts for Polymer Electrolyte Membrane Water Electrolysis	AiMES2018	Moon Palace Resort, Cancun, Mexico	2018/10/1	九州大学	en②	H30
14	石橋悠佑、二村聖太郎、立川雄也、松田潤子、白鳥祐介、谷口俊輔、佐々木一成	Ni合金を用いたSOFCアノード材料に関する研究	第27回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール, 東京都千代田区	2018/12/13	九州大学	en③	H30
15	Pham Hung Cuong, Shunsuke Taniguchi et. al.	Investigation of Fe-Cr-Al Alloy Substrate for Metal Supported SOFC	第55回 化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場	2018/6/30	九州大学	en④	H30
16	M. Nishihara, S. Feng, L. Chrisitiani, K. Sasaki, S. Kondo, T. Nakazawa, T. Kikuchi,	Polymer electrolyte blend membranes with charge-transfer complex structure	The 16th International Symposium on Polymer Electrolytes (ISPE-16)	Yokohama Symposia	2018.6.25	九州大学	en④	H30
17	M. Nishihara, Y. Terayama, T. Haji, S. M. Lyth, S. Satokawa, H. Matsumoto,	Zeolite-PVA composite electrolyte membrane for water-absorbing porous electrolyte water electrolysis cell	The 16th International Symposium on Polymer Electrolytes (ISPE-16)	Yokohama Symposia	2018.6.25	九州大学	en②	H30
18	西原正通, 馮世演, リアーナ・クリスティアーニ, ホァン・ビョンチャン, 佐々木一成, 近藤章一, 中澤　太一, 菊池　隆正,	燃料電池用電解質膜としての電荷移動錯体高分子複合膜への熱処理効果	第67回高分子年次大会	名古屋国際会議場	2018.5.24	九州大学	en④	H30
19	Yuya Tachikawa , Yoshio Matsuzaki , Takaaki Somekawa , Koki Sato, Shunsuke Taniguchi , Kazunari Sasaki	Solid oxide electrolyzer devices using proton and oxide-ion conducting electrolyte	13th EUROPEAN SOFC & SOE FORUM 2018	KKL, Lucerne Switzerland	3-6 July 2018	九州大学、東京ガス	en③	H30
20	George HARRINGTON, Lizin SUN, Bilge YILDIZ, Kazunari SASAKI, Nicola PERRY, Harry TULLER	The interplay of strain and defect association on the conductivity of rare earth substituted ceria	E-MRS Spring Meeting	Strasbourg, France	2018/6/20	九州大学	en③	H30
21	牛島、岩永、立川、白鳥、谷口、佐々木	SOFCの緩和時間分布と各種依存性に関する研究	第28回SOFC研究発表会	東京、日本	2019/12/12-13	九州大学	en③	R1
22	森、立川、白鳥、谷口、佐々木	SOFCの内部分布可視化と熱物質流れ解析に関する研究	第28回SOFC研究発表会	東京、日本	2019/12/12-13	九州大学	en③	R1
23	牛島、岩永、立川、白鳥、谷口、佐々木	Performance Analysis of SOFCs Based on the Distribution of Relaxation Times	PACRIM13	Okinawa, Japan	2019/10/27-31	九州大学	en③	R1

24	森、瀧野、立川、白鳥、谷口、佐々木	Numerical Analysis of Planar-type SOFC Performance Based on Modified Exchange Current Density Equation	PACRIM13	Okinawa, Japan	2019/10/27-31	九州大学	en③	R1
25	立川、松崎、川端、佐藤、飯沼、馬場、福永、谷口、佐々木	Process Analysis of Biogas Refining System using Proton Conducting SOEC	PACRIM13	Okinawa, Japan	2019/10/27-31	九州大学、東京ガス	en③	R1
26	大土井、川内野、野田、松田、林、佐々木	MPL/GDL-Supported Pt Electrocatalysts for PEFCs	236th ECS Meeting	Atlanta, USA	2019/10/13-17	九州大学	en④	R1
27	殿迫、川内野、野田、松田、林、佐々木	Preparation and Electrochemical Activities of Pt-TiO2 Nanocomposite Electrocatalysts for PEFCs	236th ECS Meeting	Atlanta, USA	2019/10/13-17	九州大学	en④	R1
28	吉積、長嶺、野田、松田、林、佐々木	Electrocatalysts Supported on Nanocrystalline SnO2 for Polymer Electrolyte Fuel Cells	236th ECS Meeting	Atlanta, USA	2019/10/13-17	九州大学	en④	R1
29	H.-C PHAM他	Semi-conductive α-Al2O3/Sr3Al2O6 Oxide Layer formed on Fe-Cr-Al Alloy	16th International Symposium on Solid Oxide Fuel Cells	Kyoto, Japan	2019/9/8-13	九州大学	en④	R1
30	G. Harrington, S. Grieshammer, S. Kim, L. Sun, B. Yildiz, K. Sasaki, N. Perry. H. Tullar	"Tailoring non-stoichiometry and mixed ionic-electronic conductivity at interfaces in Pr-substituted ceria"	22st International Conference of Solid State Ionics	PyeongChang, Korea	2019/6.18	Kyusyu University, MIT, U Illinois	en③	R1
31	Kentaro Imai, Hironori Nakajima, and Kohei Ito	Analysis of the influence of electrolysis voltage fluctuation on polymer electrolyte membrane electrolysis cell	22st International Conference of Solid State Ionics	PyeongChang, Korea	2019/6.18	Kyusyu University	en②	R1
32	B. Hwang, M. Nishihara, K. Sasaki, A. Hayashi, S. Kondo, T. Kikuchi	Development of novel polymer electrolyte materials containing siloxane structure for PEFC	第68回高分子年次大会	大阪府立国際会議場、大阪	2019/5/30	九州大学、日産化学	en④	R1
33	馮世演, 佐々木一成, 西原正通,	高温形PEFCへの応用を目指したスルホン化ポリエーテルスルホン高分子電解質膜,	第65回高分子年次大会,	神戸国際展示場, 兵庫,	May 25-27, 2016.	九州大学	EN④	H28
34	Y. Matsuzaki, Y. Tachikawa, T. Somekawa, K. Sato, H. Matsumoto, S. Taniguchi, K. Sasaki,	Potential for critically-high electrical efficiency of multi-stage SOFCs with proton-conducting solid electrolyte,	12th European SOFC & SOE Forum 2016,	KKL Lucerne, Lucerne, Switzerland,	Jul. 5-8, 2016.	九州大学、東京ガス(株)	EN③	H28
35	Y. Tachikawa, Y. Matsuzaki, T. Somekawa, S. Taniguchi, K. Sasaki,	Multi-stage highly-efficient SOFC system using proton and oxide-ion conducting electrolyte		KKL Lucerne, Lucerne, Switzerland,	Jul. 5-8, 2017.	九州大学、東京ガス(株)	EN③	H28
36	H. Anai, J. Matsuda, Z. Noda, Y. Tachikawa, A. Hayashi, K. Ito, K. Sasaki,	Preparation of Iridium-SnO2/VGCF Electrocatalysts for Water Electrolysis,	PRiME2016,	Hilton Hawaiian Village & Hawaii Convention Center, Hawaii, USA,	Oct. 2-7, 2016.	九州大学	EN②	H28
37	S. Matsumoto, M. Iwami, Z. Noda, J. Matsuda, A. Hayashi, K. Sasaki,	PEFC Alloy Electrocatalysts Supported on SnO2: A Study on the Preparation Method,	PRiME2017,	Hilton Hawaiian Village & Hawaii Convention Center, Hawaii, USA,	Oct. 2-7, 2017.	九州大学	EN④	H28
38	Y. Nakazato, M. Iwami, M. Okumura, Z. Noda, A. Hayashi, K. Sasaki,	SnO2Supported Electrocatalysts on Conductive Fillers for PEFCs,	PRiME2018,	Hilton Hawaiian Village & Hawaii Convention Center, Hawaii, USA,	Oct. 2-7, 2018.	九州大学	EN④	H28

39	瀧野惠介, 立川雄也, 白鳥祐介, 谷口俊輔, 佐々木一成,	SOFCの高効率化に向けたスタックシミュレーション手法に関する研究,	第25回SOFC研究発表会,	科学技術館サイエンスホール, 東京,	Dec. 15-16, 2016.	九州大学	EN③	H28
40	村本朱, 菊池勇大, 立川雄也, 白鳥祐介, 谷口俊輔, 佐々木一成,	発電用燃料電池システムの燃料適応性に関する基礎研究,	第26回SOFC研究発表会,	科学技術館サイエンスホール, 東京,	Dec. 15-16, 2017.	九州大学	EN③	H28
41	川崎達也, 松田潤子, 立川雄也, 白鳥祐介, 谷口俊輔, 佐々木一成,	SOFCの高加湿条件下におけるNiアノードの酸化劣化に関する研究	第27回SOFC研究発表会,	科学技術館サイエンスホール, 東京,	Dec. 15-16, 2018.	九州大学	EN③	H28
42	立川雄也,	高効率発電のさらなる低炭素化実現のための炭素成分分離手法の検討,	九州大学エネルギーウィーク2017,	九州大学, 福岡,	Jan. 30-Feb. 3, 2017.	九州大学	EN③	H28
43	菊池勇大, 村本朱, 立川雄也, 松田潤子, 白鳥祐介, 谷口俊輔, 佐々木一成,	SOFCの燃料不純物による性能劣化と電極インピーダンスとの相関性に関する研究,	電気化学会第84回大会,	首都大学東京南大沢キャンパス, 東京,	Mar. 25-27, 2017.	九州大学	EN③	H28
44	川内野大樹, 中里佳樹, 野田志云, 松田潤子, 林灯, 佐々木一成,	カーボンナノチューブを導電補助材に用いたSnO2担持PEFC電極触媒の開発,	電気化学会第85回大会,	首都大学東京南大沢キャンパス, 東京,	Mar. 25-27, 2018.	九州大学	EN④	H28
45	松本匠平, 長嶺優, 野田志云, 松田潤子, 林灯, 佐々木一成,	SnO2担持PE FC合金電極触媒の開発,	電気化学会第86回大会,	首都大学東京南大沢キャンパス, 東京,	Mar. 25-27, 2019.	九州大学	EN④	H28
46	Nishihara M., Feng S., Christiani L., Sasaki K.,	Application for polymer electrolyte membranes by interpenetrating polymer network films with charge-transfer complex,	2015 64th SPSJ Annual meeting,	Sapporo Convention Center, Sapporo,	27-29 May, 2015.	九州大学	EN④	H27
47	Kawasaki T., Sugimoto J., Tachikawa Y., Shiratori Y., Taniguchi S., Sasaki K.,	Degradation of SOFC Ni Anodes at High Fuel Utilizations,	The ECS Conference on Electrochemical Energy Conversion & Storage with SOFCXIV,	Glasgow, Scotland,	July 26-31, 2015.	九州大学	EN③	H27
48	Shen X, Sasaki K.,	Development of Robust SOFC Anode Materials Using LaDoped SrTiO,	The ECS Conference on Electrochemical Energy Conversion & Storage with SOFCXIV,	Glasgow, Scotland,	July 26-31, 2015.	九州大学	EN③	H27
49	Kitamura M., Noda Z., Matsuda J., Hayashi A., Sasaki K.,	Investigation of Durability of MEAs at Higher Temperature,	228th ECS Meeting,	Phoenix, USA,	Oct. 11-15, 2015	九州大学	EN④	H27
50	宮本英昌,北村晶彦,野田志云,佐々木一成,林灯,	PEFCの高温作動化に向けたカソード触媒材料の課題抽出,	電気化学会第83回大会,	大阪,	Mar. 29-31, 2016.	九州大学	EN④	H27
51	岩見雅弘, 堀口大, 松本匠平, 野田志雲, 林灯, 佐々木一成,	TiO2を担体に用いたPEFC用電極触媒の高活性化に関する研究,	電気化学会第83回大会,	大阪,	Mar. 29-31, 2016.	九州大学	EN④	H27
52	川崎達也, 杉本遵吉, 立川雄也, 白鳥祐介, 谷口俊輔, 佐々木一成,	SOFCの高加湿条件下における金属Niの酸化劣化に関する研究,	電気化学会第83回大会,	大阪,	Mar. 29-31, 2016.	九州大学	EN③	H27
53	奥村真己人, 野田志云, 松田潤子, 西原正通, 林灯, 佐々木一成,	FIB-SEMを用いたPEFC電極触媒層の微細構造観察解析法に関する研究	電気化学会第83回大会,	大阪,	Mar. 29-31, 2016.	九州大学	EN④	H27

54	穴井裕喜, 松田潤子, 野田志云, 立川雄也, 林灯, 伊藤衡平, 佐々木一成,	固体高分子形水電解セル用のSnO2担持Ir系電極触媒の作製	電気化学会第83回大会,	大阪,	Mar. 29-31, 2016.	九州大学	EN②	H27
55	金江秀, 豊福泰大, 川畑勉, 井上侑子, 大尾岳史, 松田潤子, 周致霆, 白鳥祐介, 谷口俊輔, 佐々木一成,	SOFC界面でのSrZrO3の生成メカニズムとセル性能への影響に関する研究	電気化学会第83回大会,	大阪,	Mar. 29-31, 2016.	九州大学	EN③	H27
56	堀口大	『SnO2担体を用いたPEFC電極触媒への導電補助材添加効果』	第51回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場（北九州市小倉北区）	June. 28, 2014	九州大学	EN④	H26
57	南田靖人	『メソポーラスカーボン担体を用いた燃料電池の特性評価』	第51回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場（北九州市小倉北区）	June. 28, 2014	九州大学	EN④	H26
58	杉本遵吉	『硫黄被毒におけるSOFCアノードへのセリア添加効果に関する研究』	第51回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場（北九州市小倉北区）	June. 28, 2014	九州大学	EN③	H26
59	北村晶彦、南田靖人、野田志云、林灯、佐々木一成	『高温作動PEFCにおける劣化メカニズムの検討』	第51回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場（北九州市小倉北区）	June. 28, 2014	九州大学	EN④	H26
60	砂田恭平	『加圧試験によるSOFC電極特性の圧力依存性に関する研究』	第51回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場（北九州市小倉北区）	June. 28, 2014	九州大学	EN③	H26
61	トーマス・バイヤー	『Graphene Oxide / グラフェンオキサイド』	第51回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場（北九州市小倉北区）	June. 28, 2014	九州大学	EN④	H26
62	石橋大希、谷口俊輔、朴銀珠、大尾岳史、周致霆、佐々木一成	『固体酸化物形燃料電池のカソード過電圧の変化に伴うクロム析出状態の変化』	第51回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場（北九州市小倉北区）	June. 28, 2014	九州大学	EN③	H26
63	楽豪、内田友美、坂本美緒、白鳥祐介、佐々木一成	『紙形状触媒の改質活性に及ぼす複合酸化物の添加効果』	第51回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場（北九州市小倉北区）	June. 28, 2014	九州大学	EN③	H26
64	大尾岳史	『酸化物担体を用いたPEFC電極触媒界面の超顕微観察評価』	第51回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場（北九州市小倉北区）	June. 28, 2014	九州大学	EN④	H26
65	永松洋平	『SnO2担持PEFC電極触媒のセル性能に関する研究』	第51回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場（北九州市小倉北区）	June. 28, 2014	九州大学	EN④	H26
66	Stephen LYTH, Jianfeng LIU, Kazunari SASAKI	"Pt-Decorated Graphene Foam as a PEMFC Cathode Catalyst."	第51回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場（北九州市小倉北区）	June. 28, 2014	九州大学	EN④	H26
67	Jianfeng LIU, Kazunari SASAKI, Stephen Matthew LYTH	"Nitrogen-Doped Graphene Foam as Highly Durable Non-Precious Catalysts."	第51回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場（北九州市小倉北区）	June. 28, 2014	九州大学	EN④	H26
68	Hung-Cuong PHAM, Shunsuke TANIGUCHI, Takeshi DAIO, Jyh-Tyng CHOU, Kazunari SASAKI	"Fe-Cr-Al Stainless Steel as a Porous Substrate for Metal Supported SOFCs."	第51回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場（北九州市小倉北区）	June. 28, 2014	九州大学	EN③	H26

69	Liana CHRISTIANI, Kazunari SASAKI, Masamichi NISHIHARA	“Proton Conductivity Evaluation of Charge-Transfer Complex Hybrid Films.”	第51回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場（北九州市小倉北区）	June. 28, 2014	九州大学	EN④	H26
70	Xuesong SHEN, Kazunari SASAKI	“Development of Robust SOFC Anode by using Doped Perovskites.”	第51回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場（北九州市小倉北区）	June. 28, 2014	九州大学	EN③	H26
71	Masamichi NISHIHARA, Liana CHRISTIANI, Kazunari SASAKI	“Post-modification of Polyamide by Charge-Transfer Complex Formation.”	8th ECNP International Conference on Nanostructured Polymers and Nanocomposites,	Technische Universität (Dresden, Germany),	September 16-19, 2014. (Poster: September 18, 2014)	九州大学	EN④	H26
72	Dai HORIGUCHI, Takuya TSUKATSUNE, Zhiyun NODA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI	“Pt/SnO2 Electrocatalysts on Conductive Fillers.”	2014 ECS and SMEQ Joint International Meeting,	Moon Palace Resort,	October 5-9, 2014 (Poster: October 7, 2014)	九州大学	EN④	H26
73	Masahiko KITAMURA, Yasuto MINAMIDA, Xiaojing ZHAO, Zhiyun NODA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI	“Investigation of Performance and Durability of MEAs at Higher Temperature.”	2014 ECS and SMEQ Joint International Meeting,	Moon Palace Resort,	October 5-9, 2014 (Poster: October 7, 2014)	九州大学	EN④	H26
74	Yasuto MINAMIDA, Zhiyun NODA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI	“Development of MEAs with Pt/Mesoporous Carbon as a Cathode Catalyst.”	2014 ECS and SMEQ Joint International Meeting,	Moon Palace Resort,	October 5-9, 2014 (Poster: October 7, 2014)	九州大学	EN④	H26
75	Yohei NAGAMATSU, Kohei KANDA, Zhiyun NODA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI	“Electrochemical Performance of MEAs with Pt/SnO2 Mixed with Conductive Fillers.”	2014 ECS and SMEQ Joint International Meeting,	Moon Palace Resort,	October 5-9, 2014 (Poster: October 7, 2014)	九州大学	EN④	H26
76	Liana CHRISTIANI, Kazunari SASAKI, Masamichi NISHIHARA	“Development of Modified Sulfonated Polyimide Charge-Transfer Film for High Temperature Polymer Electrolyte Fuel Cell Application.” T	he 10th SPSJ International Polymer Conference (IPC2014), International Congress center	“EPOCAL TSUKUBA (Tsukuba, Ibaraki),	December 2-5, 2014. (Poster: December 5, 2014)	九州大学	EN④	H26
77	Masamichi NISHIHARA, Liana CHRISTIANI, Kazunari SASAKI	“Development of interpenetrating polymer network electrolyte membrane with charge-transfer complex as polymer electrolyte membranes”	he 10th SPSJ International Polymer Conference (IPC2014), International Congress center	“EPOCAL TSUKUBA (Tsukuba, Ibaraki),	December 2-5, 2014. (Poster: December 5, 2014)	九州大学	EN④	H26
78	杉本遵吉、川畑勉、谷口俊輔、白鳥祐介、佐々木一成	『SOFCアノードへのCeO2及びRu添加効果に関する研究』	第23回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）	平成26年12月16日～17日（ポスター：平成26年12月16日）	九州大学	EN③	H26
79	楽豪、内田友美、坂本美緒、白鳥祐介、佐々木一成	『改質昨日を有したフレキシブルSOFCの開発』	第24回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）	平成26年12月16日～17日（ポスター：平成26年12月17日）	九州大学	EN③	H26

80	白鳥祐介、坂本美緒、高田将、内山靖之、内山直樹	『ペーパー触媒の開発状況とその応用例』	第25回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）	平成26年12月16日～17日（ポスター：平成26年12月18日）	九州大学	EN③	H26
81	甲斐田拓、坂本美緒、TRAN Quang Tuyen、白鳥祐介、佐々木一成	『液体バイオ燃料のSOFCへの供給を可能にするペーパー触媒の機能について』	第26回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）	平成26年12月16日～17日（ポスター：平成26年12月19日）	九州大学	EN③	H26
82	立川雄也、杉本遼吉、高田将、白鳥祐介、佐々木一成	『可視光／赤外線撮影によるSOFCアノード表面反応の可視化』	第27回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）	平成26年12月16日～17日（ポスター：平成26年12月20日）	九州大学	EN③	H26
83	Xuesong SHEN, Kazunari SASAKI	“Development of Alternative SOFC Anode Materials Using La-Doped SrTiO3 Perovslite.”	第28回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）	平成26年12月16日～17日（ポスター：平成26年12月21日）	九州大学	EN③	H26
84	豊福泰大、川畑勉、永井美徳、白鳥祐介、谷口俊輔、佐々木一成	『固体酸化物形燃料電池のCa及びSrイオンの拡散に伴う内因性劣化に関する研究』	第29回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）	平成26年12月16日～17日（ポスター：平成26年12月22日）	九州大学	EN③	H26
85	石橋大希、谷口俊輔、井上侑子、朴銀珠、周致霆、佐々木一成	『SOFCカソードの電極反応場に析出したクロムへのカソード過電圧変化の影響』	第30回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）	平成26年12月16日～17日（ポスター：平成26年12月23日）	九州大学	EN③	H26
86	砂田恭平、細井貴己、川畑勉、谷口俊輔、佐々木一成	『加圧試験SOFCのカソード電極特性の圧力依存性に関する研究』	第31回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）	平成26年12月16日～17日（ポスター：平成26年12月24日）	九州大学	EN③	H26
87	甲斐田拓、坂本美緒、TRAN Quang Tuyen、白鳥祐介、佐々木一成	『液体バイオ燃料のSOFCへの供給を可能にするペーパー触媒の機能について』	第32回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）	平成26年12月16日～17日（ポスター：平成26年12月25日）	九州大学	EN③	H26
88	奥村真己人、佐々木一成、野田志云、林灯、大尾岳史、立川雄也、永松洋平	『PEFC電極触媒層の微細構造と電池性能の相関に関する研究』	電気化学会第82回大会	横浜国立大学（神奈川県横浜市）、	平成27年3月15日～17日（ポスター：平成27年3月15日）	九州大学	EN④	H26
89	川﨑達也、佐々木一成、花﨑雅洋、立川雄也、白鳥祐介、谷口俊輔	『SOFCの高加湿条件下における金属Niの酸化劣化に関する研究』	電気化学会第82回大会	横浜国立大学（神奈川県横浜市）、	平成27年3月15日～17日（ポスター：平成27年3月15日）	九州大学	EN③	H26
90	金江秀、川畑勉、井上侑子、立川雄也、白鳥祐介、谷口俊輔、佐々木一成	『SOFC界面でのSrZrO3の生成メカニズムとセル性能への影響に関する研究』	電気化学会第82回大会	横浜国立大学（神奈川県横浜市）、	平成27年3月15日～17日（ポスター：平成27年3月15日）	九州大学	EN③	H26
91	岩見雅弘、堀口大、野田志云、林灯、佐々木一成	『TiO2担体を用いたPEFC用新規電極触媒の開発』	電気化学会第82回大会	横浜国立大学（神奈川県横浜市）、	平成27年3月15日～17日（ポスター：平成27年3月15日）	九州大学	EN④	H26
92	北村晶彦,南田靖人,趙暁静,野田志云,林灯,佐々木一成、	高温作動PEFCの性能および耐久性評価：	電気化学会第81回大会		2014/3/29	九州大学	EN④	H25

93	Julian A. Ortiz-Corrales・大友順一郎	Design and performance of bilayer proton-conducting ceramic fuel cells based on ionic and electronic transport properties	日本セラミックス協会第34回秋季シンポジウム		2021/9/1	東京大学/東京工業大学	en①	R3
94	S. Tajima, H. Matsuo, and J. Otomo	Evaluation of Transport Properties of Lanthanum-Based Proton-Conducting Composite Electrolytes	17th International Symposium on Solid Oxide Fuel Cells (SOFC-XVII)		2021/7/18	東京大学/東京工業大学	en①	R3
95	田島星也, 松尾拓紀, 大友順一郎	プロトン伝導性ランタン系酸化物混合電解質膜の水素透過測定	化学工学会第51回秋季大会	岩手大学、日本（オンライン開催）	2020/9/24	東京大学	en①	R2
96	Shun Yamate, Junya Oishi, Taro Kayamori, Junichiro Otomo	Comprehensive Evaluation of Manufacturing Costs and Environmental Impacts for Solid Oxide Electrolyzer Cell Systems	PRiME 2020	Honolulu, Hawaii, USA (Desital platform)	2020/10/4	東京大学	en①	R2
97	Julian Ortiz-Corrales, Hiroki Matsuo, Junichiro Otomo	“Design and Performance of a Proton-Conducting Solid Oxide Reversible Cell”	PRiME 2020	Honolulu, Hawaii, USA (Desital platform)	2020/10/4	東京大学	en①	R2
98	栢森太郎, 大友順一郎	技術革新を考慮した水電解システムの包括的な技術・経済性評価手法の構築	化学工学会第86年会	オンライン開催	2021/3/20	東京大学, 東京工業大学	en①	R2
99	甚野 幸一, 松尾 拓紀, 大友順一郎	イオン・電子混合伝導体の異相界面の作製と電気化学特性評価	化学工学会第86年会	オンライン開催	2021/3/20	東京大学, 東京工業大学	en①	R2
100	戸田 亮輔, 松尾 拓紀, 松崎良雄, 大友 順一郎	プロトン伝導性電解質薄膜の低温合成と電解質積層型燃料電池への適用	化学工学会第86年会	オンライン開催	2021/3/20	東京大学, 東京工業大学	en①	R2
101	Shu Hikima, Martin Keller, Hiroki Matsuo, Junichiro Otomo	“Kinetic Study of CO2 Activation by Methane in Chemical Looping Methane Cracking System with Iron-doped Barium Zirconate”	Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) congress	Sapporo Convention Center	2019/9/24	東京大学	en①	R1
102	Hiroki Matsuo, Gen Kojo, Yoshio Matsuzaki, Junichiro Otomo	“Performance of anode-supported proton-conducting solid oxide fuel cells with stacked electrolyte layers”	The Fifth International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems (IMPRES2019)	Kanazawa Chamber of Commerce and Industry (KCCI)	2019/10/22	東京大学、東京ガス、九州大学	en①	R1
103	Kazuma Sakata, Hiroki Matsuo, Gen Kojo, Yoshio Matsuzaki, Junichiro Otomo	“Fabrication of anode-supported proton-conducting solid oxide fuel cells with bilayer electrolyte membranes”	The 13th Pacific Rim Conference of Ceramic Societies (PACRIM13)	Okinawa Convention Center	2019/10/29	東京大学、東京ガス	en①	R1
104	引間 脩・松尾拓紀・松崎良雄・大友順一郎	「化学ループ法による鉄ドープバリウムジルコネートを用いたメタン熱分解型水素生成」	化学工学会第85年会	関西大学千里山キャンパス	2020/3/15	東京大学、東京ガス	en①	R1
105	那須雄太・松尾拓紀・大友順一郎	「酸化物イオン・電子混合伝導体の異相界面における電気化学的特性評価」	化学工学会第85年会	関西大学千里山キャンパス	2020/3/15	東京大学	en①	R1
106	中西 泰介・大友順一郎	「金属酸化物を用いた水素エネルギー貯蔵システムの設計と評価」	化学工学会第85年会	関西大学千里山キャンパス	2020/3/15	東京大学	en①	R1
107	Gen Kojo, Hiroshi Tadokoro, Yoshio Matsuzaki, Junichiro Otomo	”Evaluation of Anode-Supported Solid Oxide Fuel Cells using Lanthanum Tungstate as a Proton-Conducting Solid Electrolyte Membrane”	22nd Topical Meeting of the International Society of Electrochemistry	Waseda University,Tokyo, Japan	2018/4/17	東京大学 東京瓦斯	en①	H30

108	Hiroki Matsuo, Gen Kojo, Yoshio Matsuzaki, Junichiro Otomo	“Fabrication and evaluation of electrode-supported type fuel cells with proton-conducting lanthanum tungstate” ○ September 16-21, 2018	The 19th International Conference on Solid State Protonic Conductors (SSPC-19)	The Stoweflake Resort & Conference Center in Stowe, Vermont, USA	2018/9/17	東京大学 東京瓦斯	en①	H30
109	有賀 耀介・大友 順一郎・西川 浩・酒井 正彦・米澤 美帆子・山田 興一	「固体酸化物形燃料電池の技術及び経済性評価手法の開発」	化学工学会第50回秋季大会	鹿児島大学　郡元キャンパス（〒890-8580　鹿児島市郡元1丁目21番24号）	2018/9/18	東京大学 東京瓦斯	en①	H30
110	Kenji Kaibe, Martin Keller, Hiroyuki Hatano, Junichiro Otomo	“TECHNO-ECONOMIC ANALYSIS OF CHEMICAL LOOPING COMBUSTION WITH WOODY BIOMASS”	5th International Conference on Chemical Looping	The Chateaux Deer Valley Resort (7815 Royal Street East Park City, Utah 84060 USA)	2018/9/27	東京大学	en①	H30
111	Martin KELLER, Yoshio Matsuzaki, Junichiro OTOMO	“Chemical Looping CO2 Activation via Methane Cracking and Iron Oxide Lattice Oxygen Transport”	5th International Conference on Chemical Looping	The Chateaux Deer Valley Resort (7815 Royal Street East Park City, Utah 84060 USA)	2018/9/27	東京大学 東京瓦斯	en①	H30
112	小城元・松尾拓紀・松崎良雄・大友順一郎	「電解質多層化によるプロトン伝導性固体酸化物形燃料電池の高効率化の検討」	化学工学会第84年会	芝浦工業大学 豊洲キャンパス（〒135-8548 東京都江東区豊洲3丁目7番5）	2019/3/13	東京大学	en①	H30
113	田所 洸・松尾拓紀・大友順一郎	固体酸化物形燃料電池の金属-プロトン伝導体界面における水素拡散機構の検討」	化学工学会第84年会	芝浦工業大学 豊洲キャンパス（〒135-8548 東京都江東区豊洲3丁目7番5）	2019/3/13	東京大学	en①	H30
114	有賀 耀介・大石 淳矢・大友順一郎・西川 浩・酒井 正彦・米澤 美帆子・山田 興一	新規セルデザインに基づく固体酸化物形燃料電池の技術及び経済性評価	化学工学会第84年会	芝浦工業大学 豊洲キャンパス（〒135-8548 東京都江東区豊洲3丁目7番5）	2019/3/13	東京大学	en①	H30
115	王子洋, 松橋隆治	Research on Thermal Comfort by analyzing LF/HF Value and Heat Flow Rate Considering Energy Conservation	IEEE Power and Energy Conference	Illinois, USA	2019.2.28-3.2	東京大学	en①	H30
116	T. Chen, S. Takahashi, and K. Waki	Exploring Active Sites in Nitrogen Doped Carbon Nanotube Based Electrocatalyst.	232nd ECS Meeting (October 1-5, 2017)	National Harbor, MD (greater Washington, DC area)	2017/10/3	東京工業大学	en①	H29
117	YoshihikoYamada and RyujiMatsuhashi	Design of a Novel Policy after Feed-in Tariff Using Real Option Analysis	Power and Energy Conference	Illinois (PECI), Champeigns, Illinois, USA	2017/2/23-24	東京大学, 静岡ガス	en①	H28
118	Makoto Suzuki and Ryuji Matsuhashi	A Study on Immediate Thermal Comfortability Evaluation by Analysis of Heartbeat Variability for an Energy-Saving and Comfortable House System	Power and Energy Conference	Illinois (PECI), Champeigns, Illinois, USA	2017/2/23-24	東京大学	en①	H28
119	Tomohiro Hamada and Ryuji Matsuhashi	Utilization of Distributed Energy Resources in Residential Sector as a Virtual Power Plant	Power and Energy Conference	Illinois (PECI), Champeigns, Illinois, USA	2017/2/23-24	東京大学	en①	H28
120	Junichiro OTOMO and Hiroyuki HATANO	TECHNOLOGICAL, ECONOMIC, AND ENVIRONMENTAL ASSESSMENT OF CHEMICAL LOOPING SYSTEM WITH WOODY BIOMASS・ Kenji KAIBE	4th International Conference on Chemical Looping	Nanjin, China	2016/9/27	東京大学	en①	H28
121	Ochieng James OCHIENG, Fumihiko KOSAKA, Junichiro OTOMO	REDOX CYCLE BEHAVIOR AND STABILITY OF METAL OXIDES ON PEROVSKITE OXIDE SUPPORTS IN CHEMICAL LOOPING SYSTEMS	4th International Conference on Chemical Looping	Nanjin, China	2016/9/27	東京大学	en①	H28
122	Gen Kojo, Shuhei Matsuoka, Yoshito Oshima, Junichiro Otomo,	Synthesis of lanthanum tungstate and application to proton conducting solid oxide fuel cells	2016 Asian SOFC Symposium	Tokyo	2016/9/4-7	東京大学	en①	H28

123	Gen Kojo, Junichiro Otomo	Electrical properties of lanthanum tungstate with high La/W ratio	The 18th International Conference on Solid State Protonic Conductors (SSPC-18), September 18-23, 2016	Oslo, Norway	2016/9/9	東京大学	en①	H28
124	Ochieng, James Ochieng, Fumihiko Kosaka, Yoshito Oshima,Junichiro Otomo	Enhancement of oxygen release in CuO oxygen carriers supported on perovskite oxides in chemical looping with oxygen uncoupling for solid fuel combustion	化学工学会第82年会	Tokyo	2017/3/6	東京大学	en①	H28
125	月村玲菜・小城元・松崎 良雄・大友順一郎	「タングステン酸ランタンの輸送物性に基づくプロトン伝導性固体酸化物形燃料電池のセル設計」 題名(英語):Design of proton conducting solid oxide fuel cells based on material properties of lanthanum tungstate	化学工学会第82年会	Tokyo	2017/3/6	東京大学	en①	H28
126	岡村 晋太郎・大友 順一郎	固体酸化物形燃料電池を用いた水蒸気電解の連成解析評価	化学工学会第82年会	Tokyo	2017/3/6	東京大学	en①	H28
127	小城 元, 大友 順一郎	高La/W比領域におけるタングステン酸ランタンの合成とプロトン伝導特性	電気化学会第84回大会	Tokyo	2017/3/25	東京大学	en①	H28
128	(東大院新領域)○(学)橋北 直人・(正)大友 順一郎	走査型プローブ顕微鏡を用いた酸化物イオン伝導体上におけるカソード微小電極の酸素還元反応速度解析	化学工学会第81年会 2016年3月15日講演要旨集ZCP306		2016/3/15	東京大学	en①	H27
129	(東大院新領域)○(学)橋北 直人・(正)大友 順一郎	固体酸化物形燃料電池の電極反応を対象とした走査型プローブ顕微鏡による局所電気化学測定手法の開発	化学工学会第47回秋季大会 2015年9月10日 講演要旨集 ZA2P13		2015/9/10	東京大学	en①	H27
130	Haryo Satriya Oktaviano, Mikiya Wajima, and Keiko Waki	Study on the Electrochemical Characteristics of Multiwalled CNTs Decorated by Various Oxygen Functional Groups (Non-Aqueous and Aqueous based Electrolytes)	ECS 227th meeting, 24-28 May, 2015	Chicago, USA	2015/5/24-28	東京大学	en①	H27
131	宮崎 顕也・大友 順一郎	円筒横縞形SOFCセルスタックの連成解析に基づく発電性能評価	化学工学会第80年会 講演要旨集 YD325		2015/3/19	東京大学	en①	H26
132	岩永 愛季・大友 順一郎	CaTi0.8Fe0.2O3混合伝導体を用いた異相界面の作製とイオン・電子伝導特性の評価	化学工学会第80年会 講演要旨集 XD338(ポスター発表)		2015/3/19	東京大学	en①	H26
133	○ 伊原冬樹・浜根大輔・大友順一郎	「酸化還元雰囲気における固体酸化物形燃料電池の電極電解質界面でのカチオンの拡散挙動」	化学工学会第79年会 講演要旨集 SC2P48		2014/3/18	東京大学	en①	H25
134	山口純	参加と包摂によるモビリティ車両のデザイン	第3回COI学術交流会	オンライン	2020/7/2	横浜国立大学	mo①	R2
135	有吉亮	鉄道沿線郊外住宅地の再生に向けた協働・共有型モビリティのチャレンジ	シェアリング Meetup Tokyo2018	東京ビッグサイト東1ホール	2018/11/21	横浜国立大学	mo①	H30
136	早内 玄, 中村文彦, 有吉 亮, 田中 伸治, 三浦 詩乃	地形条件の交通手段選択への影響に関する基礎的研究—高低差・勾配に着目して—	第58回土木計画学研究発表会・秋大会	コンパルホール(大分市)	2018/11/23	横浜国立大学	mo①	H30
137	有吉亮	マルチモーダル・ダイナミックマップの開発	Treasure Data Plazma	丸の内JPタワー	2018/2/19	横浜国立大学COIサテライト	mo①	H29
138	熊谷直之, 中村文彦, 田中伸治, 有吉亮	郊外住宅地におけるマルチモーダルシェアリング導入可能性に関する研究	第52回土木計画学研究発表会		2015.11.22	横浜国立大学COIサテライト	mo①	H27
139	横浜国立大学Y-GSA	「起こせ！イノベーション－若者の力で誇りに思える横浜を創る」	YOKOHAMA YOUTH Ups! 2016		2016.2.21	横浜国立大学COIサテライト	mo①	H28
140	平林 由梨恵, 中村 文彦, 田中 伸治	東南アジア大都市におけるパラトランジットの日本における展開可能性に関する研究～バンコクのシーローレックを例に～	第50回土木計画学研究発表会	鳥取大学	2014.11.1	横浜国立大学COIサテライト	mo①	H26
141	徳永 誠, 深澤大我, Volkmar Frinken, 内田誠一	非マルコフ的制約を考慮した多物体追跡手法	画像の認識・理解シンポジウム		2015/7/30	九州大学	A-1-①②	H27

142	山口 遼, 渡辺 英治, 内田 誠一	複数の最適化に基づく重なりに頑健な多物体同時追跡	画像の認識・理解シンポジウム		2015/7/30	九州大学	A-1-①②	H27
143	M. Hori, E. Pot, A. Shimada, H. Nagahara, and R. Taniguchi	Visualization of Person Re-identification for Object Tracking across Non-overlapping Cameras	画像の認識・理解シンポジウム		2015/7/30	九州大学	A-1-①②	H27
144	Kazuto Nakashima, Yumi Iwashita, Ryo Kurazume	Houseware Detection Using Wearable Camera	The ninth Joint Workshop on Machine Perception and Robotics (MPR16), P2-20, Osaka		2016/11/12	九州大学	CS②	H28
145	Seungwoo Nham, Akihiro Kawamura, Ryo Kurazume	Real-time immersive VR system of pedestrian flow for large-scale environment	The ninth Joint Workshop on Machine Perception and Robotics (MPR16), P2-20, Osaka		2016/11/12	九州大学	CS②	H28
146	内田 誠一, Goldstein Markus, 亀津 達也, 髙野 茂, 後藤 孝行, 堀 磨伊也, 辻 徳生, 倉爪 亮, 谷口 倫一郎	広域センシングに基づく異常人流検出の実証実験報告	第19回画像の認識・理解シンポジウム（MIRU2016）（平成28年8月）		2016/8/1	九州大学	CS③	H28
147	中嶋 一斗, 岩下 友美, 高嶺 朝理, 倉爪 亮	情報構造化環境におけるスマートグラスとFaster R-CNN を用いた日常物品登録システムの開発	日本機械学会ロボティクスメカトロニクス講演会2016, pp.2P2-03a4		2016/6/10	九州大学	CS②	H28
148	Jeanne Faurie, 島田 敬士, 堀 磨伊也, 尾ノ上 晃, 中山 経太, 谷口 倫一郎	Wi-Fiスポット周辺の人の行動分析	第15回ITSシンポジウム	九州大学	2018年12月7日～8日	九州大学	CS⑤	H29
149	高野 茂, 大野 沙知子, 西釜 義勝, 馬場 隆寛	市民協働型交通安全アプリケーションの創出	第15回ITSシンポジウム	九州大学	2018年12月7日～8日	九州大学	H29W12	H29
150	倉爪 亮	情報構造化環境プラットフォームROS-TMS 4.0、5.0	第18回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会	仙台市	2017/12/20	九州大学	CS②	H29
151	清山 昂平	呼び寄せコミュニケーションロボットを用いた見守りセンシング	第18回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会	仙台市	2017/12/20	九州大学	CS②	H29
152	Yuta Horikawa	Previewed Reality: Near-future perception system	The 13th Joint Workshop on Machine Perception and Robotics (MPR17)	北京大学	2017/10/16	九州大学	CS②	H29
153	Yuuta Watanabe	Navigation system of personal mobility in informationally structured/unstructured environments	The 13th Joint Workshop on Machine Perception and Robotics (MPR17)	北京大学	2017/10/16	九州大学	CS②	H29
154	堀川 雄太	Previewed Reality 情報構造化空間における近未来可視化システム -没入感ディスプレイを用いたシステム構築と実験-	日本機械学会ロボティクスメカトロニクス講演会2017	福島県郡山市	2017/5/10	九州大学	CS②	H29
155	渡邊 裕太	環境埋込センサと計測ロボット群によるパーソナルモビリティの屋内外の誘導	日本機械学会ロボティクスメカトロニクス講演会2017	福島県郡山市	2017/5/10	九州大学	CS②	H29
156	山口尚哉、廣瀬慧、堀磨伊也、出口喜也	電力需要予測精度に応じた最適な電力調達	九州大学エネルギーウィーク2018	九州大学	2018/1/30	九州大学	CS①	H29
157	高野 茂	誰もが安心して快適に移動できるまちづくり	地方創生Expo 2018	国内	2019/2/27-3/1	九州大学	ict①	H30
158	高野 茂	ICT等を活用したまちの賑わい創出	地方創生Expo 2018	国内	2019/2/27-3/1	九州大学	ict②	H30
159	高野茂, Sokhna Fatou DIENG, Nora KPANOU, 堀 磨伊也	交通結節点における混雑を考慮した乗り継ぎ情報の提示	ITSシンポジウム2019	石川県地場産業振興センター 本館	2020/12/13	九州大学	ict①	R1
160	Katsuki Fujisawa	Cyber-physical System and Industrial Applications of Large-Scale Graph Analysis and Optimization Problem	International Conference for High Performance Computing, Networking, Storage and Analysis 17 (SC17)	Denver, USA	2017/11/16	九州大学		H29

161	Kondo, M. and Matsuo, T.	A Mathematica Module for Conformal Geometric Algebra	Origami System using Conformal Geometric Algebra, Symposium MEIS2014: Mathematical Progress in Expressive Image Synthesis	Fukuoka, Japan.	2014/11/12	九州大学		H27
162	Matsuo, T.	Mathematica implementation of a formal origami folding	Forum "Math-for-Industry" 2015 (FMfI2015)	Fukuoka, Japan.	2015/10/26	九州大学		H27
163	Osamu Saeki	Singularity theory and data visualization	The 3rd Franco-Japanese-Vietnamese Symposium on Singularities	Institute of Mathematics, Vietnam Academy of Science and Technology, Ha Noi, Vietnam	2015/12/2	九州大学		H27
164	Osamu Saeki	##	Hakata Workshop 2016	IMI百道オフィス	2016/2/23	九州大学		H27
165	松下昂平, 濱田裕康	"3次対称行列の指数関数を高速計算するプログラム"	九州大学IMI数学理論先進ソフトウェア開発室 研究成果報告会～数学ソフトウェア 援用・開発を中心として	九大IMI,	2013/7/29	九州大学、株式会社OLMデジタル		H25
166	松田元輝, 松下昂平, 池田有希	"3次元補間アニメーションを作成するMaya上で実行可能な関数ライブラリの開発"	九州大学IMI数学理論先進ソフトウェア開発 室 研究成果報告会～数学ソフトウェア援用・開発を中心として	九大IMI,	2013/7/29	九州大学、株式会社OLMデジタル		H25
167	安生健一, 落合啓之	"デジタル映像数学の構築と表現技術の革新"	FIRST合原プロジェクトーCREST数学領域 合同シンポジウム	東京	2014/1/11	九州大学、株式会社OLMデジタル		H25
168	廣瀬三平	Gabor Filterを用いたテクスチャ生成について	第1回JST CREST「数学」領域若手横断合宿	鹿児島	2014/1/31-2/2	九州大学、株式会社OLMデジタル		H25
169	濱田裕康, 松下昂平, 松田元輝	"A Fast omputation of Matrix Exponential and its Application in CG"	第1回 JST CREST「数学」領域横断若手合宿	指宿	2014.1	九州大学、株式会社OLMデジタル		H25
170	横山俊一	"計算代数システム Magma による多変数多項式の終結式計算の高速化"	第1回 JST CREST「数学」領域横断若手合宿	指宿	2014.1	九州大学、株式会社OLMデジタル		H25
171	Kohei Matsushita, Hiroyuki Hamada, Genki Matsuda	"A Fast Computation of Matrix Exponential and its Application in CG"	Forum "Math-for-Industry" 2013	Fukuoka, Japan.	2013.11	九州大学、株式会社OLMデジタル		H25
172	渡邊 裕太, 倉爪 亮, ピョ ユンスク, 辻 徳生, 諸岡 健一	多様なセンサを搭載した小型複合センサ端末の開発と人物追跡のための最適配置計画	日本機械学会ロボティクスメカトロニクス講演会		2015/5/18	九州大学	A-1-③	H27
173	橋口 優香, ピョ ユンソク, 辻 徳生, 諸岡 健一, 倉爪 亮	環境情報構造化プラットフォームROS-TMSにおけるタスク管理機構 -第2報 異種ロボットによる作業情報構造化実験-	日本機械学会ロボティクスメカトロニクス講演会		2015/5/18	九州大学	A-1-③	H27
174	ピョ ユンソク, 辻 徳生, 橋口 優香, 倉爪 亮	没入感インターフェースOculus Riftを用いたROS-TMSビューアの開発	日本機械学会ロボティクスメカトロニクス講演会		2015/5/18	九州大学	A-1-③	H27
175	杉野原 和也, 諸岡 健一, 辻 徳生, 倉爪 亮	レーザセンシングシステムと階層的隠れマルコフモデルによる居住者の行動推定	日本機械学会ロボティクスメカトロニクス講演会		2015/5/18	九州大学	A-1-③	H27
176	長谷川光一	「デザインの視点がもたらす科学技術の可能性とデザイン活動の定量的測定」	『共進化社会システム創成拠点フォーラム』ポスターセッション	東京	2013年3月12日―13日	九州大学		H25
177	諸賀加奈	「中国の次世代自動車技術普及政策による環境負荷低減効果の検討」	『共進化社会システム創成拠点フォーラム』ポスターセッション	東京	2013年3月12日―13日	九州大学		H25
178	堀口大,塚常拓也,永松洋平,野田志云,林灯,佐々木一成	SnO2担体を用いたPEFC電極触媒への導電補助材添加効果	電気化学会第81回大会		2014/3/29	九州大学		H25

179	砂田恭平,細井貴己,豊福泰大,谷口俊輔,佐々木一成	加圧運転SOFCの電極特性に関する研究	電気化学会第81回大会		2014/3/29	九州大学		H25
180	崔光恩,花崎雅洋,大尾岳史,立川雄也,谷口俊輔,佐々木一成	SOFCの不純物被毒劣化挙動の3次元FIB-SEMとSTEM観察	電気化学会第81回大会		2014/3/29	九州大学		H25
181	立川雄也,西村隆史,細井貴己,谷口俊輔,白鳥祐介,佐々木一成	直接内部改質型SOFCでの改質反応と応力分布の数値解析	電気化学会第81回大会		2014/3/29	九州大学		H25
182	南田靖人,趙暁静,野田志云,林灯,佐々木一成	Pt/メソポーラスカーボンを用いた燃料電池の特性評価	電気化学会第81回大会		2014/3/29	九州大学		H25
183	小磯深幸	効率の良い形は美しいか? --- 曲面の変分問題と応用 ---	「九州大学テクノロジーフォーラム2014」	東京国際フォーラム	2014(平成26)年12月3日	九州大学		H26
184	高野茂, 後藤孝行, 辻徳生, 倉爪亮, 内田誠一, 森岡道雄, 谷口倫一郎, 村上和彰	「地理情報システム上で利活用できる人流・交通流ビッグデータ分析基盤の開発」	全国共同利用研究発表大会「CSIS DAYS 2015」		2015/11/19	九州大学		H27
185	高野茂	オープンデータの整備と官民の活用方法	九大発　産・学・官　交流促進シーズ発表会	ホテルセントラーザ博多	2016/2/9	九州大学		H27
186	Hung-Cuong Pham, Shunsuke Taniguchi et.al.	Investigation of Fe-Cr-Al Alloy for Metal Supported SOFC	15th International Symposium on Solid Oxide Fuel Cells (SOFC-XV)	Florida, USA	2017/7/25	九州大学	EN④	H29
187	松井晋一郎、狩俣　貴広、中島裕典 、伊藤衡平	固体高分子形水電解セルからのリーク流量解析	水素エネルギー協会大会	タワーホール船堀	2017/12/4	九州大学	EN②	H29
188	川内野大樹、野田志云、松田潤子、林灯、佐々木一成	Ti系多孔体を担体とした新規PEFCセルの開発	第54回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場(福岡県北九州市小倉北区)	2017/7/1	九州大学	EN④	H29
189	長嶺優、野田志云、松本匠平、松田潤子、林灯、佐々木　一成	SnO2担持PEFC電極触媒の光化学法による調製に関する研究	第54回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場(福岡県北九州市小倉北区)	2017/7/1	九州大学	EN④	H29
190	二村聖太郎、立川雄也、松田潤子、Stephen M. LYTH、白鳥祐介、谷口俊輔、佐々木一成	高燃料利用率発電用SOFCアノード材料に関する研究	第54回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場(福岡県北九州市小倉北区)	2017/7/1	九州大学	EN③	H29
191	瀧野惠介、立川雄也、白鳥祐介、谷口俊輔、佐々木一成	高効率化に向けたSOFC解析手法に関する研究	第54回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場(福岡県北九州市小倉北区)	2017/7/1	九州大学	EN③	H29
192	村本朱、菊池勇大、立川雄也、白鳥祐介、谷口俊輔、佐々木一成	加圧SOFCのC-H-O三元状態図に関する研究	第54回化学関連支部合同九州大会	北九州国際会議場(福岡県北九州市小倉北区)	2017/7/1	九州大学	EN③	H29
193	Keisuke TAKINO, Yuya TACHIKAWA, Yusuke SHIRATORI, Shunsuke TANIGUCHI, Kazunari SASAKI	Effect of Exchange Current Density on Current Distribution at Planar-Type SOFC Anodes	SOFC-XV	The Diplomat Beach Resort (Hollywood, FL, USA)	2017/7/24	九州大学	EN③	H29

194	Aki MURAMOTO, Yudai KIKUCHI, Yusuke SHIRATORI, Shunsuke TANIGUCHI, Kazunari SASAKI	Fuel Composition in Pressurized SOFCs	SOFC-XV	The Diplomat Beach Resort (Hollywood, FL, USA)	2017/7/25	九州大学	EN③	H29
195	Masaru NAGAMINE, Zhiyun NODA, Shohei MATSUMOTO, Junko MATSUDA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI	Photochemical Preparation of Pt Electrocatalysts on SnO2 Support for PEFCs	232nd ECS Meeting	Gaylord National Resort & Convention Center (National Harbor, MD, USA),	2017/10/3	九州大学	EN④	H29
196	Daiki KAWACHINO, Zhiyun NODA, Junko MATSUDA, Akari HAYASHI, Kazunari SASAKI	Ti-Porous-Sheet-Supported Pt Electrocatalysts for PEFCs	232nd ECS Meeting	Gaylord National Resort & Convention Center (National Harbor, MD, USA),	2017/10/3	九州大学	EN④	H29
197	村本朱、菊池勇大、立川雄也、白鳥祐介、谷口俊輔、佐々木一成	加圧SOFCのC-H-O燃料組成に関する研究	第26回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）	2017/12/14	九州大学	EN③	H29
198	瀧野恵介、立川雄也、白鳥祐介、谷口俊輔、佐々木 一成	SOFCスタックシミュレーションによる内部特性の可視化	第26回SOFC研究発表会	科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区）	2017/12/14	九州大学	EN③	H29
199		都市空間における見守りサービスの構築と実証	イノベーション・ジャパン2020～大学見本市Online	オンライン開催	2020/09/28 – 2020/11/30	九州大学	ict①	R2
200		ICT等を活用した賑わい創出	イノベーション・ジャパン2020～大学見本市Online	オンライン開催	2020/09/28 – 2020/11/30	九州大学	ict②	R2
201	髙橋 遼; 林 健太; 光来出 優大; 二俣 雅紀; 井上 隼英; 松尾 周汰; 石田 繁巳; 荒川 豊; 高野 茂	バス停混雑度可視化システムitocon（いとこん）	第28回 マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS2020), 2020.	静岡県伊東市	2020/11/11	九州大学	ict①	R2
202	中根　健太・松崎　良雄・大友順一郎	プロトン伝導性積層型セラミック燃料電池の高効率セル設計と発電特性評価	化学工学会第87年会	神戸大学 鶴甲第3キャンパス（ハイブリッド開催）本発表はオンラインで実施	2022/3/16	東京大学/東京工業大学/九州大学/東京ガス	en①	R3
203	Katsuya Miyamoto, Tsutomu Kawabata, Yuya Tachikawa, Junko Matsuda, Shunsuke Taniguchi, Yoshio Matsuzaki, Akari Hayashi,	Preparation of Model SOFCs with Proton-Conducting Electrolyte on Metal Support Using Pulse Laser Deposition	17th International Symposium on Solid Oxide Fuel Cells (SOFC-XVII)	Digital Meeting	2021/7/22	九州大学/東京ガス	en③	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名：V3『持続的共進化地域創成拠点』（中核：九州大学）

⑫-3 発表（招待講演）

No	発表者	タイトル	学会名等	場所	年月日	発表機関（参画機関のみ）	備考（課題番号等）	年度
1	S. M. Lyth	Reducing the Cost of Hydrogen Fuel Cells: Sooty Catalysts and Paper Membranes	58th Battery Symposium in Japan,	Fukuoka, Japan	2017/11/14	九州大学	EN④	H29
2	S. M. Lyth	Engineered Heteroatom-doped Carbons for Sustainable Energy Applications in Fukuoka	7th World Annual Congress of Nano Science & Technology	Fukuoka, Japan	2017/10/25	九州大学	EN④	H29
3	M. Nishihara	New molecular design of hydrocarbon polymer electrolytes for PEFC application -charge-transfer complex hybrid films-	FiMPART2017	Bordeaux convention centre	2017/7/12	九州大学、日産化学工業	EN④	H29
4	M. Nishihara,	Novel polymer electrolytes for hydrogen energy application	The 4th IROAST Symposium	Kumamoto University, Kumamoto, Japan	2019.1.25	九州大学	en④	H30
5	Y. Kawabata, Y. Matsuzaki, K. Sasaki	Recent Achievements and Challenges of SOFC Power Generation Systems	43rd International Conference & Exposition on Advanced Ceramics & Composites	Daytona Beach, Florida, USA	2019/1/27-2/1	九州大学、東京ガス	en③	H30
6	Y. Tachikawa, Y. Matsuzaki, T. Somekawa, E. Fukunaga, K. Sato, H. Matsumoto, S. Taniguchi, K. Sasaki	Development of Solid Oxide Fuel Cell System Concept for Low Carbon Emission	The 12th International Conference on Ceramic Materials and Components for Energy and Environmental Applications	Suntec Singapore International Convention and Exhibition Centre, Singapore	2018/7/22-27	九州大学、東京ガス	en③	H30
7	Stephen LYTH	Paper Fuel Cells: Bringing the Hydrogen Economy to the Masses	European Innovation Day	European Delegation, Tokyo	2018/10/15	九州大学	en④	H30
8	Stephen LYTH	Designing Cheaper Fuel Cells: Towards a Safer Future	JUICe2018	Jaffna University, Sri Lanka	2018/9/28	九州大学	en④	H30
9	Stephen LYTH	Nanocellulose Proton Conducting Membranes for Fuel Cells	PCM2018	Kitakyushu, Japan	2018/4/12	九州大学	en④	H30
10	G. Harrington	"Electro-chemo-mechanics in substituted ceria: Modifying charge carrier concentration and mobility"	International Conference of Electroceramics	Lausanne, Switzerland	2019/7/14	九州大学	en③	R1
11	G. Harrington	"Concentration and mobility of defects in rare-earth substituted ceria: Effects of strain, interfaces, and defect association"	ACerS Electronic Materials and Applications 2020 (EMA 2020)	Orlando, USA	2020/1/22	九州大学	en③	R1
12	伊藤衡平	PEM 電解システム研究-高温・高圧・燃焼-	電気化学会関東支部第 55 回学際領域セミナー	東京	2019/9/1	九州大学	en②	R1
13	Kohei ITO	Electrochemical System Studies	National Taiwan Normal University (NTNU)-Kyushu University Joint Forum	台北、台湾	2019/5/1	九州大学	en②	R1
14	西原正通	超分子的な相互作用を利用した電解質材料の開発	水素・燃料電池材料研究会	オンライン	2021/1/15	九州大学	en④	R2
15	立川 雄也	水素インフラ配置評価シミュレータの開発	東京大学COI-サテライト ワークショップ エネルギーシステムにおけるイノベーション－世界的な潮流である脱炭素化と電力、水素の展望－	online	2020/12/22	九州大学	en②	R2
16	George Harrington	Electro-chemo-mechanical coupling in rare-earth substituted ceria: the effects of grain boundaries, interfaces, strain, and defect-interactions	ACerS Electronic Materials and Applications 2021 (EMA 2021)	Orlando, USA (オンライン)	2020/1/20	九州大学	en③	R2
17	中嶋直敏,	カーボンナノチューブを素材とする新規複合材料のデザイン創成,	プラスチック形加工学会第27回（平成28年度）年次大会,	タワーホール船堀, 東京,	Jun. 14-15, 2016	九州大学	EN④	H28
18	Y. Matsuzaki, Y. Tachikawa, T. Somekawa, K. Sato, H. Matsumoto, S. Taniguchi, K. Sasaki, Study on mate	rials of interlayer and electrolyte for enhancing electrical efficiency of SOFCs,	2016 Asian SOFC Symposium,	The University of Tokyo, Tokyo, Japan,	Sept. 4-7, 2016.	九州大学、東京ガス(株)	EN③	H28

19	Y. Matsuzaki, T. Somekawa, K. Sato, Y. Tachikawa, H. Matsumoto, S. Taniguchi, K. Sasaki,	Properties of proton-conducting solid oxide electrolyte required for critically-high electrical efficiency of SOFC,	International Symposium on Defects, Transport and Related Phenomena, Materials Science & Technology 2016,	Salt Lake City, UT, USA,	Oct. 23-27, 2016.	九州大学、東京ガス(株)	EN③	H28
20	中嶋直敏,	電気化学および分光電気化学手法によるレドックス生体分子およびナノカーボンの基盤特性解明及びその応用に関する研究,	第62回ポーラログラフィーおよび電気分析化学討論会,	宮古島市中央公民館大ホール, 沖縄,	Nov. 19-21, 2016.	九州大学	EN④	H28
21	Y. Matsuzaki, T. Somekawa, K. Sato, Y. Tachikawa, H. Matsumoto, S. Taniguchi, K. Sasaki,	Investigation on the material of electrolyte for improving electrical efficiency of SOFCs and/or PCFCs,	41st International Conference and Expo on Advanced Ceramics and Composites (ICACC),	Hilton Daytona Beach Resort Ocean Center, Daytona Beach, Florida, USA,	Jan. 22-27, 2017.	九州大学、東京ガス(株)	EN③	H28
22	T. Somekawa, Y. Matsuzaki, K. Sato, Y. Tachikawa, H. Matsumoto, S. Taniguchi, K. Sasaki,	Investigation on Cathode interlayer and Electrolyte for Improving Electric Efficiency of SOFCs,	TMS 2017,	San Diego, California, USA,	Feb. 26-Mar.3, 2017.	九州大学、東京ガス(株)	EN③	H28
23	Matsuzaki Y., Tachikawa Y., HataeT., Matsumoto H., Taniguchi S., Sasaki K.,	Symbolic Analysis of Multi-Stage Electrochemical Oxidation for Enhancement of Electric Efficiency of SOFCs,	11th International Conference on Ceramic Materials and Components for Energy and Environmental Applications (CMCEE), The American Ceramic Society,		June 14-19, 2015.	東京ガス(株), 九州大学	EN③	H27
24	西原正通,	超分子科学的な手法を用いた新しい高分子材料の作製法 -燃料電池用高分子電解質膜への応用-,	第二回香川大学工学部光電子材料研究会特別セミナー,	香川大学,	Jul. 14, 2015.	九州大学	EN④	H27
25	Lyth, S. M.,	Graphene Oxide Ionomer Membranes for PEMFCs and AEMFCs, Workshop on Ion Exchange Membranes for Energy Applications -	EMEA2015,	Bad Zwischenahn, Germany,	Jun. 22-24, 2015.	九州大学	EN④	H27
26	Nishihara M.,	Novel polymeric materials functionalized by charge-transfer complex formation,	Carbon nanomaterial workshop, Fukuoka,	Japan,	Sept. 1, 2015.	九州大学	EN④	H27
27	西原正通,	新たな高分子材料製法 —電荷移動錯体高分子複合膜の燃料電池用電解質膜としての応用—, Organic materials as the building blocks for future devices and technologies,	未来のデバイスを切り拓く有機材料技術,	福岡,	Sept. 28, 2015.	九州大学	EN④	H27
28	松崎良雄,	電気化学的多段酸化SOFCによる高効率発電の可能性,	(株)技術情報センターセミナー「固体酸化物燃料電池の技術開発動向,	連合会館, 東京,	Dec 18, 2015.	東京ガス(株), 九州大学	EN③	H27
29	Kazunari SASAKI, Masahiro HANASAKI, Takashi NISHIMURA, Takami HOSOI, Takeshi DAIO, Yuya TACHIKAWA, Yusuke SHIRATORI and Shunsuke TANIGUCHI	"Chemical Durability of SOFCs."	225th ECS Meeting,	Hilton Orland Bonnet Creek (Orland, FL, USA),	May 11-15, 2014. (Invited: May 12, 2014)	九州大学	EN③	H26
30	M. Nishihara,	"New method of polymer functionalization - Charge-transfer complex hybrid films-",	Wurzberg University,	Germany,	Sept. 15, 2014.	九州大学	EN④	H26
31	佐々木一成	『九州大学水素エネルギー国際研究センターの取り組みと燃料電池自動車等について』	佐賀経済同友会第609回例会、	グランデはがくれ(佐賀県佐賀市)、	2014/11/7	九州大学	EN④	H26
32	佐々木一成	『魅力に満ちた地域であるために～次世代エネルギーを中心として～』	地域イノベーション戦略支援プログラム(文部科学省補助事業)キックオフセミナー、	ANAクラウンプラザホテル宇部国際会議場(山口県宇部市)、	平成26年11月17日(基調講演)	九州大学	EN②、③、④	H26
33	佐々木一成	『水素エネルギー社会実現に向けて』	第二回資源エネルギー・環境委員会、	環境ビジネス交流会、電気ビル共創館3階 カンファレンスA(福岡県福岡市)、	2014/11/25	九州大学	EN②、③、④	H26
34	佐々木一成	『スマート燃料電池社会実証：九大水素プロジェクトの新たな挑戦』	三菱電機グループ トータルソリューションフェア2014 in 福岡、	アクロス福岡大会議室(福岡県福岡市)、	平成26年11月27日～28日(依頼講演：平成26年11月27	九州大学	EN②、③、④	H26

35	Kazunari SASAKI, Takeshi DAIO, Yuya TACHIKAWA, Stephen M. LYTH, Masamichi NISHIHARA, Ayumi ZAITSU, Akari HAYASHI, Yusuke SHIRATORI, Shunsuke TANIGUCHI	"Fuel Cell Durability: SOFC vs. PEFC"	2014 MRS Fall Meeting & Exhibit,	Hynes Convention Center (Boston, USA),	November 30 – December 5, 2014. (Oral: December 2, 2014)	九州大学	EN②、③、④	H26
36	松橋隆治	家庭に省エネ機器の導入を！ ～事実上初期費用ゼロで省エネ機器導入、「電気代そのまま払い」について～	講演/建設技術研究所　地球環境センター　基調講演	online	2021/3/3	東京大学	en①	R2
37	Ryuji Matsuhashi	Long-term and Short-term Issues and Seeds of Innovation to Realize Decarbonized Society	2021 International conference on power, energy and electrical engineering	online	2021/2/27	東京大学	en①	R2
38	松橋隆治	エネルギーとモビリティのシナジーに関する事業の社会実装	エネルギー資源学会　第6回エネルギー政策懇話会　講演	online	2021/3/8	東京大学	en①	R2
39	松橋隆治	脱炭素社会の実現とSDGsについて	WIN定例講演会　基調講演	online	2020/12/10	東京大学	en①	R2
40	Ryuji Matsuhashi	Realizing decarbonized power systems and necessity of innovative technologies	Invited lecture on "Pathways to Net Zero Emissions" by Global Alliance of Universities on Climate	online	2020/9/16	東京大学	en①	R2
41	松橋隆治	電気自動車や水素関連技術によるエネルギーシステムのイノベーション	エネルギー研究クラスター　次世代エネルギー産学連携研究会　基調講演	online	2020/12/16	東京大学	en①	R2
42	松橋隆治	電力小売り事業、電気代そのまま払い、インバランス補償の統合に向けて	東京大学COI-サテライト ワークショップ　エネルギーシステムにおけるイノベーション－世界的な潮流である脱炭素化と電力、水素の展望－	online	2020/12/22	東京大学	en①	R2
43	松橋隆治	1.エネルギーシステムの脱炭素化と課題 （広域エネルギーシステムの検討） 2. 電気・水素複合生産システム （地域エネルギーシステムの検討）	東京湾岸ゼロエミッションイノベーション協議会、第1回ゼロエミッション活動紹介セミナー招待講演, https://unit.aist.go.jp/gzr/zero_emission_bay/events.html	online	2020/10/14	東京大学	en①	R2
44	榎原友樹	電力小売り事業、電気代そのまま払い、インバランス補償の統合に向けて	東京大学COI-サテライト ワークショップ　エネルギーシステムにおけるイノベーション－世界的な潮流である脱炭素化と電力、水素の展望－	online	2020/12/22	E-konzal	en①	R2
45	Koki Sato, Yoshitaka Baba, Yoshio Matsuzaki, Yuya Tachikawa, Hiroshige Matsumoto,Shunsuke Taniguchi, and Kazunari	Electrochemical charasteristics and chemical stability of p-SOFCs with bi-layered electrolyte	PACRIM13	NAHA. Janan	2019/10/27	東京ガス、九州大学	en①	R1
46	大友順一郎	「水素製造技術における燃料電池の役割と課題」	第114回SOFC研究会（依頼講演）	東京大学駒場Ⅱキャンパス	2019/4/16	東京大学	en①	R1
47	Junichiro Otomo	"Progress and outlook of proton-conducting ceramic fuel cells for highly efficient energy conversion, electrolysis, and energy carrier"	化学工学会第85年会 国際シンポジウム（招待講演）	関西大学千里山キャンパス	2020/3/15	東京大学	en①	R1
48	Ryuji Matsuhashi	Contribution of hydrogen-related technologies for realizing decarbonized power systems, http://miraikagaku.xii.jp/iches/abstracts/X202.pdf	Plenary lecture, Hydrogen Safety Conference Osaka 2020, International Chemical Engineering Symposia 2020	関西大学千里山キャンパス	2020/3/16	東京大学	en①	R1
49	Ryuji Matsuhashi	Critical issues on energy systems and response strategies Critical issues on energy systems and response strategies	Invited lecture, 9th Asian Engineering Deans' Summit	National Taiwan University	2019/5/31	東京大学	en①	R1
50	松橋隆治	エネルギーシステムにおけるイノベーション－世界的な潮流である脱炭素化への展望－	基調講演, 東京大学 COI-サテライト ワークショップ	学士会館	2019/12/3	東京大学	en①	R1
51	松橋隆治	再生可能エネルギーの大量導入と 水素の利用可能性	招待講演, 電気化学会燃料電池研究会セミナー	東京理科大学森戸記念館	2019/4/24	東京大学	en①	R1

52	Junichiro Otomo	"Recent advances in highly efficient fuel cell systems with proton-conducting solid electrolytes and their applications"	2018 Global Research Efforts on Energy and Nanomaterials (GREEN 2018)	GIS TAIPEI TECH Convention Center, Zhongxiao E. Rd., Da'an Dist., Taipei City 106, Taiwan ROC	2018/12/23	東京大学	en①	H30
53	大友順一郎	金属支持型セルスタックのコスト分析	固体酸化物エネルギー変換先端技術コンソーシアム（ASEC）平成30年度 ASEC戦略シナリオ検討 招待講演会	TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター（〒104-8388東京都中央区京橋1-7-1）	2019/1/24	東京大学	en①	H30
54	Ryuji Matsuhashi	Development of an Optimization Model to Manage Imbalances in Power Systems by Local Power Retail Companies	2018 7th International Conference on Power Science and Engineering (ICPSE 2018)	Vienna, Austria	2018.11.19-21	東京大学	en①	H30
55	吉岡剛	エネルギーシステムの脱炭素化のためのイノベーション	「九州大学共進化社会システム創成拠点シンポジウム」招待講演	九州大学伊都キャンパス	2018/1/31	東京大学	en①	H29
56	松橋隆治	エネルギーシステムの脱炭素化と水素エネルギーの可能性	東工大 グローバル水素エネルギーコンソーシアム 第8回ワークショップ招待講演	東京工業大学蔵前会館1階ロイアルブルーホール	2018/2/1	東京大学	en①	H29
57	松橋隆治	エネルギーシステムの脱炭素化施策の設計と実装	東京大学大学院工学系研究科社会連携・産学競創推進室ワークショップ：エネルギー	東京大学 工学部8号館1階教授会室	2018/3/30	東京大学	en①	H29
58	大友順一郎	固体酸化物形燃料電池の技術的可能性と将来の役割	化学工学会第83年会	関西大学千里山キャンパス	2018/3/15	東京大学	en①	H29
59	Junichiro Otomo,	"Application of Ion Conducting Materials to Electrical Energy Conversion and Storage Systems"	The 7th China-Japan Symposium on Chemical Engineering Abstract S2-5, pp. 34	Beijing Conference Center (北京会议中心)	2015/10/17-18	東京大学	en①	H27
60	松橋隆治	エネルギーシステムの変革と未来の省エネ・低炭素社会	三菱UFJリサーチ&コンサルティング全社環境教育支援プログラム		2015/9/24	東京大学	en①	H27
61	松橋隆治	エネルギーシステムにおける水素の位置づけ－電力システムと水素エネルギーの関連性－	日本LCA学会シンポジウム「水素社会とエネルギー・環境問題～ライフサイクル視点で考える」基調講演		2015/10/14	東京大学	en①	H27
62	松橋隆治	民生部門の省エネルギー推進とESCOの可能性	「ESCO推進協議会」セミナー，日刊工業新聞，宇都宮市		2015.12.17	東京大学	en①	H27
63	大友 順一郎	SOFCの普及拡大に向けた技術開発シナリオ	第100 回SOFC 研究会（記念大会）2015年10月26日、依頼講演			東京大学	en①	H27
64	大友順一郎	「SOFCの普及拡大に向けた技術開発シナリオ」「イオン輸送現象の解明と燃料電池および化学ループへの展開」	三菱重工業㈱ 技術統括本部 総合研究所2015年12月4日、依頼講演			東京大学	en①	H27
65	松橋隆治	グリーン成長とエネルギーシステム研究	東京大学生産技術研究所招待講演		2014/5/26	東京大学	en①	H26
66	松橋隆治	エネルギー政策と気候変動対策を考慮したグリーン成長と科学技術の貢献	公益社団法人自動車技術会、電気動力技術部門委員会 招待講演		2014/9/12	東京大学	en①	H26
67	松橋隆治	低炭素社会実現のための社会シナリオと 産業界への期待について	日本経団連 招待講演		2014/11/19	東京大学	en①	H26
68	有吉亮	地域課題解決への取組み事例紹介	共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）「地域共創分野」シンポジウム	JST	2021/3/19	横浜国立大学	mo①, mo②, mo③	R2
69	有吉亮	"とみおか～と"の実証実験から見えた地域交通の課題と可能性	令和 2 年度 神奈川県共生社会仕組みづくり外出支援モデル事業、地域住民向け説明会（綾西地区）	綾西自治会館	2021/3/12	横浜国立大学	mo①	R2
70	有吉亮	パンデミック後の都市を支える持続可能なモビリティシステム	YNU研究イノベーション・シンポジウム2020 コロナ禍による変化を経験した社会を考える～新たな日常への取り組みとYNUの提言～	横浜国立大学	2020/12/21	横浜国立大学	mo①	R2
71	有吉亮	先進的な地方公共団体の取組紹介	e-JAMP CONFERENCE～先端モビリティを体感するための地方公共団体向けカンファレンス～	経済産業省 関東経済産業局	2021/2/10	横浜国立大学	mo①, mo②, mo③	R2
72	有吉亮	モビリティ話題提供	2020年度第6回エネルギー政策懇話会「モビリティとエネルギーの協調による事業スキームとサステイナビリティへの貢献可能性」	一般社団法人エネルギー・資源学会	2021/3/8	横浜国立大学	mo①, mo②, mo③	R2
73	有吉亮	多様性を尊重するモビリティシステムの提案と実践～ウィズ・コロナの世界を生き抜く強さを備えた都市へ～』	2020年度 第6回 ITS Japanコミュニティプラザ	ITS JAPAN	2021/3/11	横浜国立大学	mo①, mo②	R2

74	有吉 亮	持続可能な都市の実現に貢献する包括的なモビリティシステム	電子情報通信学会ITS研究会	サニー貸会議室（東京都千代田区内神田3-4-11 サニー南神田ビル）	2019/9/6	横浜国立大学	mo①, mo②, mo③	R1
75	有吉 亮	TRANSPORTATION AND URBAN ENGINEERING	YNU-Padova 工学分野融合ワークショップ	横浜国立大学	2019/9/12	横浜国立大学	mo①, mo②, mo③	R1
76	有吉 亮	持続可能な都市を支えるモビリティシステム ～大学発スタートアップの挑戦～	ロケーションベースドマーケティングカンファレンス Japan2019	JP タワー ホール＆カンファレンス ホール 1 (KITTE 4F)	2019/10/25	横浜国立大学	mo①, mo②	R1
77	有吉 亮	MaaS の社会実装を支える空間データ活用技術	ESRIジャパン ワークショップ	ESRI ジャパン本社	2019/12/3	横浜国立大学	mo①, mo②, mo③	R1
78	有吉 亮	EV を介したモビリティサービスと電力アンシラリーサービスの連携可能性	東京大学 COI サテライト ワークショップ	学士会館 202号室	2019/12/3	横浜国立大学	mo①	R1
79	有吉 亮	持続可能な都市を支えるモビリティシステムの提案と実証	愛知県ITS推進協議会 産・学・行政交流会	安保ホール 301号室（名古屋市中村区名駅3－15－9）	2020/2/13	横浜国立大学	mo①, mo②	R1
80	中村 文彦	都市交通の新しい視点に向けて	ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ 2020 アカデミア・ビジネスシンポジウム	YRPセンター1番館	2020/2/7	横浜国立大学	mo①	R1
81	有吉亮	地域交通とまちづくり～ COI プログラムによる横浜国立大学のモビリティ研究 ～	2018年度 研CTI 技術討論会	日立製作所（横浜研究所）	2018/10/19	横浜国立大学	mo①、mo②	H30
82	有吉亮	鉄道沿線郊外住宅地の再生に向けた協働・共有型モビリティのチャレンジ	シェアリング Meetup Tokyo2018 ステージセミナー	東京ビッグサイト東1ホール	2018/11/21	横浜国立大学	mo①	H30
83	有吉亮	エネルギー連携型モビリティシステムによる持続可能な都市の実現に向けて―大都市郊外の移動手段としての小型 EV 活用の未来―	東京大学COIサテライト ワークショップ	学士会館 202号室	2018/12/20	横浜国立大学	mo①	H30
84	有吉亮	持続可能な郊外住宅地を支える交通システム	ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ2019シンポジウム	横須賀リサーチパーク（YRP）NTTドコモR＆Dセンタ1号館	2019/1/25	横浜国立大学	mo①	H30
85	有吉亮	持続可能な都市を支えるモビリティ～ COI プログラムによる横浜国立大学の取り組み ～	移動支援の電動小型低速車の成果と課題	大平町丸山町内会館大ホール	2019/1/28	横浜国立大学	mo①	H30
86	有吉亮	持続可能な都市を支えるモビリティ～ COI プログラムによる横浜国立大学の取り組み ～	KPMGモビリティ研究所 第2回懇話会 MaaS・スマートシティ ワークショップ 「日本発のスマートシティはどうあるべきか？」	あずさ監査法人東京事務所（飯田橋）あずさセンタービル	2019/2/26	横浜国立大学	mo①	H30
87	有吉 亮	EVを用いた協働・共有型モビリティシステムと周波数制御の連携可能性に関する実証実験	東京大学COIサテライト ワークショップ「再生可能エネルギー大量導入時の電力システムのイノベーション」	学士会館	2017/12/21	横浜国立大学	mo③	H29
88	有吉 亮	マルチモーダル・ダイナミックマップの開発	Treasure Data Plazma, Lightning Talks	丸の内JPタワー	2017/12/21	横浜国立大学	mo①	H29
89	有吉 亮	市民ダイアログ	戦略的イノベーション創造プログラム	オンライン	2021/6/10	横浜国立大学	mo①	R3
90	高野茂	九州地域におけるビッグデータ・オープンデータ利活用に関する活動	ビッグデータを活用した自治体経営とファシリティマネジメント，ビッグデータ＆オープンデータ研究会in九州		2014/7/18	九州大学	A-1-①	H26
91	村上和彰	BODIC.org(BigData & OpenData in the Cloud) ～ビッグデータ&オープンデータをクラウド上でもっと使いやすく！～	AWS Summit TOKYO 2014		2014/7/18	九州大学	A-1-①	H26
92	村上和彰	IIoT開発＆運用のためパブリッククラウドプラットフォーム	CEATEC JAPAN 2014		2014/10/10	九州大学	A-1-①	H26
93	Kazuaki Murakami and Shigeru Takano	What is Our Future Society in the Era of Big Data, CPS and IoT ?	The 4th Makassar International Conference on Electrical Engineering and Informatics (MICEEI 2014)		2014/11/26	九州大学	A-1-①	H26
94	谷口 倫一郎	都市 OS が変える未来のエネルギー事情	九州大学共進化社会システム創成拠点シンポジウム「九州発、未来の水素エネルギー社会」		2014/1/9	九州大学	A-1-①②③	H26
95	M. Goldstein	Large-Scale Anomaly Detection	International Session on Computer Science and Information Technologies, JCEEE Kyushu, Fukuoka, Sep. 27, 2015.		2015/9/27	九州大学	A-1-①②	H27

96	Ryo Kurazume	Introduction of the Robot Town Project	Special Lecture at Technical University of Cartagena, Cartagena, Spain		2016/12/5	九州大学	CS②	H28
97	倉爪 亮	ロボット開発を加速するRobot Operating System (ROS)とサービスロボットへの応用	計測・制御・システム工学部会シンポジウム（制御技術部会併設） 「システム技術：ロボット開発・省エネ・資源循環の最新動向」		2016/11/24	九州大学	CS②	H28
98	倉爪 亮	サービスロボットシステムにおけるIOT事例	2016年度日本機械学会年次大会 情報・知能・精密機器部門企画 IoTとM2M, pp.F161005		2016/9/12	九州大学	CS②	H28
99	高野 茂	データ連携基盤により実現する都市OS	平成29年度横浜国立大学COI サテライトシンポジウム，持続可能な未来都市を支える交通システムのイノベーション	横浜市	2017/12/13	九州大学	CS③	H29
100	高野 茂	P-Senによるキャンパス人流センシング環境構築と社会実装に向けた取り組み	第１２回 CPS／IoTにおけるセンシングソリューション技術分科会，一般社団法人 電子情報技術産業協会	東京都	2018/1/26	九州大学	CS③	H29
101	高野 茂	気象データとセンサーデータとの連携活用による都市サービスの高度化	気象ビジネス推進コンソーシアムセミナー in 福岡，気象庁	福岡市	2018/1/29	九州大学	CS③	H29
102	井上 隼英; 高橋 遼; 林 健太; 光来出 優大; 二俣 雅紀; 松尾 周汰; 石田 繁巳; 荒川 豊; 高野 茂	itocon：複数の混雑度センサを用いたバス停混雑度可視化システム	電子情報通信学会センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会（SeMI）	オンライン開催	2020/11/26	九州大学	ict①	R2
103	高野 茂	ICTを活用したまちの安心安全と賑わいの両立	2021年度 福岡市IoTコンソーシアム総会	福岡市	2021/7/7	九州大学	ict①②	R3
104	高野 茂	公共空間におけるカメラ映像を利活用した人流分析実証実験	行動学とスーパーコンピュータに関するシンポジウム	京都大学・オンラインハイブリッド開催	2021/9/29	九州大学	ict①②	R3
105	廣瀬 慧，寺田 吉壱	因子分析における単純構造推定のための正則化法とその応用	日本行動計量学会 第46回大会	慶應義塾大学	2018/9/3～6	九州大学		H30
106	Hirose, K., and Terada, Y.	Simple structure estimation via prenet penalization in factor analysis model.	The 2nd International Conference on Econometrics and Statistics (EcoSta 2018).	City University of Hong Kong	2018/6/19～21	九州大学		H30
107	Hirose, K., and Terada, Y.	Prenet Penalization in Factor Analysis and its Applications.	International Conference on Advances in Interdisciplinary Statistics and Combinatorics.	University of North Carolina at Greensboro, USA	2018/10/5～7	九州大学		H30
108	Hirose, K.	Event Effects Estimation on Electricity Load Forecasting.	I 2 CNER&IMI International Workshop	Zoom Meeting	2021/1/25	九州大学		R2
109	廣瀬慧	電力需要予測のための統計解析	大規模統計モデリングと計算統計V	大阪大学	2018/9.5	大阪大学		H30
110	Osamu Saeki	Simplified broken Lefschetz fibrations and trisections of 4-manifolds	研究集会 Intelligence of Low-dimensional Topology	京都大学数理解析研究所	2018/5/31	九州大学		H30
111	Osamu Saeki	Singular locus and regular fibers, do they link each other?	15th International Workshop on Real and Complex Singularities	ICMC, サンパウロ大学	2018/7/23	九州大学		H30
112	佐伯修	Elimination of definite fold for simple stable maps	実代数幾何・特異点研究集会	兵庫教育大学神戸ハーバーランドキャンパス	2018/9/13	九州大学		H30
113	Osamu Saeki	Introduction to singularity theory and fiber topology in multivariate data analysis	Topology, Computation and Data Analysis, Dagstuhl Seminar 17292	Schloss Dagstuhl – Leibniz Center for Informatics, Germany	2017/7/17	九州大学		H29
114	佐伯修	Global aspect of singularity theory	ベクトル値滑層分割Morse理論の構築による多数目的最適化問題の解集合の可視化	マス・フォア・インダストリ研究所 短期共同研究，九州大学	2017/9/5	九州大学		H29
115	佐伯修	微分トポロジーを用いたデータの可視化	2018年度精密工学会 春季大会 シンポジウム「AIMaP 数学応用シンポジウム：精密工学と幾何学の新たな出会い」	中央大学後楽園キャンパス	2018/3/17	九州大学		H29
116	Katsuki Fujisawa	Cyber-physical System and Industrial Applications of Large-Scale Graph Analysis and Optimization Problem	The 36th JSST Annual International Conference on Simulation Technology	Tokyo Denki University, Tokyo	2017/10/27	九州大学		H29

117	Katsuki Fujisawa	Cyber-physical System and Industrial Applications of Large-Scale Graph Analysis and Optimization Problem	The 2nd Workshop Mathematical Opti- mization and Data Analysis	ZIB, Berlin, Germany	2017/9/26	九州大学		H29
118	Katsuki Fujisawa	Advanced Computing & Optimization Infrastructure for Extremely Large-Scale Graphs on Post Peta-Scale Supercomputers	ICSI 2017 and DMBD 2017	Fukuoka, Japan	2017/7/28	九州大学		H29
119	廣瀬慧	エネルギービッグデータの統計解析	大規模統計モデリングと計算統計IV	東京大学	2017/9/11	九州大学		H29
120	廣瀬慧	スパース推定の理論と応用	応用統計計量ワークショップ	東北大学	2017/11/16	九州大学		H29
121	廣瀬慧	Statistical analysis of energy consumption data	Landscape of Applied Mathematics in Energy Problem	Kyushu University	2018/2/2	九州大学		H29
122	安井雄一郎	ULIBC を用いた計算機のメモリ階層構造を考慮した高速実装手法		NTTデータ数理システム		九州大学		H28
123	安井雄一郎	計算機のメモリ階層構造を考慮した高速かつ並列化効率の高いグラフ探索	九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所 共同利用 研究集会 物理現象の演出可能な離散モデルの構築	九州大学		九州大学		H28
124	Y. Mizoguchi, H. Ochiai	Symbolic computagions in conformal geometric algebra for three dimensional origami folds	PNU Math Forum 2016	Pusan National University, Korea	1905/7/8	九州大学		H28
125	安生健一	アニメと数学のふじぎな関係	数学・数理科学4研究拠点合同市民講演会	九州大学西新プラザ	2016/12/23	オー・エル・エム・デジタル(株)		H28
126	廣瀬慧	エネルギーデータの統計解析	九州大学 産・学・官交流促進シーズ発表会～再生可能エネルギー主体の地域エネルギーマネジメント～	九州大学稲盛記念館（伊都キャンパス）	2017/1/14	九州大学		H28
127	廣瀬慧	スパース推定法による高次元データ解析	統計科学研究会		2016/12/2	九州大学		H28
128	廣瀬慧	Rパッケージ fanc --グラフィカルツールを用いた新たな因子分析--	数学協働プログラム「確率的グラフィカルモデルの産業界への応用	慶應義塾大学日吉キャンパス	2016/11/10 -10/11	九州大学		H28
129	K. Fujisawa and H. Matsuo	Graph Analysis & High-Performance Computing Techniques for Realizing Urban OS	IEEE ISC' 14 (International Supercomputing Conference 2014)	Leipzig, Germany	2015/7/13	九州大学		H27
130	K. Fujisawa	A Challenge to Graph500 Benchmark: Trillion-Scale Graph Processing on K Computer	IEEE ISC' 14 (International Supercomputing Conference 2014)	Leipzig, Germany	2015/7/15	九州大学		H27
131	藤澤克樹	九州大学が推進する共進化社会システムとビッグデータのための新たな分析基盤	HP World Tour 2015	東京大学	2015/7/22	九州大学		H27
132	K. Fujisawa	How to win the Graph 500 competition	Combinatorial Optimization at Work (CO@Work) 2015	ZIB, Berlin, Germany	2015/10/2	九州大学		H27
133	Y. Yasui	Fast, scalable, and energy-efficient parallel breadth-first search	Forum "Math-for-industry" 2015	Kyushu University, Fukuoka,	2015/10/27	九州大学		H27
134	K. Fujisawa	Advanced Computing & Optimization Infrastructure for Extremely Large-Scale Graphs on Post Peta-Scale Supercomputers,	TITECH booth talk		2015/11/17	九州大学		H27
135	藤澤 克樹	グラフ解析と最適化技術で実現する都市 OS	共共拠点研究会 RIMS1963-IMI2013	九州大学	2015/12/7	九州大学		H27
136	藤澤 克樹	都市 OS 実現のための数理モデルと計算基盤,	自動車業界におけるIT・数理科学技術の活用 － 豊かな社会を創り出すイノベーションを目指して －	富士ソフト アキバプラザ セミナールーム6階セミナールーム3, 東京	2015/12/11	九州大学		H27
137	藤澤 克樹	高速かつ省電力なグラフ解析とその実応用	チュートリアル ACSI2016		2016/1/19	九州大学		H27
138	K. Fujisawa	Advanced Computing & Optimization Infrastructure for Extremely Large-Scale Graphs on Post Peta-Scale Supercomputers	ビッグデータ分析技術ワークショップ ～グラフマイニング研究の最新動向と応用事例～	ヒルトン福岡シーホーク	2016/2/28	九州大学		H27
139	藤澤 克樹	大規模グラフ解析と都市 OS の開発 —ヒト・モノのモビリティに関する新しい数理モデルとその応用—	DEIM		2016/3/1	九州大学		H27
140	藤澤 克樹	都市OS実現のための数理モデルと計算基盤, IoTが実現するスマートシティ最新研究と応用事例	IoT推進コンソーシアムの取組（METI）		2016/3/10	九州大学		H27
141	Osamu Saeki	Topology of singular fibers for visualization	Topology-Based Methods in Visualization 2015	Kurhaus Trifels, Annweiler, Germany	2015/3/20	九州大学		H27
142	佐伯修	組織構造の斬新な数学的解析手法 ～ トポロジーとその考え方	鉄鋼インフォマティクス研究会第6回研究会	九州大学	2015/9/1	九州大学		H27

143	Osamu Saeki	Singularity theory and data visualization, Geometric Singularity Theory	Polish-Japanese Singularity Theory Working Days	Banach Center, Warsaw, Poland	2015/9/8	九州大学		H27
144	Osamu Saeki	Singularity Theory and Data Visualization	第9回 La Trobe-Kyushu Joint Seminar on Mathematics for Industry	九州大学	2015/11/10	九州大学		H27
145	佐伯修	組織構造の斬新な数学的解析手法～トポロジーとその考え方	第67回白石記念講座「新しい世紀の形態計量学－数学と鉄鋼研究のコラボレーション－」	早稲田大学	2015/11/13	九州大学		H27
146	佐伯修	写像の特異点論とデータ可視化	共共拠点研究会 RIMS1963-IMI2013	九州大学	2015/12/8	九州大学		H27
147	Ryuei Nishii*(Kyushu Univ.) and Shojiro Tanaka (Hiroshima Univ. of Economics),	Unified modeling based on SVM and SVR for prediction of forest area ratio by human population density and relief energy	IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium 2015	ミラノ,イタリア	2015/7/29	九州大学、広島経済大学		H27
148	Shojiro Tanaka*(Hiroshima Univ. of Economics) and Ryuei Nishii (Kyushu Univ.)	Incorporation of gridded data into the analysis of remotely-sensed images: Basic quantitative strategy to analyze defoerestation by population growth	IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium 2015	ミラノ,イタリア	2015/7/29	九州大学、広島経済大学		H27
149	藤澤克樹	チュートリアル講演: 最適化問題と計算の今後 -- 大規模問題をどこまで解決できるのか? --,	ウィンタースクール「数学ソフトウェア・チュートリアル」	九州大学	2015/2/19	九州大学		H26
150	藤澤克樹	グラフ解析と最適化ソフトウェアにおける三位一体の開発の現状と今後 －アルゴリズム＋アプリケーション＋HPC－,	ワークショップ「数値シミュレーションだけではないスーパーコンピュータ活用」	九州大学情報基盤研究開発センター	2015/1/14	九州大学		H26
151	藤澤克樹	最適化問題と計算の今後 -- 大規模問題をどこまで解決できるのか? --,	平成26年度SICE制御部門プラントモデリング部会第2回研究会	統計数理研究所	2014/12/25	九州大学		H26
152	藤澤克樹	スーパーコンピュータを用いた大規模グラフ解析と Graph500 ベンチマーク	サイエンティフィック・システム研究会 科学技術計算分科会 2014年度会合次世代HPCを支える技術	ホテルオークラ神戸	2014/10/29	九州大学		H26
153	Katsuki Fujisawa,	Advanced Computing and Optimization Infrastructure for Extremely Large-Scale Graphs on Post Peta-Scale Supercomputers	IMI Workshop on Optimization in the Real World,	Kyushu University	2014/10/14	九州大学		H26
154	藤澤克樹	チュートリアル講演: グラフ解析・ネットワーク分析入門	日本オペレーションズ・リサーチ学会 2014年秋季研究発表会	北海道科学大学	2014/8/29	九州大学		H26
155	藤澤克樹	Tegra K1 プロセッサ上での高速かつ省電力なグラフ探索ソフトウェアの開発	NVIDIA GTC Japan 2014	東京ミッドタウンホール＆カンファレンス	2014/7/16	九州大学		H26
156	K. Fujisawa,	Petascale General Solver for Semidefinite Programming Problems with over Two Million Constraints,	RTE-IBM Workshop"Semi-Definite Programming for Optimal Power Flow Problem"	Dublin, Ireland	2014/4/23	九州大学		H26
157	O. Saeki,	Visualizing multivariate data using singularity theory	Visiting Lecture at Center for Advanced Studies	Warsaw University of Technology	2014/4/1	九州大学		H26
158	O. Saeki,	Singular fibers and visualization of multivariate data,	13th International Workshop on Real and Complex Singularities, ICMC,	University of Sao Paulo, Brazil	2014/8/1	九州大学		H26
159	O. Saeki,	Connected components of regular fibers of differentiable maps,	19th Brazilian Topology Meeting,	Sao Jose do Rio Preto, Brazil	2014/8/7	九州大学		H26
160	O. Saeki,	New examples of non-trivial real Milnor fibrations	Workshop on Singularities, Geometry, Topology and Related Topics	North-East Normal University, Changchung, China,	2014/9/2	九州大学		H26
161	Go Kato	"Analytical Optimization of Local Quantum Operation and Classical Communication"	Forum of Mathematics for Industry 2013			九州大学、NTTコミュニケーション科学研究所		H25
162	Masato Wakayama,	"An application of Lie theory to computer graphics via spherical harmonics"	Berliner Colloquium fur Wissenschaftliche Visualisierung,	Zuse-Institut Berlin (ZIB), Germany	2014/2/28	九州大学、株式会社OLMデジタル		H25
163	落合啓之	伝える技術, 伝わる心	九州大学テクノロジーフォーラム 2014	東京国際フォーラム	2014/12/3	九州大学、OLMデジタル		H26
164	落合啓之	CGにおける運動や変形の記述とその数理	Computer Entertainment Developers Conference 2014 (CEDEC2014)	パシフィコ横浜	2014/9/3	九州大学、OLMデジタル		H26

165	Y.Mizoguchi	Mathematical Aspects of Interpolation Technique for Computer Graphics	Kick-off Meeting of IMI Australia Branch in La Trobe	Australia	2015/3/12	九州大学、OLMデジタル		H26
166	安生健一	SIGGRAPH2014 コースについて -CGの数理的側面に関する話題を中心に-	Visual Computing/グラフィクスCAD合同シンポジウム2014	早稲田大学国際会議場	2014/6/30	九州大学、OLMデジタル		H26
167	安生健一	CG映像制作におけるいろいろなデザイン	平成26年度名古屋商工会議所冠講座『伝えるデザイン、伝わるデザイン』	名古屋市立大学	2014/9/10	九州大学、OLMデジタル		H26
168	Yasuhide Fukumoto and Ron Zou	Azimuthal and helical magnetorotational instabilities to non-axisymmetric perturbations	Turbulent Mixing and Beyond Workshop: Mixing in Rapidly Changing Environment – Probing Matter at the Extremes	The Abdus Salam International Centre for Theoretical Physics (ICTP), Trieste, Italy	Aug. 5, 2014	九州大学		H26
169	Yasuhide Fukumoto and Rong Zou	Topological magnetohydrodynamics and its application to azimuthal magnetorotational instability	The Seventh International Conference on Sciences and Mathematics Education in Developing Countries	University of Mandalay, Myanmar	Nov. 7, 2014	九州大学		H26
170	S.Tanaka and R. Nishii	Re-evaluation of topographic attributes with human population in deforestation framework with spatial dependency	統計数理研究所　共同研究集会	立川	Dec. 5, 2014	九州大学		H26
171	R. Nishii	Deforestation Modeling based on Statistical and Machine Learning Approaches	Institute of Statistical Mathematics Symposium on Environmental Statistics (2015)		Feb. 25, 2015	九州大学		H26
172	S.Tanaka and R. Nishii	Re-evaluation of topographic attributes with human population in deforestation framework with spatial dependency	IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium 2014		2014/7/17	九州大学		H26
173	R. Nishii, P. Qin and D. Uchi	Contextual unmixing of geospatial data based on Bayesian modeling	IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium 2014		2014/7/17	九州大学		H26
174	小磯深幸	3次元ユークリッド空間内の三重周期極小極小曲面の剛性と分岐について	第7回OCU48セミナー	大阪市立大学	2014(平成26)年4月26日	九州大学		H26
175	Miyuki Koiso	On bifurcation and local rigidity of triply periodic minimal surfaces in R^3	"5th International Workshop on Differential Geometry and Analysis"	Niji-no-Matsubara Hotel, Karatsu	2014/6/3	九州大学		H26
176	小磯深幸	3次元ユークリッド空間内の三重周期極小極小曲面の剛性と分岐について	九州大学数理学研究院談話会	九州大学 伊都キャンパス	2014(平成26)年6月13日	九州大学		H26
177	小磯深幸	3次元ユークリッド空間内の三重周期極小極小曲面の剛性と分岐について	第61回幾何学シンポジウム	名城大学天白キャンパス	2014(平成26)年8月26日	九州大学		H26
178	小磯深幸	3次元ユークリッド空間内の三重周期極小曲面の局所剛性と分岐について	近畿大学理工学部理学科物理コース ソフトマター研究室セミナー	近畿大学理工学部	2014(平成26)年9月1日	九州大学		H26
179	小磯深幸	3次元ユークリッド空間内の三重周期極小曲面の剛性・分岐・共連続構造への応用	数学協働プログラムワークショップ「数理科学の物質・材料科学への応用」日本応用数理学会2014年度年会	政策研究大学院大学	2014(平成26)年9月4日	九州大学		H26
180	Miyuki Koiso	On bifurcation and local rigidity of triply periodic minimal surfaces in R^3	Colloquium	Pusan National University, Korea	2014(平成26)年11月19日	九州大学		H26
181	小磯深幸	効率の良い形は美しいか? --- 曲面の変分問題と応用 ---	九州大学テクノロジーフォーラム2014	東京国際フォーラム	2014(平成26)年12月3日	九州大学		H26
182	小磯深幸	3次元ユークリッド空間内の三重周期極小曲面の剛性と分岐	金沢大学理学談話会	金沢大学	2015(平成27)年2月17日	九州大学		H26
183	K. Morozov	Zero-Knowledge Protocols for Code-Based Public-Key Encryption	Department of Mathematics	Seoul	Jan. 12, 2015	九州大学		H26
184	K. Morozov	Cheater Identifiable Secret Sharing Schemes Via Multi-Receiver Authentication	8th Workshop among Asian Information Security Labs (WAIS 2015)	Korea University	Jan. 9, 2015	九州大学		H26
185	K. Morozov	Code-Based Encryption	'ワークショップ「社会基盤としての高機能暗号とその楕円曲線及び格子による実現」	九州先端科学技術研究所	Sep. 9, 2014	九州大学		H26
186	松尾久人	Graph Analysis & High-Performance Computing Techniques for Realizing Urban OS	ISC15	Frankfurt	2015.07.13	九州大学		H27
187	松尾久人	数理が支える社会基盤を目指す都市OS	RAMPシンポジウム	静岡大学	2015.10.15	九州大学		H27
188	松尾久人	情報社会を結ぶ都市OS	九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所ワークショップ 自動車業界におけるIT・数理科学技術の活用	東京	2015.12.11	九州大学		H27

189	松尾久人	Urban OS as a social system using graph analysis for a society of constant change	ビッグデータ分析技術ワークショップ	福岡	2016.02.28	九州大学		H27
190	松尾久人	九大COI「都市OS」で実現する「共進化社会」	信学会2016年総合大会	九州大学	2016.03.15	九州大学		H27
191	松尾久人	Urban OS as a data-driven system for a society of constant change	Asian Workshop on Smart Sensor Systems	北京	2016.03.28	九州大学		H27
192	松橋隆治	情報技術によるカーボンニュートラル実現への期待	日本学術会議 情報学委員会(25期) 公開シンポジウム「カーボンニュートラルに向けた情報学の役割」	オンライン（https://sites.google.com/view/scj-i/情報学シンポジウム）	2022/1/12	東京大学	en①	R3
193	松橋隆治	エネルギー総合学連携研究機構発足シンポジウム －エネルギー総合学の研究・教育・社会実装を推進する－	東京大学エネルギー総合学連携研究機構設立シンポジウム	東京都室町三井ホール＆カンファレンス（オンラインライブ開催）https://www.croces.t.u-tokyo.ac.jp/news/2021/12/post.html	2021/10/28	東京大学	en①	R3
194	松橋隆治	PEAKS講演資料	内閣府，PEAKS産学連携パートナーシップ構築セミナー，「『カーボンニュートラル』社会を目指した産学連携～研究者個人から組織対組織の共創を目指して～」	オンライン（https://www8.cao.go.jp/cstp/daigaku/peaks/seminar.html）	2021/10/29	東京大学	en①	R3
195	松橋隆治	カーボンニュートラル社会の実現と･そのファイナンスに関する動向及び今後の展望	動力協会パワートーク	オンライン（http://jea-wec.or.jp/sogo/topics/newsclip8.pdf）	2021/11/25	東京大学	en①	R3
196	松橋隆治	環境経済政策学会，炭素排出ゼロに向けた地域分散型エネルギーシステムの課題，討論資料	環境経済政策学会，炭素排出ゼロに向けた地域分散型エネルギーシステムの課題	オンライン（http://www.seeps.org/meeting/2021/seeps2021prog.pdf）	2021/9/25	東京大学	en①	R3
197	松橋隆治	JEMIMAエネルギーイノベーション委員会　講演資料	一般社団法人日本電気計測器工業会　エネルギー・イノベーション委員会講演会	オンライン（https://www.jemima.or.jp/activities/eic-activity-report.html）	2021/7/15	東京大学	en①	R3
198	Masamichi Nishihara	Gas barrier polymer electrolyte membrane and gas permeable ionomers for PEFC	1st UK-Japan Symposium on Advanced Materials for Hydrogen and Fuel Cells	online	2021/12/9	九州大学	en④	R3
199	西原正通	燃料電池の高耐久化、高出力化を目指した高分子電解質の開発	令和3年度東海シンポジウム	online	2022/1/20	九州大学	en④	R3
200	有吉亮 西岡隆暢	スマートモビリティ社会を実現するロケーションインテリジェンスの力	ESRIジャパン株式会社webセミナー	オンライン	2021/10/20	LocaliST株式会社	mo①、②	R3
201	西岡隆暢	インテル IoT プラネット	Intel Corporation	オンライン	2021/6/29	LocaliST株式会社	mo①、②	R3
202	高野　茂	ICTを活用したまちの安心安全と賑わいの両立	2021年度 福岡市IoTコンソーシアム総会	福岡市	2021/7/7	九州大学	ict①②	R3
203	高野　茂	公共空間におけるカメラ映像を利活用した人流分析実証実験	行動学とスーパーコンピュータに関するシンポジウム	京都大学・オンラインハイブリッド開催	2021/9/29	九州大学	ict①②	R3
204	荒川　豊	ICT行動変容に関わる学際共創研究拠点	九州大学学術研究都市フォーラム	ソラリア西鉄ホテル福岡	2022/2/7	九州大学	ict①②	R3
205	荒川　豊	センサによる人間行動認識と応用	一般社団法人電子情報通信学会　Webinar（テクノロジートレンドシリーズ）	オンライン	2022/1/25	九州大学	ict①②	R3
206	荒川　豊	人間行動認識技術に基づくICT行動変容支援システムの広がり	第85回WIN定例講演会・第40回人間情報学会講演会	オンライン	2021/12/9	九州大学	ict①②	R3
207	荒川　豊	移動問題~地域の未来を支えるモビリティの進化	九州大学学術研究都市推進機構 令和3年度第1回まちづくりスクール	九州大学	2021/7/9	九州大学	ict①②	R3
208	荒川　豊	無線行動センシング応用 － WiFi CSI活用、パケットセンシング社会実装、エナジーハーベスティング －	ワイヤレス・テクノロジー・パーク（WTP2021）	東京ビックサイト	2021/6/4	九州大学	ict①②	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名：V3 『持続的共進化地域創成拠点』（中核：九州大学）

⑫-4 発表（その他）

No	発表者	タイトル	学会名等	場所	年月日	発表機関（参画機関のみ）	備考（形式、課題番号等）	年度
1	大友順一郎	水素社会と連携した将来のSOFC-SOEC 技術の絵姿・シナリオ構築	固体酸化物エネルギー変換先端技術コンソーシアム（ASEC）	産業技術総合研究所 東京本部	43070	東京大学	依頼講演	H29
2	山口純	COI若手研究者との対話で考える東北地方のポテンシャル	サイエンスアゴラ2020	オンライン	2020/11/22	横浜国立大学	センター・オブ・イノベーション（COI）共創形成支援グループ（山形大学・東北大学・立命館大学）によるオンライン出展において発表を行った	R2
3	山口純	コンヴィヴィアリティのたけの建築	第1回COI学会	大阪大学中之島センター	2018/10/25	横浜国立大学		H30
4	山口純	コミュニティで育てるローカルモビリティ	第4回COI2021会議	日本科学未来館	2018/12/19	横浜国立大学		H30
5	吉本憲生	みなとみらいの人の移動の可視化とオープンデータを用いた移動空間の評価	インターナショナル・オープンデータ・デイ2018@横浜	ハーバーズ・ダイニング	2018/3/3	横浜国立大学	一般講演 M②，CS①-a	H29
6	横浜国立大学 Y-GSA	「横浜から“みんなが包摂され活躍できる社会”を創る」～2025年の社会ビジョンを若者が語り合う天下一開放討論会～	YOKOHAMA YOUTH Ups!フューチャーセッション	横浜港大さん橋国際客船ターミナル「CIQプラザ」	2015/1/31	横浜国立大学	mo①	H27
7	堀 磨伊也	ヒト／モノのモビリティ・エネルギーデータの活用による市民サービスの提供	第16回情報科学技術フォーラム	東京大学	2017年9月12日～2017年9月14日	九州大学	CS④⑤	H29
8	高野 茂	気象ビジネス推進コンソーシアムセミナー in 福岡	気象ビジネス推進コンソーシアム（気象庁）	福岡市	2018/1/29	九州大学	パネルディスカッション CS③	H29
9	高野 茂	第2回気象ビジネス学生アイデアソン	気象ビジネス推進コンソーシアム（気象庁）	福岡市	2018/12/15	九州大学	講演 ict①②	H30
10	Lyth, S. M., Bayer, T., Daio, T., Bishop, S. R., Sasaki, K.,	Graphene Oxide Membrane Fuel Cells,	5th EUROPEAN PEFC AND H2 FORUM 2015,	Lucerne, Switzerland,	Jun. 30-Jul. 3, 2015.	九州大学, MIT	講演 EN④	H27
11	Bayer, T., Lyth, S. M., Bishop, S. R., Sasaki,	A graphene oxide membrane fuel cell for room temperature operation,	The ECS Conference on Electrochemical Energy Conversion & Storage with SOFCXIV,	Glasgow, Scotland,	July 26-31, 2015.	九州大学, MIT	講演 EN④	H27
12	Bayer, T., Selyanchyn, R., Fujikawa, S., Sasaki, K., Lyth, S. M,	Proton Conductivity and Gas Barrier Properties of Graphene Oxide for PEMFC Membranes,	228th ECS Meeting.	Phoenix, USA,	Oct. 11-15, 2015.	九州大学	講演 EN④	H27
13	Shojiro Tanaka*(Hiroshima Univ. of Economics) and Ryuei Nishii (Kyushu Univ.)	Review on the methodology to explore functional forms of deforestation	共同研究集会	統計数理研究所，東京都立川市，	2015/11/6	九州大学、広島経済大学	一般講演	H27
14	江田 智尊（九州大），西井 龍映（九州大）	Support Vector Machineにおける変数選択基準	統計関連学会連合大会	岡山市	2015/9/8	九州大学	一般講演	H27
15	永田晃也、小林俊哉、西釜義勝	水素エネルギーの社会実装に伴う課題ー九州大学「共進化社会システム創成拠点における取組、福岡	研究・技術計画学会九州・中国支部第11回研究会		2015/8/9	九州大学	一般講演	H27
16	永田晃也、小林俊哉、西釜義勝	Hydrogen Hypeを超えて一燃料電池に対する社会受容性の分析	研究・技術計画学会、第30回年次学術大会		2015/10/11	九州大学	一般講演	H27
17	西釜義勝、永田晃也、小林俊哉	技術の社会受容性調査—水素エネルギー技術を事例として—	九州経済学会第65回大会		2015/12/5	九州大学	一般講演	H27
18	鈴木渉,中村文彦,田中伸治,松行美帆子	鉄道駅改札通過データを用いた個人ごとの習慣的な交通行動の変動特性と変容可能性に関する研究	土木計画学研究発表会	オンライン	2021/12/5	横浜国立大学	mo②	R3

19	藤木優加子,有吉亮,中村文彦,田中伸治,松行美帆子	郊外住宅地における小量乗合輸送サービスの導入による行動と意識変化の分析	土木計画学研究発表会	オンライン	2021/12/5	横浜国立大学	mo①	R3
20	THAO TRINH THI,中村文彦,松行美帆子,田中伸治,有吉亮	ホーチミン市・都市鉄道1号線の駅周辺における公共交通志向型開発に向けた現状分析	土木計画学研究発表会	オンライン	2021/12/3	横浜国立大学	mo①	R3
21	若原歩花,有吉亮,中村文彦,田中伸治,松行美帆子	「移動の価値」に関する研究-移動特有の性質が移動中の過ごし方に与える影響に着目して-	土木計画学研究発表会	オンライン	2021/12/3	横浜国立大学	mo①	R3
22	Buyantogtokh BYAMBADORJ, 中村文彦,有吉亮,田中伸治,松行美帆子	ナンバープレートによる走行規制に関する研究	土木計画学研究発表会	オンライン	2021/12/3	横浜国立大学	mo①	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名：V3『持続的共進化地域創成拠点』(中核：九州大学)

⑬ 受賞

No	受賞名	主催(表彰団体名)	受賞者氏名	受賞者所属機関	受賞年月日	URL	備考	年度
1	「ナイスステップな研究者」	NISTEP, MEXT	Stephen Lyth	Kyuhsu Univeristy	2019/12	https://www.nistep.go.jp/wp/wp-content/uploads/nicestep2019_press.pdf	en④	R1
2	Plenary Speaker Award	The American Ceramic Society	Kazunari Sasaki	九州大学	2021/2/8	www.ceramics.org/icacc2021	en③, ④	R2
3	文部科学大臣表彰(科学技術賞研究部門)ナノカーボンの基盤特性解明および機能化に関する先導的研究」とした革新的ナノ材料創製」	文部科学省	中嶋直敏	九州大学			EN④	H28
4	高分子学会功績賞超分子科学および可溶	(社)高分子学会	中嶋直敏	九州大学			EN④	H28
5	Shikata International Medal,"Studies on fu	The Polarographic Socoiety, Japan	中嶋直敏	九州大学			EN④	H28
6	平成28年度エネルギーウィークポスターセッション，優秀賞	九州大学エネルギー研究教育機構	立川雄也	九州大学			EN②	H28
7	Poster Award,	8th ECNP International Conference on Nanostructured Polymers and Nanocomposites, Technische Universität (Dresden, Germany),	Masamichi NISHIHARA	九州大学	September 16-19, 2014.		EN④	H26
8	Poster Award,	2014 ECS and SMEQ Joint International Meeting	Dai HORIGUCHI,	九州大学	October 5-9, 2014		EN④	H26
9	Poster Award,	2015 ECS and SMEQ Joint International Meeting	Masahiko KITAMURA	九州大学	October 5-9, 2014		EN④	H26
10	Poster Award,	The 10th SPSJ International Polymer Conference (IPC2014)	Liana CHRISTIANI,	九州大学	December 2-5, 2014		EN④	H26
11	令和二年度産業標準化表彰　経済産業大臣賞	経済産業省	松橋隆治	東京大学	2020/10/1		en①	R2
12	学生奨励賞	化学工学会関東支部	福田　一峻	東京大学	2019/8/8	http://www.scej-kt.org/gakuseisho/gakusesyo.htm	en①	R1
13	学生発表賞	エネルギー資源学会	古田龍平	東京大学	2020/3/16	http://www.jser.gr.jp/activity/prize_07.pdf	en①	R1
14	最優秀学生賞	化学工学会関東支部	小城　元	東京大学	2017/7		en①	H29
15	文京区政功労者表彰　(地球温暖化対策地域推進協議会委員)	東京都文京区	松橋隆治	東京大学	2018/3/15		en①	H29
16	Best Poster Runner-Up Award	IEEE, The Power and Energy Conference at Illinois	山田義彦，松橋隆治	東京大学			en①	H28
17	若手発表者賞	エネルギー資源学会	鈴木誠人	東京大学			en①	H28
18	森林バイオマス利用学会　論文賞	森林バイオマス利用学会	海邊健二、大友順一郎、湯本道明、山田興一	東京大学			en①	H28
19	優秀学生賞	化学工学会	月村玲菜	東京大学			en①	H28
20	優秀論文賞受賞	土木学会全国大会第75回年次学術講演会	若原歩花	横浜国立大学	2020/9/9～11	https://committees.jsce.or.jp/zenkoku/node/211	モビリティ	R2
21	2018年日本建築学会奨励賞	日本建築学会	吉本憲生	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院／建築都市スクール"Y-GSA"	2018.4		モビリティ	H30
22	優秀賞	第1回COI学会	山口純	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院／建築都市スクール"Y-GSA"	2018.10		モビリティ	H30
23	情報処理学会九州支部奨励賞	情報処理学会九州支部	木下和弥	九州大学			CS③	H28
24	学術業績賞	計測自動制御学会　システムインテグレーション部門	倉爪　亮	九州大学	2017.12		CS②	H29
25	フェロー	日本機械学会	倉爪　亮	九州大学	2018.2		CS②	H30

26	ITSシンポジウム2018 ベストポスター賞	ITS Japan	中山 経太, 尾ノ上 晃, 堀 磨伊也, 島田 敬士, 谷口 倫一郎	九州大学	2018/12/14		ict③	H30
27	福岡管区気象台長表彰（感謝状）	福岡管区気象台	高野　茂	九州大学	2020/6/1		ict①② 気象業務への貢献	R2
28	優秀ポスター賞	第28回 マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS2020), 2020.	髙橋 遼	九州大学	2020/11/11		ict①	R2
29	2016 年:第13回 Graph500 ベンチマーク 世界1位 (SC16, ソルトレイ クシティ, アメリカ)	Graph500 Executive Committee	藤澤克樹 鈴村豊太郎 上野晃司 佐藤仁	九州大学				H28
30	2016 年:第12回 Graph500 ベンチマーク 世界1位 (ISC16, フランクフルト, ドイツ)	Graph500 Executive Committee	藤澤克樹 鈴村豊太郎 上野晃司 佐藤仁	九州大学				H28
31	論文賞	計算機統計学会	廣瀬慧	九州大学				H28
32	ポスター賞	電気化学会	瀧野惠介	九州大学	2018.3			H29
33	ポスター賞	電気化学会	川内野大樹	九州大学	2018.3			H29
34	IIAI AAI 2021 Best Paper Award	IIAI-AAI 2021	有吉亮	横浜国立大学	2021/7/16	https://iaiai.org/conference/aai2021/program/awards/		R3
35	2021年度 第37回電気通信普及財団賞 テレコム学術研究賞	公益財団法人 電気通信普及財団	Mohamed A. Abdelwahab 鍛冶　静雄 堀　磨伊也 高野　　茂 荒川　　豊 谷口倫一郎	九州大学	2022/3/14	https://www.taf.or.jp/files/1959/718895840.pdf	ict②	R3

COIプログラム　終了報告書　別紙3　参画機関一覧

拠点名：V3 『持続的共進化地域創成拠点』（中核：九州大学）

No.	機関名	参画形態 ★　：受託機関として参画 ●　：受託機関ではないが、研究開発実施場所として参画 ○　：上記以外で参画 ー　：参画なし								
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1	国立大学法人九州大学	★	★	★	★	★	★	★	★	★
2	国立大学法人東京大学	★	★	★	★	★	★	★	★	★
3	国立大学法人横浜国立大学	★	★	★	★	★	★	★	★	★
4	株式会社日立製作所　情報・通信システム社	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	日本電気株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	公益財団法人九州先端科学技術研究所	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	ENEOS株式会社（旧JXTGエネルギー株式会社）（旧JXエネルギー株式会社）（旧JX日鉱日石エネルギー株式会社）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	平田機工株式会社	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
9	本田技術研究所	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
10	水素エネルギー製品研究試験センター	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
11	公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団	ー	○	○	○	○	○	○	ー	ー
12	株式会社エディオン	ー	ー	○	○	○	○	○	ー	ー
13	日産自動車株式会社　EVシステム研究所	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	東京ガス株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	株式会社オー・エル・エム・デジタル	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	日本電信電話株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	信越化学工業株式会社	○	○	○	○	○	○	ー	ー	ー

18	静岡ガス株式会社	ー	○	○	○	○	○	○	○	○
19	日野自動車株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	一般財団法人計量計画研究所	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	西日本鉄道株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	富士ゼロックス株式会社	ー	○	○	○	○	○	ー	ー	ー
23	富士通株式会社（株式会社富士通交通・道路データサービス）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	ESRIジャパン株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	リレーションズ株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	日本マイクロソフト株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	日産自動車株式会社　モビリティ・サービス研究所	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	横浜市	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	福岡市	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	佐賀県	○	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー
31	一般財団法人日本自動車研究所	○	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー
32	京セラ株式会社	○	○	○	ー	○	○	ー	ー	ー
33	株式会社コムラテック	○	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー
34	コニカミノルタ株式会社	○	○	○	○	○	ー	ー	ー	ー
35	ふくおかIST	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
36	株式会社ジャパンディスプレイ	○	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー
37	株式会社デンソー	○	○	○	ー	○	○	○	○	○
38	東芝機械株式会社	○	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー
39	東洋紡株式会社	○	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー
40	浜松ホトニクス株式会社	ー	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー

41	ハリマ化成株式会社	○	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー
42	船井電機株式会社	○	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー
43	保土谷化学工業株式会社	○	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー
44	みずほ情報総研株式会社	○	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー
45	学校法人早稲田大学	○	★	★	★	ー	ー	ー	ー	ー
46	経済産業省九州経済産業局	ー	ー	○	○	○	○	○	○	○
47	公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構	ー	ー	○	○	○	○	○	○	○
48	株式会社YEAAH	ー	ー	ー	ー	○	○	○	○	○
49	春日ブルーエナジー株式会社（春日ブルーエナジー合同会社）	ー	ー	ー	ー	○	○	ー	ー	ー
50	株式会社チームAIBOD	ー	ー	ー	ー	○	○	○	○	○
51	株式会社NTTファシリティーズ	ー	ー	ー	ー	○	○	ー	ー	ー
52	みやまスマートエネルギー株式会社	ー	ー	ー	ー	○	○	○	○	○
53	株式会社hapi-robo st	ー	ー	ー	○	ー	ー	ー	ー	ー
54	株式会社ナビタイムジャパン	ー	ー	ー	○	○	○	○	○	○
55	パーク24株式会社	ー	ー	ー	○	○	○	○	○	○
56	トヨタ自動車株式会社	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	○	○
57	株式会社ゼンリンデータコム	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	○	○
58	箱根町	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	○	○
59	宮川興業株式会社	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	○	○
60	京浜急行電鉄株式会社	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	○	○
61	株式会社日本能率協会総合研究所	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	○	○
62	株式会社IHI	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	○	○
63	LocaliST株式会社	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	○	○

64	昭和自動車株式会社	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	○
65	株式会社Kyulux	ー	ー	ー	ー	○	○	○	○	○
66	株式会社イー・コンザル	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	○	○
67	株式会社ホープ	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	○
68	株式会社NTTドコモ	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	○	○
69	国立大学法人東京工業大学	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	★	★
70	株式会社正興電機製作所	ー	ー	○	○	○	○	ー	ー	ー
71	一般社団法人救急医療・災害対策無人機等自動支援システム活用推進協議会	ー	ー	ー	○	○	○	ー	ー	ー
72	株式会社エナリス	ー	ー	ー	○	○	○	ー	ー	ー

COIプログラム　終了報告書　別紙5　研究開発テーマと個別研究開発課題の関係一覧

拠点名：V3 『持続的共進化地域創成拠点』（中核：九州大学）

終了報告書中の研究開発テーマ		包含する研究開発課題		
番号	テーマ名	番号	課題名	実施機関
4.1.1	en① エネルギーシステムの脱炭素化施策の設計と実装およびコストエンジニアリング	4.1.1.1	en①-a エネルギーシステムの効率化、脱炭素化のためのファイナンス及び制度設計と社会実装	東京大学
		4.1.1.2	en①-b エネルギーインフラ総合評価と都市への経済効果を考慮したエネルギー・経済モデルの開発と社会実装	東京大学
		4.1.1.3	en①-c 再生可能エネルギーの面的利用	東京大学
		4.1.1.4	en①-d 研究開発課題：エネルギーシステムのコストエンジニアリング	東京大学、東京工業大学
4.1.2	en② 水素インフラ	4.1.2.1	en②-a エネルギーインフラ最適配置	九州大学
		4.1.2.2	en②-b 水電解システム	九州大学
4.1.3	en③ 定置用電源（革新的高効率発電システム）			九州大学
4.1.4	en④ 移動体用電源（水素モビリティ・再エネ電気モビリティ）			九州大学
4.2.1	mo① 協働・共有型モビリティシステムの開発			横浜国立大学
4.2.2	mo② MaaS対応型マルチモーダル情報提供システムの開発			横浜国立大学
4.2.3	mo③ 道路維持管理支援システムの開発			横浜国立大学
4.3.1	ict① 都市空間における見守りサービスの構築と実証	4.3.1.1	ict①-a：交通結節点における安心安全の実現	九州大学
		4.3.1.2	ict①-b：混雑度および換気度計測可能な安価なバスプローブの展開	九州大学
4.3.2	ict② ICT等を活用したまちの賑わい創出	4.3.2.1	ict②-a：賑わいの指標化と見える化	九州大学
		4.3.2.2	ict②-b：混雑度分散による適度な賑わいの創出支援	九州大学

4.4.1	mi① 数理解析基盤の開発	4.4.1.1	mi①-a：電力需要及び発電量予測技術の開発	九州大学
		4.4.1.2	mi①-b：賑わい創出における数理モデルの開発	九州大学
		4.4.1.3	mi①-c：大規模アンケートに対するデータ解析手法の開発	九州大学
4.5	情報デバイス			九州大学
4.6	科学技術イノベーション政策			九州大学

用語集

用語	説明
電気代そのまま払い	「電気代そのまま払い」とは、省エネルギー技術、再生可能エネルギー技術を導入する者に対して、地域電力事業者や家電量販店などの供給側が、初期コスト０で設置し、節約されるエネルギーコストからローン分を回収する仕組みである。既に地方自治体やエネルギー事業者によって社会実装されており、グーグル検索でも 3000 万以上ヒットするなど、広く認知されている。
発電インバランス	電力小売り事業者が、発電所からの電力を調達して小売り事業を行うにあたり、調達する発電所からの（1 日を 48 分割した 30 分毎の各スロットにおける）発電量を、前日の所定の時間まで送配電事業者に報告する義務がある。その後、当日となると実際の発電量は、前日に提出された発電量計画値とは一致しないことが多い。この発電量計画値と実際の発電量との差を、発電インバランスとよぶ。電力小売り事業者は、発電インバランスに所定の単価を乗じた料金をインバランス分のペナルティとして支払う必要がある。特に、太陽光発電や風力発電の場合、気象条件によって、発電量が変化するため、発電インバランスが大きくなる傾向がある。
周波数制御	電力システムにおいては、瞬時瞬時の電力の供給と需要のバランスを取ることが重要である。もし、ある時刻における電力の供給が需要よりも大きい場合、周波数は基準値である 50Hz あるいは 60Hz より高くなり、逆に需要の方が供給より大きい場合は、周波数は基準値より低くなる。日本の電力系統においては、周波数は基準周波数±0.2Hz の間に収まるように制御されている。これを周波数制御という。このような周波数制御を行う理由は、周波数が基準値から大きく乖離すると、発電機の故障や様々な事故につながるリスクがあるからである。
周波数調整市場	日本および海外において、周波数制御を行うための技術を、入札などの手段を用いて広く募るための市場のことである。日本においては、需要と供給のバランスをとるための調整力を募る需給調整市場が既に開設されている。この中には、速い変動の調整力から順番に、1 次調整力、2 次①調整力、2 次②調整力、3 次①調整力、3 次②調整力の 5 種類の調整力区分があり、いわゆる周波数制御は 2 次①に相当する。なお、日本の需給調整市場において、既に取引が開始されているのは、3 次②の調整力のみであり、2 次①については、2024 年ごろに取引が開始される予定である。一方、欧米諸国では、周波数制御に相当する調整力の取引が既に行われている市場が複数ある。
アンシラリーサービス	上述した需給調整市場で取引される各種の調整力の他、電力システムの安定性を維持するため、各種の電力に関するサービスが取引されるようになってきている。これらの電力に関するサービスをアンシラリーサービスとよぶ。
応用一般均衡モデル	経済学において、市場で取引されるのは財と生産要素（資本、労働、土地）である。ここで、ある地域において、取引される全ての財と全ての生産要素の需要と供給が均衡している状態を一般均衡とよぶ。さらに、ある地域における一般均衡時の経済指標（GDP, 家計の所得, 財の価格と生産額など）を定量的に数値計算によって求める数学モデルを応用一般均衡モデルとよぶ。本課題では、日本全体の応用一般均衡モデルを開発し、数値計算を行うことにより、CO2 削減策が経済に及

	ぼす影響を定量化し、環境と経済を両立させるための方策を検討している。
産業連関分析	経済学者 W. レオンチェフによって提唱され、現在、世界中に普及している財、生産要素の取引を網羅する分析手法である。産業連関表に盛り込まれた取引データを用いて、一国の GDP や財の輸出、輸入など経済的な取引に関する定量的な分析を行うことができる。また、国単位だけでなく、県や市など地方自治体単位で作成された産業連関表もあり、本 COI が掲げる「真のエネルギー地産地消」の地域経済への波及効果なども定量的に分析することができる。
電気と水素のコプロダクション	本課題では、これまで電力の小売り事業を展開してきた地域の事業者が、電気だけでなく、発電インバランス部分を電気分解装置に投入し、水素を製造して、水素販売事業者などに販売する事業スキームを提案し、プラントの設計などを進めてきた。この電気と水素の結合生産による事業スキームを電気と水素のコプロダクションとよぶ。
水電解/水蒸気電解	電気分解により、液体の水もしくは気体の水蒸気から水素を取り出す技術。再生可能エネルギーにより生じた電気から水素を製造する技術の１つとして本課題で注力して実施している。
固体高分子形(燃料電池/電解)・PEFC/PEEC	電解とその逆反応である燃料(水素)から電気を発生させる燃料電池デバイスのうち、高分子ポリマーを電解質として用いるものを指す。常温～100℃程度で運転できるため、水素モビリティ、もしくは水素製造デバイス向けとして本課題で注力して実施している。
固体酸化物形(燃料電池/電解)・SOFC/SOEC	電解とその逆反応である燃料(水素)から電気を発生させる燃料電池デバイスのうち、イオン伝導性を有するセラミックを電解質として用いるものを指す。高温(600℃～1000℃)で運転できるため定置用電源、再エネ電気モビリティ向けとして本課題で注力して実施している。
水素合金タンク	水素吸蔵合金（Metal Hydride、MH）を活用して、水素を金属化合物として貯蔵するタイプの貯蔵タンク。その他の高圧ガスや液体として貯蔵する方法と比べて、安全な貯蔵方法とされる。
アイオノマー	固体高分子形燃料電池、水電解において、電極触媒層内のイオン伝導を担う高分子電解質材料。一般にはフッ素系高分子電解質の Nafion が用いられる。
協働・共有型モビリティシステム	既存の交通インフラとは別に、市民(地域)・交通事業者・交通具メーカーが一体となって、対象地域内で運行する新しい交通サービス。自動車やバス・タクシーなどこれまでと違う形態の車両を、ステークホルダー全体で支える事業形態を指す。
カーシェアリング	一般的に登録を行った会員間で特定の自動車を共同使用するサービスないしはシステム。レンタカーよりもごく短時間の利用を想定しており、利用者にとってはレンタカーよりも便利で安価になるように設定されていることが多い。

ライドヘイリング ride-hailing	自動車による送迎サービス。ウーバーなどが提供する大規模な配車サービスを指す。
オンデマンド(交通)	利用者が事前に予約することでその都度、それに合わせて運行する地域の公共交通のこと。予約があるときにだけ運行する。
オートポイエーシス	ギリシャ語の「自己（auto)」と「制作（poiesis)」を組み合わせた造語であり、外部環境に依存しない自己決定的なシステムとしての「生命」の記述を目的とする概念。
セカンドオーダー・サイバネティクス	サイバネティクスとは「動物と機械におけるコントロールとコミュニケーションの科学」として、ノーバート・ウィナーが 1948 年に提唱したもので、実際に行った行動に基づいて制御するという「フィードバック feedback」の概念が導入された『ファーストオーダー・サイバネティクス』に対して、外部から観察されたシステムから、内部から自己を観察するシステムへの焦点の移動を意味する、いわゆる「サイバネティクスのサイバネティクス」である。、
スマート＆マルチモーダルモビリティシステム **(Smart& Multi Modal Mobility System : SM3S)**	多様な活動ニーズから派生する移動ニーズへの対応、移動に係るあらゆるロス（物理的、経済的、心理的）の削減、実空間におけるソーシャルキャピタルの形成に資する交通システムを目的としている。❶多様な交通手段が存在する都心でのマルチモーダルな情報提供による移動支援、❷郊外における交通弱者の移動を支援するローカルモビリティシステム、❸交通の結節点であり人々の交流や創造的な活動の場となりうるバス車両やハブ空間のリデザイン、❹これらの移動を支えるスマートな道路維持管理支援手法の提案、からなる設計思想の下に構築される。
マルチモーダル(交通)	複数の交通機関の連携を通じて、利用者のニーズに対応した効率的で良好な交通環境が提供される交通体系。スピードアップと乗り継ぎ・積み替えの円滑化を図ることにより、利用者が求めるドア・ツー・ドアのサービスを、環境にやさしく、適切なコストで提供することを目指している。
MaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス)	地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する。
バスロケーションシステム	無線通信や GPS などを利用してバスの位置情報を収集することにより、バスの定時運行の調整等に役立てるシステム。バスの位置情報を提供することで、利用者は待ち時間のだいたいの目安がわかり、時間を有効に利用することができる。
Wi-Fi センシング	Wi-Fi を搭載したスマートフォン等の情報機器が、アクセスポイントとの接続を行うための ProbeRequest という管理パケットを検知することで、これをキーとして収集・分析すれば，情報機器利用者の流動・分布の状況を知る事が出来る。

AI カメラ	ヒト・モノの検知・追跡・属性推定および顔認証等のディープラーニングに基づく高度な AI（人工知能）画像処理機能を搭載したネットワークカメラ。本研究で開発する AI カメラは、撮影エリアにおける混雑度、賑わい度、来訪者の属性（年代・性別等）の統計データをクラウドサーバに送信する機能をもつ。
BI ツール	BI ツール（Business Intelligence tools）とは、ビジネスインテリジェンスを行うアプリケーションソフトウェア。経営に必要な膨大なデータを収集し、それらを様々な切り口で可視化し、経営者等に有益な情報を提供する仕組みである。
ダイナミックプライシング	ダイナミックプライシング（Dynamic Pricing）とは、商品やサービスの価格を需要と供給の状況に合わせて変動させる価格戦略のことである。
MyIoT	「My-IoT」は、ＳＩＰ第二期（平成 30 年～）における、「フィジカル空間デジタルデータ処理基盤」を構成するサブテーマⅠ：共通プラットフォーム技術の「IoT 構築基盤」。従来の IoT システム提供者によるに IoT システム構築に加え、利用者自身が IoT システムを構築可能にする仕組みを創造。開発段階から IoT システム提供者と IoT 利用者が知識と情報を共有して連携することで、ビジネス視点に立った IoT の開発と活用を可能にする。
FIWARE	FIWARE は、EU の次世代インターネット官民連携プログラム（FI-PPP）で開発・実装された基盤ソフトウェアで、欧州を中心とした多数の都市や企業でスマートシティを実現するシステムに活用されている。近年、国内においても自治体におけるスマートシティ向け共通プラットフォームとしての活用が始まっている。
FieldAnalyst	画像から自動で人物・顔を検出し、年齢・性別などを推定するソフトウェア。参画機関である日本電気株式会社のソリューションの一つ。近年、スマート街路灯など、公共空間での利活用も社会実装が進んでいる。
Docker	Docker（ドッカー）は、コンテナ仮想化を用いてアプリケーションを開発・配置・実行するためのオープンソースソフトウェア。Docker はコンテナ仮想化を用いた OS レベルの仮想化によりアプリケーションを開発・実行環境から隔離し、アプリケーションの素早い提供を可能にする。
WiFi Probe Request	スマートフォンなどの無線 LAN クライアントが無線 LAN アクセスポイントの接続先探索時に発信する電波信号。当初は、端末固有の信号であったため台数カウントなどに応用されていたが、近年では、プライバシー保護の観点で、OS レベルでの暗号化された信号が発進されている。Itocon では、暗号化された状態で真値に近い混雑度を推定する技術が搭載されている。
API	API(Application Programming Interface)とは、ソフトウェアやプラットフォーム同士が互いに情報をやりとりするのに使用するインタフェースの仕様である。
ベクトル場	空間の各点、各時刻に、ベクトルの情報が付随したデータ。流体や人流など、空間・時間的に変化する流れを記述するための基本的なデータ構造。

高次元トポロジー	データは多くの場合、高次元のベクトルの集まりで表される。そのベクトルの集まりを図形と見做して、形に関する特徴量を取り出す数学が高次元トポロジーである。取り出された特徴はデータ解析に用いられる。
位相流体解析	ベクトル場で表現される広い意味での流れに対して、トポロジーの考えを用いて、微小な摂動によって変化しないような安定的な情報を取り出す一つの手法である。
Fused Lasso	スパース推定の一種。隣接した説明変数同士の係数を同じ値（例えば０）になるように束縛項を加えた LASSO。
Bias-variance tradeoff	パラメータの偏りが大きくなるとその分散が小さくなり、逆に偏りが小さくなると分散が大きくなるという現象。
スパース推定	パラメータにL_1ノルムに基づく制約を課すことにより、パラメータのいくつかを０と推定する手法。
Prenet 正則化	Product-based elastic net の略。因子分析におけるスパース正則化法の一種。
Varimax(Varimax 回転)	分散最大化によって解釈しやすい因子を見出す因子回転の手法。
MC ペナルティ	Minimax Concave ペナルティの略。スパース正則化法の一種。
Quartimin 回転	因子回転の手法の１つ。因子分析の因子軸の回転におけるオブリミン法の１つである。